取扱説明書　基本編

FOMA® N900i

'04.4

ドコモ
W-CDMA方式

●**このたびは、FOMA N900iをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。**
この取扱説明書『基本編』は、「はじめに」、「基本操作編」、「応用操作編」、「ネットワークサービスを利用する」、「文字入力のしかた」、「付録」、「困ったときには」の7部構成になっております。

●**ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書『基本編』および別冊の『アプリケーション編』をよくお読みいただき、FOMA N900iを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。**

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMAは無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性等に関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

FOMA端末、FOMAカードをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。また、電池パックおよびアダプタ(充電器含む)をお使いになる前には、機器に添付の個別の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。なお、取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

○**お問い合わせ先(ドコモグループ各社)**

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの) 151 (無料)
※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合
携帯・PHS OK
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

この『**FOMA N900i**取扱説明書基本編』の本文中においては、『**FOMA N900i**』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

・本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
　NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。
・NetFrontおよび **NetFront**® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。

・本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

著作権について／商標について

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音等したもの、またサイト（番組）やインターネットホームページの情報は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製や編集、および複製物・編集物を使用した場合には、著作権法等を侵害することになり、著作権者等から損害賠償請求等を請求されることとなりますので、そのような利用はお控えください。
FOMA端末を利用して撮影または録音等したものを複製、編集等する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
また、撮影または録音等したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

商標・登録商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「iモード」「iアプリ／アイアプリ」「iアプリDX」「WORLD CALL」「ドライブモード」「クイックキャスト」「マルチアクセス」「iモーション／アイモーション」「iモーションメール／アイモーションメール」「着モーション」「デコメール／デコレーションメール」「キャラ電」「iアニメ／アイアニメ」「デュアルネットワーク」「M-stage Vライブ」および「FOMA」「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501
  5,506,865 5,109,390 5,511,073 5,228,054 5,535,239
  5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483 5,337,338
  5,600,754 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- LCフォント/LC FONT®、エルシーフォント®、LCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
- T9 Text Input®およびT9ロゴマークはTegic Communications社の登録商標です。
- T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- Dialog Clarity、WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
  Dialog Clarity、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™ テクノロジーを搭載しています。
  Copyright© 1995-2004 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- 「スーパーCCDハニカム」は富士写真フイルム株式会社の登録商標です。
- “ Dimo ”はBuena Vista Internet Groupの商標または登録商標です。
- ©2004 DEVILROBOTS

取扱説明書の見かた

『**基本編**』(**本書**)では次のことについて説明しています。

「はじめに」：

FOMA端末を実際に操作する前の準備やはじめに知っていただきたいことを説明しています。

・各部の名称や機能のご紹介
・メニュー操作のしかた
・FOMAカードの付け外し、電池パックの充電方法について

など

「基本操作編」：

FOMA端末の基本的な操作のしかたを説明しています。

・音声電話、テレビ電話のかけかたや受けかた、電話帳登録のしかた

など

「応用操作編」：

FOMA端末をより便利に使いこなしていただくための機能について説明しています。

「ネットワークサービスを利用する」：

留守番電話サービスなどの便利なネットワークサービスについて説明しています。

「文字入力のしかた」：

FOMA端末での文字の入力のしかたを説明しています。

「付録」：

用語の一覧やメニュー機能の一覧などを記載しています。

「困ったときには」：

故障と思われたときなどの対処のしかたなどを記載しています。

●ご使用の前に、本書の「安全上のご注意」および「取扱い上のお願い」を必ずお読みの上、正しくお使いください。

●本書ではFOMA端末の基本的な操作方法を説明していますので、はじめてFOMA端末をご利用になる場合は必ず本書をお読みになってから『アプリケーション編』をお読みください。

『**基本編**』のほかにも、FOMA端末には次の取扱説明書が添付されています。

『アプリケーション編』

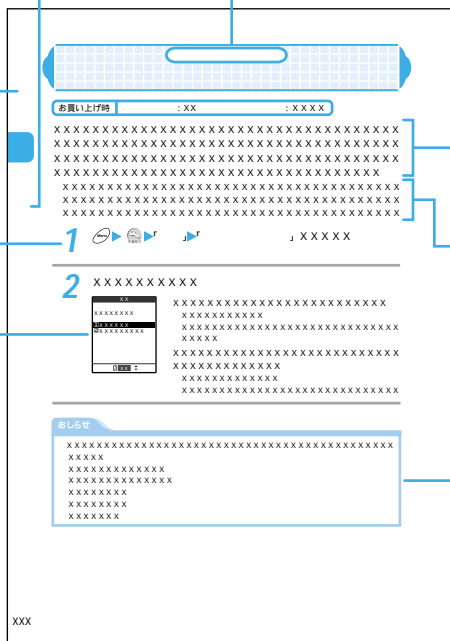
・iモード、メール、カメラの使いかたや、パソコンを利用したデータ通信の設定方法について説明しています。

これらの取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

本書の見かた

本書の記載について

本書では次のような記載をしています。
それぞれの記載の意味を十分に理解され、本書をより有効にご活用ください。

本書ではメニュー機能からの操作手順などは「Menu▶各種設定▶「その他」▶「ボタン確認音」の順に選ぶ」というように説明しています。実際の操作方法については「メニューについて」内の「メニュー操作の表記について」(P.49)を参照してください。

ディスプレイの表示について

- 本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」(P.177)にした状態で記載しています。また、操作説明の画面は説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
- 本書は、主にお買い上げのときの設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

目 次

はじめに

基本操作編

音の設定を変更する

ディスプレイの表示やボタンの設定などを変更する

携帯電話の操作を制限する

アラームで通知できる機能を利用する

便利なツールを利用する

その他の機能を利用する

マルチアクセス・マルチタスク

ネットワークサービスを利用する

ドコモのネットワークサービス

文字入力のしかた

文字入力のしかた

付録

付録

困ったときには

困ったときには

FOMA N900iの多彩な機能

FOMAとは、第3世代移動通信システム(IMT-2000)の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

最大384kbpsのパケット通信、快適なデータ通信に対応

●FOMA端末にパソコンなどの外部機器を接続して、受信最大384kbpsの快適なパケット通信が可能です。64Kデータ通信にも対応しています。
・データ通信を行うには、パソコンなどの外部機器が必要になります。

iモードに対応、メールサービスも充実

●受信最大384kbpsの高速パケット通信対応により、サイト(番組)接続サービスやインターネット接続、iアプリやiモーションが快適にご利用いただけます。また、お申し込み不要なSMS(無料)とインターネット経由でe-mailとしてもご利用いただけるiモードメールに対応しています。
・iモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。

マルチアクセス、マルチタスク機能でより便利に

●音声通話とパケット通信を同時に利用できるマルチアクセスによって、iモード中に通話をしたり、通話中にメールの送受信を行ったりすることができます。また、複数のアプリケーションを同時に使用できるマルチタスク機能も搭載しています。
・iモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。
・マルチアクセスとは別にSMSも同時に使用できます。

FOMAカードに対応

●FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数の端末を使い分けることができます。

テレビ電話

テレビ電話に対応している端末どうしで、相手の顔を見ながら通話できます。ハンズフリーに切り替えると相手の音声をスピーカから再生させることができます。自画像をキャラ電に切り替えて操作すると、さまざまなアクションを使っての通話も楽しめます。
外出先から室内のペットの様子を確認したり、工場現場や操業状況の管理などを離れた場所から確認したりなど、カメラ機能を利用した遠隔監視にも対応しています。本FOMA端末は、遠隔監視の発信側／着信側の両方に使用できます。

P.87

カメラ機能

内側と外側の2つのカメラで写真(静止画)、連続写真、動画を撮影できます。外側カメラは記録画素数200万画素(有効画素数100万画素)のスーパーCCDハニカムを搭載し、1616×1212ドットの大画像も撮影可能です。
大切な場面を逃さずに撮影できるように、撮影を終了した時点からさかのぼって動画を記録する「チャンスキャプチャ」機能や、撮影した写真(静止画)に音声を追加する「ピクチャボイス」機能を搭載しています。これらの機能で撮影した動画は、ムービープレーヤーに保存され、iモードメールに添付して送信することができます。

アプリケーション編 P.246

スピードフォトメール

音声通話中に撮影した写真(静止画)を通話中の相手に簡単な操作で送信できます。本機能では、その場で撮影した写真(静止画)だけでなく、FOMA端末に保存されている写真(静止画)を送信することもできます。

アプリケーション編 P.167

デコメール(デコレーションメール)

本文の文字の色を変えたり、テロップ、点滅などの装飾をしたメール(デコメール)を作成し、送信できます。また、デコメールを受信することもでき、表現豊かなメールを楽しむことができます。

アプリケーション編 P.171

iアプリDX

iモード対応携帯電話の情報と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かお知らせするなど、iアプリをより便利に楽しく利用できます。

アプリケーション編 P.65

miniSDメモリーカード

電話帳やスケジュール、メール、画像などのデータをFOMA端末とminiSDメモリーカードとの間でやりとりできます。miniSDメモリーカードに保存されているデータの表示や削除、パソコンと接続してのminiSDリーダライタ機能の使用も可能です。また、カメラ機能の長時間ムービーモードを使用すると、撮影した動画を直接miniSDメモリーカードに保存することができ、最長１時間の動画撮影を行うことができます。

アプリケーション編 P.357

Flash画像対応

表現力がより豊かなFlash画像を使用したサイトを表示できます。また、Flash画像を待受画面に設定することもできます。

アプリケーション編 P.45

バーコードリーダー

カメラ機能を利用してバーコードおよびQRコードを読み取り、読み取った情報によって電話帳登録、iモードメール作成などができます。また、読み取った情報が画像やメロディの場合はそれらの表示や再生、保存ができます。

アプリケーション編 P.281

赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、メロディ、画像、iモーションなどのデータを送受信できます。

アプリケーション編 P.340

豊富なネットワークサービス

デュアルネットワークサービス(有料)

● お申し込みが必要となります。

P.285

留守番電話サービス(有料)

● お申し込みが必要となります。

P.271

転送でんわサービス(無料)

● お申し込みが必要となります。

P.276

ショートメッセージサービス(SMS)(無料)

● お申し込みは不要です。

アプリケーション編 P.193

iモード機能

iモード(有料)

iモード端末を使ったオンラインサービスです。情報サービス提供者が提供する各種サービスをご利用いただけるサイト(番組)接続サービス、見たいホームページを表示できるインターネット接続、e-mail(電子メール)とのやりとりもできるiモードメールなどをご利用いただけます。

● お申し込みが必要となります。

アプリケーション編 P.24

iモードメール

待受画面表示中にを押すだけでメールのメニューが呼び出せます。FOMA端末では受信メールを最大1,000件、送信メールを最大400件まで保存できます。

アプリケーション編 P.134

iモーション

iモーション対応サイトから映像や音のデータをFOMA端末に取り込んで再生、保存できます。保存したiモーションは着信音に設定できます。

アプリケーション編 P.94

iモーションメール

内蔵カメラで撮影した動画や、サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションをiモードメールに添付して送ることができます。

アプリケーション編 P.162

iアプリ

ソフトをサイトから取り込むことにより、FOMA端末を便利に活用いただけます。たとえばゲームを取り込めば、FOMA端末でいろいろなゲームを楽しめます。

アプリケーション編 P.65

FOMA N900iを使いこなす！

■FOMA N900iのビジュアル・コミュニケーション

相手の顔を見ながら会話することができます「テレビ電話」

●テレビ電話で相手の顔を見ながら、リアルタイムコミュニケーション→P.87

相手の音声をスピーカから流して、
顔を見ながら会話することができます。

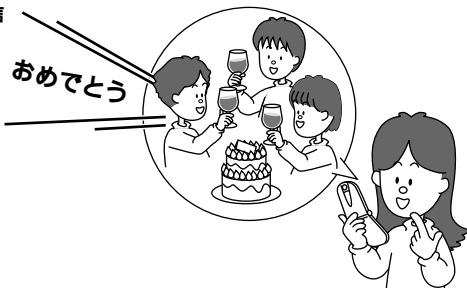
内側カメラと外側カメラを切り替えて、
相手側に風景などを見せることもできます。

自画像の代わりにキャラクタを表示させて、口や手足を動かすこともできます。

音声通話中に写真（静止画）を送信します「スピードフォトメール」

●音声通話中に外側カメラで風景などを撮影してすぐに送信→『アプリケーション編』のP.167

写真（静止画）に音声を加えて送信します「ピクチャボイス」

●写真（静止画）にメッセージをひと言添えて送信
→『アプリケーション編』のP.258

デジタルカメラやデジタルビデオのように使いこなせる「カメラ」

●写真（静止画）や動画を撮影→『アプリケーション編』のP.246

「フォトモード」、「メガピクセルフォト」で撮影して写真（静止画）を保存。メールに添付したり、待受画面や着信画面に設定したり、フレームや文字スタンプなどをつけてアレンジすることができます。

待受画面に設定

着信画面に設定

画像をアレンジ

「連写モード」で撮影して連続画像を保存。アニメーションのように表示したり、その中のお気に入りを選んで保存することができます。

連続写真を表示

お気に入りを保存して利用

「ムービーモード」、「チャンスキャプチャ」、「長時間ムービー」で撮影して動画を保存。「チャンスキャプチャ」は大切な場面をのがさずに撮影できるモードです。「長時間ムービー」はminiSDメモリーカードの容量いっぱいまで撮影できます。撮影した動画は、着信音に設定したり、メールに添付したり、静止画として切り出したり、テロップを編集したりすることができます。

動画を再生

切り出して利用

テロップ表示

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

⚠危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック N06　卓上ホルダ N04　ACアダプタ N03　DCアダプタ N03
データ通信アダプタ N01

その他互換性のある商品については当社窓口までお問い合わせください。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

⚠注意

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

禁止

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

⚠警告

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用ください。なお、歩きながら使用するときは、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。
また、走行中の使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末は折り畳み式のため、閉じた状態を検出するために磁石を使用しています。FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用しますと、磁石の影響で医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

ハンズフリーを「ON」に設定してスピーカで通話する際は、FOMA端末を耳から離してください。
聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えることがあります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

⚠注意

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

水濡れ禁止

FOMA端末を濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

miniSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

指示

miniSDメモリーカードを取り付け、取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

⚠注意

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますと、けがの原因となります。

内蔵カメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

ライトを目に近づけた状態で点灯しないでください。また、ライト点灯時は、照明部分に目を近づけて直接見ないようにしてください。
視力低下など、目に影響を与える場合があります。

ライトをカメラ撮影以外の用途に使用しないでください。
約30秒間操作しないとライトは消灯しますので、カメラ撮影以外の用途（懐中電灯など）に使用すると、急に暗くなり事故の原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。
※使用箇所：材質

レンズ切替スイッチ、外側カメラレンズ周囲、マルチファンクションボタン、ファンクションボタン1および2、ニューロポインターボタン
：クロムメッキ、下地にニッケルメッキ・銅メッキ

フロントケースの一部（表示面）
：マグネシウム合金ＭＤ１Ｄ(JIS)相当品

3.電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
リチウムイオン	リチウムイオン電池

⚠危険

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

分解、改造をしないでください。また、直接はんだ付けしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックを濡らさないでください。
電池パックに水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

⚠警告

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、FOMA端末から取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

禁止

直射日光の強いところや炎天下の車などの高温の場所で使用、放置しないでください。
漏液、発熱、性能や寿命を低下させる原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠警告

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。また、海外での使用は故障等の原因となります。
ACアダプタ：AC100V（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災の原因となります。

水濡れ禁止

アダプタ（充電器含む）を濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
感電、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ(充電器含む)のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、ふろ場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
感電の原因となります。

指示

プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

⚠注意

お手入れの際は、コンセントやソケットからプラグを抜いてから、行ってください。
感電の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

⚠注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

指示

FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、当社窓口までお問い合わせください。

分解禁止

FOMAカードを分解、改造しないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
故障の原因となります。

水濡れ禁止

FOMAカードを濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

禁止

ICを傷つけないでください。
故障の原因となります。

禁止

FOMAカードはほこりの多い場所には保管しないでください。
故障の原因となります。

禁止

FOMAカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。
故障の原因となります。

指示

FOMAカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

6.医用電気機器近くでの取扱いについて

■ 本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会[旧不要電波問題対策協議会]）に準ずる。

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

共通のお願い

水をかけないでください。

・FOMA端末、電池パック、アダプタ(充電器含む)は防水仕様にはなっておりません。ふろ場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

・お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、染みになったり、コーティングがはがれることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

・端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

・急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

・多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

電池パックやアダプタ(充電器含む)に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

極端な高温、低温は避けてください。

・温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。

使用中や充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

・万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

・故障の原因となります。

ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。

・故障、破損の原因となります。

通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、miniSDメモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。

・ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

電池パックについてのお願い

電池パックは消耗品です。

・使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

・不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、当社窓口へお持ちいただくか、電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

次のような場所では、充電しないでください。

・周囲の温度が5℃以下または35℃以上になるところ
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

・車のバッテリーを消耗させる原因となります。

抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

FOMAカードについてのお願い

IC部分の取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。

お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

・万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

環境保全のため、不要になったFOMAカードは当社窓口にお持ちください。

極端な高温・低温は避けてください。

miniSDメモリーカードについてのお願い

miniSDメモリーカードの使用中は、miniSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。

・データの消失や、故障の原因となります。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

iモーションについて

本製品の動画およびiモーション機能に使われておりますMPEG-4動画機能は、以下の各項目に該当する用途に用いることはできますが、それ以外の用途に使用することは、本機能に関する特許権に基づき禁止されております。

・お客様が対価を受けることなく、個人的にかつ営利を目的としないで符号化したデータまたは情報の再生に利用すること。
・営利事業に従事していない他のお客様が作成し、そのお客様から料金を請求されることなく取得したデータまたは情報の再生に利用すること。
・個人的にのみ使用することを目的としたデータまたは情報の再生に利用すること。
・その他、本機能に関する特許権を管理している米国法人MPEG LA，L.L.C.から個々に許された使用。

お買い上げ品の確認について

●次のものがそろっていることをお確かめください。不足品などがあった場合は、お買い上げいただいた販売店にお申しつけください。
●本FOMA端末には新規ご契約の場合のみ、FOMAカードが付いています。

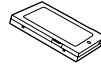
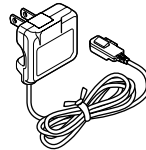
FOMA N900i
（保証書、リアカバー N01含む）

卓上ホルダ N04
（取扱説明書付き）

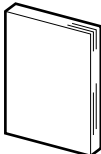
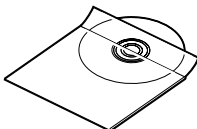
FOMA N900i取扱説明書 基本編
（本書）

FOMA N900i取扱説明書 アプリケーション編

FOMA N900i用 CD-ROM

電池パック N06
（取扱説明書付き）

ACアダプタ N03
（保証書、取扱説明書付き）

miniSDメモリーカード（16MB）／
miniSDメモリーカードアダプタ
（ソフトケース、取扱説明書付き）

（試供品）

（試供品）

●はじめに

各部の名称と機能

本書では、各ボタンを次のようなアイコンで表しています。

受話口
- 相手の声がここから聞こえます。

内側カメラ
- 写真（静止画）や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手側に自分の映像を送信するときに使用します。→P.87、『アプリケーション編』のP.247

ディスプレイ
- ディスプレイ表示部の見かた→P.37

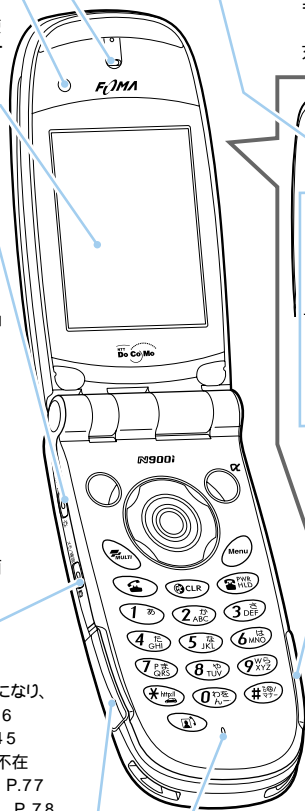
ホーム／音量大／（☼）ボタン
- 設定したサイトへ簡単に接続できます。→『アプリケーション編』のP.61
- FOMA端末を折り畳んだまま押すと、イルミネーション・ウィンドウのバックライトが点灯します。
- 通話中に受話音量を上げます。→P.78
- 文字を入力中に同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻します。→P.300
- カメラ撮影のときにライトを点灯します。→『アプリケーション編』のP.254
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。

メモ／確認／音量小／（📷）ボタン
- 着信中に押すと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.136
- 伝言メモを再生します。→P.245
- FOMA端末を折り畳んだまま、不在着信・新着メールを確認します。→P.77
- 通話中に受話音量を下げます。→P.78
- FOMA端末を折り畳んだまま、写真（静止画）を撮影します。→『アプリケーション編』のP.255
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。

（本書では と をあわせてサイドボタンと呼びます。）

外部接続端子
- 各種オプション類を接続するときに使用する端子です。→P.58、『アプリケーション編』のP.383

ライト
- カメラ撮影するときに使用します。→『アプリケーション編』のP.254

着信／充電ランプ
- 音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、メールやメッセージリクエスト／フリーを受信したときに点滅します。ランプの点滅色を変更したり、着信音などのメロディに連動して点滅させることもできます（着信イルミネーション）。→P.185
  充電中は赤色に点灯します。

背面

外側カメラ
- 写真（静止画）や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手に風景などの映像を送信するときに使用します。→P.87、『アプリケーション編』のP.246

スピーカ
- 着信音や、ハンズフリー中の相手の声などがここから聞こえます。

イルミネーション・ウィンドウ
- FOMA端末の状態をメッセージやアイコン、アニメーションで表示します。→P.38、P.40

miniSDメモリーカードスロット
- miniSDメモリーカードを差し込みます。→『アプリケーション編』のP.363

送話口／マイク
- 自分の声をここから伝えます。
  通話中に送話口をふさがないでください。相手にお客様の声が聞こえにくくなります。
- カメラで動画を撮影するときや、「ピクチャボイス」で音声を録音するときにマイクになります。

サイズ（mm）※1	幅48×高さ102×奥行き26
質量（g）※2	約115g

※1：高さ、奥行きは折り畳んでいるときのものです。
※2：電池パックを装着しているときのものです。

マルチファンクションボタン

上ボタン
- カーソルまたは反転表示を上方向(逆方向)へ移動させます。
- 表示内容を上方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。
- 電話帳メニュー画面を表示します。
- 入力した文字を漢字、カタカナ、数字に変換します。→P.303

左／着信履歴ボタン
- カーソルを左方向へ移動させます。
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。
- 着信履歴を表示します。 →P.151

ニューロポインターボタン
- ニューロポインターの使いかた→P.35

右／リダイヤルボタン
- カーソルを右方向へ移動させます。
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。
- リダイヤルを表示します。→P.72

下ボタン
- カーソルまたは反転表示を下方向へ移動させます。
- 表示内容を下方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。
- 電話帳検索メニュー画面を表示します。→P.116
- 入力した文字を漢字、カタカナ、数字に変換します。→P.303

ファンクションボタン1
- 画面左下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.34

マルチボタン
- タスクメニューを表示します。→P.266

開始ボタン
- 音声電話をかけます。→P.70
- 音声電話に出ます。→P.75
- テレビ電話に代替画像で出ます。→P.92
- 入力した文字を小文字／大文字に切り替えます。→P.302

＊／ドライブモードボタン
- 「＊」や「http://」などの文字列を入力します。→P.339
- ポーズ(p)を入力します。→P.146

テレビ電話ボタン
- テレビ電話をかけます。→P.88
- テレビ電話に出ます。→P.92
- テレビ電話中に、カメラ映像と代替画像を切り替えます。→P.92

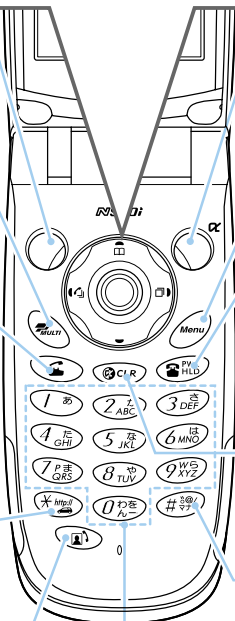
ファンクションボタン2
- 画面右下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.34

メニューボタン
- メインメニューを表示します。→P.44

電源／応答保留／終了ボタン
- 1秒以上押して電源を入れます。→P.62
- 2秒以上押して電源を切ります。→P.62
- 通話を終了します。→P.70
- 応答を保留します。→P.81

戻る(クリア)ボタン
- 操作を1つ前の状態に戻します。
- 通話を保留します。→P.71
- 入力した電話番号や文字を削除します。→P.71、P.315

#／マナーボタン
- 「#」や記号を入力します。→P.339
- 着信中に押すと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.135

ダイヤルボタン 0～9
- 電話番号を入力します。→P.70
- 文字や数字を入力します。→P.303

レンズ切替スイッチ
- アクセスリーダーやバーコードリーダーで情報を読み取るときに、外側カメラのレンズを🌷（マクロレンズ）に切り替えます。→『アプリケーション編』のP.275

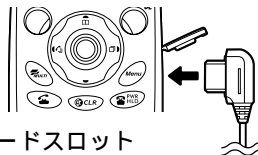
赤外線ポート
- 赤外線を送受信する窓です。→『アプリケーション編』のP.340

ストラップ取付穴

※:FOMA N900iのアンテナはFOMA端末に内蔵されています。

イヤホンマイク端子
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込むと、ハンズフリーでご利用になれます。イヤホンジャック変換アダプタを使用すれば、従来のスイッチ付イヤホンマイクなどもご利用になれます。→P.257、P.353

<イヤホンマイクの接続方法>

miniSDメモリーカードスロット
- miniSDメモリーカードを差し込みます。→『アプリケーション編』のP.363

1秒以上押しの機能について

ボタンを1秒以上押すことによって使える機能は次のとおりです。

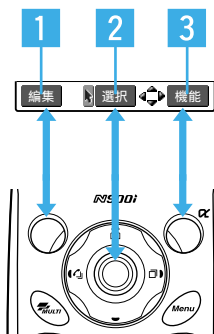
ボタン	機能	参照ページ	ボタン	機能	参照ページ
5	バックライトの点灯/消灯の切替	P.183	＊	サイドボタンの設定（メインメニュー表示中）	P.208
#	マナーモードの設定（待受画面表示中、通話中、着信中）	P.135	○	受話音量の調節（待受画面表示中、通話中）	P.78
＊	ドライブモードの設定（待受画面表示中）	P.82	▼[メモ/確認]	音声メモの録音（通話中のみ）	P.245
MULTI	マルチタスクの切替	P.266	◔	iモード問い合わせ（待受画面表示中）	アプリケーション編のP.104、P.180
Menu	待受画面の表示（マルチタスク中）	P.266	◑	iアプリのソフト一覧表示（待受画面表示中）	アプリケーション編のP.67

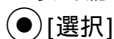
ソフトキーの使いかた

待受中や操作中のとき、ディスプレイの最下段に表示される操作や設定に関するガイダンスをソフトキーといいます。表示されたソフトキーを実行するには、対応するファンクションボタンを押します。

■ 1のソフトキーを実行する場合
◔を押すと、1に表示されたソフトキーを実行します。
1には[文字]、[編集]、[完了]、[デモ]、[ON]などが表示されます。

■ 2のソフトキーを実行する場合
◉を押すと、2に表示されたソフトキーを実行します。
2には[選択]、[登録]、[確定]、[再生]、[切替]などが表示されます。

■ 3のソフトキーを実行する場合
◑を押すと、3に表示されたソフトキーを実行します。
3には[機能]、[閉]などが表示されます。[機能]が表示されているときに◑を押すと、機能メニューが表示されます。→P.49

ソフトキーの表記について

本書では、ソフトキーの選びかたを次のように表記します。

操作するファンクションボタン　対応するソフトキーの内容

ニューロポインターの使いかた

ディスプレイの最下段に が表示されているときにニューロポインターをスライドすると、ポインター( )が表示されます。ニューロポインターをスライドしてポインターを移動させると、アイコンや項目をすばやく選ぶことができます。また一覧画面や機能メニューなど、表示している画面が複数のページにまたがる場合は、ニューロポインターを使って前後のページを切り替えることができます。

●ポインターが移動できる範囲は、表示している画面によって異なります。
●項目やアイコンを決定するときは、ニューロポインターを中央に戻してから押してください。ニューロポインターが中央以外のときは押すことができません。
●「ニューロポインター設定」で、ポインターの表示／非表示やフォーカス、移動速度などを設定できます。→P.249

■ニューロポインターでアイコンや項目を選びます

1 **待受画面表示中にMenuを押してメインメニューを表示させ、●をスライドして を表示させる**

2 **各種設定に をスライドさせて 各種設定の状態にしてから、●[選択]を押す**

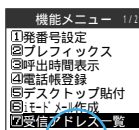
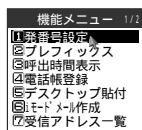
各種設定の画面が表示されます。

おしらせ

- 次の場合は、ポインターが消えます。
  - ・ などを押して別の項目を選んだ場合
  - ・ 別の画面に切り替わった場合
- 次の場合は、ポインターが消えます。その後ニューロポインターをスライドしてポインターを再度表示させたときは、消える前の位置に表示されます。
  - ・ 約15秒間ニューロポインターを操作しなかった場合
  - ・ FOMA端末を折り畳んで開いた場合
- ポインターをアイコンや項目のない場所に移動させて を押した場合は、ポインターから最も近いアイコンや項目が選択され、ポインターもその位置に移動します。ただし、次の画面ではポインターは自動的に移動しません。
  - ・ 画面メモの画面
  - ・ 受信メール／送信メールの詳細画面
  - ・ サイトの画面
  - ・ メッセージリクエスト／フリーの詳細画面
- ムービープレーヤーのプレビュー画面(タイトル＋画像)では、ポインターを合わせて を押してもアイコンや項目は選択されません。
- ポインターの移動速度は操作する画面によって異なる場合があります。
- Flash画像を利用した画面によっては、ニューロポインターが利用できない場合があります。この場合、画面の下に「 」は表示されません。

ニューロポインターで前後の画面を切り替えます

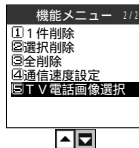
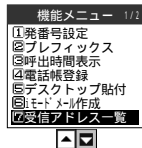
1 **をスライドして を表示させ、ポインターの移動範囲の一番下に移動させる**

➡

ポインターが に変わります。

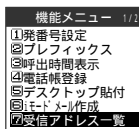
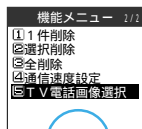
一番上に移動させた場合

ポインターが に変わります。

2 **[選択]を押す**

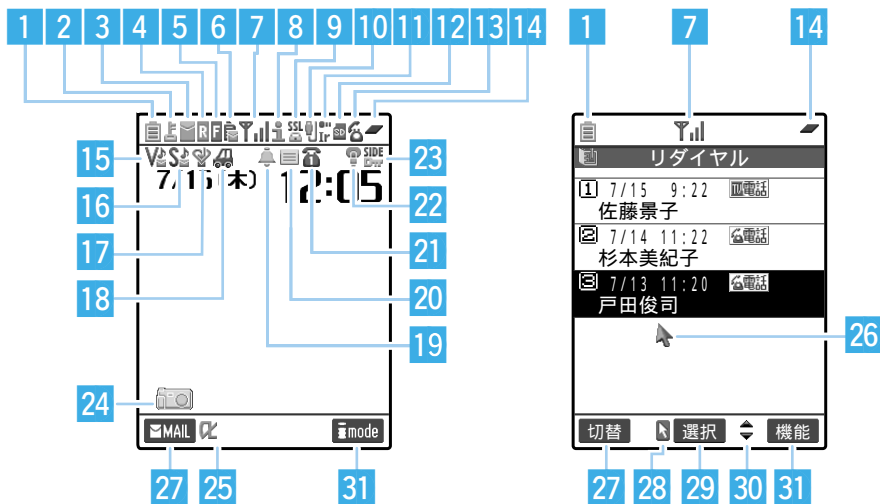
➡

次のページが表示されます。

3 **を左方向にスライドして を に変え、 [選択]を押す**

➡

前のページが表示されます。

ディスプレイ表示部の見かた

ディスプレイおよびイルミネーション・ウィンドウに表示されるマーク（ 、 、 など）をアイコンといいます。アイコンには次のようなものがあります。

■ディスプレイ

1 電池残量表示→P.63

2 オールロック中→P.200
シークレットモード中、シークレット専用モード中→P.201
PIMロック中→P.204
ダイヤル発信制限中→P.205
ダイヤル発信制限とシークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定中→P.201、P.205
ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中→P.204、P.205

3〜6、8〜12、25
→『アプリケーション編』のP.14

7 電波の受信レベル→P.62
圏外 サービスエリア外や電波が届かないところにいるときに表示→P.62
self セルフモード中→P.207

13 音声電話中→P.70
→『アプリケーション編』のP.14
テレビ電話中の通信速度を表示→P.88

14 複数の機能を使用中→P.265
1つの機能を使用中→P.265

15 バイブレータ設定中→P.167

16 着信音量を「消去」に設定中→P.79

17 マナーモード設定中→P.135
遠隔監視設定中→P.102

18 ドライブモード設定中→P.82

19 ／ アラーム通知機能を設定中→P.209

20 〜 伝言メモ設定中→P.85

21 〜 留守番電話の伝言メッセージあり→P.274

22 バックライトを「OFF」に設定中→P.183

23 サイドボタンを「閉じた時無効」に設定中→P.208

24 貼り付けたデスクトップアイコン→P.170

25 ポインター（追従型：青色）→P.249
ポインター（非追従型：白色）→P.249
／ ポインターのページスクロール→P.36

27 MAIL ファンクションボタン1に対応するソフトキーの内容を表示→P.34

28 ニューロポインター使用可能→P.35

29 選択 ニューロポインターボタンに対応するソフトキーの内容を表示→P.34

30 マルチファンクションボタンのそれぞれのボタンが使えるときに表示

31 mode ファンクションボタン2に対応するソフトキーの内容を表示→P.34

■イルミネーション・ウィンドウ

1 電池残量表示→P.63

2 オールロック中→P.200
シークレットモード中、シークレット専用モード中→P.201
PIMロック中→P.204
ダイヤル発信制限中→P.205
ダイヤル発信制限とシークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定中→P.201、P205
ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中→P.204、P.205

3 →『アプリケーション編』のP.15

4 →『アプリケーション編』のP.15

5 電波の受信レベル→P.62
サービスエリア外や電波が届かないところにいるときに表示→P.62
self セルフモード中→P.207

6 →『アプリケーション編』のP.15

7 →『アプリケーション編』のP.15
サイドボタンを「閉じた時無効」に設定中→P.208

8 →『アプリケーション編』のP.15

9 →『アプリケーション編』のP.15

10 →『アプリケーション編』のP.15

11 音声電話中→P.70
→『アプリケーション編』のP.15
テレビ電話中の通信速度を表示→P.88
マナーモード設定中→P.135

おしらせ

● 本端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、その特性上、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

表示アイコンの意味を確認することができます

画面に表示されるアイコンのそれぞれの意味を確認できます。画面に表示されているアイコンから現在FOMA端末に設定されている機能を確認したい場合などに便利です。

1 Menu▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「表示アイコン説明」の順に選ぶ

2 を押して意味を確認したいアイコンにカーソルを合わせる

選んだアイコンの意味が画面の下部に表示されます。

選んだアイコンの意味を表示します。

イルミネーション・ウィンドウ(背面ディスプレイ)の見かた

イルミネーション・ウィンドウには、電話やメールなどの着信やアラーム通知などがメッセージや画像、アニメーションで表示されるので、FOMA端末の状況をすぐに確認できます。

●「イルミネーション・ウィンドウ」(P.187)の設定によって、表示される内容は異なります。

表示について

■ 時計表示

待受中に時計を表示します。次の4種類または「OFF(表示しない)」から選べます。

デジタル時計

アナログ時計表示1

アナログ時計表示2

アナログ時計表示3

■ 着信中表示

電話がかかってきたときに電話番号を表示します。相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は相手の名前などの情報が表示されます。電話番号が表示されない場合はその理由が表示されます。

相手が電話番号を通知している場合

相手が電話帳に登録されている場合

電話番号が表示されない場合

■ 通話中表示

通話中に通話の種類を表示します。FOMA端末を開いているときに表示されます。

Talking

音声通話中

Talking on VideoPhone

テレビ電話中

Remote monitoring

遠隔監視中

■ 発信中表示

FOMA端末を開いているときに表示されます。

■ アラーム通知のとき

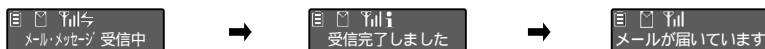
「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知では、機能に応じたアラーム通知アニメーションが表示されます。

「めざまし時計」のとき

「スケジュール」／「ToDo」のとき

■ 新しいメールを受信したとき

メール表示を「ON」に設定しているときは、「受信完了しました」が表示された後に送信元と題名が表示されます。

メール・メッセージ 受信中 ➡ 受信完了しました ➡ メールが届いています

■ パケット通信中／64Kデータ通信中表示

パケット通信中または64Kデータ通信中に、通信の種類を表示します。

★パケット通信中★
パケット通信中

★データ通信中★
64Kデータ通信中

電話やメールの相手を確認するとき

イルミネーション・ウィンドウに「着信あり」、「新着メールあり」が表示されている場合は、相手の名前やメールの題名などを確認できます。FOMA端末を閉じた状態で[ホーム]を押すと、不在着信履歴や新着メールの内容が表示されます。続けて[ホーム]を押すと、3件まで内容を確認できます。すべて確認した後にもう一度[ホーム]を押すと、時計表示に戻ります。不在着信と新着メールの両方がある場合は、最初に不在着信が表示され、次に新着メールが表示されます。

●「不在着信履歴」を表示するか、「不在着信あり」のデスクトップアイコンを消すと、イルミネーション・ウィンドウの不在着信は消えます。

●ツールグループの機能(P.42)を操作している場合は、イルミネーション・ウィンドウで不在着信を確認できません。

■不在着信表示

着信がありました ➡ 7/15(木) 11:47 090XXXXXXXX ➡ 7/15(木) 12:05

このときFOMA端末を開くと、ディスプレイに「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。

このときFOMA端末を開くと、ディスプレイに「不在着信履歴」が表示されます。

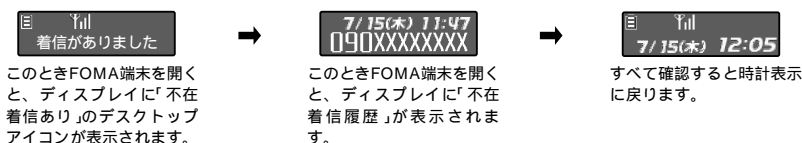
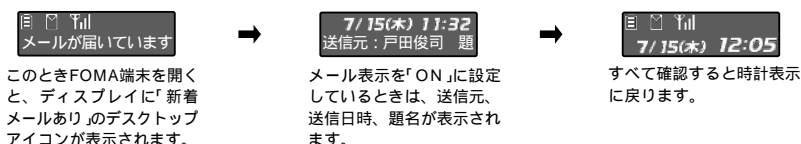
すべて確認すると時計表示に戻ります。

■新着メール表示

メールが届いています ➡ 7/15(木) 11:32 送信元：戸田俊司 題 ➡ 7/15(木) 12:05

このときFOMA端末を開くと、ディスプレイに「新着メールあり」のデスクトップアイコンが表示されます。

メール表示を「ON」に設定しているときは、送信元、送信日時、題名が表示されます。

すべて確認すると時計表示に戻ります。

おしらせ

● FOMA端末を閉じた状態で[ホーム]を押すと、バックライトが点灯します。暗い場所で時刻を確認するときなどに便利です。
● 省電力モードに入ると、イルミネーション・ウィンドウの表示が消えます。[ホーム]を押すと、再びイルミネーション・ウィンドウが表示されます。

メニュー機能について

FOMA端末でいろいろな機能を設定したり確認したりするには、各機能をメインメニューから呼び出して表示します。メニューは次のような構成になっています。

7/15(木) 12:05

MAIL　imode

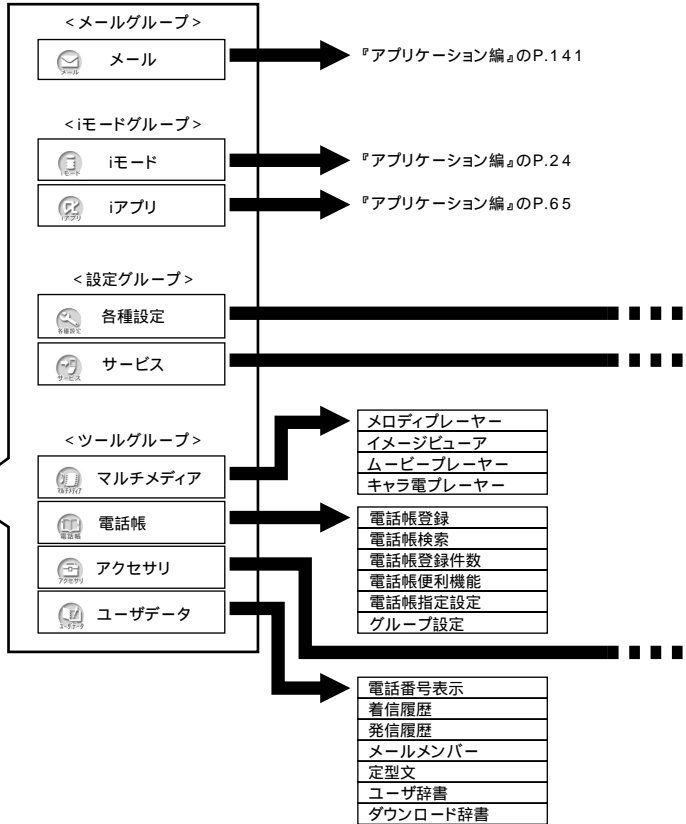
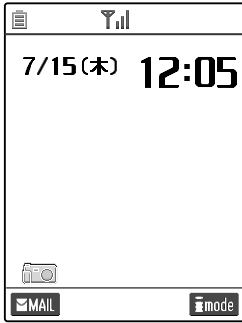
Menu

MAIN MENU マルチメディア
メロディ、イメージ、iモーション、キャラ電を楽しめます
メール　iモード　iアプリ
各種設定　マルチメディア　アクセサリ
サービス　電話帳　ユーザデータ
選択

<メールグループ>
- メール → 『アプリケーション編』のP.141

<iモードグループ>
- iモード → 『アプリケーション編』のP.24
- iアプリ → 『アプリケーション編』のP.65

<設定グループ>
- 各種設定
- サービス

<ツールグループ>
- マルチメディア → メロディプレーヤー／イメージビューア／ムービープレーヤー／キャラ電プレーヤー
- 電話帳 → 電話帳登録／電話帳検索／電話帳登録件数／電話帳便利機能／電話帳指定設定／グループ設定
- アクセサリ
- ユーザデータ → 電話番号表示／着信履歴／発信履歴／メールメンバー／定型文／ユーザ辞書／ダウンロード辞書

マルチタスクに対応

FOMA端末はメインメニューの各グループから最大3つの機能を同時に使うことができる「マルチタスク」に対応しています。マルチタスク中は、使用中のメニューのグループがわく囲みされます。マルチタスクについては、P.265を参照してください。

使用中のグループはわく囲みされます。

<各種設定>
着信
通話
TV電話
ディスプレイ
時間
時計
ロック／セキュリティ
アプリケーション通信設定
iアプリ設定
外部オプション
その他
着信音量
着信音選択
バイブレータ
着信イルミネーション
マナーモード選択
電話帳画像着信設定
着信アンサー設定
クローズ動作設定
メール／メッセージ鳴動
呼出時間表示設定
確認機能設定
オールロック
PIMロック
セルフモード
ダイヤル発信制限
登録外着信拒否
非通知着信設定
端末暗証番号変更
PIN設定
シークレットモード
シークレット専用モード
ノイズキャンセラ
通話品質アラーム
再接続機能
通話中イルミネーション
保留音選択
<サービス>
サービス問い合わせ
発信者番号通知
留守番電話
キャッチホン
転送でんわ
迷惑電話ストップ
番号通知お願いサービス
着信動作選択
通話中着信設定
遠隔操作設定
デュアルネットワーク
英語ガイダンス
追加サービス
サービスダイヤル
接続待ち時間設定
iモード問い合わせ設定
接続先選択
SMS center設定
証明書
証明書センター接続設定
画像品質設定
発信時自画像送信設定
画像選択
音声自動再発信設定
遠隔監視設定
通話中画像表示設定
ソフト情報表示設定
α照明設定
αバイブレータ
αイルミネーション・ウィンドウ
待受画面終了
画面表示設定
照明設定
配色パターン
イルミネーション・ウィンドウ
フォント設定
デスクトップ
Language
オリジナルメニュー登録
メニュー画面設定
ピクチャ表示設定
オート表示
表示アイコン説明
イヤホン切替
オート着信
<アクセサリ>
カメラ
スケジュール
めざまし時計
ToDo
テキストメモ
電卓
メモの再生／消去
伝言メモ
待受中音声メモ
おしゃべり機能
赤外線通信
FOMAカード操作
電話帳画像転送
アクセスリーダー
バーコードリーダー
SD-PIM
ボタン確認音
充電確認音
SRS_WOW設定
電池残量
サイドボタン操作
文字入力方式
履歴表示設定
ポーズダイヤル
サブアドレス設定
プレフィックス設定
PLMN設定
ニューロポインター設定
USBモード設定
設定リセット
ソフトウェア更新
通話時間
積算リセット
通話中時間表示
時計設定
時計表示設定
アラーム通知設定

メニューの操作について

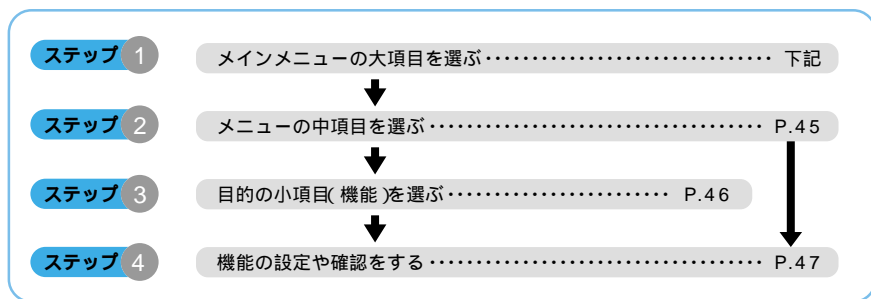
待受画面でMenuを押すとメインメニューが表示されます。メインメニューから大項目アイコンを選ぶと中項目が表示され、さらに目的の小項目を選ぶと設定画面や確認のためのメッセージなどが表示されます。メニューに応じて機能を設定したり、内容を確認してください。

●メニューや項目を選ぶとき、表示されている項目番号と同じ数字のダイヤルボタンを押すと、すばやく項目を選べます<ダイレクトキー選択>。本書ではメニュー項目の選択を「◎を押して項目を反転表示させ●[選択]を押す」方法で説明しています。

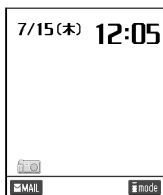
●Menu＋メニュー番号を押すだけで、すばやく呼び出せる機能があります。詳しくは「メニュー機能一覧表」(P.354)を参照してください。

●各機能の設定が終わると小項目の選択画面になります。PWR HLDを押すと、メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。マルチタスク中は起動中のほかのメニュー機能が表示されます。

●メニュー操作を途中でやめる場合はPWR HLDを押します。設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。ただし、メニューによっては設定中の内容を破棄するかしないかのメッセージが表示される場合があります。そのような場合は、CLRを押すと操作をメッセージの前の状態に戻すことができます。

●メニュー機能を操作するには、次のステップで行います。

<例：「通話中イルミネーション」機能の点滅色を設定する場合>

ステップ1　メインメニューの大項目を選ぶ

1　Menuを押す

メインメニューが表示され、9項目の大項目アイコンが表示されます。色が変わって浮き出したように表示されているアイコンが、現在選択されている大項目です。

2 を押して大項目アイコンを選ぶ

大項目アイコンを選ぶと、選んだアイコンのガイダンスが表示されます。

連続移動させる場合

を押し続ける

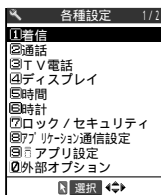
15秒以上ボタンを押さなかった場合

メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

ニューロポインターを利用する場合

ニューロポインターの使いかた→P.35

大項目アイコンのガイダンス

3 (各種設定)を選んで [選択]を押す

中項目の一覧画面が表示されます。

おしらせ

●「メニュー画面設定」でメインメニューのガイダンスを表示しないように設定できます。→P.241

ステップ 2 メニューの中項目を選ぶ

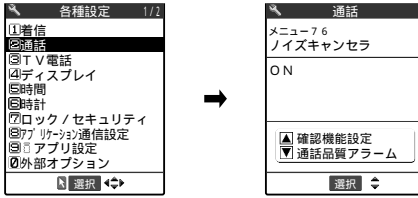
1 を押して中項目を選ぶ

選んだ中項目が反転表示します。

連続スクロールさせる場合

を押し続ける

2 「通話」を選んで◉[選択]を押す

➡

「通話」の小項目の選択画面（詳細表示）が表示されます。

ステップ 3 目的の小項目（機能）を選ぶ

1 ◎を押して目的の小項目（機能）を選ぶ

選んだ小項目（機能）の詳細画面が表示されます。小項目の詳細画面では機能の設定状況やメニュー番号などを確認できます。

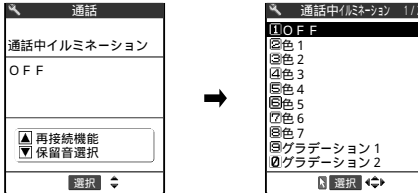
連続スクロールさせる場合

◎を押し続ける

詳細表示を一覧表示に変更する場合

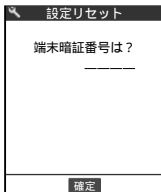
メニュー画面設定→P.241

2 「通話中イルミネーション」を選んで◉[選択]を押す

➡

通話中イルミネーションの設定画面が表示されます。

端末暗証番号の入力

機能によっては詳細画面が表示される前に、端末暗証番号の入力画面が表示される場合があります。機能の詳細画面を表示するには、端末暗証番号を入力してください。→P.193

1 4～8桁の端末暗証番号を入力して◉[確定]を押す

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。

端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

機能を設定するには、項目を一覧表示から選ぶ方法や「YES／NO」を選ぶ方法(P.48)、数値を入力する方法(P.48)、チェックマークを付ける方法(P.48)などがあります。
●機能によっては、さらに詳細項目を選ぶ場合があります。
●設定状態などにより、機能を選べない場合があります。

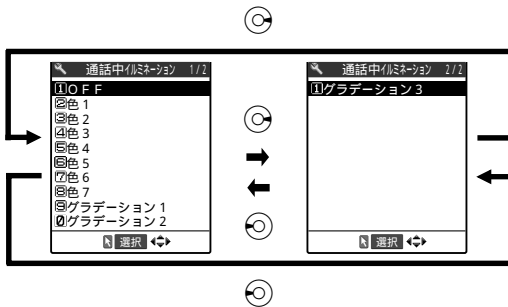
1 を押して設定したい項目を選ぶ

選んだ項目が反転表示します。

連続スクロールさせる場合

を押し続ける

選択する項目が複数のページにわたる場合

画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。一番上の項目を選択しているときにを押すと前のページを、一番下の項目を選択しているときにを押すと次のページを表示します。ページ単位でスクロールさせる場合は、(または[ホーム])を押すと前のページに、(または[メモ／確認])を押すと次のページに切り替わります。

2 [選択]を押す

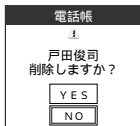
選んだ項目が設定されます。

3 操作が終わったらを押す

メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。ただしマルチタスク中を除きます。

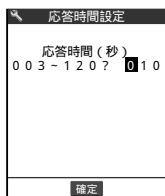
■「YES／NO」や「ON／OFF」を選ぶ場合

機能によっては、「YES／NO」や「ON／OFF」を選ぶ画面が表示される場合があります。

1 を押して「YES」（または「ON」）または「NO」（または「OFF」）を選び、[選択]を押す

選んだ項目が設定されます。

■数値を入力する場合

機能によっては、数値を入力する画面が表示される場合があります。

1 ～を押して数値を入力し、[確定]を押す

入力した数値が設定されます。

2桁の数値入力画面で1桁の数値を入力する場合

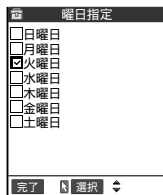
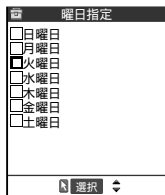
最初にを押してから数値を入力する

3桁の場合も同じです。

■チェックマークを付ける場合

機能によっては、チェックボックスにチェックマークを付ける画面が表示される場合があります。主に複数の項目を選ぶ場合に表示されます。

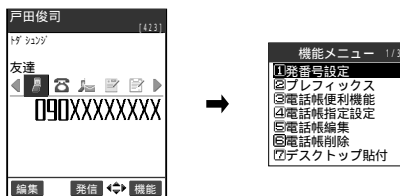
1 を押してチェックマークを付ける□（チェックボックス）を選ぶ

2 [選択]を押す

チェックボックスが□から☑になります。これが選択された状態です。

[選択]を押すたびに、□と☑が切り替わります。

ソフトキーに「完了」が表示されている場合は、[完了]を押すと選んだ項目が決定されます。

機能メニューについて

登録や編集、削除などができる機能を操作している場合、ソフトキーに「機能」が表示されます。[機能]を押すと機能メニューが表示されます。を押して実行したい機能メニューを反転表示させを押して選んでください。

- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニューの右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。機能メニューの一番上の項目を選択しているときにを押すと前のページを、一番下の項目を選択しているときにを押すと次のページを表示します。ページ単位でスクロールさせる場合は、（または[ホーム]）を押すと前のページに、（または[メモ／確認]）を押すと次のページに切り替わります。
- 操作中の機能によって、表示される機能メニューの内容は異なります。
- 設定状態などにより、機能メニューを選べない場合があります。選べない機能メニューはグレーで表示されます。

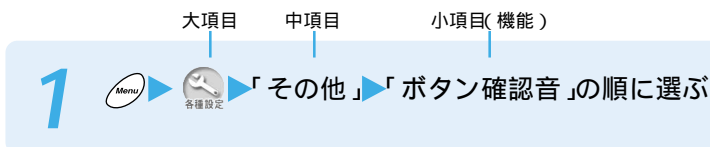
メニュー操作の表記について

この「取扱説明書」では、メニュー操作の方法を次のように表記しています。

■ 機能選択の表記

ここでは設定グループの「各種設定」から「ボタン確認音」を選ぶ方法を例にして、機能選択の表記について説明します。

この「取扱説明書」の表記は

大項目　中項目　小項目（機能）

実際の操作は

1 **待受画面表示中にを押す**

2 **メインメニューでを押して各種設定を選び、[選択]を押す**

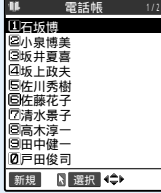
3 **中項目の選択画面でを押して「その他」を選び、[選択]を押す**

4 **小項目の選択画面でを押して「ボタン確認音」を選び、[選択]を押す**

■ 機能設定の表記

ここでは、「電話帳指定設定」の操作方法を例にして、機能設定の表記について説明します。

この「取扱説明書」の表記は

3 電話番号を確認したい電話帳を選ぶ

選んだ電話帳の電話番号が表示されます。

電話帳指定設定を解除する場合

解除したい電話番号を選ぶ

実際の操作は

1 電話帳の一覧画面で を押して電話番号を確認したい電話帳を選ぶ

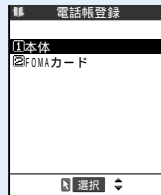
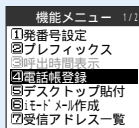
2 [選択]を押す

■ メニューを連続で選ぶときの表記

ここでは、「電話帳登録」の操作方法を例にして、メニューを連続で選ぶときの表記について説明します。

この「取扱説明書」の表記は

2 機能メニューから「電話帳登録」-「本体」を選ぶ

➡

FOMAカードに登録する場合

「FOMAカード」を選ぶ

実際の操作は

1 を押して「電話帳登録」を選び、 [選択]を押す

2 を押して「本体」を選び、 [選択]を押す

FOMAカードを取り付けます

FOMAカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードをFOMA端末に差し込むことによって、音声電話やテレビ電話、iモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できます。また、FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

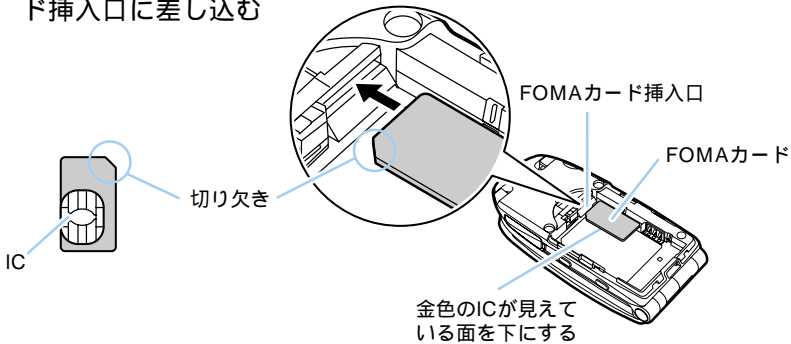
●FOMAカードには電話帳のデータやSMSを保存することもできます。
●FOMAカードには「PIN1コード」、「PIN2コード」という2つの暗証番号を設定できます。
→P.195
●FOMAカードの詳しい取扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください。また、FOMAカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

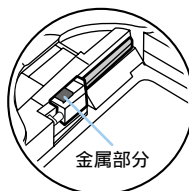
■付けかた

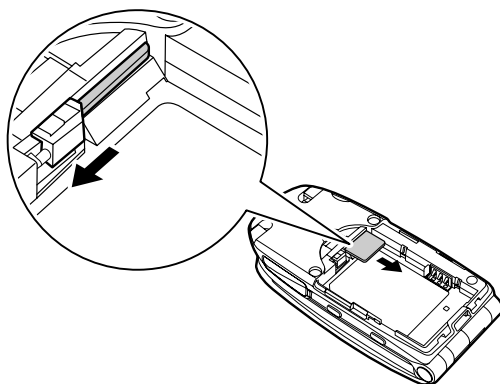
1 **FOMAカードのIC面を下にして、下図のような向きでFOMAカード挿入口に差し込む**

FOMAカード挿入口
FOMAカード
切り欠き
IC
金色のICが見えている面を下にする

2 **FOMAカードが固定されるよう奥まで差し込む**

ロックの金属部分が下図のように左端にあることを確認してください。

正しくセットされた状態

■外しかた

1 **FOMAカードを固定しているロックをスライドさせる**

FOMAカードが指に当たらないようにご注意ください。

2 **FOMAカードが少し出てくるので、まっすぐ静かに引き抜く**

外す際にFOMAカードが落ちないようにご注意ください。

おしらせ

- 無理に付けようとするとFOMAカードがこわれることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードを外すときは、強く押しつけないでください。変形や破損する場合があります。
- FOMAカードが外しにくい場合は、奥まで差し込んでもう一度ロックをスライドさせてください。

FOMAカードの暗証番号 <PIN1コード、PIN2コード>

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
PIN1コードとは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA端末の電源を入れるたびに入力させる4～8桁の暗証番号です。PIN1コードを入力することにより、発着信および各種通信機能の操作が可能となります。
PIN2コードとは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。本FOMA端末では、ユーザ証明書操作時(FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行)や、FirstPass対応サイトに接続するときに入力します。**→『アプリケーション編』のP.46、P.48**

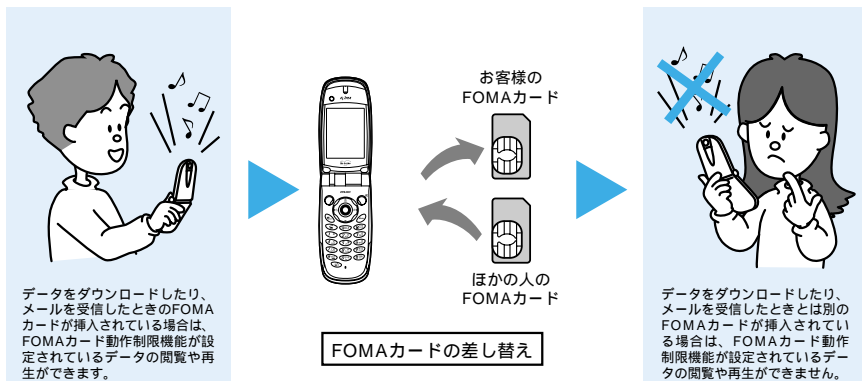
- PIN1コードおよびPIN2コードは、ご契約時は「0000」に設定されています。
- PIN1コードおよびPIN2コードは変更できます。→P.196
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。

FOMAカード動作制限機能

FOMAカード動作制限機能とは、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能です。サイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、iモードメールに添付されているデータやファイルを取得すると、FOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを行うことができます。
別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルには「 」が表示され、上記の操作ができなくなります。

●FOMAカード動作制限機能の対象となるデータやファイルは次のとおりです。
- ・サイトやインターネットホームページからダウンロードしたiアプリ／メロディ／画像／キャラ電／ダウンロード辞書
- ・サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーション
- ・メロディ／画像／iモーション／キャラ電／ダウンロード辞書が含まれている画面メモ
- ・受信BOX内のiモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル（メロディ／画像／動画やiモーション）
- ・送信BOX／保存BOX内のiモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像／iモーション。ただし、本FOMA端末で作成または撮影したデータは除く）
- ・ファイル（メロディ／画像）が添付されている、または貼り付けられているメッセージリクエスト／フリー

●FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、別のFOMAカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできます。

●赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX）機能、miniSDメモリーカードを使って受信したデータ、内蔵カメラで撮影した写真（静止画）／連続写真／動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。

おしらせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げのときの設定で動作します。たとえば、FOMAカード動作制限機能が設定されている「メロディA」を着信音に設定していても、電話がかかってきたときにはお買い上げのときに設定されていた着信音が鳴ります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、「メロディA」の着信音に戻ります。
- あらかじめ登録されているiアプリでも、一度削除して再度サイトからダウンロードしたりバージョンアップすると、本機能の対象になります。
- iモードメールのメール詳細画面からiアプリを起動したりiモーションを取り込む場合も、FOMAカード動作制限機能が設定されていると、起動や取り込みができません。
- 別のFOMAカードに差し替えると、イメージビューアおよびムービープレーヤーではFOMAカード動作制限機能が設定された画像や動画は右のように表示されます。

FOMAカードのバージョンについて

FOMAカードには2種類のバージョンがあります。本FOMA端末で「FOMAカード(青色)」をご使用になる場合、「FOMAカード(緑色)」と次のような機能差分がありますのでご注意ください。

機能	FOMAカード(青色)	FOMAカード(緑色)	参照ページ
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.106
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	アプリケーション編のP.48
WORLD WING	利用不可	利用可	下記

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード(緑色)をサービス対応の海外用携帯電話(GSM方式)に差し替えることにより、海外でのご利用時も日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。WORLD WINGのご利用にはお申し込みが必要です。詳しくは、下記にお問い合わせください。

○**お問い合わせ先(ドコモグループ各社)**

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの)151(無料)

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

電池パックを充電します

電池の上手な使いかた

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、FOMA端末専用の電池パック N06をご利用ください。

■ 電池の寿命

- 電池は消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使うことのできる時間が、使いはじめたときに比べ半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。
- 電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■ 充電について

- 詳しくはACアダプタ N03、DCアダプタ N03<別売品>の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に付けた状態でないと充電できません。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。「照明設定」(P.183)の「充電時」を「常時点灯」に設定しているときも充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

■ **電源を入れたままでの長時間(数日間)充電はおやめください**

充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ(または卓上ホルダ)、DCアダプタから外して再度取り付けし直してください。

電池の使用時間の目安

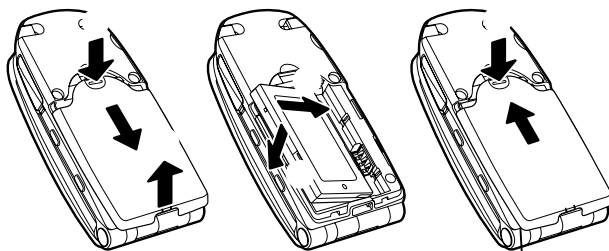
(電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります)

連続通話時間	連続待受時間
音声電話　：約140分 テレビ電話：約90分	静止時：約430時間 移動時：約350時間

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とはFOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか、弱い場合等)などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また通話やiモード通信をしなくても、iモードメールを作成したり、ダウンロードしたiアプリ、iアプリ待受画面を起動させると通話(通信)・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- miniSDメモリーカードを取り付けているとき、データ通信やマルチアクセスを実行したとき、カメラやライトを使用したときも、通話(通信)時間・待受時間は短くなります。

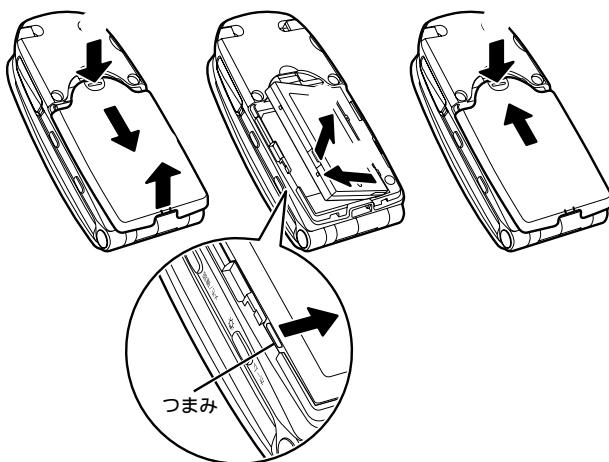
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

●電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
●FOMAカードがセットされている場合は、正しく取り付けられているかどうかを確認してください(P.51)。正しく取り付けられていないと電池パックを取り付けることができません。また、無理に取り付けようとするとFOMAカードがこわれることがあります。
●詳しくは電池パック N06の取扱説明書をご覧ください。

■取り付けかた

1 リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、③の方向に持ち上げて取り外す

2 電池パックの注意書き面を上にして、電池パックとFOMA端末(本体)の金属端子が合うように④の方向に取り付けてから、⑤の方向へはめ込む

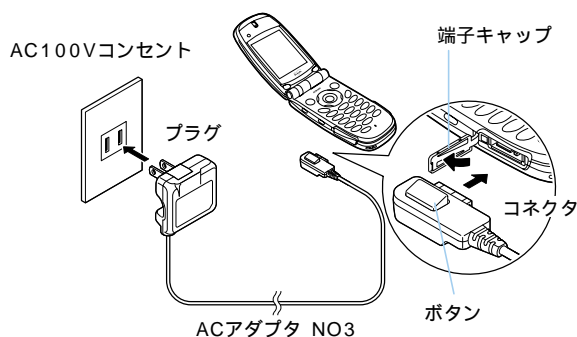
3 リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末(本体)の溝に合わせ、⑥の方向へ押し付けながら⑦の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込む

■取り外しかた

1 リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、③の方向に持ち上げて取り外す

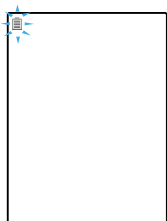
2 電池パックのつまみを④の方向に押し付けながら⑤の方向へ持ち上げ、⑥の方向に取り外す

3 リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末(本体)の溝に合わせ、⑦の方向へ押し付けながら⑧の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込む

ACアダプタで充電します

付属のACアダプタ N03をFOMA端末に接続して充電します。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 上図のような向きでACアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

3 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

電源を切っている場合

充電がはじまります。充電中は充電ランプが赤色に点灯し「」が点滅します。充電ランプが消灯し、「」が点灯すれば充電は終わりです。

充電時間の目安
約120分

4 充電が終わったら、ボタンを押しながらACアダプタのコネクタをFOMA端末から引き抜き、ACアダプタのプラグをコンセントから抜く

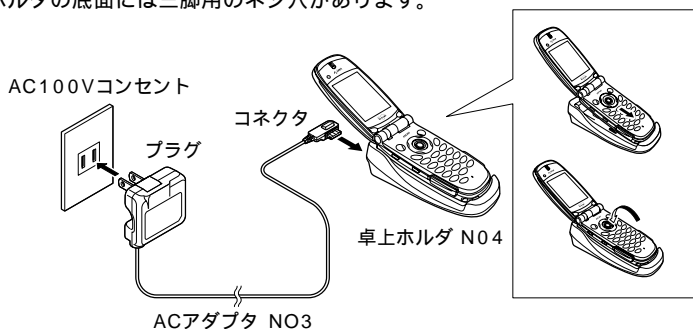
5 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

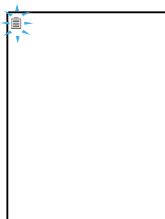
- 充電を開始する前にFOMA端末に電池パック N06を取り付けておいてください。
- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って充電したときの時間です。電源を入れたまま充電することもできますが、電源を切っているときに比べて充電時間が長くなります。
- 電池が切れた状態や、電話帳などのデータがいっぱいで電源を切っている場合、充電を開始しても充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。
- 充電中にACアダプタ、FOMA端末、電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。

卓上ホルダと組み合わせて充電します

付属のACアダプタ N03と卓上ホルダ N04を組み合わせて充電します。FOMA端末の端子キャップを開けずに、卓上ホルダに取り付けるだけで充電できるので便利です。

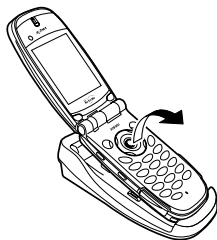
- 電池パック単体での充電はできません。
- 卓上ホルダの底面には三脚用のネジ穴があります。

1 上図のような向きでACアダプタのコネクタを卓上ホルダ背面の端子に差し込む

2 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

3 上図のようにFOMA端末を卓上ホルダにしっかりと取り付ける

電源を切っている場合

充電がはじまります。充電中は充電ランプが赤色に点灯し「▤」が点滅します。充電ランプが消灯し、「▤」が点灯すれば充電は終わりです。

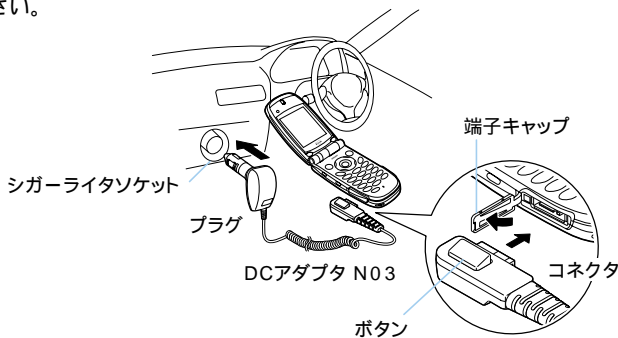
充電時間の目安
約120分

4 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の両側を持って矢印の方向へ持ち上げ、FOMA端末を卓上ホルダから外す

おしらせ

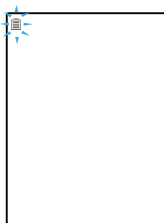
- 充電を開始する前にFOMA端末に電池パック N06を取り付けておいてください。
- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って充電したときの時間です。電源を入れたまま充電することもできますが、電源を切っているときに比べて充電時間が長くなります。
- 電池が切れた状態や、電話帳などのデータがいっぱいで電源を切っている場合、充電を開始しても充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。
- 充電中にACアダプタ、卓上ホルダ、FOMA端末、電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。

DCアダプタ(別売品)で充電します

別売のDCアダプタ N03をFOMA端末に接続して充電します。DCアダプタは自動車のシガーライタソケット(DC12V/24V)から電源を供給するアダプタです。

- DCアダプタは、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対にお使いにならないでください。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 上図のような向きでDCアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

3 DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む

電源を切っている場合

充電がはじまります。充電中は充電ランプが赤色に点灯し「▤」が点滅します。充電ランプが消灯し、「▤」が点灯すれば充電は終わりです。

充電時間の目安
約120分

4 充電が終わったら、ボタンを押しながらDCアダプタのコネクタをFOMA端末から引き抜き、DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットから抜く

5 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

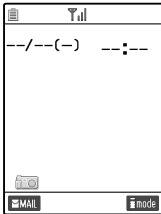
おしらせ

- 車種によりDCアダプタが取り付けられない場合があります。
- エンジンを切ったままでお使いになると、車のバッテリーを消耗させる原因となります。お使いの際は、必ずエンジンをかけておいてください。お使いにならないときや車から離れる場合は、DCアダプタをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万一、ヒューズ(2A)が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 充電を開始する前にFOMA端末に電池パック N06を取り付けておいてください。
- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って充電したときの時間です。電源を入れたまま充電することもできますが、電源を切っているときに比べて充電時間が長くなります。
- 電池が切れた状態や、電話帳などのデータがいっぱいで電源を切っている場合、充電を開始しても充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。
- 充電中にDCアダプタ、FOMA端末、電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。

電源を入れます／切ります

●お買い上げ後はじめてお使いになる場合（または長時間お使いにならなかった場合）は、必ず充電してからお使いください。また、充電には必ず専用のACアダプタやDCアダプタ（別売品）をお使いください。
●お買い上げのときは、日付・時刻は設定されていません。「時計設定」で設定してください。→P.65

電源を入れます

1 **PWR HLDを1秒以上押す**

「FOMA」ロゴが表示された後、日付・時刻と電池残量が表示されます（待受画面）。

「圏外」の表示が出ている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「Y.ıl」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。ただし、電波が強く「Y.ıl」が表示されていて、移動せずに通話しているときでも、通話が切れる場合があります。

電源を入れた直後に電話帳やメール機能などを使用しようとした場合

FOMAカード読み込み中のため、起動できないことを通知するメッセージが表示される場合があります。そのような場合は、しばらくたってから操作し直してください。

待受画面に表示されている画像をほかの画像やカレンダーに変える場合

画面表示設定→P.177

PIN1コード入力を「ON」に設定している場合

PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると待受画面が表示されます。→P.197

「iアプリ待受画面」を設定している場合

「iアプリ待受画面」（『アプリケーション編』のP.85）を起動するかどうかのメッセージが表示されます。

電源を切ります

1 **PWR HLDを2秒以上押す**

終了画面が表示され、電源が切れます。

iモード中に電源を切った場合

「⇆」が点滅し、電源が切れるまで時間がかかる場合があります。

PIN1コードの入力について

「PIN設定」の「PIN1コード入力設定」(P.195)を「ON」に設定している場合は、電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力してください。ご契約のときは「OFF」に設定されています。

1 現在設定されているPIN1コードを入力する

PIN1コード入力
PIN1コードを
入力してください
残存入力回数　3回

入力したPIN1コードは「＿」で表示されます。

2 ● [確定] を押す

PIN1コードを正しく入力すると、「FOMA」ロゴが表示されたあと、待受画面が表示されます。

入力を3回誤ってPIN1コードがロックされた場合

PINロックを解除してください。→P.198

電池残量を確かめます

電池の残量を2つの方法で確認できます。残量の確認は目安としてご利用ください。

アイコンで確かめます

FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが自動的に表示されます。アイコンの表示で電池残量を確認してください。

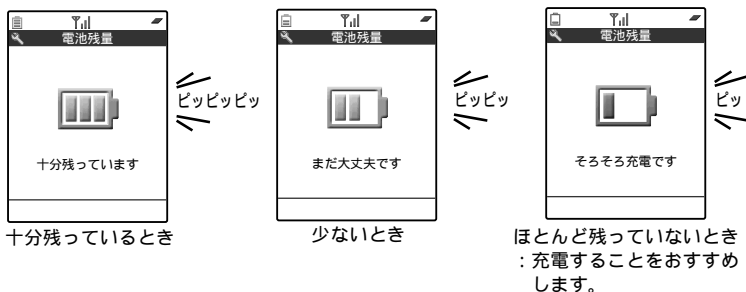
(緑色)：十分残っています。
(緑色)：少なくなっています。
(赤色)：ほとんど残っていません。充電することをおすすめします。→P.55

音とグラフィック（絵表示）で確かめます

電池残量を音とグラフィック（絵表示）でお知らせします。

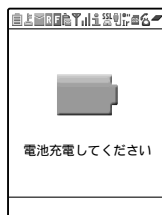
1 ▶▶「その他」▶「電池残量」の順に選ぶ

電池残量の確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約3秒たつと電池残量のグラフィックは消えます。

十分残っているとき　少ないとき　ほとんど残っていないとき：充電することをおすすめします。

おしらせ

● 「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合やマナーモード設定中は音が鳴りません。

電池が切れたとき<電池切れアラーム>

電池が切れた場合は、電池切れアラームとともに右のような画面を点滅表示して、電池が切れたことをお知らせします。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームを止める場合は[ホーム]、[メモ／確認]以外のいずれかのボタンを押してください。

おしらせ

● 通話中に電池が切れた場合は、電池切れ画面と「ピッピッピッ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。
● 「着信音量」の「電話／TV電話」を「消去」に設定している場合、電池切れアラームは一定の音量で鳴ります。
● 「マナーモード」に設定中で、マナーモード設定中の動作が「マナーモード」、「スーパーサイレント」の場合、または「電話着信音量」を「消去」または「低電圧アラーム」を「OFF」に設定している「オリジナルマナー」の場合、電池切れアラームは鳴りません。

時計設定

日付・時刻を合わせます

お買い上げのときは日付・時刻が設定されていません。「時計設定」で日付・時刻を設定すると待受画面やイルミネーション・ウィンドウなどに日付・時刻が表示されるようになります。またスケジュール機能などが使えるようにもなります。

- 設定できる日付・時刻は、2003年1月1日00時00分から2099年12月31日23時59分までです。日付・時刻の表示は2099年12月31日23時59分以降進みません。
- 時計を設定すると、待受画面、発信／着信履歴、メールなどの機能で日付・時刻が表示されるようになります。
- 時計を設定すると、「めざまし時計」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。

<例：2004年07月15日、12時05分に設定する場合>

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「時計」▶「時計設定」の順に選ぶ

2 年(西暦)、月、日、時刻(24時間表示)を入力する

を押して反転表示を移動させ、ダイヤルボタンで入力します。
ここでは2、0、0、4、0、7、1、5、1、2、0、5と押します。

3 入力が終わったら●[確定]を押す

おしらせ

- 設定範囲外の日付・時刻を入力した場合、日付・時刻は設定されません。もう一度入力し直してください。
- 通話中でも日付・時刻を設定することができます。
- 日付・時刻を設定しないと、SSL通信(認証)機能やiアプリ自動起動機能などの機能が使用できなかったり、再生制限・再生期間付きのiモーションの取得ができません。
- FOMA端末は内部にバックアップ電池を装備しています。設定した時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されます。ただし約2週間以上電池パックを外しているとリセットされる場合があります。そのような場合は、電池パックを充電してから、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。また、バックアップ電池は電池パックを充電すると、同時に充電されます。

お客様の電話番号を相手の電話機へ通知します

相手の電話機がデジタル端末で発信者番号表示に対応している場合、音声電話やテレビ電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
お客様の電話番号を相手に通知するかどうかを設定するには、次の方法があります。

機能名	機能内容	参照ページ
発信者番号通知	電話をかけたときに、お客様の電話番号を通知するかどうかを一括して設定します。	P.283
「186」／「184」ダイヤル	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを「186」／「184」をダイヤルして設定します。	下記
発番号設定	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを機能メニューから設定します。	P.124

相手の電話番号の前に「186」／「184」をつけてダイヤルします

電話をかけるたびに、電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」を、通知しない場合は相手の電話番号の前に「184」をダイヤルします。
●国際電話では、「186」／「184」をつけてダイヤルできません。

■ 電話番号を通知する場合

音声電話：186－相手先の電話番号－（音声電話キー）
テレビ電話：186－相手先の電話番号－（テレビ電話キー）

■ 電話番号を通知しない場合

音声電話：184－相手先の電話番号－（音声電話キー）
テレビ電話：184－相手先の電話番号－（テレビ電話キー）

おしらせ

- 「186」の代わりに「¥31＃」、「184」の代わりに「＃31＃」をつけてダイヤルしても同じ機能となります。
- 電話番号の通知をお願いするガイダンスが流れた場合は、「186」または「¥31＃」をつけてダイヤルし直すと通話できます。

電話番号表示

お客様の電話番号を確認します

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を表示して確認できます。

1 を押す

「メニュー」–「ユーザデータ」の「電話番号表示」を選んでも表示できます。→P.42

おしらせ

- お客様の個人データ（名前、自宅などの電話番号や住所、メールアドレスなど）を登録することもできます。→P.237
- iモードのメールアドレスを個人データとして登録している場合、を押して登録したデータを確認できます。
- iモードのメールアドレスは、iモードメニューから「 Menu」–「オプション設定」–「メール設定」–「アドレス確認」の順に操作すると確認できます。

迷惑電話を防止します

FOMA端末では、「ワン切り」などの迷惑電話や、いたずら電話を防止するために、次のような機能を利用できます。

機能名	機能内容	参照ページ
呼出時間表示設定	設定した時間が経過するまでFOMA端末の呼出動作をしないように設定できます。また、ここで設定した呼出時間に満たない着信は、不在着信履歴に表示しないこともできます。ワンコール程度の着信履歴が表示されなくなりますので、「ワン切り」対策に効果的です。	P.140
登録外着信拒否	電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定できます。 本機能は、電話番号を通知して電話をかけてきた相手に対して有効です。電話番号を通知しないで電話をかけてきた相手に対して着信を拒否する場合は、「非通知着信設定」を設定してください。	P.144
非通知着信設定	電話番号を通知しないで電話をかけてきた相手に対して、着信を拒否するように設定できます。 本機能は、非通知の理由ごとに着信を拒否／許可するように設定できます。非通知の理由には、「通知不可能」、「公衆電話」、「非通知設定」があります。	P.145
指定着信拒否	指定した電話番号からの着信を拒否するように設定できます。なお、本機能を設定しても着信履歴には記憶されます。 本機能は、電話番号を通知して電話をかけてきた相手に対して有効です。電話番号を通知しないで電話をかけてきた相手に対して着信を拒否する場合は、「非通知着信設定」を設定してください。	P.141
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話などの通話直後に拒否登録を行うと、以降の着信時にガイダンスを流して着信を拒否します。携帯電話ネットワークで着信を拒否するので、FOMA端末の着信履歴には記憶されません。また、同じ電話番号から電話番号を通知しないで電話をかけてきても着信を拒否することができます。 本サービスはお申し込みが必要で、月額使用料がかかります。	P.282

おしらせ

- 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。特に、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。
- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。
  - ・相手が電話番号を通知してきた場合
    ①迷惑電話ストップサービス
    ②指定着信拒否／登録外着信拒否
    ③呼出時間表示設定
  - ・相手が電話番号を通知してこなかった場合
    ①迷惑電話ストップサービス
    ②非通知着信設定
    ③呼出時間表示設定

基本操作編

電話をかけます

電話番号をダイヤルして音声電話をかけます。

●電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
●ビル電話など、ダイヤル市外通話のできない電話機に電話をかけることはできません。

1 相手の市外局番からダイヤルする

同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
市外局番－市内局番－電話番号

携帯電話にかける場合

090－××××－××××
または
080－××××－××××

PHSにかける場合

070－××××－××××

2 （発信キー）を押す

「（アイコン）」が点灯します。
電話番号が一度消えた後、右端から表示されて電話がかかります。
（センターキー）[発信]を押しても電話をかけることができます。

「ツーツー」という話中音が聞こえる場合

相手が話し中です。（PWR HLDキー）を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合

相手の携帯電話またはPHSの電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。（PWR HLDキー）を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合

相手が番号通知お願いサービスを「開始」に設定しています。電話番号を通知しておかけ直しください。→P.66

3 お話しが終わったら（PWR HLDキー）を押す

おしらせ

●iモード中またはメールの送受信中でも電話をかけることができます。
●通話中に通話中画面以外の画面を表示させた場合、（CLRキー）を押すと通話中画面に戻ります。
●操作1と2が逆でも電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは（PWR HLDキー）を押して表示を消してからおかけ直しください。
●発信中または通話中に（ソフトキー）[On]を押すとハンズフリーに切り替わります。ハンズフリーに設定すると、相手の音声をスピーカから流して通話できます。ただし、ハンズフリーに設定すると相手の音声が周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。再度（ソフトキー）[Off]を押すとハンズフリーを解除します。
●通話中の相手に内蔵カメラで撮影した静止画を送信すること（スピードフォトメール）もできます。→『アプリケーション編』のP.167
●回線が混雑しているときなどには、「しばらくお待ちください」と表示される場合があります。このような場合は、しばらくたってからおかけ直しください。

電話番号の入力を間違えたとき

■ **番号を挿入する場合**

を押して挿入したい位置の１つ右の番号にカーソルを移動して番号を入力します。

■ **番号を削除する場合**

を押して削除したい番号にカーソルを合わせてを押します。
を1秒以上押すと、カーソル位置を含め、その右側にあるすべての番号が削除されます。

■ **番号をすべて訂正する場合**

カーソルを番号の先頭か最後に合わせてを1秒以上押します。待受画面に戻ります。

通話中に保留にします　<通話中保留>

通話中の電話を保留にできます。

1 通話中にを押す

相手に保留音が流れます。

保留中に電話を切る場合

を押す

保留中に相手が電話を切った場合

通話が切れます。

2 電話に出られるようになったら、、または[通話]を押す

おしらせ

- 通話保留中に流れる保留音は「保留音選択」で設定できます。→P.158
- 「着信音量」の「電話／TV電話」を「消去」に設定している場合や「マナーモード」に設定中で、マナーモード設定中の動作が「マナーモード」、「スーパーサイレント」の場合、または「電話着信音量」を「消去」にしている「オリジナルマナー」の場合、保留中はミュート（消音）で動作します。
- 「クローズ動作設定」（P.160）を「終話」以外に設定している場合は、FOMA端末を閉じても通話を保留にできます。

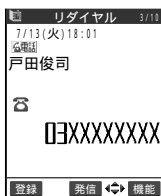
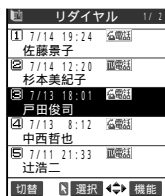
リダイヤル

前にかけた電話番号にかけ直します

リダイヤルで一度かけた音声電話やテレビ電話をかけ直すことができます。相手が話し中などで、もう一度かけ直すときに便利です。

- ●リダイヤルは音声電話とテレビ電話の電話番号を30件まで記憶できます。
- ●同じ電話帳の同じ電話番号にかけたときは、1件として最新のものが記憶されます。
- ●30件を超えた場合は、古いものから順に上書きされます。
- ●シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたときは、リダイヤルに記憶されません。

1 ⊙を押してかけ直したい電話番号を選ぶ

➡

選択したリダイヤルの詳細画面が表示されます。

画面右上には「現在のリダイヤル番号／全体のリダイヤル件数」が表示されます。番号が若いほど、最近かけた電話番号となります。

前後のリダイヤルを表示する場合

リダイヤルの詳細画面で⊙を押すたびに、2件目、3件目とリダイヤルがさかのぼって表示されます。⊙を押すたびに、30件目、29件目と新しいリダイヤルへと順番に表示されます。

電話帳に登録した電話番号の場合

名前が登録されていると、その名前も一緒に表示されます。

2 ☎または● [発信]を押す

テレビ電話をかける場合

TVを押す

3 お話しが終わったら☎PWR HLDを押す

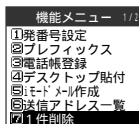
おしらせ

- ●「PIMロック」設定中は、電話帳に名前やアイコンが登録されている相手への電話でも、電話番号だけが記憶されます。
- ●前にかけた電話番号は「発信履歴」(P.151)にも記憶されます。同じ番号にかけた場合でも「発信履歴」では別の1件として、電話をかけたときの情報が記憶されます。
- ●「時計設定」で日付・時刻を設定していない場合は、発信した日付・時刻が表示されません。
- ●リダイヤルでは発信履歴／着信履歴と同じように、機能メニューから記憶されている電話番号を電話帳に登録したりiモードメールを作成して送信したりできます。→P.151

リダイヤルを削除します

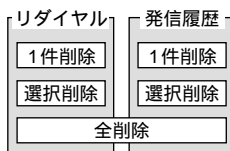
電源を切ってもリダイヤルは削除されません。ほかの人に見られたくないときは、リダイヤルを削除してください。

1 **削除したいリダイヤルを表示する**

2 **機能メニューから「1件削除」を選ぶ**

複数のリダイヤルを選んで削除する場合
機能メニューから「選択削除」を選んで削除するリダイヤルを選ぶ

リダイヤルをすべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

おしらせ

●「全削除」を行うと、「リダイヤル」と「発信履歴」の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残りますのでご注意ください。
発信履歴について→P.151

WORLD CALL

国際電話のご利用について

WORLD CALLとはドコモのデジタル方式携帯電話をご契約のお客様がご利用いただける国際電話サービスです。

WORLD CALLについて

・通話先は世界約220の国と地域です。
・「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAの通話料金と合わせてご請求いたします。
・お申込手数料・月額使用料は無料です。
※：「WORLD CALL」はFOMAサービスをご契約のお客様はお申し込み不要でご利用いただけます。

国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

	お問い合わせ先	
WORLD CALL	ドコモの携帯電話、PHSからの場合 （局番なしの）151（無料） ※一般電話からはご利用になれません。	一般電話等からの場合 0120-800-000 ※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。 ※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

1 009130－010－国番号－市外局番－相手先電話番号の順にダイヤルする

市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話におかけになる場合は「0」が必要です。

2 [発信キー]を押す

3 お話しが終ったら[PWR/HLDキー]を押す

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様※1に対し、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。※2
※1：2004年2月現在、Hutchison3GUK（イギリス）と通信可能。
※2：国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
※1・2：詳しくはドコモのホームページをご覧下さい。

おしらせ

- 「009130-010」は「プレフィックス設定」（P.149）にあらかじめ登録されています。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

簡単な操作で国際電話をかけることができます

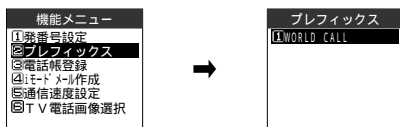
お買い上げのときには、「プレフィックス設定」に「WORLD CALL」が設定されているので、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

1 相手先の番号をダイヤルする

国番号－市外局番－相手先電話番号をダイヤルします。

電話帳に登録されている相手先の番号を表示する場合

電話帳の検索のしかた→P.116

2 機能メニューから「プレフィックス」－「WORLD CALL」を選ぶ

3 [発信キー]を押す

国際電話がかかります。

電話を受けます

かかってきた音声電話を受けます。

1 電話がかかってきたら[発信キー]または● [通話] を押して、電話を受ける

電話がかかってくると着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。「バイブレータ」を「OFF」以外に設定している場合は、振動でもお知らせします。

着信中に意図的に電話を切りたい場合

機能メニューから「着信拒否」を選ぶ

着信中の電話を転送する場合

機能メニューから「転送でんわ」を選ぶ

「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。

着信中の電話を留守番電話サービスセンターへ接続する場合

機能メニューから「留守番電話」を選ぶ

「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。

ハンズフリーに切り替える場合

通話中に[キー] [ハンズフリーON] を押す

2 お話しが終わったら☎PWR HLDを押す

おしらせ

- ☎、◉[通話]以外に0～9、＊、CLR、方向キー、サイドキー、▲のいずれかのボタンを押しても電話を受けることができます（エニーキーアンサー）。また、ボタンを押すと着信音だけがとまるように設定することもできます。→P.159
- 着信中に#または▼[メモ／確認]を押すと、「マナーモード」になり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件を録音することができます。→P.136
- 電話帳に登録されている相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、電話番号と相手の名前が表示されます。また、電話帳に画像が登録されている場合は、その画像が表示されます。ただし、シークレットデータとして登録されている場合（P.201）は名前や画像は表示されず、電話番号のみが表示されます。また、電話番号を通知してこない相手の場合は、その理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。
- 電話の着信は「着信履歴」に30件まで記憶されます。相手が電話番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が表示されます。
- 「キャッチホン」をご契約いただき、「着信動作選択」を「通常着信」に、「キャッチホン」を「開始」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が鳴り、次の動作が可能です。
  - ・通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。
  - ・「留守番電話サービス」をご契約されている場合は、留守番電話サービスセンターへ転送できます。
  - ・「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、転送先へ転送できます。

  詳しくはP.279を参照してください。
- 転送されてきた電話の場合は、転送元と発信元の電話番号が表示されます。ただし、転送元によっては転送元の電話番号が表示されないことがあります。
- ビル電話など、ダイヤル市外通話のできない電話機からFOMA端末へ電話をかけることはできません。

不在着信や新着メールを確認します

FOMA端末を折り畳んだままで、不在着信や新着メールがあるかどうかを、音や振動、着信ランプの点灯／点滅で確認できます。

●本機能は待受画面に「不在着信あり」または「新着メールあり」のデスクトップアイコンが表示されているときに「あり」としてお知らせします。

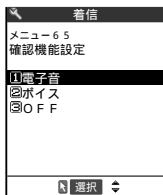
●次のような場合、本機能で不在着信や新着メールを確認できません。

- ・オールロック設定中
- ・PIMロック設定中
- ・サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定している場合
- ・確認機能設定を「OFF」に設定している場合

確認結果のお知らせのしかたを設定します ＜確認機能設定＞

お買い上げ時	電子音

1 ▶ 各種設定 ▶「着信」▶「確認機能設定」の順に選ぶ

着信
メニュー６５
確認機能設定
1電子音
2ボイス
3ＯＦＦ
選択

電子音で知らせる場合
「電子音」を選ぶ

声（ボイスモニター）で知らせる場合
「ボイス」を選ぶ

確認の機能をOFFにする場合
「OFF」を選ぶ

不在着信や新着メールがあるか確認します

FOMA端末を折り畳んだ状態で[メモ／確認]を押すと、不在着信や新着メールを確認できます。
確認動作は次のとおりです。

確認機能設定	不在着信や新着メールがある場合		不在着信や新着メールがない場合	
	音と振動	着信ランプの色	音と振動	着信ランプの色
電子音	「ピピ、ピピ」という音が鳴り、約1秒間振動します。	「着信イルミネーション」の「電話」、「メール」でそれぞれ設定されている色が約5秒間点灯します。不在着信、新着メールが両方あるときは、それぞれの色※が交互に点滅します。	「ピピピ」という音が鳴り、約0.2秒間振動します。	着信ランプが「色12」で約5秒間点滅します。
ボイス（ボイスモニター）	「ピピ」という音が鳴ったあと、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」と声で知らせ、約1秒間振動します。			

※：「着信イルミネーション」の点滅色が「グラデーション」に設定されている場合は、不在着信は「色5」、新着メールは「色1」で点滅します。

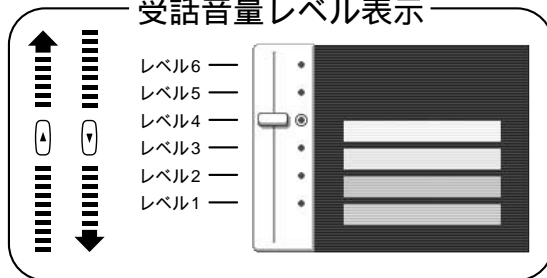
おしらせ

- iモードセンターに蓄積されている新着メールを本機能で確認することはできません。
- ボイスモニターの声はFOMA端末を開くか、[ホーム]または[メモ／確認]のいずれかを押すことでとまります。
- 「ボイス」の音量は「着信音量」（P.79）の「電話／TV電話」で設定した音量になります。「ステップ」に設定されている場合は「レベル2」の音量になります。「消去」に設定されている場合は音が鳴りません。
- 「バイブレータ」（P.167）の「電話」を「OFF」に設定している場合は振動しません。
- マナーモード設定中（P.135）は音が鳴らず、振動でお知らせします。ただし、「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は音が鳴り、「バイブレータ」を「OFF」に設定している場合は振動しません。

受話音量

相手の声の音量を調節します

お買い上げ時	レベル4

通話中の相手の声の大きさを「レベル1」（最小）～「レベル6」（最大）の6段階で調節できます。

●テレビ電話中やハンズフリーのときも調節できます。
●着信中は調節できません。

通話中に調節します

1 通話中に▲または▼を押す

「ピッ」という音が鳴り、受話音量画面が表示されます。

2 受話音量を調節する

音量を1レベル上げる場合
▲を押す

音量を1レベル下げる場合
▼を押す

▲または▼を1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。
受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、通話中の画面に戻ります。

おしらせ

● 通話中に◯または◯を1秒以上押しても同じように調節できます。

待受中に調節します

1 **待受中に◎または◎を1秒以上押す**

2 **◎または◎を押して受話音量を調節する**

音量を1レベル上げる場合
◎を押す
音量を1レベル下げる場合
◎を押す
◎または◎を1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。
受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、待受画面に戻ります。

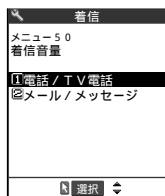
着信音の音量を調節します

お買い上げ時	電話／TV電話：レベル4　メール／メッセージ：レベル4

音声電話やテレビ電話がかかってきたときや、メールやメッセージリクエスト／フリーを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節できます。また、着信音を消したり、次第に音量を大きくする（ステップトーン）こともできます。

●着信中は調節できません。
●本機能で設定した「電話／TV電話」の着信音量は、「ムービープレーヤー」、「メロディプレーヤー」、音声電話やテレビ電話の「着信音選択」、「スケジュール」や「ToDo」のアラーム音、サイトからダウンロードしたメロディの再生音量などに反映されます。
●本機能で設定した「メール／メッセージ」の着信音量は、メール、メッセージリクエスト／フリーそれぞれの「着信音選択」や電話帳便利機能の「メール着信音」などの着信音一覧で鳴る音量などに反映されます。

1 **Menu ▶ 各種設定 ▶「着信」▶「着信音量」の順に選ぶ**

2 **着信音量を調節したい項目を選ぶ**

音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信音量を調節する場合
「電話／TV電話」を選ぶ
iモードメール、SMS、メッセージリクエスト／フリー、パケット通信の着信音量を調節する場合
「メール／メッセージ」を選ぶ

3 着信音量を調節する

音量を1レベル上げる場合
　を押す
音量を1レベル下げる場合
　を押す
ステップトーン(次第に音を大きくする)に設定する場合
　レベル6のときにを押す
　ステップトーンのときに着信すると、3秒ごとに無音、ステップ1～6の順で着信音量が大きくなります。

着信音を消すように設定する場合
　レベル1のときにを押す
　消去に設定すると、着信音が鳴らなくなります。

待受画面のアイコンで、「消去」に設定されている項目が確認できます。
：「電話／TV電話」のみ「消去」に設定したことを示します。
：「メール／メッセージ」のみ「消去」に設定したことを示します。
：「電話／TV電話」と「メール／メッセージ」の両方を「消去」に設定したことを示します。

車載ハンズフリー

ハンズフリー対応機器が利用できます

ハンズフリー対応機器(カーナビゲーションなど)とFOMA端末を接続することで、ハンズフリー対応機器から音声電話やテレビ電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

●着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
●ハンズフリー対応機器を接続し、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「消去」に設定中でも、音声電話／テレビ電話やメールなどの着信時にはハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
●ドライブモード設定中の着信動作は、「ドライブモード」(P.82)の設定に従います。
●伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ」(P.84)の設定に従います。
●ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、通信速度はハンズフリー対応機器の設定に従います。設定されていない場合、通信速度は「64K」になります。
●ハンズフリー対応機器を接続し、FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、「クローズ動作設定」(P.160)の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。

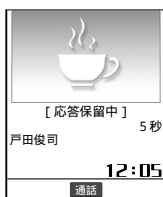
※本機能は、ハンズフリー対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。2004年3月現在、ハンズフリー対応機器はリリースされておりません。

応答保留

すぐに電話に出られないとき保留にします

着信中、すぐに電話に出られないときは、応答保留して相手にしばらく待ってもらうことができます。

●応答保留中でも、相手に通話料金がかかります。

1 着信中にPWR HLDを押す

音声電話の場合

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。
相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください」というガイダンスが流れます。

応答保留中に電話を切る場合

PWR HLDを押す

応答保留中に相手が電話を切った場合

通話が切れます。

2 電話に出られるようになったら、または● [通話]を押す

「着信アンサー設定」(P.159)を「エニーキーアンサー」に設定している場合は0～9、*、#、、、、、を押しても電話に出ることができます。

おしらせ

● 応答保留中に流れるガイダンスは「保留音選択」で設定できます。→P.158
● 64Kデータ通信中に電話がかかってきたときは、応答保留にはできません。
● 「着信音量」(P.79)の「電話／TV電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中(P.135)は、応答保留にしたときの「ピッピッピッ」という音は鳴りません。ただし、「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は音が鳴ります。

ドライブモード

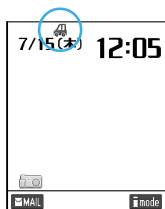
自動車の運転中は電話を受けられないようにします

ドライブモード（運転中ガイダンス機能）は、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、相手に運転中のため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れて通話を終了します。

●ドライブモードの設定／解除ができるのは、待受画面表示中のときのみです。画面に「圏外」が表示されているときも設定／解除はできます。

●ドライブモードを設定していても電話をかけることができます。

ドライブモードに設定します

1 待受画面表示中に＊を1秒以上押す

ドライブモードに設定したことを通知するメッセージが表示され、待受画面に「🚗」が表示されます。

ドライブモードを解除する場合

ドライブモードが設定されている状態で、待受画面表示中に＊を1秒以上押す

ドライブモードを解除したことを通知するメッセージが表示され、「🚗」の表示が消えます。

おしらせ

●「伝言メモ」（P.84）を「ON」に設定していてもドライブモードが優先され、「伝言メモ」は無効となります。

●ドライブモード設定中に緊急通報番号（110番、119番、118番）へ音声電話をかけると、ドライブモードを解除することを通知するメッセージが表示され、ドライブモードが解除されます。

●ドライブモード設定中には、次の音が鳴りません。

・音声電話／テレビ電話着信音
・メッセージリクエスト／フリー着信音
・スケジュールのアラーム音
・電池切れアラーム音
・iアプリのソフトの鳴動
・メール着信音
・めざましのアラーム音
・ToDoのアラーム音
・充電確認音

■ドライブモード設定中の着信動作

お客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきても着信音は鳴りません。「着信履歴」（P.151）には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

また、メールを受信したときや64Kデータ通信を着信したときも着信音は鳴りません。

音声電話をかけてきた相手には運転中のため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ通話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手には、画面に運転中のため電話に出られないことを通知するメッセージが表示されて通話を終了します。ただし、電源が入っていない場合や画面に「圏外」が表示されている場合は、運転中の通知はされずに「圏外」が表示されているときと同じガイダンスが流れます。

■各ネットワークサービスとドライブモード設定中の着信動作

ドライブモードと各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、次のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に運転中のガイダンスを流した後、伝言メッセージをお預かりします。※1	テレビ電話では留守番電話サービスを利用できません。相手には運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。
転送でんわサービス	相手に運転中のガイダンスを流した後、転送先に転送します。※2	テレビ電話でも転送でんわサービスを利用できます。転送でんわサービスが優先され、かかってきたテレビ電話をすぐに転送先に転送します。※3
迷惑電話ストップサービス	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に着信拒否ガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に運転中のガイダンスを流した後、通話を終了します。	テレビ電話でも迷惑電話ストップサービスを利用できます。 ・迷惑電話拒否登録している電話番号の場合は、迷惑電話ストップサービスが優先され、相手に着信拒否ガイダンスを流さずに通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に運転中のガイダンスを流した後、通話を終了します。	テレビ電話では番号通知お願いサービスを利用できません。相手には運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。

※1：留守番電話サービスの呼出時間を0秒に設定している場合、ドライブモードガイダンスは流れません。

※2：転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合、ドライブモードガイダンスは流れません。

※3：転送先を3G-324M（P.87）に準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。

電話に出られないときに相手の用件などを録音できるように設定します

お買い上げ時	伝言メモ：OFF　応答メッセージ：標準　呼出時間：8秒

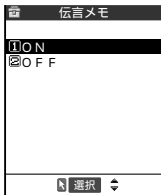
音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音しておくことができます。

●録音する前に流れる応答メッセージを選ぶことができます。
●録音できる件数は5件、録音時間は1件につき約20秒間です。
●伝言メモを「ON」に設定していなくても、「クイック伝言メモ」(P.136)で伝言メモを開始することができます。

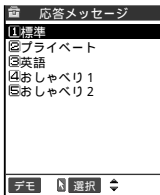
伝言メモを設定します

1

「伝言メモ」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

伝言メモを設定する場合
「ON」を選ぶ
操作3に進んでください。

伝言メモを設定しない場合
「OFF」を選ぶ

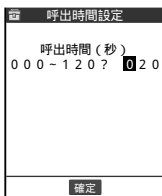
3 応答メッセージを選ぶ

標準　：「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に20秒以内でお名前とご用件をお話しください。なお、テレビ電話の場合でも音声メッセージのみのお預かりとなります。」と流れます。

プライベート　：「せっかく電話をもらったけど、いま出られません。ピーッという発信音の後にメッセージを入れてね。テレビ電話のときも声しか入らないの。ごめんね。」と流れます。

英語　：「I can't take your call now. Please leave the message. When you call by video phone, you can leave a voice message.」と流れます。

おしゃべり1、2：「おしゃべり機能」(P.247)で録音した音声が流れます。
録音されていないときは「おしゃべり1」、「おしゃべり2」は表示されません。

応答メッセージを反転表示して◐[デモ]を押すとメッセージがスピーカから流れます。

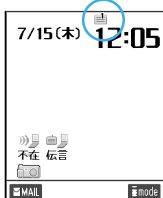
呼出時間を000～120秒の範囲で入力する

時間は3桁で入力します。000～120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。
3桁の時間を入力すると、自動的に伝言メモが設定され、待受画面に「▤」が表示されます。

表示されている時間をそのまま設定する場合

時間を入力しないで◉[確定]を押す

おしらせ

- 伝言メモの呼出時間は「遠隔監視設定」または「オート着信」の応答時間と同じ時間に設定することはできません。
- 「留守番電話サービス」(P.271)や「転送でんわサービス」(P.276)を同時に設定しているときに伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- 「電話帳便利機能」で電話番号ごと、「グループ便利機能」でグループごとに応答メッセージを設定することもできます。

伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが開始され、相手には設定した応答メッセージが流れます。テレビ電話の場合は「伝言メモ/Record Msg. <音声録音中/Voice Only>」のメッセージ画像も送信します。

伝言メモの録音がはじまると、録音中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。

音声電話に出る場合

☎または◉[通話]を押す

テレビ電話に出る場合

カメラ映像で出るときは（テレビ電話キー）を押し、代替画像で出るときは☎または◉[通話]を押す

⬇

録音が終わると元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」のデスクトップアイコンが表示されます。
1件録音されると「▤」が「▤1」の表示に変わり、2件録音されると「▤2」、3件録音されると「▤3」･･･と表示されます。
伝言メモの再生／消去のしかた→P.245

おしらせ

- 「圏外」が表示されているときは伝言メモを利用できません。
- テレビ電話がかかってきたときも、音声のみの伝言メモとして録音されます。
- 「PIMロック」設定中は、本機能の設定は「OFF」となり、「▤」および「伝言メモあり」のデスクトップアイコンは表示されません。
- 録音件数が5件になると、次にかけてきた相手の用件を伝言メモで録音することはできません。また、相手に応答メッセージも流れません。次の用件を録音できるようにするには、すでに録音されている伝言メモを消去してください。→P.246
- 「伝言メモ」を「ON」に設定していなくても、「伝言メモ」を「ON」に設定している「オリジナルマナー」でマナーモードに設定しておけば、伝言メモで相手の用件を録音できます。ただし、伝言メモがすでに5件録音されているときは、マナーモードで設定した動作で着信します。
- 「留守番電話サービス」を設定している場合は、伝言メモが5件録音されているとき、留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。
- 伝言メモの録音中はほかの電話がかかってきても受けることができません。ほかの電話には話中音が流れます。
- 相手が電話番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が表示されます。

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでご利用いただけます。また、自分の映像の代わりに静止画やメッセージなどの代替画像、キャラ電などを送信することもできます。

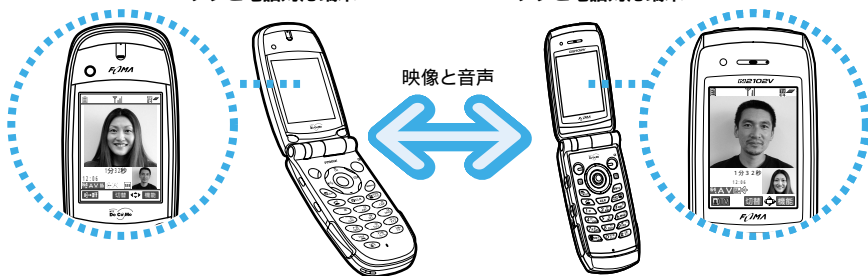
●機種が違っていてもドコモのテレビ電話対応端末どうしならテレビ電話機能を利用することができます。

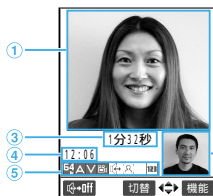
●ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2：3G-324M
第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

●テレビ電話は、64K／32Kの通信速度で行います。
・64K：通信速度64kbpsで通信をします。
・32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話画面の見かた

① 親画面です。お買い上げのときは相手側のカメラ映像が表示されます。
② 子画面です。お買い上げのときは自分側のカメラ映像が表示されます。
③ 通話時間を示します。
④ 現在の時刻を示します。
⑤ テレビ電話の各種機能の設定内容を示します。

- ：64Kテレビ電話通信中
- ：32Kテレビ電話通信中
- ：音声送受信中
- ：音声送受信失敗
- ：映像送受信中
- ：映像送受信失敗
- ：カメラ映像送信中
- ：「画像選択」で設定した代替画像送信中
- ：キャラ電送信中
- ：ハンズフリーOFF
- ：ハンズフリーON
- ：撮影モード／接写
- ：撮影モード／風景
- ：撮影モード／ポートレート
- ：キー操作／DTMFモード※

  ※：DTMFについてはP.338を参照してください。
- ：キー操作／全体アクションモード
- ：キー操作／パーツアクションモード

テレビ電話をかけます

テレビ電話をかけると、かけた相手には内側カメラの映像を送信します。テレビ電話中に● [切替] を押して外側カメラに切り替えてその映像を送信することもできます。また、カメラ映像の代わりにほかの画像(代替画像など)を送信するように設定することもできます。→P.98

●お買い上げのときは「64K」の通信速度でテレビ電話をかけるように設定されています。FOMA端末どうしでテレビ電話を利用する場合は、「64K」の通信速度で利用することをおすすめします。

●相手の顔を見ながら通信するには、ハンズフリーに切り替えるかスイッチ付イヤホンマイクを使用します。スイッチ付イヤホンマイクについて詳しくは、P.257を参照してください。

●ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用することができます。→P.73

●音声や映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度テレビ電話をかけ直してください。

<例：ハンズフリーに切り替える場合>

1 相手の市外局番からダイヤルする

同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

市外局番 − 市内局番 − 電話番号

携帯電話にかける場合

090－××××－××××

または

080－××××－××××

PHSにかける場合

070－××××－××××

「32K」の通信速度でテレビ電話をかける場合

機能メニューから「通信速度設定」－「32K」を選ぶ

2 を押してテレビ電話をかける

この画面からデジタル通信料がかかります。

テレビ電話発信中は「64」が点滅し、通話中は点灯します。
「32K」の通信速度で発信した場合は「32」が点滅します。

3 テレビ電話がつながったら◐［⇔on］を押してハンズフリーに切り替える

「⇔」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます。もう一度◐［⇔off］を押すと、ハンズフリーはOFFになり「⇔」が「⇔」に変わります。
ハンズフリーにすると相手の音声が周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。

外側カメラの映像を送信する場合

◉［切替］を押す
◉［切替］を押すたびに外側カメラ／内側カメラを切り替えることができます（カメラ切替）。

通話中のテレビ電話を保留にする場合

CLRを押す
相手に保留音が流れ、相手側のテレビ電話映像には「通話中保留」の画像が表示されます。
保留を解除するにはCLRを、保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るにはテレビ電話キーを、代替画像で出るには通話キーを押します。

スイッチ付イヤホンマイク（別売品）を利用している場合

ハンズフリーに切り替える必要はありません。相手の声をイヤホンから聞くことができます。

4 お話しが終わったらPWR HLDを押す

通話時間が表示された後、テレビ電話が終了します。

テレビ電話に関する機能について

送信する画像の大きさや画質など、テレビ電話ではさまざまな機能を設定できます。

ハンズフリー※ ：テレビ電話中に相手の音声がスピーカから流れます。

内側カメラ／外側カメラの切り替え※
：テレビ電話中に相手に送信する映像を、内側カメラ／外側カメラに切り替えることができます。

ズーム※ ：テレビ電話中に自分側の映像を拡大して送信できます。→P.96

親画面自局表示／対局表示
：テレビ電話中に親子画面の映像を切り替えることができます。→P.97

画像品質設定 ：映像の画質を重視するか、動きを重視するか選ぶことができます。→P.97

明るさ調節 ：自分側の映像の明るさを調節します。設定内容はカメラの同機能と同じです。→『アプリケーション編』のP.267

ホワイトバランス設定
：自分側の映像を光源に合わせて自然な色合いに調節します。設定内容はカメラの同機能と同じです。→『アプリケーション編』のP.268

色調切替※ ：自分側の映像をセピア色(黒茶色)や白黒で送信します。設定内容はカメラの同機能と同じです。→『アプリケーション編』のP.268

撮影モード選択※ ：状況にあった撮影モードにします。設定内容はカメラの同機能と同じです。→『アプリケーション編』のP.267

キャラ電設定 ：キャラ電で表示するキャラクタの選択、アクションの一覧表示、アクションモードの切り替えを行います。→『アプリケーション編』のP.324、P.325

照明設定 ：テレビ電話中のディスプレイのバックライトについて設定します。→P.100

通話中画像表示設定 ：親画面に表示される映像とそのサイズについて設定します。→P.100

通話中時間表示 ：テレビ電話中に通話時間を表示する／しない(ON／OFF)を設定します。

DTMF送信※ ：キャラ電中にプッシュ信号の送信モードを設定／解除します。キャラ電以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号の送信モードになります。

電話番号表示※ ：テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。

※：「ハンズフリー」、「内側カメラ／外側カメラの切り替え」、「ズーム」、「色調切替」、「撮影モード選択」、「DTMF送信」、「電話番号表示」は、テレビ電話を終了するとお買い上げのときの設定に戻ります。

テレビ電話がかからなかったとき

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由を示すメッセージが表示されます。ただし、状況によっては接続できなかった理由を示すメッセージが表示されない場合があります。また、接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	電話番号を間違えた場合
お話中です	お話し中の場合
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
ドライブモード中です	相手がドライブモード中の場合
接続できませんでした	上記以外の場合

おしらせ

- 操作1と2が逆でもテレビ電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは[PWR HLD]を押して表示を消してからおかけ直しください。
- テレビ電話をかけるとき、音声電話と同じように電話帳や「リダイヤル」、「着信履歴」などを利用できます。
- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけたときは、自動的に音声電話での発信になります。
- テレビ電話に対応していない電話機にテレビ電話をかけたときや、相手がテレビ電話に対応していても圏外や電源が入っていないときは接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけたときに「音声自動再発信設定」（P.95）を「ON」に設定している場合は、テレビ電話接続前に相手から切断され、自動的に音声電話でかけ直します。ただし、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M（P.87）に対応していないISDNのテレビ電話等（2004年2月現在）にかけたときや間違い電話をしたときなどは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
- 「32K」の通信速度は、ネットワーク状況によって「64K」で通信できないPHSなどの機器とテレビ電話を利用するためのものです。「64K」でテレビ電話をかけても、相手が「32K」エリアなどの通信環境であった場合は、自動的に「32K」に切り替えて再発信します。ただし、「32K」でテレビ電話をかけた場合でも、「64K」でテレビ電話をかけたときと同じデジタル通信料になります。
- 「音声自動再発信設定」（P.95）が「ON」に設定されているときに「64K」の通信速度でテレビ電話がかからなかった場合は、自動的に「32K」の通信速度に切り替わります。それでもテレビ電話がかからなかった場合は、音声電話に切り替わります。テレビ電話がかからなかったときの通信速度の自動切り替えと「音声自動再発信設定」の動作は次のようになります。

	通信速度を「64K」に設定している場合	通信速度を「32K」に設定している場合
「音声自動再発信設定」を「ON」に設定している場合	通信速度を「32K」に自動的に切り替えます。それでもテレビ電話がかからない場合は、音声電話に切り替えます。	音声電話に切り替えます。
「音声自動再発信設定」を「OFF」に設定している場合	通信速度を「32K」に自動的に切り替えます。それでもテレビ電話がかからない場合は、テレビ電話を切ります。	テレビ電話を切ります。

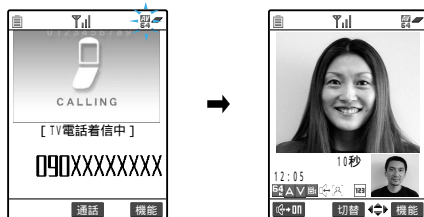
- テレビ電話にいったん接続されると、音声電話への再発信は行いません。
- テレビ電話中に音声電話をかけたり、iモードに接続することはできません。
- テレビ電話中に音声電話やテレビ電話の着信があると、「着信履歴」（P.151）には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。
- テレビ電話中にiモードメールやメッセージリクエスト／フリーは受信できません。いったんiモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「iモード問い合わせ」（『アプリケーション編』のP.104、P.180）を行って受信してください。
- テレビ電話中でもSMSは受信できます。
- テレビ電話中に「電池充電してください」という電池切れアラームが表示されたときは、相手側に「カメラオフ　Camera Off」というメッセージが表示され、約20秒後に切断されます。切断される前に充電を開始した場合でも「カメラオフ　Camera Off」のメッセージのままとなります。
- 相手側の設定により映像が送信されてこないときには、代替画像が表示されます。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、デジタル通信料がかかります。
- 発信中はハンズフリーに切り替えることができません。
- テレビ電話を終了するとハンズフリーはOFFになります。
- ハンズフリー中も「受話音量」（P.78）を調節することができます。
- ハンズフリー中は、「受話音量」を大きくすると周囲の状況により雑音が発生することがあります。
- ハンズフリー中に周囲の雑音が大きいと、音声が途切れたり良好な通話ができないことがあります。この場合はスイッチ付きイヤホンマイクをお使いください。
- テレビ電話の通話時間は「デジタル通信」時間として加算されます。→P.161
- マナーモード設定中にハンズフリーに切り替えることができます。ハンズフリーを「OFF」にするか、通話を終了するとマナーモードに戻ります。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、ハンズフリーは維持されます。

テレビ電話を受けます

かかってきたテレビ電話を受けます。テレビ電話にすぐに出られないときは、自分側のカメラ映像を相手側に表示させないで代わりの画像(代替画像)でテレビ電話に出ることもできます。

●音声通話中、iモード中、iモードメール送受信中、パケット通信中にテレビ電話を受けることはできません。

1 テレビ電話がかかってきたらを押して、電話を受ける

➡

代替画像で出る場合

または●[通話]を押す

相手側の画面には代替画像が表示されます。

代替画像で出た後でも、を押してカメラ映像に切り替えることができます。

スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を利用している場合

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

代替画像で出ることができます。「オート着信」(P.260)を「ON」に設定している場合は、設定した呼出時間経過後、自動的に代替画像で出ることができます。

カメラ映像と代替画像を切り替える場合

を押す

スイッチ付イヤホンマイク接続中も同じように操作できます。

着信中のテレビ電話を応答保留にする場合

を押す

相手側のテレビ映像に「応答保留中」の画像が表示されます。応答保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るにはを、代替画像で出るにはまたは●[通話]を押します。

着信中に意図的に電話を切りたい場合

機能メニューから「着信拒否」を選ぶ

着信中の電話を転送する場合

機能メニューから「転送でんわ」を選ぶ

「転送でんわサービス」(P.276)のご契約が必要です。「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。

2 テレビ電話がつながったら◐［ハンズフリーon］を押してハンズフリーに切り替える

「ハンズフリー」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます。もう一度◐［ハンズフリーoff］を押すと、ハンズフリーはOFFになり「ハンズフリー」が「ハンズフリー」に変わります。
ハンズフリーにすると相手の音声が周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。

外側カメラの映像を送信する場合

●［切替］を押す
●［切替］を押すたびに外側カメラ／内側カメラを切り替えることができます（カメラ切替）。

通話中のテレビ電話を保留にする場合

CLRを押す
相手に保留音が流れ、相手側のテレビ電話映像には「通話中保留」の画像が表示されます。保留を解除するにはCLRを、保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るにはカメラキーを、代替画像で出るには通話キーを押します。

スイッチ付イヤホンマイク（別売品）を利用している場合

ハンズフリーに切り替える必要はありません。相手の声をイヤホンから聞くことができます。

3 お話しが終わったらPWR HLDを押す

通話時間が表示された後、テレビ電話が終了します。

おしらせ

- 「着信アンサー設定」（P.159）を「エニーキーアンサー」に設定していても「エニーキーアンサー」でテレビ電話に出ることはできません（「クイックサイレント」に設定している場合は、ボタンを押して着信音だけを止めることができます）。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、テレビ電話をかけてきた相手にはデジタル通信料がかかります。
- 代替画像は「画像選択」（P.98）で変更できます。
- 「留守番電話サービス」を「開始」に設定していても、かかってきたテレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。
- 「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても、転送先を3G-324M（P.87）に準拠したテレビ電話対応機器に設定していない場合は、かかってきたテレビ電話を転送できません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。
- 相手側の設定により映像が送信されてこない場合は、代替画像が表示されます。
- 着信中はハンズフリーに切り替えることができません。
- テレビ電話を終了するとハンズフリーはOFFになります。
- ハンズフリー中も「受話音量」（P.78）を調節することができます。
- スイッチ付イヤホンマイク接続中も、接続していないときと同じようにカメラキーを押すとカメラ映像で、通話キーを押すと代替画像でテレビ電話に出ることができます。

キャラ電を楽しみます

テレビ電話で自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。
キャラ電のキャラクタは音に反応して口が動いたり、ボタン操作で手足を動かしたり表情をつけたりすることができます。

●キャラ電を楽しむにはあらかじめ次の機能を設定しておいてください。
- ・「代替画像」を「キャラ電」に設定する→P.98
- ・「発信時自画像送信設定」を「OFF」に設定する→P.98

●テレビ電話がかかってきた場合は、（ボタン）を押すとキャラ電でテレビ電話に出ることができます。

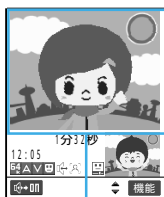
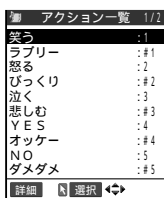
●カメラ画像からキャラ電に切り替えるには（ボタン）を押します。

●キャラ電の切り替えやアクションの確認などについては、『アプリケーション編』のP.324、P.325をご覧ください。

1 ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

キャラ電

アクション一覧	1/2
笑う	:1
ラブリー	:#1
怒る	:2
びっくり	:#2
泣く	:3
悲しむ	:#3
ＹＥＳ	:4
オッケー	:#4
ＮＯ	:5
ダメダメ	:#5

詳細　選択

アクション一覧

ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているアクションを表現します。

アクションモードを切り替える場合

機能メニューから「キャラ電設定」－「アクション切替」を選ぶ

「アクション切替」を選ぶたびに「全体アクション」と「パーツアクション」を切り替えることができます。

「全体アクション」とは感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。1～9または#1～#9を押して表現します。

「パーツアクション」とは顔や手足などキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。11～99を押して表現します。

アクションを確認する場合

機能メニューから「キャラ電設定」－「アクション一覧」を選ぶ

操作できるアクションとそのアクションに割り当てられているボタンが表示されます。

（ボタン）でアクションを選んでそのアクションを実行することもできます。

※：＊を押してもアクション一覧を表示できます。

ほかのキャラ電に切り替える場合

機能メニューから「キャラ電設定」－「キャラ電切替」を選ぶ

おしらせ

● 機能メニューから「DTMF送信」を選んだ場合、ダイヤルボタンでプッシュ信号が送信できるようになるため、キャラ電をボタン操作で動かすことができなくなります。機能メニューから「DTMF解除」を選ぶと、キャラ電を再びボタン操作で動かすことができます。
DTMFについて→P.338

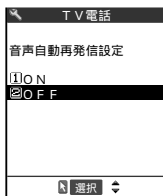
テレビ電話をかけるときの設定をします

テレビ電話がかからなかったときの音声電話への切り替えや、テレビ電話をかけるときの通信速度を設定できます。

テレビ電話がつながらなかったときに自動的に音声電話でかけ直します〈音声自動再発信設定〉

お買い上げ時	OFF

テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末や「デュアルネットワークサービス」(P.285)でムーバ利用中のときなど、テレビ電話を受けられない場合に自動的に音声電話でかけ直すことができます。

1 ▶   ▶「TV電話」▶「音声自動再発信設定」の順に選ぶ

自動的に音声電話でかけ直す場合

「ON」を選ぶ

音声電話でかけ直さない場合

「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、音声通話料になります。
- 再発信が行われたとき、「発信履歴」には最後の発信だけが1件として記憶されます。
- テレビ電話にいったん接続されると、音声電話への再発信は行いません。
- 音声自動再発信設定を「ON」に設定している場合でも、相手が電波の届かない場所にいるときや話し中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

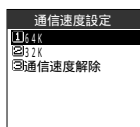
テレビ電話をかけるときの通信速度を設定します

テレビ電話をかけるたびに、通信速度を設定できます。

- FOMA端末どうしでテレビ電話を利用する場合は、「64K」の通信速度で接続することをおすすめします。
- テレビ電話を終了すると、通信速度の設定は「64K」に戻ります。

1 電話番号を表示した画面で機能メニューから「通信速度設定」を選ぶ

電話帳から電話番号を表示させた画面の場合、機能メニューから「電話帳便利機能」を選んで「通信速度設定」を選ぶ

2 通信速度を選ぶ

64K：「64K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。
32K：「32K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。

設定した通信速度を解除する場合

「通信速度解除」を選ぶ

3 を押してテレビ電話をかける

設定した通信速度でテレビ電話をかけます。

おしらせ

- 通信速度によってデジタル通信料は変わりません。
- 電話帳の電話番号やグループごとに通信速度を設定することもできます。→P.120

相手側に送信する映像について設定します

テレビ電話中に相手に送信する映像などについて設定できます。

送信する映像を拡大します

テレビ電話中に自分側の映像を拡大して相手側に送信できます。

- 内側カメラの映像を送信している場合は約2倍（2段階）まで、外側カメラの映像を送信している場合は約4.2倍（16段階）まで拡大できます。
- テレビ電話中は内側カメラと外側カメラの切替などを行っても、それぞれのズームの倍率を保持します。テレビ電話を終了すると、ズームは標準に戻ります。
- 代替画像を送信中のときは画像を拡大できません。
- 相手側の映像を拡大することはできません。

1 テレビ電話中にを押してZOOM（ズーム）バーを表示する

2 拡大する倍率を調節する

倍率を高くする場合

を押す

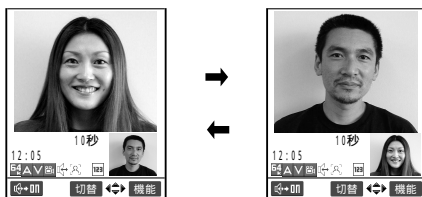
倍率を低くする場合

を押す

相手側と自分側のカメラ映像を切り替えます

お買い上げ時	親画面：相手側のカメラ映像　子画面：自分側のカメラ映像

テレビ電話中に親画面を自分側のカメラ映像、子画面を相手側のカメラ映像に切り替えることができます。相手に送信している映像を親画面で確認したい場合などに便利です。

1 テレビ電話中に機能メニューから「親画面自局表示／親画面対局表示」を選ぶ

「親画面自局表示／親画面対局表示」を選ぶたびに親子画面の映像を切り替えることができます。

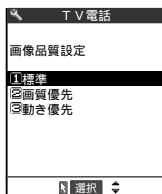
送受信する映像の画質を設定します

お買い上げ時	標準

相手に送信する映像と相手から受信する映像について、画質を重視するか、動きを重視するかを設定できます。

●テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1 ▶   ▶「TV電話」▶「画像品質設定」の順に選ぶ

2 送受信する映像の画質を選ぶ

標準　　：画質、動きともに標準の設定です。

画質優先：きめ細やかな映像で送受信します。動きが少ない場合に有効です。

動き優先：動きが滑らかな映像で送受信します。動きが多い場合に有効です。

おしらせ

●テレビ電話中に機能メニューから「TV電話設定」－「画像品質設定」を選んで設定することもできます。ただし、テレビ電話を終了すると、本機能の設定に戻ります。

発信時に相手側にカメラ映像を送信するかどうか設定します

お買い上げ時	ON

テレビ電話をかけるとき、相手に送信する映像をカメラ映像にするか、代替画像にするかを設定できます。

●テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1 ▶「TV電話」▶「発信時自画像送信設定」の順に選ぶ

カメラ映像を送信する場合
「ON」を選ぶ

代替画像を送信する場合
「OFF」を選ぶ

おしらせ

●本機能の設定にかかわらず、テレビ電話中にカメラ映像と代替画像を切り替えることができます。
●送信する代替画像は「画像選択」で変更できます。

テレビ電話中に送信する画像について設定します

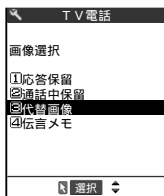
お買い上げ時	応答保留、通話中保留、伝言メモ：内蔵　代替画像：キャラ電

カメラ映像の代わりに送信する画像を設定できます。

●本機能で設定できる画像は、VGAサイズ（640×480ドット）以下のJPEGファイルです。ただし、メール（大）サイズ（176×144ドット）以上の大きさの画像を設定した場合は、メール（大）サイズ（176×144ドット）に縮小されます。
●テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

<例：代替画像を設定する場合>

1 ▶「TV電話」▶「画像選択」の順に選ぶ

2 「代替画像」を選ぶ

テレビ電話中に自分の映像の代わりに送信する画像について設定します。

応答保留のときに送信する画像を設定する場合

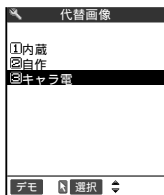
「応答保留」を選ぶ

通話中保留のときに送信する画像を設定する場合

「通話中保留」を選ぶ

伝言メモの起動中に送信する画像を設定する場合

「伝言メモ」を選ぶ

3 送信する画像を選ぶ

メッセージのみを送信する場合

「内蔵」を選ぶ

画像とメッセージを送信する場合

「自作」を選ぶ

画像の設定のしかた→『アプリケーション編』のP.301

キャラ電を送信する場合

「キャラ電」を選ぶ

キャラ電プレーヤーの「代替画像設定」で設定されているキャラ電を送信します。

キャラ電プレーヤーについて→『アプリケーション編』のP.324

画像を確認する場合

確認したい項目を反転表示して◐[デモ]を押す

送信されるメッセージについて

送信されるメッセージは次のとおりです。

応答保留の場合　　　：「応答保留中　On Hold」
通話中保留の場合　　：「保留　Holding」
代替画像を送信の場合：「カメラオフ　Camera Off」
伝言メモ起動中の場合：「伝言メモ/Record Msg.　<音声録音中/Voice Only>」

おしらせ

- メール(大)サイズ以上の大きさの画像を縮小表示するとき、縦横比が変わる場合があります。
- 画像の縮小は表示上のみで、元の画像データに影響はありません。
- テレビ電話をかけるときに、ダイヤル入力画面、電話帳、リダイヤル、発信／着信履歴の詳細画面で機能メニューから「TV電話画像選択」を選んで送信する画像を設定することもできます。また、Phone to機能(『アプリケーション編』のP.111)の「TV電話画像選択」を選んで設定することもできます。ただし、テレビ電話を終了すると、本機能の設定に戻ります。
- 代替画像を「キャラ電」に設定していても、カメラの連写モードで撮影中や確認モード画面の表示中にはキャラ電は送信されず、「内蔵」の画像が送信されます。

テレビ電話中に表示される映像について設定します

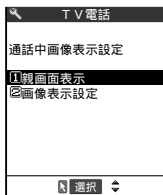
テレビ電話中に表示される映像やバックライトを設定します。

親画面に表示される映像や映像のサイズについて設定します〈通話中画像表示設定〉

お買い上げ時	親画面表示：親画面対局表示　画像表示設定：画面サイズで表示

●テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。また、テレビ電話中に本機能の設定を変更した場合は、その設定が反映されます。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「TV電話」▶「通話中画像表示設定」の順に選ぶ

2 設定する項目を選ぶ

相手側と自分側の映像の表示位置を切り替える場合

「親画面表示」を選ぶ

親画面に表示する映像を相手側（親画面対局表示）にするか自分側（親画面自局表示）にするかを選びます。

映像を表示するサイズを設定する場合

「画像表示設定」を選ぶ

映像を表示するサイズを「画面サイズで表示／等倍表示」から選びます。

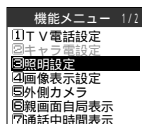
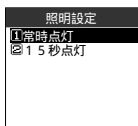
おしらせ

- テレビ電話中に機能メニューから「画像表示設定」を選んで設定することもできます。その場合本機能の設定も変更されます。
- テレビ電話中の画面の動きがなめらかでない場合は、「画像表示設定」を「等倍表示」に設定することをおすすめします。

テレビ電話中のバックライトについて設定します

お買い上げ時	常時点灯

●テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1 テレビ電話中に機能メニューから「照明設定」を選ぶ

設定する項目を選ぶ

テレビ電話中は常に点灯させる場合

「常時点灯」を選ぶ

テレビ電話中の点灯時間を１５秒に設定する場合

「１５秒点灯」を選ぶ

おしらせ

● テレビ電話中は、「ディスプレイ」の「照明設定」(P.183)の設定より本機能の設定が優先されます。

遠隔監視を設定します

お買い上げ時	対局番号登録：無　応答時間設定：5秒　設定：OFF

FOMA端末のカメラ映像を利用して、外出先から室内のペットの様子などを確認したり、工場現場や操業状況の管理などを離れた場所から確認したりできます。遠隔監視できるのは3G-324M（P.87）に準拠したテレビ機能を持つ電話機とFOMA端末間、およびFOMA端末どうしです。本FOMA端末は、遠隔監視の発信側としても着信側としても利用できます。

●遠隔監視を受ける側が監視する側の電話番号をあらかじめ登録していて、遠隔監視設定が「ON」に設定されている場合のみ、遠隔監視を行うことができます。

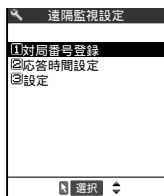
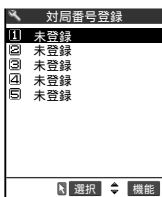
着信側の準備をします

遠隔監視を受ける側（着信側）で、発信側の電話番号（対局番号）や遠隔監視を開始するまでの時間（応答時間）を設定します。

●対局番号は5件まで登録できます。
●「マナーモード」または「ドライブモード」に設定中は遠隔監視を受けることはできません。

1 Menu▶各種設定▶「TV電話」▶「遠隔監視設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

2 「対局番号登録」を選ぶ

3 〈未登録〉の項目を選ぶ

すでに登録されている対局番号を変更する場合

変更したい対局番号を選ぶ

「電話帳」、「発信履歴」、「着信履歴」から入力する場合

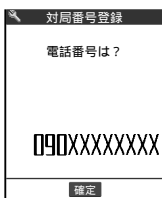
機能メニューから「宛先参照入力」を選んで項目を選ぶ

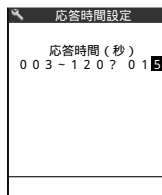
対局番号を1件削除する場合

削除したい対局番号を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

対局番号をすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

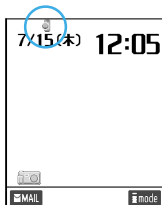
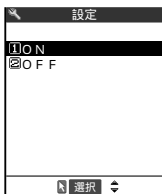
4 対局の電話番号を入力する

入力すると対局番号の一覧画面に戻ります。CLRを押して遠隔監視設定画面に戻ってください。

5 「応答時間設定」を選び応答時間(003～120秒)を入力する

時間は3桁で入力します。3桁の時間を入力すると、応答時間が設定されます。

表示されている時間をそのまま設定する場合

時間を入力しないで●[確定]を押す

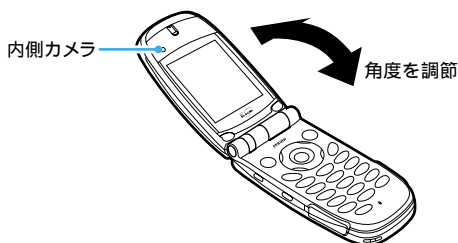
遠隔監視設定画面で「設定」を選び「ON」を選ぶ

➡

遠隔監視が設定され、待受画面に「 」が表示されます。

遠隔監視を受けない場合

「OFF」を選ぶ

7 FOMA端末を設置する

遠隔監視は内側カメラの映像を発信側に送信します。
着信側のFOMA端末は電源を入れて開いた状態にしたまま設置してください。
閉じたまま設置した場合は、遠隔監視着信は無効となり、着信を拒否します。

おしらせ

- ●「伝言メモ」や「オート着信」の呼出時間と同じ時間には設定できません。
- ●着信側の「転送でんわサービス」の応答時間が、遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていると「転送でんわ」が優先されます。遠隔監視を優先させるには、「転送でんわサービス」より短い応答時間に設定してください。
- ●遠隔監視設定を「ON」に設定したあとで対局電話番号をすべて消去すると、「設定」は「ON」のままとなり、「 」の表示も残りますが、遠隔監視を行うことはできなくなります。

遠隔監視を行います

着信側のFOMA端末にテレビ電話をかけて、着信側のカメラ映像を確認します。

- ●遠隔監視を行うには、必ず着信側で対局番号として登録されたFOMA端末から電話番号を通知してテレビ電話をかけてください。
- ●着信側では発信側の映像は表示されず音声も流れません。
- ●遠隔監視中、着信側のFOMA端末では送信する画像を代替画像に切り替えることはできません。
- ●着信側が「マナーモード」または「ドライブモード」に設定中は、遠隔監視はできません。

1 着信側へテレビ電話をかける

着信側

着信側で設定した応答時間経過後、遠隔監視がはじまります。
発信側では着信側の映像が表示され、音声が流れます。 [ ] を押してハンズフリーに切り替えると、着信側の音声をスピーカから流すことができます。スイッチ付イヤホンマイク（別売品）を利用している場合は、ハンズフリーに切り替えることなく、着信側の音声をイヤホンから聞くことができます。

着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話に出る場合

応答時間が経過する前に、カメラ映像で出る場合は を、代替画像で出る場合は を押す

おしらせ

- オールロック設定中でも、遠隔監視設定で登録した電話番号からの着信は受けられます。
- 電話番号を通知しない場合は、遠隔監視にならずテレビ電話着信となります。
- 着信側で対局番号以外の電話番号に「指定着信許可」が設定されている場合、または対局番号の電話番号に「指定着信拒否」が設定されている場合は、着信が拒否され、遠隔監視はできません。
- 遠隔監視設定と次の機能を同時に設定した場合は、遠隔監視ができなくなります。
  ・ドライブモード　・マナーモード　・指定着信拒否／許可　・登録外着信拒否
- 遠隔監視設定と伝言メモを同時に設定した場合は、伝言メモの呼出時間が遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていても、遠隔監視が優先されます。
- スイッチ付イヤホンマイク（別売品）を接続している場合は、「イヤホン切替」の設定にかかわらず着信音はイヤホンとスピーカから鳴ります。
- 着信音は遠隔監視専用の着信音となり、変更できません。
- 着信音は「着信音量」で設定した音量で鳴ります。ただし、「消去」や「レベル1」、「ステップトーン」に設定している場合は「レベル2」の音量で鳴ります。
- 遠隔監視の着信時は、「着信イルミネーション」の設定にかかわらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
- 遠隔監視の着信中に応答保留にすることはできません。[PWR HLD]を押すと電話は切れます。
- 着信側で遠隔監視設定を「ON」に設定している場合、対局番号に登録された電話番号からのテレビ電話の着信は、遠隔監視の着信履歴として記憶されます。遠隔監視が実行されなかった場合、「着信履歴」（P.151）には遠隔監視の「不在着信履歴」として記憶されます。
- 遠隔監視中に着信側のFOMA端末を折り畳むと、「クローズ動作設定」の設定に従って次のような動作となります。
  ・保留　　：発信側に通話中保留画像を送信します。
  ・ミュート：発信側に代替画像を送信します。
  ・終話　　：遠隔監視を終了します。
  ただし、スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合は、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず代替画像が表示されます。
- 遠隔監視中は発信側、着信側のどちらも音声電話やテレビ電話を受けることはできません。遠隔監視中に音声電話やテレビ電話の着信があると、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 遠隔監視中は発信側や着信側でメッセージリクエスト／フリーやiモードメールは受信されず、iモードセンターでお預かりします。遠隔監視終了後、「iモード問い合わせ」（『アプリケーション編』のP.104、P.180）を行って受信してください。ただし、遠隔監視中でもSMSは受信できます。
- 卓上ホルダに三脚を取り付けると、FOMA端末を固定して遠隔監視できます。

遠隔監視を終了します

1 **[PWR HLD]を押す**

通信時間が表示された後、遠隔監視が終了します。
着信側で[PWR HLD]を押しても遠隔監視が終了します。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末(本体)の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の2種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

FOMA端末(本体)とFOMAカードの電話帳の違い

登録内容

FOMA端末(本体)の電話帳とFOMAカードの電話帳の登録内容は次のとおりです。

登録内容	FOMA端末(本体)の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数※1	最大700件まで登録可能です。	50件まで登録可能です。
名前の登録方法	姓と名に分けて登録します。	姓と名を合わせて登録します。
グループ※2	グループ00～19に分類可能です。	グループ00～10に分類可能です。
電話番号の登録※3	1つの電話帳につき4件まで、電話帳全体で700件まで登録可能です。相手の携帯電話の電話番号や会社の電話番号などを1つの電話帳として登録できます。	1つの電話帳に1件登録可能です。
	「」「」のような24種類のアイコンを選択して登録できます。相手の「携帯電話の電話番号」「会社の電話番号」などが一目で区別できます。	アイコンの選択はできません。「」が自動的に登録されます。
メールアドレスの登録	1つの電話帳につき3件まで、電話帳全体で700件まで登録可能です。相手の自宅のメールアドレスや会社のアドレスなどを1つの電話帳として登録できます。	1つの電話帳に1件登録可能です。
	「」「」のような5種類のアイコンを選択して登録できます。相手の「自宅のメールアドレス」「会社のメールアドレス」などが一目で区別できます。	アイコンの選択はできません。「」が自動的に登録されます。
画像の登録	1つの電話帳につき静止画1件、動画1件登録可能です。それぞれ電話帳全体で100件まで登録可能です。	―
その他のデータの登録	1つの電話帳につき郵便番号、住所、メモをそれぞれ1件登録可能です。相手の電話番号やメールアドレスと一緒に1つの電話帳として登録できます。	―

※1：各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。
※2：「グループ01」～「グループ19」(FOMAカードの電話帳では「グループ01」～「グループ10」)のグループ名は変更できます。あらかじめお好きなグループ名に変更しておくと便利です。→P.128
※3：電話番号には0～9、#、*、pを入力できます。サブアドレス(P.150)を利用する場合は、*を入力してください。

FOMA端末(本体)の電話帳の特徴

FOMA端末(本体)の電話帳に登録すると、次のような便利な機能が使えます。

・メモリ番号「000」～「009」に指定すると、ボタン操作2つで電話をかけられる「ツータッチダイヤル」を利用できます。→P.110

・着信時や発信時の設定を電話番号やメールアドレスごと、グループごとに設定できる「電話帳便利機能」、「グループ便利機能」を利用できます。→P.120

・電話番号ごとに発信や着信を制限する「電話帳指定設定」を利用できます。→P.141

・知られたくない電話帳を「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録できます。→P.201

・「シークレットコード」を設定できます。→P.127

FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示について

音声電話、テレビ電話

電話番号を電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。

また、電話帳に静止画または動画が登録されていて、「電話帳画像着信設定」(P.181)が「ON」に設定されている場合は、その画像が表示されます。

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

iモードメール、SMS

iモードメールのアドレスを電話帳に登録した相手からのiモードメール、または電話番号を電話帳に登録した相手からのSMSは、受信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。その相手にiモードメールまたはSMSを送信した場合も、送信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。
また、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」にも相手の名前が表示されます。

おしらせ

- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳の場合、名前は表示されずに電話番号やメールアドレスのみが表示されます。
- 「指定発信制限」(P.141)の設定中は、「指定発信制限」に指定されていない電話番号の場合、名前が表示されずに電話番号のみが表示されます。
- 同じ電話番号またはメールアドレスで名前が異なる複数の電話帳を登録した場合は、フリガナの検索順(P.116)で先に表示される電話帳の名前が表示されます。

電話帳に登録します

- 「姓」または「名」は必ず入力してください。どちらも入力していない場合は電話帳の登録ができません。

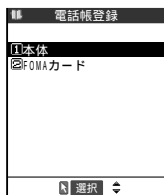
FOMA端末(本体)に電話帳を登録します

1

▶「電話帳登録」の順に選ぶ

2 「本体」を選ぶ

電話帳を利用する

FOMA端末で使用できる電話帳・電話帳登録

3 姓を入力する

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字で入力します。
姓と名を合わせて全角で16文字、半角で32文字まで登録できます。
姓を入力しないで名のみ入力することもできます。
文字の入力のしかた→P.298

4 姓のフリガナを確認する

フリガナが間違っていた場合

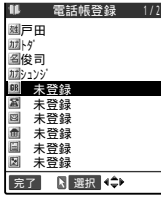
カタカナ、英字、数字、記号で修正します。
姓と名を合わせて半角で32文字まで登録できます。
「電話帳検索」(P.116)のフリガナ検索では、ここで登録した姓のフリガナと名のフリガナの組み合わせによって検索します。

5 名を入力する

姓と同じように入力します。
名を入力しないで姓のみ入力することもできます。

6 名のフリガナを確認する

フリガナが間違っていた場合は、姓のフリガナと同じように修正します。

7 それぞれの項目を設定する

グループ：登録するグループを「00」～「19」から選びます。グループを選ばない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。

電話番号：電話番号を入力してアイコンを選びます。電話番号は26桁まで入力できます。
1件目の電話番号を登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選ぶと電話番号を追加登録できます。
一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。

メールアドレス
：メールアドレスを入力してアイコンを選びます。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
1件目のメールアドレスを登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選ぶとメールアドレスを追加登録できます。
文字の入力のしかた→P.298

住所：郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などを入力でき、全角で46文字、半角で93文字まで入力できます。

メモ：メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。

静止画：着信時に表示される静止画を「イメージビューア」に保存されているデータから選びます。
静止画の選びかた→『アプリケーション編』のP.294

動画：着信時に表示される動画を「ムービープレーヤー」に保存されているデータから選びます。
動画の選びかた→『アプリケーション編』のP.308

メモリ番号
：メモリ番号は電話帳の登録時に自動的に割り当てられますが、000～699の範囲でお好きな番号に変更できます。

8 [完了]を押して電話帳を登録する

ツータッチダイヤル

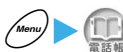
メモリ番号を「000」～「009」に登録すると、0から9のうちの1つを押してまたは●[発信]（テレビ電話の場合は）を押すだけですばやく電話をかけることができます。

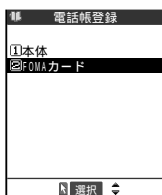
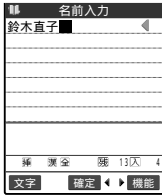
おしらせ

- 姓、名に「ヮ（全角小文字）」を入力した場合、フリガナは「ﾜ（半角大文字）」と表示されます。記号や絵文字を入力した場合は、フリガナに反映されません。また、区点コードで入力した文字はスペースに置き換わります。ただし、区点コードで入力した文字が半角にもある場合（カタカナや英字など）は、フリガナに反映されます。
- 姓、名を入力して(●)［確定］を押した後に再度入力（修正）した場合、その文字はフリガナに反映されません。
- 記号、絵文字を使って登録された電話帳は、メモリ転送などを行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@（アットマーク）よりあとの文字のことです。
  （例）docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
  ドメイン名まで正しく登録しないと次の機能が利用できません。
  - 電話帳便利機能、グループ便利機能→P.120
  - メールの送信元の名前表示→『アプリケーション編』のP.150
  - 受信したメールの自動振り分け→『アプリケーション編』のP.203
  - 顔が見えるメール→『アプリケーション編』のP.151
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。
- 電話帳に登録した静止画や動画の元のデータが変更されたり、削除された場合は、電話帳の静止画や動画も同じように変更、削除されます。
- 登録した静止画や動画を着信時に表示させるには、「電話帳画像着信設定」（P.181）を「ON」に設定してください。
- 登録した静止画や動画が電話帳の詳細画面の画像表示エリアより大きい場合は、縦横同比率で縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。
- 静止画や動画を登録した電話帳の電話番号から着信があったとき、登録した静止画や動画が「画面表示設定」（P.177）の「電話着信」の画像表示エリアより大きい場合は、縦横同比率で縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。

FOMAカードに電話帳を登録します

- 「名前」は必ず入力してください。「名前」を入力していない場合は電話帳の登録ができません。

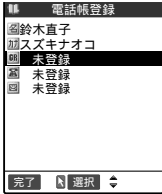
1

「電話帳登録」の順に選ぶ

2 **「FOMAカード」を選ぶ**

3 名前を入力する

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。
名前は全角で10文字、半角英数字(一部の半角記号を含む)で21文字まで登録できます。
文字の入力のしかた→P.298

4 フリガナを確認する

フリガナが間違っていた場合

全角のカタカナ、英字、数字、記号で修正します。
フリガナは全角で12文字、半角英数字(一部の半角記号を含む)で25文字まで登録できます。
「電話帳検索」(P.116)のフリガナ検索では、ここで登録した名前のフリガナによって検索します。

5 それぞれの項目を設定する

グループ：登録するグループを「00」〜「10」から選びます。グループを選ばない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。

電話番号：電話番号を入力します。電話番号は青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。
一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。

メールアドレス
：メールアドレスを入力します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.298

6 [完了]を押して電話帳を登録する

おしらせ

- 名前に「ゥ(全角小文字)」を入力した場合、フリガナは「ウ(全角大文字)」と表示されます。ただし、フリガナ入力で「ゥ(全角小文字)」を入力することはできます。記号を入力した場合は、フリガナに反映されません。また、区点コードで入力した文字はスペースに置き換わります。ただし、区点コードで入力した文字が半角にもある場合(カタカナや英字など)は、フリガナに反映されます。
- 姓、名を入力して◉[確定]を押した後に再度入力(修正)した場合、その文字はフリガナに反映されません。
- 記号を使って登録された電話帳は、メモリ転送などを行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@(アットマーク)よりあとの文字のことです。
  (例)docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
  ドメイン名まで正しく登録しないと次の機能が利用できません。
  ・メールの送信元の名前表示→『アプリケーション編』のP.150
  ・受信したメールの自動振り分け→『アプリケーション編』のP203
  ・顔が見えるメール→『アプリケーション編』のP151
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。

電話やメールの履歴から電話帳に登録します

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」から電話帳に登録したり、電話番号をダイヤルしてから電話帳に登録できます。

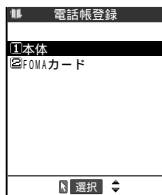
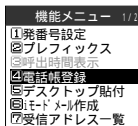
- すでに登録してある電話帳に追加登録する場合は、登録してある電話帳を検索して呼び出してから登録できます。

<例:「着信履歴」からFOMA端末(本体)の電話帳に追加登録する場合>

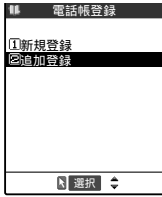
1 登録する電話番号の着信履歴画面を表示する

着信履歴の表示のしかた→P.151

2 機能メニューから「電話帳登録」ー「本体」を選ぶ

➡

FOMAカードに登録する場合

「FOMAカード」を選ぶ

3 「追加登録」を選んで登録する電話帳を検索する

電話帳の検索のしかた→P.116

新規に登録する場合

「新規登録」を選ぶ

FOMAカードの場合

「新規登録」か「上書き登録」を選ぶ

4 電話帳の詳細画面を表示して◉[選択]を押す

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。

電話帳の修正のしかた→P.119

5 修正が終わったら◐[完了]を押す

上書きするかどうかのメッセージが表示された場合

「YES」を選ぶ

おしらせ

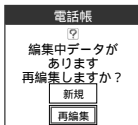
- 「発信履歴」、「リダイヤル」に表示される発番号設定の情報(「通知」/「非通知」)は、電話帳には登録されません。
- 返信不可の受信アドレスは電話帳に登録できません。

編集を中断した電話帳があるとき

電話帳の編集中に「電池切れアラーム」が鳴った場合や、マルチタスク(P.265)を利用してツールグループのタスクを新たに起動した場合は、電話帳の編集が中断されます。このとき、編集中の電話帳は自動的に編集中データとして一時保存されます。編集中データを呼び出して、編集を再開してください。

1 Menu ▶ 電話帳 ▶「電話帳登録」の順に選ぶ

2 「本体」または「FOMAカード」を選ぶ

3 「再編集」を選ぶ

中断した電話帳の編集を再開できます。
編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

新規に登録する場合

「新規」を選ぶ

おしらせ

- 編集中データとして一時保存されるのは最新の1件のみです。
- 電話帳の編集中に音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、編集中の電話帳のデータはそのままで電話に出ることができます。
  音声通話中の場合は、MULTIを押してタスクメニューを表示させて、編集中の項目を選ぶと電話帳の編集画面に戻ることができます。また、音声電話やテレビ電話が終了すると、元の編集画面に戻ります。

お願い

- お買い上げ後、はじめてお使いになるときや、約1ヶ月以上電池パックを外した状態および空の状態では、内蔵のバックアップ電池を充電する必要があります。FOMA端末に電池パックを付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。
- 「電話帳」に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、データリンクソフト（『アプリケーション編』のP.470）やminiSDメモリーカード（『アプリケーション編』のP.357）を利用して保管されることをおすすめいたします。FOMA端末（本体）の電話帳の登録内容は電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月間は保持しますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう可能性があります。また、FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。
- 当社窓口にて新機種にコピーできるのは「1つ目の電話番号」「カナ・漢字氏名」「グループ設定」「1つ目のメールアドレス」「ブックマーク」「シークレット設定」です。なお、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
  万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、データリンクソフト（『アプリケーション編』のP.470）をご利用いただくことにより、電話帳の内容をパソコンへ転送・保管していただくことができます。

電話帳を検索します

登録した電話帳は、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行（アカサタナ順）の7つの検索方法で呼び出すことができます。

●シークレットデータとして登録した電話帳は、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」にしないと呼び出せません。

●呼び出した電話帳から電話をかけることができます。

検索結果の表示について

メモリ番号検索以外は電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、次の順で検索してその結果を表示します。

50音［フリガナの先頭がスペースからはじまるもの、ア、ァ、イ、ィ・・・・・・・・・ン］

⬇

アルファベット［A、a、B、b・・・・・・・・・Z、z］

⬇

数字［0・・・・・・・・・9］

⬇

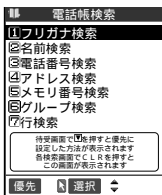
記号

⬇

フリガナが登録されていないもの

1 ▶「電話帳検索」の順に選ぶ

○を押してから「電話帳検索」を選ぶか、○を押しても電話帳検索画面を表示することができます。

2 検索する方法を選ぶ

優先して表示する検索方法を設定する場合

優先して表示したい検索方法を反転表示して◐［優先］を押す

次回検索するときに、待受画面表示中に○を押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

検索方法の優先設定を解除する場合

◐［解除］を押す

3 電話帳を検索する

フリガナ検索の場合

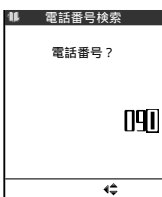
フリガナの一部を入力してから◯または◯を押す

フリガナは姓、名の順で先頭から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。

文字の入力のしかた→P.298

名前検索の場合

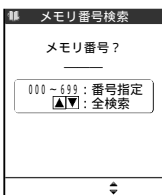
名前の一部を入力してから◯または◯を押す

名前（姓、名の順で）は先頭から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。

電話番号検索の場合

電話番号の一部を入力してから◯または◯を押す

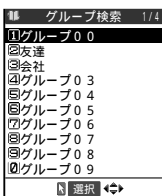
最初の数桁または途中の数桁を入力しても検索できます。

メールアドレス検索の場合

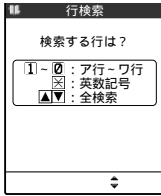
メールアドレスの一部を入力してから◯または◯を押す

メモリ番号で検索の場合

3桁のメモリ番号を入力する

FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。

グループ検索 1/4
1グループ００
2友達
3会社
4グループ０３
5グループ０４
6グループ０５
7グループ０６
8グループ０７
9グループ０８
0グループ０９
選択

グループ検索の場合

目的のグループを選ぶ

FOMAカードの電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のグループとは別グループになります。

行（アカサタナ順）検索の場合

検索したい行に対応するボタンを押す

1：フリガナの頭文字が「ア行」のみ表示
2：フリガナの頭文字が「カ行」のみ表示
3：フリガナの頭文字が「サ行」のみ表示
4：フリガナの頭文字が「タ行」のみ表示
5：フリガナの頭文字が「ナ行」のみ表示
6：フリガナの頭文字が「ハ行」のみ表示
7：フリガナの頭文字が「マ行」のみ表示
8：フリガナの頭文字が「ヤ行」のみ表示
9：フリガナの頭文字が「ラ行」のみ表示
0：フリガナの頭文字が「ワ」「ヲ」「ン」のみ表示
※：その他を表示

検索が終了すると、検索条件を満たした電話帳が一覧で表示されます。FOMAカードに登録されている電話帳は、検索結果の一覧画面で「」が表示されます。
検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合は、データがないことを通知するメッセージが表示されます。

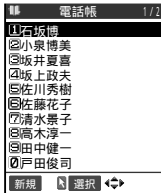
登録されているすべての電話帳を一覧で表示する場合

検索条件を入力せずにまたはを押す
ただし、検索方法が「グループ検索」の場合は、すべての電話帳を一覧で表示できません。

一覧画面から電話をかける場合

電話をかける電話帳を反転表示してまたはを押す
を押すと音声電話が、を押すとテレビ電話がかかります。反転表示した電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

目的の電話帳を選ぶ

➡

電話帳の詳細画面が表示されます。

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

を押すと、電話番号の表示を切り替えることができます。

電話帳の詳細画面から電話をかける場合

電話をかける電話番号を表示してまたはを押す
を押すと音声電話が、を押すとテレビ電話がかかります。

おしらせ

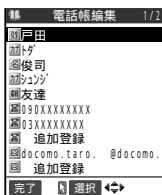
● 優先して表示する検索方法を設定しない場合はを押すと電話帳検索画面が表示され、最後に操作したとき選んだ検索方法が反転表示されます（ラストワン機能）。

電話帳を修正します

電話帳の登録されている内容を修正します。
修正した内容を新しい電話帳として登録することもできます。

1 修正したい電話帳の詳細画面を表示して◐[編集]を押す

電話帳の検索のしかた→P.116

2 それぞれの項目を修正する

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。
電話帳の登録のしかた→P.108

新しいメモリ番号に登録する場合

「No」を選んで電話帳が登録されていないメモリ番号(000〜699)を入力する
修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

3 修正が終わったら◐[完了]を押して「YES」を選ぶ

FOMAカードの場合

◐[完了]を押したあと「上書き登録／追加登録」を選ぶ
「上書き登録」を選ぶと、修正した内容で登録します。
「追加登録」を選ぶと、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は電話帳を修正できません。
- シークレットデータの電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと修正できません。

電話帳便利機能／グループ便利機能

電話帳やグループごとに着信を区別します

お買い上げ時	すべて解除

電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定できます。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。
設定できる機能は次のとおりです。

目的			機能名	参照ページ
着信時	誰からの電話かを、音や画像などでわかるようにしたい場合	着信音で区別※1	音声／TV電話着信音	P.163
		着信ランプの点滅色で区別※1	着信イルミネーション	P.185
		画像で区別	着信イメージ	P.177
	伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えたい場合※2		応答メッセージ	P.84
	誰からのメールかを、音などでわかるようにしたい場合	着信音で区別	メール着信音	P.163
		着信ランプの点滅色で区別	メールイルミネーション	P.185
発信時	テレビ電話をかけるときの通信速度を、相手によって区別したい場合		通信速度設定	P.95

※1 ：64Kデータ通信の着信時も区別できます。
※2 ：あらかじめ「伝言メモ」(P.84)を「ON」に設定しておく必要があります。

- FOMA端末(本体)の電話帳に登録されているすべての電話番号とメールアドレス、および「グループ00」を除くすべてのグループに設定できます。
- FOMAカードに登録された電話帳およびグループには設定できません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。
- 相手が電話番号を通知してこない場合、電話帳便利機能およびグループ便利機能は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。→P.284

電話番号やメールアドレスに着信や発信の設定をします

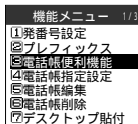
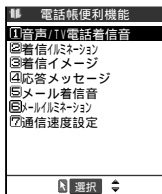
電話帳に登録されている電話番号やメールアドレスに着信時や発信時の便利機能を設定する方法は共通です。

1 設定したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた→P.116

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

　を押して設定したい電話番号を表示する

2 機能メニューから「電話帳便利機能」を選ぶ

3 設定したい機能を選んでそれぞれの内容を設定する

設定した機能には「★」がつきます。

設定されている機能を解除する場合

「★」がついている機能を選ぶ

機能が解除されて「★」が消えます。

電話帳便利機能を設定すると

電話帳の詳細画面に設定されている便利機能を示すアイコンが表示されます。

：「音声／TV電話着信音」が設定されていることを示します。
：「着信イルミネーション」が設定されていることを示します。
：「着信イメージ」が設定されていることを示します。
：「応答メッセージ」が設定されていることを示します。
：「メール着信音」が設定されていることを示します。
：「メールイルミネーション」が設定されていることを示します。
64k ：「通信速度設定」が「64K」に設定されていることを示します。
32k ：「通信速度設定」が「32K」に設定されていることを示します。

おしらせ

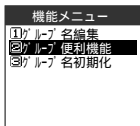
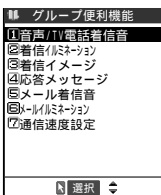
- 電話番号やメールアドレスを変更すると、本機能の設定は解除されます。
- 設定した項目を変更する場合は、現在の設定を解除してから行ってください。

グループごとに着信や発信の設定をします

電話帳のグループに着信時や発信時の便利機能を設定する方法は共通です。

1

▶「グループ設定」の順に選ぶ

2 設定したいグループを反転表示して機能メニューから「グループ便利機能」を選ぶ

3 設定したい機能を選んでそれぞれの内容を設定する

設定した機能には「★」がつきます。

設定されている機能を解除する場合

「★」がついている機能を選ぶ

機能が解除されて「★」が消えます。

おしらせ

- 複数のグループに同じ電話番号やメールアドレスが登録されている場合は、行検索の検索順（P.116）で先に呼び出される電話番号やメールアドレスのグループの設定が優先されます。
- 「シークレットモード」または「シークレット専用モード」で登録した電話帳（シークレットデータ）と普通の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができます。ただし、シークレットデータとして登録している相手からの着信では、本機能の設定は無効になります。
- 設定した項目を変更する場合は、現在の設定を解除してから行ってください。

設定が重なったときの動作の優先順位

電話帳便利機能／グループ便利機能の設定がほかの機能の設定と重なった場合や、それぞれ異なる設定をしているメールやメッセージリクエスト／フリーを同時に受信したときの動作は次のようになります。

着信の設定が重なった場合の着信ランプの動作

優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
①電話帳便利機能の着信イルミネーション設定
②グループ便利機能の着信イルミネーション設定
③着信イルミネーション設定

着信の設定が重なった場合の着信音動作

優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
①電話帳便利機能の着信音
②グループ便利機能の着信音
③着信音選択

着信の設定が重なった場合の着信画像の表示動作

優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。
①電話帳登録画像のiモーション
②電話帳便利機能の着信イメージ
③グループ便利機能の着信イメージ
④電話帳登録画像のイメージ
⑤画面表示設定

通信速度の設定が重なった場合

優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。
① テレビ電話発信時に機能メニューから選んだ通信速度設定
② 電話番号ごとに指定した電話帳便利機能の設定
③ グループごとに設定したグループ便利機能の設定

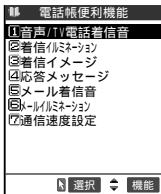
複数のメールやメッセージリクエスト／フリーを同時に受信した場合

	着信音、着信イルミネーションの動作
複数のメールのみを受信	最後に受信したメールに設定されている条件で動作します。
メッセージリクエストとメッセージフリーを同時に受信	メッセージリクエストに設定されている条件で動作します。
メールとメッセージリクエスト／フリーを同時に受信	最後に受信したメールに設定されている条件で動作します。

電話帳便利機能の設定状況を確かめます

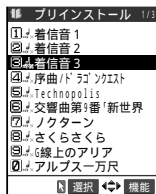
「電話帳便利機能」を設定している電話帳およびグループを各機能ごとに確認できます。また、確認しながらそれぞれの設定を解除することもできます。

1 ▶ ▶**「電話帳便利機能」の順に選ぶ**

2 「★」がついている機能を選ぶ

選んだ機能の項目が表示されます。
本機能が設定されている項目には「★」がついています。

機能の設定をまとめて解除する場合

「★」がついている機能を反転表示して機能メニューから「設定解除」を選ぶ

3 「★」がついている項目を選ぶ

着信音の場合

選んだ項目が設定されている電話帳の名前とグループ名の一覧画面が表示されます。
グループ名の前には「GR」が表示されます。

項目ごとに機能設定をまとめて解除する場合

「★」がついている項目を反転表示して機能メニューから「設定解除」を選ぶ

4 設定されている電話帳およびグループを確認する

電話帳の詳細画面を表示する場合

表示したい電話帳を選ぶ

電話帳に設定されている機能を解除する場合

詳細画面で解除したい電話番号、メールアドレスを選ぶ

グループに設定されている機能を解除する場合

解除したいグループを選ぶ

電話帳に各種機能を設定します

電話帳に発信者番号通知／非通知を設定します ＜発番号設定＞

音声電話やテレビ電話をかけるたびに、相手にお客様の電話番号を通知するかしないかを設定できます。

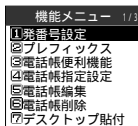
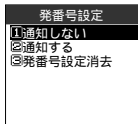
●電話帳に本機能の設定は登録されません。電話をかけるたびに設定してください。本機能を設定しない場合は、「発信者番号通知サービス」(P.283)の設定で電話をかけます。

1 設定したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた→P.116

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

を押して設定したい電話番号を表示する

2 機能メニューから「発番号設定」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

相手に電話番号を通知しない場合

「通知しない」を選ぶ

「非通知」と表示されます。

「186／184」がついた電話番号の場合、「186／184」が削除されます。

相手に電話番号を通知する場合

「通知する」を選ぶ

「通知」と表示されます。

「186／184」がついた電話番号の場合、「186／184」が削除されます。

発番号設定を解除する場合

「発番号設定消去」を選ぶ

「186／184」がついた電話番号の場合、「186／184」が削除され、「発信者番号通知サービス」(P.283)の設定となります。

おしらせ

- 「通知」／「非通知」を設定して電話をかけると、「発信履歴」、「リダイヤル」の情報に「通知」／「非通知」が付加されます。
- 電話番号をダイヤル入力したときや、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」で電話番号を表示させたときも、同じように発番号を設定できます。

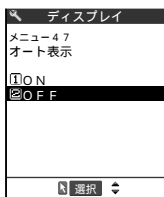
FOMA端末を開くだけで、電話番号を表示するようにします <オート表示>

お買い上げ時	OFF

待受画面表示中に折り畳んだFOMA端末を開くと、指定した電話番号を自動的に表示するように設定できます。(発信キー)を押すだけで、表示された電話番号に音声電話をかけることができます。電話をかけない場合は、(PWR HLD)、(CLR)または(●)を押すと待受画面に戻ります。

- オート表示に指定できる電話番号は1件です。メールアドレスは指定できません。
- FOMAカードに登録された電話帳は指定できません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳は指定できません。
- 各機能の操作中や文字の入力中にFOMA端末をいったん閉じて再度開いた場合、およびシークレット専用モード時は、オート表示に指定した電話番号は表示されません。
- オート表示中に、同じ電話帳に登録されているほかの電話番号を選ぶことはできません。

オート表示機能を有効にします

1 ▶▶「ディスプレイ」▶「オート表示」の順に選ぶ

指定した電話番号をオート表示させる場合
「ON」を選ぶ

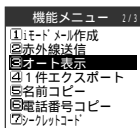
オート表示させない場合
「OFF」を選ぶ

オート表示させる電話番号を指定します

1 **指定したい電話帳の詳細画面を表示する**

電話帳の検索のしかた→P.116

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合
を押して指定したい電話番号を表示する

2 **機能メニューから「オート表示」を選ぶ**

「オート表示」に「★」がつきます。

オート表示の指定を解除する場合
機能メニューから「オート表示★」を選ぶ
指定が解除されて「★」が消えます。

おしらせ

● 次のような場合、本機能の設定は無効になります。
- PIMロック設定中
- オールロック設定中
- シークレット専用モード設定中
- 指定発信制限が設定されている場合
- 音声通話中

メールアドレスにシークレットコードを設定します

シークレットコード(『アプリケーション編』のP.239)を登録している相手にiモードメールを送る場合は、相手のシークレットコードをメールアドレスに添付する必要があります。メールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に添付されます。

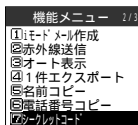
- 電話番号だけを宛先としてiモード端末にiモードメールを送るときのために、電話番号にシークレットコードを設定することもできます。
- メール送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときだけ、シークレットコードが添付されます。ほかのメールアドレスにはシークレットコードを添付できません。
- FOMAカードに登録された電話帳には設定できません。

1 設定したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた→P.116

同じ電話帳に複数の電話番号またはメールアドレスが登録されている場合

を押して設定したい電話番号またはメールアドレスを表示する

2 機能メニューから「シークレットコード」を選んで端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

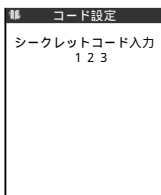
3 「コード設定」を選ぶ

設定したシークレットコードを確認する場合

「コード参照」を選ぶ

設定したシークレットコードを解除する場合

「設定解除」を選ぶ

4 4桁のシークレットコードを入力する

「0000」には設定できません。

電話帳を削除します

登録した電話帳を削除できます。また、電話番号、メールアドレス、住所、メモ、静止画、動画を選んで各項目ごとに削除することもできます。

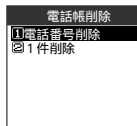
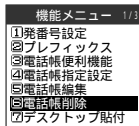
1 削除したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた→P.116

電話番号やメールアドレス、住所、メモ、静止画、動画だけを削除する場合

　[方向キー]を押して削除する項目を表示する

2 機能メニューから「電話帳削除」を選ぶ

➡

電話帳を削除する場合

　「1件削除」を選ぶ

操作1で表示させた項目のみ削除する場合

　削除する項目に合わせて「電話番号削除／メールアドレス削除／住所削除／メモ削除／静止画削除／動画削除」を選ぶ

おしらせ

- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は、電話帳を削除できません。
- シークレットデータの電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと削除できません。

グループ設定

グループ名を変更します

お買い上げ時	FOMA端末(本体)：グループ01～19 FOMAカード：グループ01～10

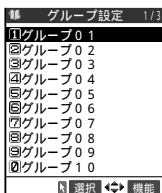
電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、また「野球」や「陶芸」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。
変更できるグループと登録できる文字数は次のとおりです。

	変更できるグループ	登録できる文字数
FOMA端末(本体)	グループ01～グループ19	全角で10文字、半角で21文字
FOMAカード	グループ01～グループ10	全角で10文字、半角で21文字

- 「グループ00」のグループ名は変更できません。
- FOMA端末(本体)の電話帳のグループ01～グループ19には「グループ便利機能」を設定できます。→P.120

グループ名を変更します

1 Menu ▶ 電話帳 ▶「グループ設定」の順に選ぶ

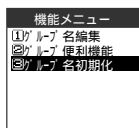
2 名前を変更したいグループを選ぶ

3 グループ名を入力する

FOMAカードのグループには「 」がつきます。
FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名をつけた場合でも、別々のグループとして表示されます。
文字の入力のしかた→P.298

グループ名を初期化します

変更したグループ名を初期化して、お買い上げのときのグループ名に戻します。

1 Menu ▶ 電話帳 ▶「グループ設定」の順に選ぶ

2 初期化したいグループを反転表示して機能メニューから「グループ名初期化」を選ぶ

おしらせ

● グループ名を初期化しても、そのグループに設定した「グループ便利機能」の設定は解除されません。

FOMAカード操作

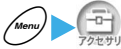
電話帳をFOMAカードに保存します

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりできます。また、FOMA端末(本体)やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。

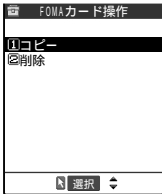
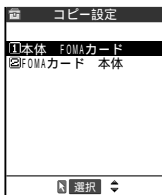
●データのコピー中または削除中は、音声電話やテレビ電話、メールの発信や着信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。
●シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーや削除はできません。
●FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
コピーできる項目や登録件数については、P.106を参照してください。

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間でデータをコピーします

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で電話帳やSMSのデータをコピーします。

●データをコピーしてもコピー元のFOMA端末(本体)やFOMAカードのデータは残ります。
●FOMAカードが差し込まれていない場合は、本機能を利用できません。

1 Menu ▶ アクセサリ ▶「FOMAカード操作」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

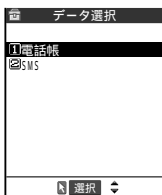
端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができないようになり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード操作を終了します。
端末暗証番号について→P.193

2 「コピー」を選ぶ

3 コピーの方向を選ぶ

FOMA端末（本体）からFOMAカードへコピーする場合

「本体→FOMAカード」を選ぶ

FOMAカードからFOMA端末（本体）へコピーする場合

「FOMAカード→本体」を選ぶ

4 コピーしたい項目を選ぶ

電話帳をコピーする場合

「電話帳」を選ぶ

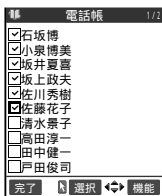
電話帳検索を行い、電話帳の一覧画面を表示させます。

電話帳の検索のしかた→P.116

SMSをコピーする場合

「SMS」を選ぶ

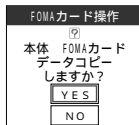
「受信BOX／送信BOX」から選び、SMSの一覧画面を表示させます。

5 コピーしたいデータを選んで◐［完了］を押す

電話帳の場合

6 「YES」を選ぶ

コピーしない場合

「NO」を選ぶ

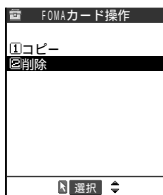
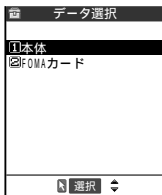
おしらせ

- コピーできないデータがある場合や、電話番号の桁数がFOMAカードに対応していない場合は、コピーするかどうかのメッセージが表示されます。
- データのコピー中に転送先の最大登録(保存)件数を超えた場合は、データがいっぱいであることを通知するメッセージが表示されます。すでに登録(保存)されているデータの中で、不要なものを削除したあと、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2番目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。1番目の電話番号／メールアドレスだけがコピーされ、アイコンが「☎」、「✉」になります。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、以下のように一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。
  - ・FOMA端末(本体)の電話帳をFOMAカードにコピーする場合、絵文字はスペースに変換されます。
  - ・FOMA端末(本体)のSMSをFOMAカードにコピーする場合、「❤」と「☎」以外の絵文字はスペースに変換されます。
  - ・FOMAカードの電話帳をFOMA端末(本体)にコピーする場合、フリガナの「ヮ」(全角小文字)は「ﾜ」(半角大文字)に変換されます。
- ほかのFOMA端末で登録したFOMAカードのデータをコピーする場合、半角英数記号(｡｢｣､･-ﾞﾟ を除く)以外のラテン文字、ギリシャ文字、一部の記号または区点コード一覧にない全角文字はスペースに変換されます。
- SMS report(送達通知)(『アプリケーション編』のP.194)のみのコピーはできません。ただし、送信SMSのSMS reportを受信している場合は、送信SMSをコピーすると送信SMSに保存されたSMS reportもコピーすることができます。
- 電話帳の詳細画面を表示して機能メニューから「FOMAカードへコピー」(FOMAカードの場合は「本体へコピー」)を選んで1件ずつコピーすることもできます。
- SMSの詳細画面を表示するか一覧画面でコピーするSMSを反転表示して、機能メニューから「FOMAカード操作」を選ぶと、1件ずつ移動またはコピーすることができます。→『アプリケーション編』のP.215

電話帳やSMSのデータを削除します

FOMA端末(本体)とFOMAカードのデータを削除します。

1 **Menu ▶ アクセサリ ▶「FOMAカード操作」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

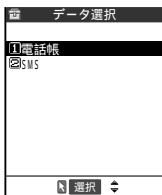
端末暗証番号について→P.193

2 **「削除」を選ぶ**

3 削除したいデータの保存先を選ぶ

FOMA端末（本体）のデータを削除する場合

「本体」を選ぶ

FOMAカードのデータを削除する場合

「FOMAカード」を選ぶ

4 削除するデータを選ぶ

電話帳を削除する場合

「電話帳」を選ぶ

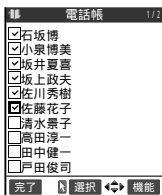
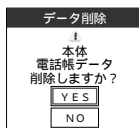
電話帳検索を行い、電話帳の一覧画面を表示させます。

電話帳の検索のしかた→P.116

SMSを削除する場合

「SMS」を選ぶ

「受信BOX／送信BOX」から選び、SMSの一覧画面を表示させます。

5 削除するデータを選んで◐［完了］を押す

6 「YES」を選ぶ

削除しない場合

「NO」を選ぶ

電話帳の登録状況を確かめます

電話帳に登録している件数や登録可能な件数などを確認できます。

1 ▶「電話帳登録件数」の順に選ぶ

電話帳登録件数	
本体	
電話帳	200/700
シークレット	50
静止画	10/100
動画	10/100
追加残	470 630
FOMAカード	
電話帳	30/50

本体(FOMA端末に登録されている電話帳)

電話帳　：電話帳の登録件数を表示します。
登録されている件数/700(登録できる件数)

シークレット　：シークレットデータとして登録されている件数を表示します。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示できます。

静止画　：電話帳に登録されている静止画の件数を表示します。
登録されている件数/100(登録できる件数)

動画　：電話帳に登録されている動画の件数を表示します。
登録されている件数/100(登録できる件数)

追加残 (電話)　：電話番号があと何件登録できるかを表示します。
(メール)　：メールアドレスがあと何件登録できるかを表示します。

FOMAカード(FOMAカードに登録されている電話帳)

電話帳　：電話帳の登録件数を表示します。
登録されている件数/50(登録できる件数)

おしらせ

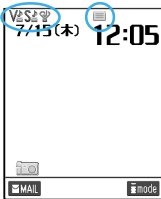
● 本体(FOMA端末)の電話帳の登録件数は、シークレットデータの登録件数も含みます。

マナーモード

電話の音を消します

周囲に迷惑がかからないように、ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカから出る音を鳴らさないように設定できます。

●本機能の設定にかかわらず、静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音／終了音、セルフタイマーの開始音は鳴ります。
●マナーモード設定中は、次の音を振動でお知らせします。
・着信音※
・めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知音※
・FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音
※：「バイブレータ」（P.167）の設定パターンで振動します。「バイブレータ」が「OFF」に設定されている場合は「パターン2」で振動します。
●マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選ぶことができます。→P.136
●マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定した場合、その設定内容によっては音が鳴ります。

待受画面表示中または通話中に#を1秒以上押す

マナーモードが設定されて「」が表示されます。
通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。
マナーモード設定中は「」のほかに、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

V、V、V：「バイブレータ」（P.167）でお知らせすることを示します。
S、S、S：「着信音量」（P.79）を「消去」に設定していることを示します。
〜5：「伝言メモ」（P.84）で録音するように設定していることを示します。数字は録音されている伝言メモの件数を示します。

マナーモードを解除する場合

マナーモードが設定されている状態で、待受画面表示中または通話中に#を1秒以上押す
マナーモードが解除されて「」の表示が消えます。
通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

着信中にマナーモードにします<クイック伝言メモ>

着信中に#または▼[メモ／確認]を押すと、マナーモードに設定され、同時に「伝言メモ」(P.84)へ移り、相手の用件を録音できます。

- 「伝言メモ」が「ON」に設定されていなくても、「伝言メモ」へ移ります。
- マナーモード設定中の動作が「オリジナルマナー」で「伝言メモ」を「OFF」に設定していても、伝言メモに移ります。
- 「伝言メモ」がすでに5件録音されている場合は、「伝言メモ」には移らずに「マナーモード選択」で設定したマナーモード設定中の動作になります。
- 通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。マナーモードを解除するには#を1秒以上押してください。
- 「PIMロック」設定中は、マナーモードに設定しても伝言メモには移りません。

マナーモード選択

マナーモードを変更します

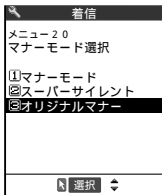
お買い上げ時	マナーモード

マナーモード設定中の動作を選ぶことができます。

●お買い上げのとき、「オリジナルマナー」の動作は次のように設定されています。

- 伝言メモ：OFF
- バイブレータ：ON
- 電話着信音量：消去
- メール着信音量：消去
- めざまし音量：消去
- メモ確認音：ON
- ボタン確認音：OFF
- 通話中マイク感度：アップ
- 低電圧アラーム：OFF

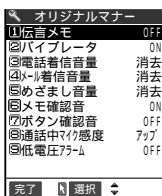
1 ▶▶「着信」▶「マナーモード選択」の順に選ぶ

2 設定する項目を選ぶ

「オリジナルマナー」を選んだ場合は操作3に進んでください。

マナーモード　：スピーカから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ(振動)でお知らせします。
ただし、受話口から鳴る確認音(音声メモやメモの再生／消去で▼[メモ／確認]を押したときの確認音)は消去しません。

スーパーサイレント：スピーカから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ(振動)でお知らせします。

オリジナルマナー　：お客様のお好みによってマナーモード設定中の動作を設定できます。マナーモード設定中に電話がかかってきたときの動作、めざまし時計のアラーム音量などをあらかじめ設定しておくことができます。

3 それぞれの項目を設定する

伝言メモ　　　　：着信中に伝言メモに入る／入らない（ON／OFF）を設定します。
　伝言メモについて→P.84

バイブレータ　　：着信中およびアラーム通知を振動で知らせる／知らせない（ON／OFF）を設定します。
　バイブレータについて→P.167

電話着信音量　　：音声電話とテレビ電話の着信音量を設定します。
　着信音量について→P.79

メール着信音量　：メールやメッセージリクエスト／フリーの着信音量を設定します。
　着信音量について→P.79

めざまし音量　　：めざまし時計のアラーム音量を設定します。
　めざまし時計について→P.213

メモ確認音　　　：「伝言メモ」や「音声メモ」などの確認音を鳴らす／鳴らさない（ON／OFF）を設定します。

ボタン確認音　　：ボタン確認音を鳴らす／鳴らさない（ON／OFF）を設定します。

通話中マイク感度：通話中のマイクの感度をアップする／しない（アップ／標準）を設定します。

低電圧アラーム　：電池切れアラームを鳴らす／鳴らさない（ON／OFF）を設定します。

---

4 [完了]を押してオリジナルマナーを設定する

マナーモードに設定すると

各マナーモードは次のような設定になります。

	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
電池切れアラーム	OFF		「低電圧アラーム」の設定値 「ON」に設定していても、本機能の「電話着信音量」を「消去」に設定している場合は、電池切れアラームは鳴りません。
通話中のマイクの感度※	アップ		「通話中マイク感度」の設定値
音声電話、テレビ電話の着信音量	消去		「電話着信音量」の設定値
メール、メッセージリクエスト／フリーの着信音量	消去		「メール着信音量」の設定値
バイブレータ	ON		「バイブレータ」の設定値
通話中／応答保留音	OFF		「電話着信音量」の設定値 「消去」以外に設定している場合は、小さい音で鳴ります。
伝言メモの起動	OFF		「伝言メモ」の設定値
FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	OFF		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は、一定の音量でなります。
ボタン確認音	OFF		「ボタン確認音」の設定値
めざまし時計のアラーム音量	消去		「めざまし音量」の設定値
スケジュール／ToDoのアラーム音量	消去		「電話着信音量」の設定値
音声メモや伝言メモなどの起動音、終了音	ON	OFF	「メモ確認音」の設定値

※：通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。ただし、「カメラ」の動画撮影時には、マイク感度は「標準」になります。

おしらせ

- マナーモード設定中の動作をバイブレータでお知らせするように設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないようご注意ください。

●応用操作編

呼出時間表示設定

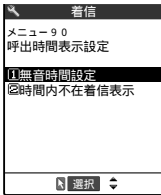
呼び出しを開始するまでの時間を設定します

お買い上げ時	無音時間設定：0秒　時間内不在着信表示：表示する

電話帳に登録されていない電話番号から着信があった場合、着信があった時点から呼び出し動作を開始する（着信を知らせる）までの無音時間を設定します。呼び出し動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示しないように設定できるので、呼出時間が短い迷惑電話などに対して着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

●着信があった時点から「無音時間設定」で設定した時間が経過するまで着信画面は表示されます。それ以外の呼出動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）は行いません。ただし、呼び出しが始まる前に（通話キー）を押すと、電話に出ることができます。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「着信」▶「呼出時間表示設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

呼び出し動作を開始するまでの無音時間を設定する場合

「無音時間設定」を選ぶ

無音時間を0～99秒の範囲で設定します。時間は2桁で入力してください。

呼び出し動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示するかしないかを設定する場合

「時間内不在着信表示」を選ぶ

不在着信履歴の表示を「表示する／表示しない」から選びます。

おしらせ

● 着信を制限する機能を同時に設定したときの優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。
- ・相手が電話番号を通知してきた場合
  - ①迷惑電話ストップサービス
  - ②指定着信拒否／指定着信許可／登録外着信拒否
  - ③ドライブモード
  - ④呼出時間表示設定
- ・相手が電話番号を通知してこなかった場合
  - ①迷惑電話ストップサービス
  - ②非通知着信設定
  - ③ドライブモード
  - ④呼出時間表示設定

電話帳指定設定

電話番号ごとに着信や発信を制限します

お買い上げ時　すべて解除

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限できます。
設定できる機能は次のとおりです。

目的		機能名	機能
発信制限	私用電話を防止する	指定発信制限	指定した電話番号のみ、電話をかけることができます。
着信制限	迷惑電話を防止する	指定着信拒否	指定した電話番号からの電話のみ、受けないようにします。 テレビ電話および64Kデータ通信の着信も有効になります。
		指定着信許可	指定した電話番号からの電話のみ、受けるようにします。 テレビ電話および64Kデータ通信の着信も有効になります。
	特定の電話番号からの電話を転送したり留守番電話にする	指定転送でんわ	「転送でんわ」を「開始」に設定していなくても、指定した電話番号からの電話を自動で転送できるようにします。 転送先を3G-324M（P.87）に準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。
		指定留守番電話	「留守番電話」を「開始」に設定していなくても、指定した電話番号からの電話を自動で留守番電話サービスセンターに接続できるようにします。 テレビ電話がかかってきた場合は、留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話の着信が継続されます。

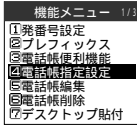
●電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
●FOMAカードに登録されている電話帳には設定できません。
●相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」（P.284）および「非通知着信設定」（P.145）も合わせて設定することをおすすめします。
●同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。
●「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。
●指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、電話帳指定設定の各機能は解除されます。ただし、「指定発信制限」を設定した場合、電話帳の電話番号を変更したり削除することはできません。

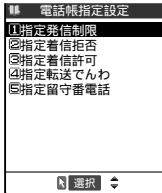
電話番号に発信／着信制限機能を設定します

電話帳に登録されている電話番号に発信制限や着信制限を設定する方法は共通です。

1 **設定したい電話帳の詳細画面を表示する**

電話帳の検索のしかた→P.116

2 機能メニューから「電話帳指定設定」を選んで端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

3 設定したい機能を選ぶ

設定した機能には「★」がつきます。

設定されている機能を解除する場合

「★」がついている機能を選ぶ

機能が解除されて「★」が消えます。

複数の電話番号に発信制限／着信制限の各機能を設定したい場合

CLRを押して電話帳の詳細画面に戻り、方向キーを押して設定したい電話番号を表示させて操作2～3を行う

PWR HLDを押して待受画面に戻ると、電話帳指定設定の追加設定ができなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の電話帳指定設定を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

おしらせ

<指定発信制限>

●指定発信制限を設定すると、電話帳の登録、修正、FOMA端末(本体)とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード操作」での電話帳の操作、および指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。
●指定発信制限を設定すると、「発信履歴」、「リダイヤル」は削除されます。ただし設定後にかけた電話は、「発信履歴」、「リダイヤル」に記憶されます。
●指定発信制限と同時に「オート表示」(P.125)をご利用になる場合は、「オート表示」に指定している電話帳に本機能を設定してください。
●指定発信制限はパソコンなど外部機器からの発信時には無効になる場合があります。
●指定発信制限設定中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)には電話をかけることができます。

<指定着信拒否/指定着信許可>

●指定着信拒否および指定着信許可は相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効になります。「番号通知お願いサービス」(P.284)と「非通知着信設定」(P.145)も合わせて設定することをおすすめします。
●指定着信拒否および指定着信許可は64Kデータ通信(『アプリケーション編』のP.378)の着信時にも有効になります。
●iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
●「PIMロック」(P.204)を設定している場合、指定着信拒否および指定着信許可は無効になります。
●指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」(P.151)には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
●指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」(P.271)や「転送でんわサービス」(P.276)を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合やサービスエリア外、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。

<指定転送でんわ/指定留守番電話>

●「PIMロック」を設定している場合、指定転送電話および指定留守番電話は無効になります。
●指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続します。「着信履歴」(P.151)には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。「キャッチホン」、「着信動作選択」よりも優先して動作しますのでご注意ください。
●転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

電話帳指定設定の設定状況を確かめます

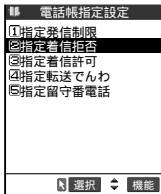
「電話帳指定設定」を設定している電話番号を各機能ごとに確認できます。また、確認しながらそれぞれの設定を解除することもできます。

1 Menu ▶ 電話帳 ▶「電話帳指定設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

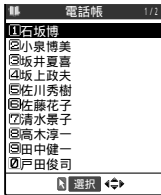
設定されている電話番号がない場合

設定されている電話番号がないことを通知するメッセージが表示されます。

2 「★」がついている機能を選ぶ

選んだ機能が設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。

機能の設定をまとめて解除する場合

「★」がついている機能を反転表示して機能メニューから「設定解除」を選ぶ

3 電話番号を確認したい電話帳を選ぶ

選んだ電話帳の電話番号が表示されます。

電話帳指定設定を解除する場合

解除したい電話番号を選ぶ

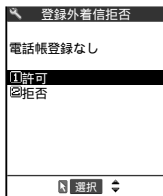
登録外着信拒否

電話帳に登録していない電話番号からの着信を拒否します

お買い上げ時	許可

FOMA端末(本体)およびFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定できます。

●相手が電話番号を通知していない場合、または「PIMロック」を設定している場合、本機能は無効となります。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「登録外着信拒否」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

電話帳に登録されていない電話番号からの着信を許可する場合

「許可」を選ぶ

電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否する場合

「拒否」を選ぶ

おしらせ

- 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」（P.151）には「不在着信履歴」として記憶され、待受画面には「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。
- 着信を制限する機能を同時に設定した場合の優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。
  - ・相手が電話番号を通知してきた場合
    ①迷惑電話ストップサービス
    ②指定着信拒否／指定着信許可／登録外着信拒否
    ③ドライブモード
    ④呼出時間表示設定
  - ・相手が電話番号を通知してこなかった場合
    ①迷惑電話ストップサービス
    ②非通知着信設定
    ③ドライブモード
    ④呼出時間表示設定

非通知着信設定

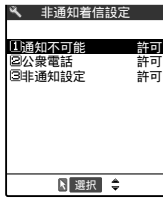
電話番号を通知しない着信を拒否します

お買い上げ時	すべて許可／通常着信音と同じ

電話番号を通知してこない電話番号からの着信拒否を、非通知理由ごとに設定できます。

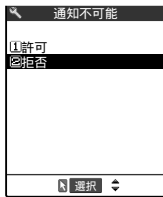
1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「非通知着信設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

2 設定したい非通知理由を選ぶ

通知不可能：海外からの電話や一般電話から各種転送サービスを経た電話など、電話番号を送出することができないネットワークからの電話をつなげる(許可)かつなげない(拒否)かを設定します。
経由する電話会社などにより電話番号が通知される場合があります。

公衆電話 ：公衆電話からかけてきた電話をつなげる(許可)かつなげない(拒否)かを設定します。
NTTの公衆電話からの電話などが「公衆電話」と表示されます。

非通知設定：発信者の意志により電話番号を通知してこない電話をつなげる(許可)かつなげない(拒否)かを設定します。

3 設定したい項目を選ぶ

電話番号を通知してこない電話番号からの着信を許可する場合

「許可」を選び、電話がかかってきたときの着信音を選ぶ
着信音の選びかた→P.163

電話番号を通知してこない電話番号からの着信を拒否する場合

「拒否」を選ぶ

おしらせ

- 「拒否」に設定した発信者番号非通知理由から電話がかかってきた場合、「着信履歴」(P.151)には「不在着信履歴」として記憶され、待受画面には「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。
- 「許可」に設定した発信者番号非通知理由から電話がかかってきた場合、通知されない理由が表示されます。
- 「許可」に設定したときの着信音を「通常着信音と同じ」に設定した場合は、「着信音選択」の「電話」で設定した着信音になります。
- 発信者番号非通知のテレビ電話がかかってきた場合は、「着信音選択」の「TV電話」で設定した着信音が鳴ります。
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

ポーズダイヤル

プッシュ信号を送って、さまざまな操作が簡単にできます

FOMA端末からプッシュ信号を送って、クイックキャスト*へのメッセージ送信やチケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ダイヤルデータをポーズダイヤルに登録します

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

- 登録できるダイヤルデータは1件、最大128文字まで入力できます。
- ダイヤルデータに登録できる文字は0〜9、#、＊、ポーズ(p)です。
- ポーズ(p)をダイヤルデータの先頭に入力したり、連続して入力することはできません。
- ポーズ(p)をダイヤルデータの最後に入力すると、ダイヤルデータを登録する際に自動的に削除されます。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「ポーズダイヤル」の順に選ぶ

すでにダイヤルデータが登録されている場合

登録されているダイヤルデータが表示されます。

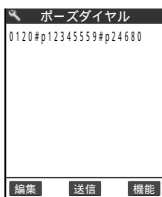
2 [編集]を押してダイヤルデータを入力する

0〜9、#、＊を押してダイヤルデータを入力してください。

ポーズ(p)を入力する場合

＊を1秒以上押す

ダイヤルデータをポーズダイヤルとして送信します

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「ポーズダイヤル」の順に選ぶ

ダイヤルデータを削除する場合

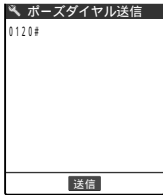
機能メニューから「削除」を選ぶ

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

2 ◉[送信]を押して送信先の電話番号をダイヤルする

電話帳から電話番号を入力する場合

電話番号の一部をダイヤルして◯を押して検索する
◯を押して電話帳検索画面から検索方法を選んで検索する
◯を押して着信履歴、または◯を押してリダイヤルから検索する

3 ◯または◉[発信]を押す

入力した電話番号に電話がかかり、通話中になると最初のポーズ(p)までのダイヤルデータが表示されます。ポーズ(p)は表示されません。

4 ◯または◉[送信]を押してダイヤルデータを送信する

◯または◉[送信]を押すたびに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話中画面になります。

ダイヤルデータをまとめて送出する場合

◯を1秒以上押して、ポーズ送出メニューから「一括送出」を選ぶ

おしらせ

- 通話中にポーズダイヤル画面を表示させて◉[送信]を押すと、通話中の相手にダイヤルデータを送信できます。
- 待受画面で直接ポーズダイヤルを入力してダイヤルデータを送信することもできます。その場合は、最初に相手の電話番号をダイヤルした後、ポーズ(p)、送出したいダイヤルデータの順に入力します。入力後、◯を押して電話をかけ、通話中になってから◯を押すと、次のポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。
- テレビ電話ではポーズダイヤルは無効となり、ポーズ以下のダイヤルデータを送信できません。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

プレフィックス設定

電話番号の前に番号を付けます

お買い上げ時	「WORLD CALL」(009130010)

よく使用する特定の番号(プレフィックス)をあらかじめ設定します。設定した番号は「ダイヤル入力」、「電話帳」、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」で電話をかけるときに電話番号の前につけてダイヤルできます。「発信者番号通知」などの番号を設定しておくと便利です。

●プレフィックスは7件まで登録できます。

●番号に登録できる文字は0～9、＃、＊です。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「プレフィックス設定」の順に選ぶ

2 <未登録>を反転表示して ◐ [編集]を押す

すでに登録されているプレフィックスの内容を変更する場合

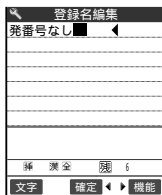
変更したい題名のプレフィックスを選ぶ

プレフィックスを1件削除する場合

削除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

プレフィックスをすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

3 登録名を入力する

登録名は全角で8文字、半角で16文字まで入力できます。

文字の入力のしかた→P.298

4 番号(プレフィックス)を入力する

番号は10桁まで入力できます。

おしらせ

- 電話帳の詳細画面、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」を表示しているときや、ダイヤル入力時に機能メニューの「プレフィックス」を選ぶと、電話番号にプレフィックスをつけることができます。
- お買い上げのときに登録されている「WORLD CALL」（009130010）は、別の内容に変更できます。

サブアドレス設定
サブアドレスに対応できるようにします

お買い上げ時	ON

電話番号に含まれる「¥」を区切り文字とし、「¥」以降をサブアドレスとして認識するように設定できます。サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときや「M-stageVライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1

▶「その他」▶「サブアドレス設定」の順に選ぶ

その他
サブアドレス設定
1 ON
2 OFF
選択

サブアドレス機能を有効にする場合
「ON」を選ぶ

サブアドレス機能を無効にする場合
「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 次のような場合、「¥」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「¥」も含めて普通の電話番号として認識されます。
  - ・電話番号の先頭に「¥」がある場合
  - ・電話番号の先頭に「186／184」があり、その直後に「¥」がある場合
  - ・「プレフィックス」で入力した番号の直後に「¥」がある場合

履歴を利用します

電話をかけたり、メールを受信したりすると、その電話番号やメールアドレスがFOMA端末に履歴として記憶されます。履歴は電話をかけた相手やメールを送ってきた相手を確認したり、記憶されている電話番号に電話をかけたりメールを送ったりする場合などに利用できます。

発信履歴／着信履歴を利用します

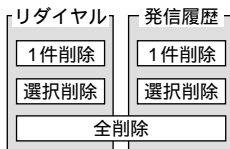
電話をかけた相手や、かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は発信履歴／着信履歴として記憶されます。また、電話に出られなかった場合は不在着信履歴として記憶されます。発信履歴／着信履歴／不在着信履歴は、音声電話／テレビ電話／パケット通信／64Kデータ通信をアイコンで区別して表示するので、ひとめで履歴の種類がわかります。

●発信履歴／着信履歴は音声電話とテレビ電話の履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件、合計60件までそれぞれ記憶できます。
●履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
●テレビ電話中は、発信履歴／着信履歴を表示できません。
●パケット通信の着信は発信元の接続先（APN）が表示されます。
●「時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合は、日付・時刻は記憶されません。

発信履歴とリダイヤルとの違い

発信履歴とリダイヤルでは次のような違いがあります。

	発信履歴	リダイヤル
記憶する履歴の種類	音声電話、テレビ電話、パケット通信、64Kデータ通信	音声電話、テレビ電話
同じ電話番号に電話をかけた場合	別の1件として記憶する	上書きして最新の1件として記憶する

※：「全削除」を行うと、「リダイヤル」と「発信履歴」の両方がすべて削除されます。発信履歴を「1件削除」、「選択削除」してもリダイヤルからは削除されず、履歴が残りますのでご注意ください。
リダイヤルの削除について→P.73

＜例：着信履歴を利用する場合＞

1

▶「着信履歴」の順に選ぶ

を押しても着信履歴を呼び出すことができます。

発信履歴を利用する場合

「発信履歴」を選ぶ

2 着信履歴の種類を選ぶ

すべての着信履歴を表示する場合

「全着信」を選ぶ

不在着信履歴だけを表示する場合

「不在着信」を選ぶ

未確認件数とは内容を確認していない履歴の件数を表します。

3 確認したい履歴を選ぶ

履歴を1件削除する場合

削除したい履歴を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数の履歴を選んで削除する場合

機能メニューから「選択削除」を選んで削除する履歴を選ぶ

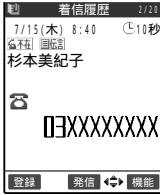
履歴をすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

全着信履歴の一覧画面から不在着信の呼出時間を表示する場合

機能メニューから「呼出時間表示」を選ぶ

一覧画面には不在着信のみが表示され、各不在着信履歴の呼出時間が表示されます。 を押すと着信履歴の一覧画面に戻ります。

履歴の内容を確認する

画面右上には「現在の履歴番号／全体の履歴件数」が表示されます。履歴番号が若いほど新しい履歴となります。
不在着信の場合は、日時の横に呼出時間が表示されます。

前後の履歴を確認する場合

またはを押す
を押すと前(新しい)の履歴に、を押すと次(古い)の履歴に切り替わります。
ただし、発信履歴の場合は、を押すと前(新しい)の履歴に、を押すと次(古い)の履歴に切り替わります。

履歴に表示されている電話番号に音声電話をかける場合

音声電話をかけたい履歴を表示させてを押す

履歴に表示されている電話番号にテレビ電話をかける場合

テレビ電話をかけたい履歴を表示させてを押す

テレビ電話中に送信する画像を設定する場合

機能メニューから「TV電話画像選択」を選ぶ
「自画像」を選ぶと内側カメラの映像が送信されます。そのほかの代替画像についてはP.98を参照してください。

履歴に表示されている電話番号を電話帳に登録する場合

登録したい電話番号を表示させて機能メニューから「電話帳登録」を選ぶ
電話帳の登録のしかた→P.108

履歴からiモードメールを送信する場合

iモードメールを送信したい履歴を表示させて機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ
履歴の電話番号が登録されている電話帳のメールアドレスが宛先に入力された状態の新規メール作成画面が表示されます。
iモードメールの作成のしかた→『アプリケーション編』のP.152

発信履歴／着信履歴アイコン

電話：音声電話の発信／着信があったことを示します。
電話：テレビ電話の発信／着信があったことを示します。
遠隔：遠隔監視の着信があったことを示します。
パケット：パケット通信の発信があったことを示します。
パケット：パケット通信からの着信などがあったことを示します。
64k：64Kデータ通信の発信があったことを示します。
64k：64Kデータ通信からの着信などがあったことを示します。

不在着信履歴アイコン

不在：かかってきた音声電話に出なかったことを示します。
不在 伝言：かかってきた音声電話に出なかったため「伝言メモ」に相手の用件が録音されていることを示します。
不在：かかってきたテレビ電話に出なかったことを示します。
不在 伝言：かかってきたテレビ電話に出なかったため「伝言メモ」に相手の用件が録音されていることを示します。
不在 遠隔：遠隔監視としてかかってきたテレビ電話がつながらなかったことを示します。
不在：パケット通信からの着信などに出なかったことを示します。
不在 接続ｶﾞﾘ：パケット通信からの着信などを受けとらなかったことを示します。
不在：64Kデータ通信からの着信などに出なかったことを示します。
不在 接続ｶﾞﾘ：64Kデータ通信からの着信などを受けとらなかったことを示します。
不在：不在着信履歴のうち、内容を確認していない不在着信であることを示します。

おしらせ

<共通>

● 電源を切っても、発信履歴／着信履歴は削除されません。発信／着信した電話番号をほかの人に見られたくない場合は、履歴を削除するか、「履歴表示設定」(P.206)の「着信履歴」および「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定してください。
● 着信履歴の表示中に電話の着信があった場合は、履歴データが更新され「情報更新中」というメッセージが表示される場合があります。メッセージ表示中はほかの履歴に切り替えることはできません。
●「PIMロック」を設定している場合は、電話帳に名前が登録されている相手の発信／着信でも電話番号だけが記憶されます。

<発信履歴>

●「全削除」を行うと、「リダイヤル」と「発信履歴」の両方がすべて削除されます。発信履歴を「1件削除」、「選択削除」してもリダイヤルからは削除されず、履歴が残りますのでご注意ください。
　リダイヤルの削除について→P.73
● シークレットデータとして登録された電話帳を「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で呼び出して電話をかけても、発信履歴には記憶されません。
●「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」を設定すると、それまでの発信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後にかけた電話は発信履歴に記憶されます。

<着信履歴>

●「不在着信」、「未確認件数」は不在着信がない場合は表示されません。
● 未確認の不在着信の件数は、その内容を確認すると1件ずつ減っていきます。
● 電話番号を通知してきた電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が着信履歴に表示されます。電話番号を通知してこなかった場合は、非通知理由が表示されます。
●「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」を設定すると、それまでの着信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後に受けた電話は着信履歴に記憶されます。
●「指定発信制限」を設定しているときに、「指定発信制限」に設定されている電話帳以外の相手から電話がかかってきた場合は、電話番号のみ記憶されます。
● 相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。
● パケット通信および64Kデータ通信の着信履歴から電話帳に登録したり、新規メールを作成することはできません。

送信アドレス一覧／受信アドレス一覧を利用します

メールを送信したり、送信してきた相手のメールアドレスや日付・時刻などの情報は送信アドレス一覧／受信アドレス一覧に記憶されます。送信アドレス一覧／受信アドレス一覧は内容を確認することができ、そこからメールを作成して送信したり、電話帳に電話番号を登録したりできます。また、送信アドレス一覧／受信アドレス一覧は、iモードメール／SMSをアイコンで区別して表示するので、ひとめで履歴の種類がわかります。

●送信アドレス一覧／受信アドレス一覧は、iモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記憶できます。
●履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
●テレビ電話中は、送信アドレス一覧／受信アドレス一覧を表示できません。

<例：送信アドレス一覧を利用する場合>

1

▶「発信履歴」の順に選ぶ

受信アドレス一覧を利用する場合

「着信履歴」を選ぶ

2 [切替]を押す

送信アドレスが一覧で表示されます。

3 確認したいアドレスを選ぶ

アドレスを1件削除する場合

削除したいアドレスを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数のアドレスを選んで削除する場合

機能メニューから「選択削除」を選んで削除するアドレスを選ぶ

アドレスをすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

4 アドレスの内容を確認する

画面右上には「現在のアドレス番号／全体のアドレス件数」が表示されます。アドレス番号が若いほど新しい履歴となります。

前後のアドレスを確認する場合

または を押す

を押すと前(新しい)のアドレスに、 を押すと次(古い)のアドレスに切り替わります。

ただし、受信アドレス一覧の場合は、 を押すと前(新しい)のアドレスに、 を押すと次(古い)のアドレスに切り替わります。

アドレスに表示されているメールアドレスにiモードメールを送信する場合

iモードメールを送信したいアドレスを表示させて機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ

iモードメールの作成→『アプリケーション編』のP.152

アドレスに表示されている電話番号またはメールアドレスを電話帳に登録する場合

登録したい電話番号またはメールアドレスを表示させて機能メニューから「電話帳登録」を選ぶ

電話帳の登録のしかた→P.108

アドレスに表示されている電話番号に音声電話をかける場合

音声電話をかけたいアドレスを表示させて機能メニューから「電話発信」－「音声発信」を選ぶ

電話帳の一番目に登録されている電話番号に電話をかけます。

アドレスに表示されている電話番号にテレビ電話をかける場合

テレビ電話をかけたいアドレスを表示させて機能メニューから「電話発信」－「32KTV電話発信」または「64KTV電話発信」を選ぶ

おしらせ

● 電源を切っても、送信アドレス一覧／受信アドレス一覧は削除されません。送信／受信したアドレスなどをほかの人に見られたくない場合は、アドレスを削除するか、「履歴表示設定」(P.206)の「着信履歴」および「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定してください。
● 受信アドレス一覧の表示中にメールを受信した場合には、受信を完了するまでの間「情報更新中」というメッセージが表示されます。メッセージの表示中はほかのアドレスに切り替えることはできません。
●「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」を設定すると、それまでの送信アドレス一覧／受信アドレス一覧はすべて削除されます。ただし、設定後に送信／受信したメールのアドレスは一覧に記憶されます。
●「セキュリティ設定」で送信BOX／受信BOXにセキュリティが設定されている場合や、「シークレットモード」および「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録された電話帳のメールアドレスは一覧に記憶されません。

<送信アドレス一覧>

● シークレットコードが設定されている電話帳のアドレスは、シークレットコードを除いた部分が送信アドレス一覧で表示されます。

送信アドレス一覧アイコン

：iモードメールの送信があったことを示します。
：iモードメールの送信が失敗したことを示します。
：SMSの送信があったことを示します。
：SMSの送信が失敗したことを示します。

受信アドレス一覧アイコン

：iモードメールの受信があったことを示します。
：SMSの受信があったことを示します。

ノイズキャンセラ
電話の声を聞きやすくします

お買い上げ時	ON

ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。周囲に騒音がある場所でも、音声通話やテレビ電話の声を相手に聞きやすくすることができます。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「通話」▶「ノイズキャンセラ」の順に選ぶ

ノイズキャンセラを有効にする場合
「ON」を選ぶ

ノイズキャンセラを無効にする場合
「OFF」を選ぶ

再接続機能

通話が途切れたときにお知らせします

お買い上げ時	アラームなし

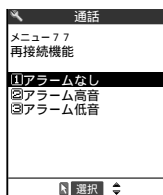
FOMA端末は音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態が良くなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続したときのアラームの鳴りかたを設定できます。

●本機能の設定にかかわらず、iモード中はアラームは鳴りません。

●ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。

●急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1

▶「通話」▶「再接続機能」の順に選ぶ

通話
メニュー77
再接続機能
1アラームなし
2アラーム高音
3アラーム低音
選択

アラームを鳴らさない場合
「アラームなし」を選ぶ

高音のアラームを鳴らす場合
「アラーム高音」を選ぶ

低音のアラームを鳴らす場合
「アラーム低音」を選ぶ

● 再接続されるまでの間(最長約10秒間)も通話料金がかかります。
● 電波が途切れている間、相手は無音状態となります。

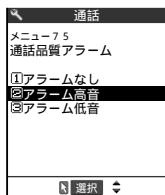
通話品質アラーム

通話が切れそうなときにお知らせします

お買い上げ時	アラーム高音

音声通話中に電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合は、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。通話が切れる前に電波の状態が良い場所に移動したり、相手の了解を得てから電話を切り、もう一度かけ直すなどの対処ができるので便利です。

●急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
●テレビ電話では本機能は動作しません。

1 ▶▶**「通話」▶「通話品質アラーム」の順に選ぶ**

アラームを鳴らさない場合
「アラームなし」を選ぶ

高音のアラームを鳴らす場合
「アラーム高音」を選ぶ

低音のアラームを鳴らす場合
「アラーム低音」を選ぶ

保留音選択

保留中に流れるガイダンスを選択します

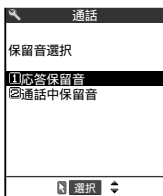
お買い上げ時	応答保留音：応答保留音1　通話中保留音：エリーゼのために

音声電話やテレビ電話の応答を保留にしたときや、通話中の電話を保留したときに流れるガイダンスを設定できます。
設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	ガイダンスの種類	ガイダンスの内容
応答保留音	応答保留音1	「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください」
	応答保留音2	「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください」
	おしゃべり1、2※	「おしゃべり機能」で録音した内容→P.247
通話中保留音	エリーゼのために	―
	おしゃべり1、2※	「おしゃべり機能」で録音した内容→P.247

※：「おしゃべり機能」で音声が録音されていない場合は設定できません。

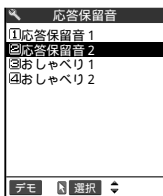
 ▶▶**「通話」▶「保留音選択」の順に選ぶ**

2 保留音を設定する状況を選ぶ

応答保留音を設定する場合

「応答保留音」を選ぶ

通話中保留音を設定する場合

「通話中保留音」を選ぶ

3 設定したいガイダンスを選ぶ

応答保留音の場合

ガイダンスを聞く場合

[デモ]を押す

ガイダンスが1回再生されます。

CLRを押すとガイダンスを途中で止めることができます。

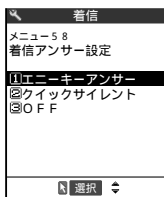
着信アンサー設定

着信音を止められるようにします

お買い上げ時	エニーキーアンサー

電話がかかってきたとき、すぐに着信音を止められるように設定します。周囲に迷惑がかかるような場所で電話がかかってきた場合などに便利です。
設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	内容
エニーキーアンサー	音声電話がかかってきたとき、以外にも0～9、*、CLR、、、、のいずれかのボタンを押すと、すぐに電話に出ることができます。ただしテレビ電話の場合は無効になります。
クイックサイレント	音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、0～9、*、CLR、、のいずれかのボタンを押すかFOMA端末を開くと、着信音およびバイブレータが止まります。着信音を止めても相手には呼び出し音が鳴ったままです。音声電話の場合は、または[通話]を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合は、を押すとカメラ映像で、または[通話]を押すと代替画像で電話に出ることができます。
OFF	音声電話がかかってきた場合は、または[通話]を押したときのみ電話に出ることができます。テレビ電話がかかってきた場合は、、、[通話]のいずれかのボタンを押したときのみ電話に出ることができます(、[通話]を押したときは代替画像でテレビ電話に出ます)。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「着信」▶「着信アンサー設定」の順に選ぶ

エニーキーアンサーで電話を受ける場合

「エニーキーアンサー」を選ぶ

クイックサイレントで電話を受ける場合

「クイックサイレント」を選ぶ

、●[通話]、 のみで電話を受ける場合

「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 「クイックサイレント」に設定していても、「マナーモード」設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。
- 本機能を「クイックサイレント」に設定していても、テレビ電話および「電話帳画像着信設定」(P.181)を「ON」に設定しているときに電話帳に画像を登録している相手から電話がかかってきた場合は、「クイックサイレント中」というメッセージは表示されません。

クローズ動作設定

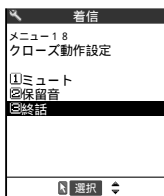
通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定します

お買い上げ時	終話

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	内容
ミュート	音声電話の場合、音声をミュート(消音)します。テレビ電話の場合、音声をミュートして相手側に「代替画像」(P.98)を送信します。保留音は流れません。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。
保留音	通話を保留(通話中保留)にします。音声電話の場合、折り畳んでいる間相手に「保留音選択」(P.158)で設定した保留音が流れます。また、自分のFOMA端末のスピーカからも保留音が流れます。テレビ電話の場合、「保留音選択」で設定した保留音が流れ、相手側に通話中保留画像(P.98)を送信します。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。
終話	通話を終了します。を押す操作と同じです。

- スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合、本機能は無効になり、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。ただし、カメラ映像でテレビ電話を使用している場合は、FOMA端末を折り畳むと代替画像に切り替わります。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「着信」▶「クローズ動作設定」の順に選ぶ

FOMA端末を折り畳んだとき音声を消す場合

「ミュート」を選ぶ

FOMA端末を折り畳んだとき保留音を流す場合

「保留音」を選ぶ

FOMA端末を折り畳んだとき通話を終了する場合

「終話」を選ぶ

おしらせ

- 「ミュート」または「保留音」に設定していても、音声メモの録音中は無効になります。
- 「保留音」に設定していても、「キャッチホン」(P.279)で切り替え通話しているときにFOMA端末を折り畳むと「ミュート」の動作になります。

通話中時間表示

通話中に通話時間を表示します

お買い上げ時	ON

音声通話中やテレビ電話中に通話時間を表示するかしないかを設定できます。

- 通話時間が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」から再カウントされます。
- 表示される通話時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。
- iモード中およびパケット通信中の通信時間はカウントされません。

1 ▶▶**「時間」▶「通話中時間表示」の順に選ぶ**

通話中に通話時間を表示する場合

「ON」を選ぶ

通話中に通話時間を表示しない場合

「OFF」を選ぶ

積算通話時間を確認／リセットします

音声通話やテレビ電話などの積算通話時間や前回通話時間を確認し、そのデータをリセットしてゼロに戻すことができます。音声通話とデジタル通話それぞれの積算通話時間を確認したい場合や1ヶ月ごとの積算通話時間を確認したい場合などに便利です。

通話時間を確かめます

音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の直前の通話時間、積算の通話時間、前回に積算リセットした日時を表示して確認できます。

- 積算通話時間が「199時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」から再カウントされます。
- 表示される通話時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。
- iモードおよびパケット通信にかかった時間は通話時間に含まれません。

1 ▶「時間」▶「通話時間」の順に選ぶ

通話時間
前回通話時間
1時間　6分　2秒
積算通話時間
音声通話
３４時間２３分４８秒
デジタル通信
９時間１３分３２秒
積算リセット日時
6/27 10:24

前回通話時間　：直前の通話時間の目安を表示します。発信、着信どちらの通話でも通話時間を表示します。

積算通話時間　：前回リセットしたとき(「0秒」に戻したとき)から現在までの積算時間を表示します。「音声通話」は音声電話の積算通話時間を表示します。「デジタル通信」はテレビ電話と64Kデータ通信の積算通話時間を表示します。

積算リセット日時：前回に積算リセットをした日時を表示します。

おしらせ

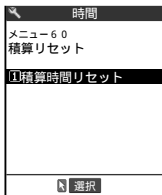
- 電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」になります。
- 電源を切っても、積算通話時間の情報は残ります。
- お買い上げのときや「時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合、積算リセット日時は「--/-- --:--」と表示されます。

積算時間をリセットします

「通話時間」に表示される前回の通話時間および積算通話時間をゼロに戻すことができます。

1 Menu▶各種設定▶「時間」▶「積算リセット」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

2 ●[選択]を押して「YES」を選ぶ

積算リセットを中止する場合
●[選択]を押して「NO」を選ぶ

おしらせ

- 前回積算リセットした日時は「通話時間」で確認できます。

着信音選択

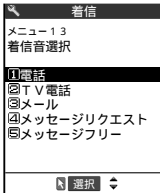
電話やメールの着信音を選択します

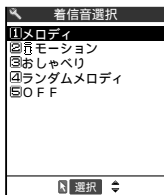
お買い上げ時	電話：着信音1　TV電話：着信音1　メール：着信音2 メッセージリクエスト：着信音3　メッセージフリー：着信音3

音声電話、テレビ電話、メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受けたときのそれぞれの着信音を設定できます。また、特定の電話番号やメールアドレス、アドレス帳のグループを指定してそれぞれに着信音を設定することもできます。**→P.120**

●サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションを着信音に設定できます。
●メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーは「iモーション」を設定できません。
●「おしゃべり」は「おしゃべり機能」で音声が録音されていないと設定できません。
●「PIMロック」設定中は、あらかじめ登録されているパターン、効果音、メロディ以外のデータを設定できません。

1 ▶▶「着信」▶「着信音選択」の順に選ぶ

2 着信音を設定したい項目を選ぶ

電話	：音声電話、64Kデータ通信の着信音を設定します。
TV電話	：テレビ電話の着信音を設定します。
メール	：iモードメール、SMS、パケット通信の着信音を設定します。
メッセージリクエスト	：メッセージリクエストの着信音を設定します。
メッセージフリー	：メッセージフリーの着信音を設定します。

3 カテゴリーを選ぶ

メロディ　　　　：あらかじめ登録されているパターン3種類、効果音８種類、メロディ１０種類を「プリインストール」フォルダから、またはサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディ最大１６０種類を「INBOX」またはお客様が作成したフォルダから選びます。

iモーション　　：FOMA端末に取り込んだiモーションを「INBOX」またはお客様が作成したフォルダから選びます。着信時には選んだiモーションに応じて音や映像が再生されます（着モーション機能）。着モーション機能について→『アプリケーション編』のP.９４

おしゃべり　　　：「おしゃべり機能」（P.２４７）に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」から着信音を選びます。着信時は録音されている音声が再生されます。

ランダムメロディ：メロディが保存されているフォルダを選びます。着信時にはフォルダに保存されているメロディがランダムで選曲され、再生されます。

OFF　　　　　　：着信音を鳴らしません。

4 着信音に設定したいメロディを選ぶ

プリインストール 1/3
1着信音1
2着信音2
3着信音3
4序曲/ドラゴンクエスト
5Technopolis
6交響曲第9番「新世界」
7ノクターン
8さくらさくら
9G線上のアリア
0アルプス一万尺
選択

メロディを反転表示すると、そのメロディが鳴ります。、、、、のいずれかのボタンを押すと、メロディは止まります。

iモーションを選んだ場合

［デモ］を押すと、iモーションが再生されます。

あらかじめ登録されている着信音・メロディー覧

表示	曲名	作曲者
着信音1～3	―	―
序曲／ドラゴンクエスト	序曲／ドラゴンクエスト	すぎやまこういち
Technopolis	Technopolis	坂本龍一
交響曲第9番「新世界」	Symphony No.9 in E minor Op.95 "From the New World" Allegro	DVORAK ANTONIN
ノクターン	夜想曲第2番 op.9-2	CHOPIN FREDERIC FRANCOIS
さくらさくら	さくらさくら	日本古謡
G線上のアリア	AIR	BACH JOHANN SEBASTIAN
アルプス一万尺	アルプス一万尺	アメリカ民謡
スカボロフェアー	Scarborogh Fair	イギリス民謡
木星	"The Planets" Jupiter	GUSTAV THEODORE HOLST
ジュトゥヴ	Je te veux	SATIE Erik
Healing Sound	―	―
鹿威し	―	―
キラキラ	―	―
Calling	―	―
You've Got Mail	―	―
Funky!	―	―
Techno	―	―
黒電話	―	―

おしらせ

- 「PIMロック」設定中はあらかじめ登録されている着信音のみ設定できます。
- 「PIMロック」設定中に着信があった場合、着信音をあらかじめ登録されている着信音以外のデータやファイルに設定していると、お買い上げのときに設定されている着信音が鳴ります。
- 「バイブレータ」(P.167)で振動パターンを「メロディ連動」に設定し、あらかじめ振動パターンが指定されているメロディを着信音に設定すると、メロディに合わせてFOMA端末が振動します。
- 「着信イルミネーション」(P.185)で点滅のしかたを「メロディ連動」に設定し、あらかじめイルミネーションの点滅パターンが指定されているメロディを着信音に設定すると、メロディに合わせて着信ランプが点滅します。
- メロディプレーヤーで「着信音」を設定すると、本機能の設定も同じ内容に変更されます。→『アプリケーション編』のP.333
- ムービープレーヤーで「着信音」の「電話」、「TV電話」を設定すると、本機能の「電話」、「TV電話」の設定も同じ内容に変更されます。→『アプリケーション編』のP.321
- FOMAカード動作制限機能(P.53)が設定されたデータやファイルを着信音に設定した場合、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げのときの着信音が鳴ります(設定は変更されませんので、FOMAカードを元に戻すと設定された着信音が鳴ります)。
- 着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」(P.79)の「電話／TV電話」および「メール／メッセージ」で設定した音量となります。「着信音量」を「消去」に設定している場合は鳴りません。
- 「 」、「 」が付いているメロディは、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのため着信音などに設定した場合は指定部分のみが再生されます。
- 着信音に設定できないiモーションはグレーで表示されます。
- 映像と音のあるiモーションを着信音に設定した場合は、「画面表示設定」で設定した画像ではなく、iモーションの映像が表示されます。
- 相手が電話番号を通知してこない音声電話の着信音は、「非通知着信設定」(P.145)で設定できます。相手が電話番号を通知してこないテレビ電話の着信音は、本機能の「TV電話」の設定に従います。
- メール着信音の機能を同時に設定したときの優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。
  ①電話帳便利機能のメール着信音
  ②グループ便利機能のメール着信音
  ③着信音選択のメール着信音

バイブレータ

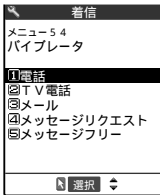
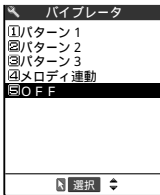
着信を振動でお知らせします

お買い上げ時	OFF

音声電話、テレビ電話、メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受けたときのそれぞれの振動パターンを設定できます。

●「バイブレータ」を「OFF」に設定している「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している場合は振動しません。

1 ▶▶「着信」▶「バイブレータ」の順に選ぶ

2 バイブレータを設定したい項目を選ぶ

3 振動パターンを選ぶ

振動パターンを反転表示すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。

パターン1〜3：一定のパターンでFOMA端末が振動します。

メロディ連動：着信音に設定されているメロディのパターンに合わせてFOMA端末が振動します。ただし、メロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、または着信音をiモーションに設定している場合は、パターン2で振動します。

OFF：FOMA端末は振動しません。

待受画面のアイコンで、バイブレータを設定している項目が確認できます。

V♪：音声電話／テレビ電話でバイブレータを設定したことを示します。

V✉：メールでバイブレータを設定したことを示します。

V♪✉：音声電話／テレビ電話とメールの両方にバイブレータを設定したことを示します。

メッセージリクエスト／フリーのバイブレータ設定はアイコンで確認できません。

おしらせ

- 「メール／メッセージ鳴動」(『アプリケーション編』のP.233)を「OFF」に設定している場合、「V」は表示されず、メールまたはメッセージリクエスト／フリーを受信しても振動しません。
- Flash画像の効果音が鳴ったときは、バイブレータを設定していても振動しません。
- バイブレータを設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気(ストーブなど)に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。

ボタン確認音

ボタンを押したときの音を鳴らさないようにします

お買い上げ時	ON

周囲に迷惑がかからないように、ボタンを押したときの確認音を鳴らさないように設定できます。

●本機能を「OFF」に設定した場合、次の音も鳴りません。

- 各種警告音
- 電池残量表示の音
- 受話音量の調節を開始したときの音
- めざまし時計のスヌーズ解除音

●本機能の設定にかかわらず、次の操作を行うときは確認音が鳴ります。

- FOMA端末を閉じた状態で[メモ／確認]を押したとき
- カメラで撮影したとき
- 電池切れアラーム音が鳴ったとき
- メモの再生開始時／終了時(受話口から鳴ります)
- 待受中音声メモの録音開始時／終了時(受話口から鳴ります)
- おしゃべりの録音開始時／終了時(受話口から鳴ります)

●ボタン確認音の音量は「着信音量」の設定にかかわらず一定の音量になります。

1

▶「その他」▶「ボタン確認音」の順に選ぶ

ボタン確認音を鳴らす場合

「ON」を選ぶ

ボタン確認音を鳴らさない場合

「OFF」を選ぶ

充電確認音

充電確認音が鳴るようにします

お買い上げ時	ON

充電したままFOMA端末を放置することがないように、充電を開始したときや完了したときに「ピッピッ」と確認音が鳴るように設定できます。

●本機能の設定にかかわらず、次の場合は確認音が鳴りません。
- ・待受画面以外の画面が表示されている場合
- ・ドライブモード設定中の場合
- ・マナーモード設定中の場合
- ・電源がOFFの場合
- ・「着信音量」の「電話／TV電話」を「消去」に設定している場合

1 ▶▶**「その他」▶「充電確認音」の順に選ぶ**

充電確認音を鳴らす場合

「ON」を選ぶ

充電確認音を鳴らさない場合

「OFF」を選ぶ

デスクトップ

デスクトップアイコンを利用します

よくかける電話番号やよく使う機能をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能を呼び出したりできます。

●デスクトップに貼り付けられるアイコンは次のとおりです。
・電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像、動画、iモーション、キャラ電、iアプリのソフト
・カメラ、ToDoの一覧画面、アクセスリーダー、バーコードリーダー、オリジナルメニューの各機能

●デスクトップアイコンは15件まで貼り付けることができます。
●あらかじめFOMA端末に内蔵されているメロディや画像、自作アニメをデスクトップアイコンに貼り付けることはできません。

デスクトップアイコンを貼り付けます

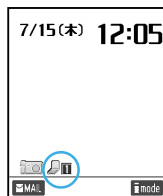
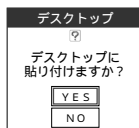
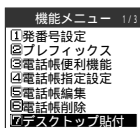
<例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合>

1 設定したい電話番号を表示する

電話帳の検索のしかた→P.116

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合
を押して設定したい電話番号を表示する

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」から電話番号を貼り付ける場合
一覧画面で貼り付けたい電話番号を反転表示するか、詳細画面を表示する

2 機能メニューから「デスクトップ貼付」を選ぶ

おしらせ

●シークレットデータとして登録した電話帳から貼り付けることはできません。
●miniSDメモリーカードに保存されている電話番号、メールアドレス、URL、画像、動画、iモーションをデスクトップアイコンに貼り付けることはできません。
●「PIMロック」設定中は、デスクトップアイコンの情報確認、タイトル編集、削除、デスクトップの初期化をすることはできません。

その他のデスクトップアイコンの貼り付けかた

メールアドレス

電話帳に登録してあるメールアドレスを貼り付ける場合

貼り付けたいメールアドレスの詳細画面を表示

受信メールの送信元や送信メールの宛先を貼り付ける場合

貼り付けたい送信元または宛先が表示されているメール詳細画面を表示

「Fm」が表示されている送信元のアドレスは貼り付けできません。

受信アドレス一覧または送信アドレス一覧のメールアドレスを貼り付ける場合

一覧画面で貼り付けたいメールアドレスを反転表示

SMSアドレス（電話番号）

受信SMSの送信元、送信SMSの宛先を貼り付ける場合

貼り付けたい送信元または宛先が表示されているメール詳細画面を表示

受信アドレス一覧または送信アドレス一覧のSMSアドレスを貼り付ける場合

一覧画面で貼り付けるSMSアドレスを反転表示

電話帳からSMSアドレスを貼り付けることはできません。

URL

サイトのURLを貼り付ける場合

URLを貼り付けたいページを表示

ブックマークのURLを貼り付ける場合

Bookmark一覧画面で貼り付けたいタイトルを反転表示

URL履歴のURLを貼り付ける場合

URL履歴画面で貼り付けたいURLを反転表示

貼り付けできるURLの文字数は256文字までです。
画像やメロディが保存されているサイトのURLを貼り付けても、デスクトップアイコンからそのサイトを表示できない場合があります。

メロディ、画像、動画やiモーション、キャラ電のデータ

「メロディプレーヤー」の一覧画面で貼り付けたいメロディを反転表示

「イメージビューア」の一覧画面で貼り付けたい画像を反転表示

「ムービープレーヤー」の一覧画面で貼り付けたい動画、iモーションを反転表示

「キャラ電プレーヤー」の一覧画面で貼り付けたいキャラ電を反転表示

iアプリのソフト

ソフト一覧画面で貼り付けたいソフトを反転表示

「カメラ」機能

カメラメニュー画面を表示

「ToDo」のリスト

「ToDo」の一覧画面を表示

「アクセスリーダー」機能

「アクセスリーダー」の一覧画面または詳細画面を表示

「バーコードリーダー」機能

「バーコードリーダー」の一覧画面を表示

「オリジナルメニュー」

「オリジナルメニュー」の登録画面を表示

➡ **機能メニューから「デスクトップ貼付」を選ぶ**

貼り付けたデスクトップのタイトルについて

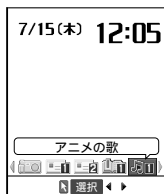
表示されるアイコン	種類	タイトル
	電話番号	電話帳に登録されている名前（ない場合は電話番号）
	メールアドレス	電話帳に登録されている名前（ない場合はメールアドレス）
	SMSアドレス	電話帳に登録されている名前（ない場合は電話番号）
	URL	ページのタイトル（ない場合は「http://」または「https://」を除いたURLの表示）
	メロディ	メロディのタイトル（ない場合は「メロディ」）
	画像	画像のファイル名（ない場合は「イメージ」）
	動画またはiモーション	動画またはiモーションのタイトル（ない場合は「iモーション」）
	キャラ電	キャラ電のタイトル（ない場合は「キャラ電」）
	iアプリのソフト	ソフト名
	カメラ	それぞれの機能名
	ToDo	
	アクセスリーダー	
	バーコードリーダー	
	オリジナルメニュー	

※：デスクトップアイコンを選んだときに表示されるタイトルは、いずれの場合も先頭から全角で11文字、半角で22文字までです。

デスクトップアイコンからデータや機能を呼び出します

1 **待受画面表示中に◉を押す**

2 **呼び出したいデスクトップアイコンにカーソルを合わせる**

7/15(木) 12:05
アニメの歌
選択

カーソルの位置にあるデスクトップアイコンのタイトルが表示されます。

デスクトップアイコンが6件以上登録されている場合

画面の左右に「 」が表示されます。◎を押してデスクトップアイコンをスクロールできます。

3 ●[選択]を押す

：貼り付けた電話番号をダイヤル入力した画面を表示します。 や を押して音声電話やテレビ電話をかけることができます。

：貼り付けたメールアドレスが宛先に入力された新規メール作成画面を表示します。→『アプリケーション編』のP.152

：貼り付けたSMSアドレス（電話番号）が宛先に入力された新規SMS作成画面を表示します。→『アプリケーション編』のP.193

：貼り付けたURLのサイトに接続してページを表示します。→『アプリケーション編』のP.42

：貼り付けたメロディを「メロディプレーヤー」で再生します。→『アプリケーション編』のP.333

：貼り付けた画像を「イメージビューア」で表示します。→『アプリケーション編』のP.294

：貼り付けた動画やiモーションを「ムービープレーヤー」で再生します。→『アプリケーション編』のP.308

：貼り付けたキャラ電を「キャラ電プレーヤー」で再生します。→『アプリケーション編』のP.325

：貼り付けたiアプリのソフトを起動します。→『アプリケーション編』のP.72

：「カメラ」が起動します。→『アプリケーション編』のP.246

：「ToDo」の一覧画面を表示します。→P.228

：「アクセスリーダー」を起動します。→『アプリケーション編』のP.276

：「バーコードリーダー」を起動します。→『アプリケーション編』のP.281

：「オリジナルメニュー」を表示します。→P.242

おしらせ

- 「PIMロック」設定中は電話番号、メールアドレス、SMSアドレス、URL、メロディ、画像、動画またはiモーション、キャラ電、iアプリのデスクトップアイコンが表示されなくなります。「PIMロック」を解除すると再び表示されます。
- メロディ、画像、動画またはiモーション、キャラ電、iアプリのデスクトップアイコンから再生または表示できるのは、貼り付けたデータのみとなります。
- メロディやイメージなどのデータをデスクトップアイコンとして貼り付けた場合、元のデータを削除すると、デスクトップアイコンからも呼び出すことができなくなります。

デスクトップアイコンの情報を確認します

デスクトップアイコンに貼り付けた内容やタイトルなどの情報を確認できます。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ

2 確認したいデスクトップアイコンのタイトルを選ぶ

おしらせ

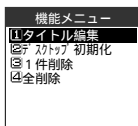
- URLのデスクトップアイコンの情報表示画面では、○を押して画面をスクロールしてURLのすべてを確認できます。

デスクトップアイコンのタイトルを変更します

デスクトップアイコンのタイトルを変更できます。

- タイトルは全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。ただし、デスクトップアイコンを選んだときに表示されるタイトルは、先頭から全角で11文字、半角で22文字までです。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ

2 変更したいタイトルを反転表示して機能メニューから「タイトル編集」を選ぶ

3 タイトルを変更する

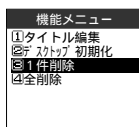
文字の入力のしかた→P.298

おしらせ

- デスクトップアイコンのタイトルを変更しても、貼り付けた元のデータのタイトルは変更されません。また、元のデータのタイトルを変更してもデスクトップアイコンのタイトルは変更されません。

待受画面に貼り付けられているデスクトップアイコンを削除します

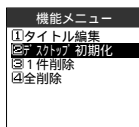
1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ

2 削除したいデスクトップアイコンを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

すべて削除する場合
「全削除」を選ぶ

デスクトップアイコンをお買い上げのときの状態に戻します <デスクトップ初期化>

待受画面に貼り付けられているデスクトップアイコンを「カメラ」だけの状態に戻します。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ

2 機能メニューから「デスクトップ初期化」を選ぶ

情報を通知するデスクトップアイコン

新着メールが届いているなどの情報を、デスクトップアイコンで通知します。貼り付けたデスクトップアイコンと同じ操作で、それぞれ関連した機能を呼び出すことができます。

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容	参照ページ
メール	新着メールがあったことを通知します。	最新のメールが保存されている受信フォルダの受信メール一覧画面を表示します。	アプリケーション編のP.177
不在	不在着信があったことを通知します。	「不在着信履歴」を表示します。	P.151
伝言	伝言メモが録音されていることを通知します。	「メモの再生／消去」を起動します。	P.245
留守	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることを通知します。	「留守番電話」を起動します。	P.271
アラーム	めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知ができなかったことを通知します。	通知できなかった最新のアラームの情報を表示します。	P.212
ソフト	iアプリのソフトが自動起動できなかったことを通知します。	自動起動情報画面を表示します。	アプリケーション編のP.80
アプリ	iアプリ待受画面が異常終了したことを通知します。	セキュリティエラー履歴を表示します。	アプリケーション編のP.90
更新	ソフトウェア更新が終了したことを通知します。	端末暗証番号を入力したあと、更新結果表示画面を表示します。	P.375

おしらせ

- 「留守」が表示されていない場合でも、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っている場合があります。
- 「不在」を選ぶと、「不在着信履歴」が表示され、不在着信が音声電話かテレビ電話かをアイコンによって確認できます。
  不在着信履歴に表示されるアイコンの詳細について→P.153
- 「メール」、「伝言」、「アラーム」、「ソフト」、「アプリ」が表示されているときに「PIMロック」に設定すると、これらのデスクトップアイコンは表示されなくなります。「PIMロック」を解除すると再び表示されます。
  また、「PIMロック」設定中にメールの受信があった場合は、「PIMロック」解除後に「メール」が表示されます。
- 情報を通知するデスクトップアイコンを消したい場合はCLRを1秒以上押します(表示が消えるだけで内容は消去されません)。
- 情報を通知するデスクトップアイコンは電源を切っても消えませんが、電池パックを外すと消えます。
- 情報を通知するデスクトップアイコンから各機能を呼び出した場合、またはメニューから各機能を呼び出した場合、そのデスクトップアイコンは消えます。ただし、「伝言」のデスクトップアイコンは伝言メモを再生または消去しないと消えません。

画面表示設定

ディスプレイにお好きな画像を表示します

お買い上げ時	待受画面：仔猫と子犬　ウェイクアップ表示：ロンドン橋 電話発信：スタンダード　電話着信：スタンダード メール送信：スタンダード　メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード

ディスプレイに撮影した静止画やダウンロードした画像など、お好きな画像を表示させることができます。
設定できる画面は次のとおりです。

設定項目（画面）	設定できる内容
待受画面	待受画面で表示するカレンダーや画像※を設定します。また、動画やiモーション、iアプリ待受画面を設定したり、表示をなし（OFF）に設定することもできます。
ウェイクアップ表示	電源を入れたときに表示するメッセージや画像※を設定します。また、表示をなし（OFF）に設定することもできます。
電話発信	音声電話／テレビ電話をかけているときに表示する画像※を設定します。
電話着信	音声電話／テレビ電話がかかってきたときに表示する画像※を設定します。
メール送信	メールを送信しているときに表示する画像※を設定します。
メール受信	メールやメッセージリクエスト／フリーを受信しているときに表示する画像※を設定します。
問い合わせ	サービス問い合わせ（P.274）やiモード問い合わせ、SMS問い合わせ（『アプリケーション編』のP.104、P.180、P.197）をしているときに表示する画像※を設定します。

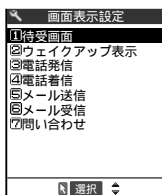
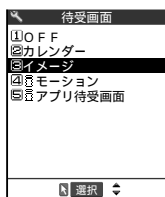
※：表示する画像には、静止画のほかにアニメーションや自作アニメなども選べます。

●miniSDメモリーカードに保存されている画像、動画、iモーションは本機能で設定できません。

待受画面の表示を設定します

●「時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合は、「カレンダー」を選ぶことはできません。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」の順に選ぶ

2 「待受画面」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

画像などを表示しない場合

「OFF」を選ぶ

カレンダーを表示する場合

「カレンダー」を選ぶ

「背景画像あり／背景画像なし」を選びます。

「背景画像あり」に設定した場合は、背景の画像を選びます。

画像の選びかた→『アプリケーション編』のP.294

画像を表示する場合

「イメージ」を選んで画像を選ぶ

画像の選びかた→『アプリケーション編』のP.294

動画やiモーションを表示する場合

「iモーション」を選んで動画やiモーションを選ぶ

iモーションによっては、設定できないものもあります。

動画やiモーションの選びかた→『アプリケーション編』のP.308

iアプリ待受画面を設定する場合

「iアプリ待受画面」を選んでソフトを選択する

iアプリ待受画面に設定されている場合は、「★」が表示されます。

iアプリ待受画面について→『アプリケーション編』のP.85

待受画面にカレンダーを設定すると

待受画面にカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールを起動できます。

前後の月のカレンダーを確認する場合

待受画面表示中に●[選択]を押すか●をスライドさせてポインターをカレンダーに重ねると、カレンダーの選択状態になります。もう一度●[選択]を押すかポインターでカレンダーを選択してから○を押すと前の月のカレンダーが、○を押すと次の月のカレンダーが表示されます。

待受画面に「デスクトップアイコン」が貼り付けられている場合は、●[選択]を押すと前回使ったデスクトップアイコンまたはカレンダーが選ばれます。デスクトップアイコンが選ばれた場合は、カレンダーを選んで、もう一度●[選択]を押すかポインターでカレンダーを選択してから○または○を押すと前の月、次の月のカレンダーが表示されます。

スケジュール機能を起動する場合

カレンダーの選択状態から●[選択]を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

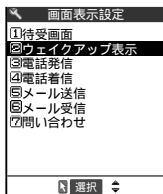
祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成13年法律第59号)」に基づいています。(2004年2月現在)

おしらせ

- プリインストールのアニメーションまたはイメージに登録されているアニメーションを設定した場合は、FOMA端末を開いたときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。ただし、SWF※の場合は、CLR、PWR HLDのいずれかのボタンを押すと再生を終了し、終了したときの画面がそのまま待受画面として表示されます。
  ※：SWFとはFlash画像のファイル形式です。→『アプリケーション編』のP.45
- 動画やiモーションを待受画面に設定した場合、FOMA端末を開くと動画やiモーションが再生されます。CLR、PWR HLDのいずれかのボタンを押すと再生は終了します。また、マナーモード設定中には映像のみが表示されます。動画やiモーションの再生中は「 」や「 」、「 」など待受画面の2段目に表示されるアイコンや時計、デスクトップアイコンなどは表示されません。
- iモーション待受画面から「Phone To機能」、「Mail To機能」、「Web To機能」(『アプリケーション編』のP.111、P.112、P.113)を利用することはできません。
- 「オート表示」(P.125)を設定している場合は、「オート表示」の設定が優先され、FOMA端末を開いたときに画像は表示されません。
- 「iアプリ待受画面」(『アプリケーション編』のP.85)からiアプリ待受画面が設定されている場合は、「iアプリ待受画面」の設定が優先されます。

ウェイクアップ画面の表示を設定します

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」の順に選ぶ

2 「ウェイクアップ表示」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

画像などを表示しない場合

「OFF」を選ぶ

メッセージを表示させる場合

「メッセージ」を選んでメッセージを入力する

全角で50文字、半角で100文字まで登録できます。

文字の入力のしかた→P.298

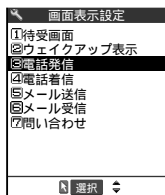
画像を表示させる場合

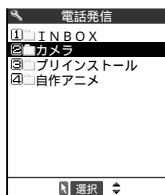
「イメージ」を選んで画像を選ぶ

画像の選びかた→『アプリケーション編』のP.294

電話の着信中やメールの送信中などの画像を設定します

1 Menu▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」の順に選ぶ

2 画像を設定したい項目を選ぶ

電話発信　：音声電話／テレビ電話をかけたときに表示される画像を設定します。
電話着信　：音声電話／テレビ電話がかかってきたときに表示される画像を設定します。
メール送信：iモードメール、SMSを送信したときに表示される画像を設定します。
メール受信：iモードメール、SMS、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときに表示される画像を設定します。
問い合わせ：サービス問い合わせ、iモード問い合わせ、SMS問い合わせを実行したときに表示される画像を設定します。

3 設定したい項目を選ぶ

お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選ぶこともできます。
画像の選びかた→『アプリケーション編』のP.294

画像を確認する場合

確認したい項目を反転表示して[デモ]を押す
CLRを押すと画像データの一覧画面に戻ります。

おしらせ

- 着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。
  ①電話帳登録画像のiモーション
  ②電話帳便利機能の着信イメージ
  ③グループ便利機能の着信イメージ
  ④電話帳登録画像のイメージ
  ⑤画面表示設定

電話帳画像着信設定

電話帳に登録した画像の表示について設定します

お買い上げ時　ON

静止画や動画が登録されている電話帳の電話番号から音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、画像を表示するかしないかを設定できます。

1 ▶ ▶「着信」▶「電話帳画像着信設定」の順に選ぶ

電話帳に登録した画像を表示する場合
「ON」を選ぶ

「画面表示設定」で設定した画像を表示する場合
「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。
  ①電話帳登録画像のiモーション
  ②電話帳便利機能の着信イメージ
  ③グループ便利機能の着信イメージ
  ④電話帳登録画像のイメージ
  ⑤画面表示設定
- 本機能の設定にかかわらず、シークレットデータ(P.201)の電話帳の画像は表示されません。

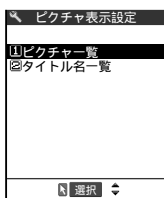
ピクチャ表示設定

イメージビューアの一覧画面の表示について設定します

お買い上げ時　ピクチャ一覧

「イメージビューア」に保存されている静止画を一覧で表示するとき、ピクチャ(サムネイル)で表示するか、タイトル名(ファイル名)で表示するかを設定できます。ピクチャ表示に設定すると、1画面あたり4枚ずつの画像で表示されます。

- 自作アニメはピクチャ(サムネイル)で表示できません。
- 「イメージビューア」の操作については、『アプリケーション編』のP.294をご覧ください。

1   「ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」の順に選ぶ

ピクチャ(サムネイル)で一覧表示する場合

「ピクチャ一覧」を選ぶ

タイトル名(ファイル名)で一覧表示する場合

「タイトル名一覧」を選ぶ

配色パターン

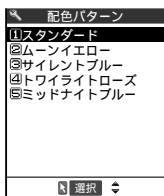
ディスプレイの色を変更します

お買い上げ時	スタンダード

文字や背景など、ディスプレイの配色を選ぶことができます。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「配色パターン」の順に選ぶ

---

2 設定したい配色を選ぶ

配色パターンの選択中は、選んでいる配色に合わせてディスプレイの配色が変わります。

おしらせ

● アイコンや画像は本機能を変更しても色は変わりません。またiモードのサイトの画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらないデータや機能があります。

照明設定

バックライトの点灯方法について設定します

お買い上げ時	通常時：ON（点灯）＋省電（待ち時間5分）　充電時：標準 範囲：液晶＋ボタン　明るさ：レベル2

ディスプレイとダイヤルボタンのバックライトの点灯方法を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

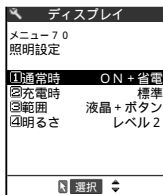
目的	設定項目		内容
バックライトの点灯／消灯を設定する	通常時	ON	FOMA端末を開いているとき、ディスプレイとダイヤルボタン※のバックライトが約15秒間点灯します。
		OFF	ディスプレイ、ダイヤルボタンのバックライトは点灯しません。
	充電時	標準	「通常時」を「ON」にしたときと同じ設定になります。
		常時点灯	FOMA端末を開いているとき、ディスプレイとダイヤルボタン※のバックライトが常に点灯します。
電池の消費を抑える	省電力モード（「通常時」の設定から行います）	ON	設定した待ち時間経過後、待受画面およびイルミネーション・ウィンドウの表示が消えます（省電力モード）。
		OFF	省電力モードには移りません。
バックライトの点灯範囲を設定する	範囲	液晶＋ボタン	ディスプレイとダイヤルボタンのバックライトを点灯します。
		液晶	ディスプレイのバックライトのみ点灯します。
バックライトの明るさを設定する	明るさ		「レベル1」（暗い）、「レベル2」（標準）、「レベル3」（明るい）の3段階から設定します。

※：「範囲」を「液晶」に設定した場合は、点灯しません。

<例：通常時のバックライトを設定する場合>

1 ▶

▶「ディスプレイ」▶「照明設定」の順に選ぶ

2 「通常時」を選ぶ

充電時のバックライトを設定する場合

「充電時」を選ぶ

バックライトの設定を「標準／常時点灯」から選びます。

バックライトの範囲を設定する場合

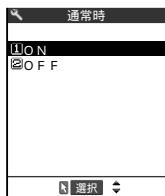
「範囲」を選ぶ

バックライトの範囲を「液晶＋ボタン／液晶」から選びます。

バックライトの明るさを設定する場合

「明るさ」を選ぶ

バックライトの明るさを「レベル1～3」から選びます。

3 設定する項目を選ぶ

バックライトを点灯する場合

「ON」を選ぶ

省電力モードを「有効にする／無効にする」（ON／OFF）から選びます。

「ON」に設定した場合は、省電力モードに移るまでの時間を02～20分の範囲で設定します。

バックライトを点灯しない場合

「OFF」を選ぶ

待受画面に「 」が表示されます。

おしらせ

- テレビ電話中のときは、テレビ電話の「照明設定」の設定が優先されます。
- FOMA端末を開いているときに省電力モードになると、ディスプレイのバックライトが消灯し、 と が約5秒間隔で点滅します。ボタン操作をすると省電力モードが解除されます。
- 「充電時」の設定を「常時点灯」に設定した充電状態であっても、約15秒間操作の無い場合は、充電の効率を高めるためにディスプレイのバックライトの明るさを「レベル1」にして点灯し続けます。
- 「充電時」を「常時点灯」、「範囲」を「液晶＋ボタン」に設定してもテレビ電話中の充電状態では、約15秒間何もしないとダイヤルボタンのバックライトが消灯します。
- バックライトの点灯／消灯は5を1秒以上押しても切り替えることができます。
  ただし、文字入力中、テレビ電話中、遠隔監視中、iアプリの実行中は切り替えることはできません。また、充電中にこの操作を行っても照明設定の「充電時」の設定は変更されません。
- 「充電時」の設定を「常時点灯」に設定していても、充電が完了して充電ランプが消えると「通常時」の設定で動作します。
- メニュー機能をひとつでも操作しているときにタスクメニューで待受画面を表示した場合や、「iアプリ待受画面」（『アプリケーション編』のP.85）設定中は省電力モードにはなりません。

着信イルミネーション

着信時の着信ランプの点滅について設定します

お買い上げ時	電話：色5　TV電話：色5　メール：色1 メッセージリクエスト：色1　メッセージフリー：色1 パターン設定：固定パターン　カラー名：色1～12

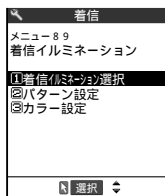
音声電話やテレビ電話がかかってきたときや、メール、メッセージリクエスト／フリーを受信したときの着信ランプの点滅色や点滅のしかた（点滅パターン）を設定できます。また、点滅色の名前を変更したり、色合いを調節することもできます。
設定できる項目は次のとおりです。

設定項目		内容
着信イルミネーション選択	電話	音声電話や64Kデータ通信の着信をしたときの着信ランプの点滅色※1を選びます。
	TV電話	テレビ電話を着信したときの着信ランプの点滅色※1を選びます。
	メール	iモードメールやSMSを受信したとき、パケット通信の着信をしたときの着信ランプの点滅色※1を選びます。
	メッセージリクエスト	メッセージリクエストを受信したときの着信ランプの点滅色※1を選びます。
	メッセージフリー	メッセージフリーを受信したときの着信ランプの点滅色※1を選びます。
パターン設定	固定パターン	着信ランプを一定の間隔で繰り返し点滅するようにします。
	メロディ連動	着信ランプをメロディ※2に合わせて点滅するようにします。
カラー設定	カラー名編集	色1～12のカラー名を変更できます。
	カラー調節	色1～12の色合いを調節できます。

※1：点滅色は色1～12、グラデーションから選びます。
※2：メロディに点滅パターンが設定されていない場合は、固定パターンで点滅します。

- 、の点滅のしかたは着信ランプと同じ設定になりますが、点滅色はオレンジ色のみです。
- 指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。→P.120

 ▶▶**「着信」▶「着信イルミネーション」の順に選ぶ**

2 それぞれの項目を設定する

着信イルミネーション選択：
　着信時の着信ランプの点滅色を設定します。
　設定したい項目を「電話／TV電話／メール／メッセージリクエスト／メッセージフリー」から選んで点滅色を設定します。
　点滅色選択中は、選んでいる色に合わせて着信ランプが点灯します。

パターン設定：
　着信ランプの点滅パターンを「固定パターン／メロディ連動」から選びます。

カラー設定：

　着信イルミネーションの「カラー名編集」、「カラー調節」を設定します。
　「カラー名編集」は変更したい色を選んでカラー名を入力します。カラー名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
　文字の入力のしかた→P.298
　「カラー調節」は色1～12から調節したい色を選んで色合いを調節します。色1～12はカラーの種類が異なるため、調節しても同じ色合いにすることはできません。また、グラデーションの調節はできません。

おしらせ

- 着信音に「おしゃべり機能」で録音した音声を設定している場合は、本機能の設定にかかわらず一定のパターンで点滅します。
- 着信音に「着信音1～3」を設定している場合は、本機能の設定にかかわらずメロディに合わせて点滅します。
- 遠隔監視の着信時は、本機能の設定にかかわらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
- miniSDメモリーカードとデータのやりとりをしている間は、本機能の設定にかかわらず「色5」で点滅します。
- 充電中や撮影中の着信ランプの点灯および点滅は「カラー調節」の設定にかかわらず赤色になります。

通話中イルミネーション
通話中の着信ランプの点滅について設定します

お買い上げ時	OFF

音声通話中やテレビ電話中の着信ランプの点滅色を設定できます。

●点滅色は、7種類の色、3種類のグラデーションから選ぶことができます。

1 ▶ ▶「通話」▶「通話中イルミネーション」の順に選ぶ

2 設定したい点滅色を選ぶ

通話中に着信ランプを点滅させない場合

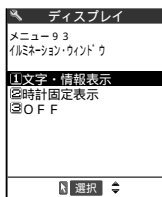
「OFF」を選ぶ

イルミネーション・ウィンドウの表示のしかたを設定します

お買い上げ時	設定：文字・情報表示　コントラスト調節：レベル5 時計種類：デジタル時計　着信番号表示：ON　メール表示：OFF 通信中表示：ON（バックライト：OFF）

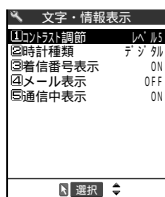
イルミネーション・ウィンドウの時計やメッセージの表示内容を設定したり液晶濃度を調節したりできます。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「イルミネーション・ウィンドウ」の順に選ぶ

2 表示のしかたを選ぶ

文字・情報表示：イルミネーション・ウィンドウに時計やメッセージ、アニメーションを表示します。

時計固定表示：イルミネーション・ウィンドウに時計のみを表示します。相手の電話番号などやアニメーションは表示されません。

OFF：イルミネーション・ウィンドウは表示しません。「OFF」に設定すると操作3の詳細項目は設定できません。

3 それぞれの項目を設定する

文字・情報表示の場合

コントラスト調節：で液晶濃度をレベル1（淡い）〜9（濃い）の9段階で調節します。
コントラストの調節中は、選んでいるレベルに合わせてディスプレイの濃度が変わります。

時計種類：時計の種類をアナログ時計3種類、デジタル時計1種類から選びます。

着信番号表示※：音声電話の着信時、相手の電話番号（電話帳に登録されている場合は名前）を表示する／しない（ON／OFF）を選びます。

メール表示※：受信したメールの送信元のメールアドレスと題名、受信した日時を表示する／しない（ON／OFF）を選びます。

通信中表示※：音声電話やテレビ電話の発信中や通話中、赤外線通信中やデータ通信中のときの状態を画像で表示する／しない（ON／OFF）を選びます。
「ON」に設定した場合は画像を表示したときにバックライトを点灯する／しない（ON／OFF）を選びます。

※：操作2で表示のしかたを「文字・情報表示」に設定したときのみ設定できます。

おしらせ

● 「着信番号表示」を「ON」に設定すると、電話帳に電話をかけてきた相手の電話番号が登録されているときは、相手の名前（登録されている名前）とアイコンが表示されます。また、相手が電話番号を通知してこないときは、その理由が表示されます。「OFF」に設定すると「着信中です」と表示されます。

● 新着メールを受信したときは、「メールが届いています」と表示されます。さらに、「メール表示」の設定によって次のように表示が変わります。

・「メール表示」を「ON」に設定している場合
[ホーム]を押すと送信元のメールアドレスと題名を表示します。もう一度[ホーム]を押すと待受画面に戻ります。また、送信元のメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、送信元を相手の名前（登録している名前）で表示します。複数のメールを受信した場合は、最新3件分のメールアドレスまたは名前と題名を表示します（P.41）。ただし、「セキュリティ設定」（『アプリケーション編』のP.219）されたフォルダに「自動振分けアドレス」（『アプリケーション編』のP.203）が設定されている相手からのメールを受信したときは、送信元と題名は表示されません。

・「メール表示」を「OFF」に設定した場合
[ホーム]を押しても「メールが届いています」の表示のままとなります。

● 「メールが届いています」の表示は、デスクトップアイコンの「メール」を消しても消えます。
「シークレットモード」および「シークレット専用モード」のときに、シークレットデータとして電話帳に登録されている相手からのメールを受信した際に[ホーム]を押したときは、送信元（名前）と題名、受信した日付と時刻が表示されます。通常時は、送信元（メールアドレス）と題名が表示されます。

● 「時計種類」を「アナログ時計1～3」に設定したときの時刻表示は目安です。

● 「時計固定表示」に設定すると、「着信がありました」などのメッセージやスケジュール、めざまし時計のアラーム通知などのアニメーションは表示されません。

● 「αイルミネーション・ウィンドウ」を「ソフト依存」に設定している場合、イルミネーション・ウィンドウ表示に対応したiアプリを待受画面に設定すると、イルミネーション・ウィンドウの表示はそのソフトによる表示が優先されます。

● イルミネーション・ウィンドウのバックライトの点灯／消灯は、「照明設定」の「通常時」の設定に従います。ACアダプタなどの外部電源から電源を供給されているときは、「照明設定」の「充電時」の設定に従います。

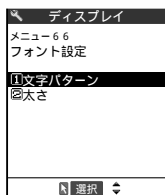
フォント設定

表示する文字のフォントを切り替えます

お買い上げ時	文字パターン：フォント1　太さ：中太字

ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウに表示される文字をお好みのフォント(書体)に切り替えることができます。

1 ▶ ▶**「ディスプレイ」▶「フォント設定」の順に選ぶ**

2 **設定したい項目を選ぶ**

文字パターンを選ぶ場合

「文字パターン」を選ぶ
文字パターンを「フォント1／フォント2」から選びます。
フォント1の文字例：

あいうABC123

フォント2の文字例：

あいうABC123

文字の太さを設定する場合

「太さ」を選ぶ
文字の太さを「細字／中太字／太字」から選びます。

おしらせ

- 「フォント2」に切り替わるのは、英字(全角、半角)、数字(全角、半角)、ひらがな、カタカナ(全角、半角)と一部の記号、ギリシャ文字、ロシア文字だけです。漢字などほかの文字はすべて「フォント1」で表示されます。また電話番号入力や時計表示などの文字も「フォント2」に切り替わりません。
- iモードのサイト表示画面、デコメールの詳細画面、イルミネーション・ウィンドウの文字、iアプリのソフトの画面などの文字は、本機能の設定にかかわらず「細字」で表示されます。

Language
表示を英語に切り替えます

お買い上げ時	Japanese

ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えることができます。

●本機能の名称は、日本語表示に設定されているときは「Language」、英語表示に設定されているときは「Select language」と表示されます。

1 **▶「ディスプレイ」▶「Language（Select language）」の順に選ぶ**

日本語表示のとき

日本語表示から英語表示に切り替える場合

「English」を選ぶ

英語表示のとき

英語表示から日本語表示に切り替える場合

「日本語」を選ぶ

おしらせ

●FOMAカードを差し替えた場合は、そのカードの設定によってLanguageの設定が切り替わることがあります。

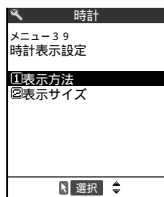
時計表示設定

時計表示を設定します

お買い上げ時	表示方法：日本語　表示サイズ：大きく表示

待受画面の曜日の表示を日本語または英語に設定したり、時計の表示サイズを変えることができます。また、日付や時計を表示しないように設定することもできます。

1 ▶▶「時計」▶「時計表示設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

時計の表示のしかたを設定する場合

「表示方法」を選ぶ

表示のしかたを「日本語／英語／OFF」から選びます。

時計の表示サイズを設定する場合

「表示サイズ」を選ぶ

表示サイズを「大きく表示／小さく表示」から選びます。

おしらせ

- 「表示方法」を「OFF」に設定した場合、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」を設定したときに待受画面に表示される「🔔」および「🔕」も表示されません。

暗証番号が活躍します

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に暗証番号の入力が必要なものがあります(端末暗証番号)。そのほかにも、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- これらの暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)を、当社窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
- いたずら防止のため、暗証番号(ネットワーク暗証番号を除く)はご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。

端末暗証番号

端末暗証番号とは、セキュリティ機能の設定、データの削除、設定のリセットなどを行うときに必要となる4～8桁の暗証番号です。お客様のお好みでFOMA端末から自由に端末暗証番号を変更できます。→P.194

ネットワーク暗証番号

ネットワーク暗証番号とは、一部のネットワークサービスを利用するときに必要となる4桁の暗証番号です。お買い上げのときにお客様ご自身であらかじめネットワーク暗証番号を設定できます。ネットワーク暗証番号はFOMA端末やほかの電話機等から変更することはできません。

PIN(PIN1コード、PIN2コード)

FOMAカードにはPIN1コードとPIN2コードの暗証番号を設定できます。
PIN1コード、PIN2コードについて詳しくは、P.195を参照してください。

iモードパスワード

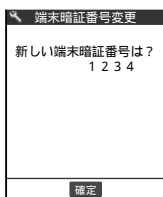
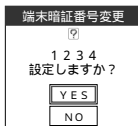
iモードパスワードとは、マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行うときに必要となる4桁のパスワードです。詳しくは『アプリケーション編』をご覧ください。ご契約時は「0000」(数字のゼロ4つ)に設定されています。お客様のお好みで自由にiモードパスワードを変更できます。
iモードパスワード以外にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります。

端末暗証番号を変更します

お買い上げ時	0000(数字のゼロ4つ)

FOMA端末に登録されているお客様の大切なデータを守り、FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の端末暗証番号(4～8桁)を変更できます。

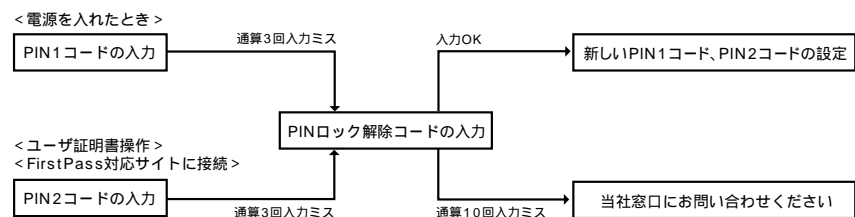
1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

2 新しい4～8桁の端末暗証番号を入力する

3 「YES」を選ぶ

変更を中止する場合
「NO」を選ぶ

PINコードを設定します

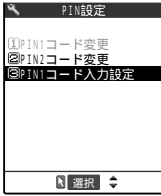
ご契約時	PIN1コード：0000(数字のゼロ4つ) PIN2コード：0000(数字のゼロ4つ)　PIN1コード入力設定：OFF

PIN1コードとは、FOMA端末の電源を入れたときにFOMAカードを不正に使用されないための4～8桁の番号(コード)です。
PIN2コードとは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。本FOMA端末では、ユーザ証明書操作時(FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行)や、FirstPass対応サイトに接続するときに入力します。→『アプリケーション編』のP.46、P.48

●新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。
●PIN1コード、PIN2コードはFOMAカードに登録されます。
●PIN1コード、PIN2コードの入力を通算で3回誤ると自動的にPINロックされ、PINコードが使えなくなります。設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
●FOMA契約申込書(お客様控え)にはPINロック解除コードが記載されています。PINロック解除コードとは、PIN1コード、PIN2コードがロックされたときにロックを解除するための8桁の番号です。
●PINロック解除コードの入力を通算で10回誤ると、FOMAカードが完全にロックされます。FOMA契約申込書(お客様控え)をなくさないように大切に保管してください。
●PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、当社窓口にお問い合わせください。

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します<PIN1コード入力設定>

FOMAカードを不正に使用されないために、電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「PIN設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

2 「PIN1コード入力設定」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

電源を入れたときにPIN1コードを入力する場合
「ON」を選ぶ

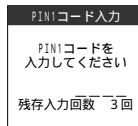
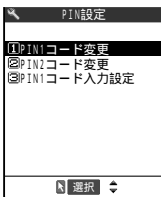
電源を入れたときにPIN1コードを入力しない場合
「OFF」を選ぶ

PIN1／PIN2コードの番号を変更します

- PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

＜例：PIN1コードの番号を変更する場合＞

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「PIN設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

2 「PIN1コード変更」を選んで現在設定されている4〜8桁のPIN1コードを入力する

PIN2コードを変更する場合
「PIN2コード変更」を選んで現在設定されている4〜8桁のPIN2コードを入力する

3 4〜8桁の新しいPIN1コードを入力する

PIN2コードを変更する場合
新しい4〜8桁のPIN2コードを入力する

4 もう一度新しいPIN1コードを入力する

PIN2コードを変更する場合
もう一度新しいPIN2コードを入力する

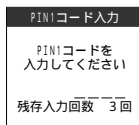
電源を入れたときにPIN1コードを入力します

「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定した場合は、電源を入れるとPIN1コードの入力画面が表示されますので、PIN1コードを入力してください。

●PIN1コードの入力画面のままでは、FOMA端末の操作ができず、次の動作も行われませんのでご注意ください。また、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定した場合に、電源を切った状態から「めざまし時計」のアラーム通知で自動的に電源が入ったときも、次の動作は行われません。
・音声電話やテレビ電話の着信
・「スケジュール」や「ToDo」のアラーム通知
・メール、メッセージリクエスト／フリーの受信
・iアプリのソフトの自動起動
・ソフトウェアの予約更新

1 FOMA端末の電源を入れる

2 4～8桁のPIN1コードを入力する

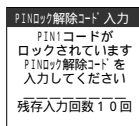
PIN1コード入力
PIN1コードを
入力してください
残存入力回数　3回

PIN1コードを正しく入力すると、「FOMA」ロゴが表示された後、待受画面が表示されます。

PINロックを解除します

PIN1／PIN2コードの入力が必要な画面で、誤ったPIN1／PIN2コードを通算で3回入力した場合は、PIN1／PIN2コードがロックされます。その場合は、いったんPIN1／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1／PIN2コードを設定する必要があります。

● PINロック解除コードについてはFOMAご契約時にお渡しするFOMA契約申込書（お客様控え）をご確認ください。

<例：PIN1コードのロックを解除する場合>

1 8桁のPINロック解除コードを入力する

2 4～8桁の新しいPIN1コードを入力する

PIN2コードのロックを解除する場合
4～8桁の新しいPIN2コードを入力する

3 もう一度新しいPIN1コードを入力する

PIN2コードのロックを解除する場合
もう一度新しいPIN2コードを入力する

ロック機能について

FOMA端末には、ほかの人に無断で使われたり、電話帳やメールを見られたりすることを防ぐロック機能があります。
設定できる機能は次のとおりです。

目的	内容	機能名	参照ページ
ほかの人にFOMA端末を使われるのを防ぐ	電源を入れる／切る、遠隔監視の着信を受ける以外の操作ができなくなります。	オールロック	P.200
ほかの人に「電話帳」や「スケジュール」のデータを見られることを防ぐ	「電話帳」や「スケジュール」のデータを、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしない限り呼び出せないシークレットデータとして登録します。また、それらのデータを呼び出します（「シークレット専用モード」ではシークレットデータのみを呼び出します）。	シークレットモード／シークレット専用モード	P.201
ほかの人に個人情報を見られたり、書き換えられたりするのを防ぐ	「電話帳」や「スケジュール」、「メール」などの個人情報の表示や編集ができなくなります。また、「iモード」や「iアプリ」の起動ができなくなります。	PIMロック	P.204
私用電話を防ぐ	ダイヤル入力による電話の発信やメールの送信ができなくなります。電話帳に登録されている電話番号、メールアドレスおよびその発信履歴、送信アドレス一覧以外は利用できません。	ダイヤル発信制限	P.205
ほかの人に発着信の履歴を見られるのを防ぐ	「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」を表示できないようにします。	履歴表示設定	P.206
音声電話やテレビ電話の着信を気にしないでFOMA端末を操作する	音声電話やテレビ電話の発着信、iモードの利用、メールの送受信をできないようにします。	セルフモード	P.207
ボタンの誤操作を防ぐ	サイドボタンの機能を無効にします。	サイドボタン操作	P.208

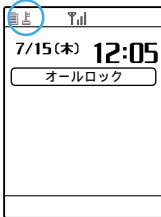
オールロック
ほかの人に使われないようにします

お買い上げ時　解除

オールロックをかけると電源を入れる／切る以外の操作ができなくなります。ほかの人にFOMA端末を無断で使われることを防止します。

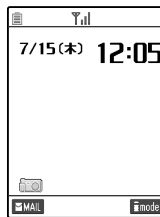
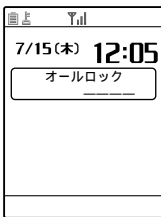
●オールロック中は音声電話やテレビ電話を受けることも、かけることもできません。
●オールロックは電源を切っても解除されません。

オールロックを設定します

1 **Menu ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「オールロック」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

オールロックが設定されて「オールロック」と「 」が表示されます。
端末暗証番号について→P.193

オールロックを解除します

●オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。
ただし、再度電源を入れることはできます。

1 **オールロック設定中の画面で端末暗証番号を入力して(●)を押す**

オールロックが解除されて「 」の表示が消えます。
端末暗証番号について→P.193

おしらせ

- オールロック中は、緊急通報番号(110番、119番、118番)にも電話をかけることができません。
- 待受画面にアニメーションを設定している場合、オールロック中にFOMA端末を開いたときは、アニメーションの最初の1コマのみが表示されます。
- オールロック中は、音声電話やテレビ電話がかかってきても着信音は鳴りません。オールロック解除後、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- オールロック中でも、「遠隔監視」を受けることができます。
- オールロック中は、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。オールロックを解除後、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。ただし、「めざまし時計」のアラーム通知の場合は、オールロック中に電源を切ると、設定時間になっても自動的に電源は入らず、オールロック解除後も「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンは待受画面に表示されません。
- オールロック中は、メッセージリクエスト/フリー、iモードメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。オールロックの解除後、受信した種別のアイコンが画面に表示されます。

シークレットモード/シークレット専用モード
知られたくない電話帳とスケジュールを守ります

お買い上げ時	シークレットモード：解除　シークレット専用モード：解除

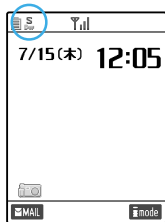
ほかの人に知られたくない「電話帳」や「スケジュール」のデータは、端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレットデータとして登録できます。シークレットデータにするにはシークレットモード中またはシークレット専用モード中に「電話帳」または「スケジュール」を登録します。
シークレットモードではシークレットデータも含めた「電話帳」、「スケジュール」のすべてのデータを呼び出すことができます。シークレット専用モードではシークレットデータの「電話帳」、「スケジュール」のみを呼び出すことができます。

- シークレットモード中またはシークレット専用モード中に、シークレットモードまたはシークレット専用モードを設定すると、設定中のモードは解除されます。
- シークレットモード中またはシークレット専用モード中に、音声電話やテレビ電話をかけたり受けたりすると、設定中のモードは解除されます。
- FOMAカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。
- シークレットモードおよびシークレット専用モードは電源を切ると解除されます。

シークレットデータとして電話帳やスケジュールを登録します

- シークレットモードおよびシークレット専用モード設定中の「電話帳」、「スケジュール」の操作方法は、シークレットモードおよびシークレット専用モードが設定されていない場合と同じです。

<例：シークレットモードで登録する場合>

1 Menu▶各種設定▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

シークレットモードに設定されて「S」が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「D/S」が表示されます。
端末暗証番号について→P.193

シークレットモードを解除する場合

PWR/HLDを押す

シークレットモードが解除されて「S」の表示が消えます。

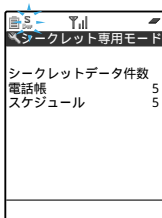
2 「電話帳」または「スケジュール」を登録する

シークレットデータとして登録されます。
電話帳の登録のしかた→P.108
スケジュールの登録のしかた→P.218

おしらせ

- シークレットモードでシークレットデータの「電話帳」または「スケジュール」を表示すると「S」が点滅します。
- シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。
- シークレットデータとして「電話帳」をメモリ番号「000」～「009」に登録した場合は、シークレットモードやシークレット専用モードにしないと、「ツータッチダイヤル」で電話をかけることはできません。
- シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードにしていても、登録されている名前は表示されません。また「着信履歴」にも通知された電話番号が記憶されますが、登録されている名前は記憶されません。
- シークレットデータの「電話帳」には次の機能を設定できません。
  - ・オート表示→P.125
  - ・電話帳指定設定→P.141
  - ・電話帳便利機能→P.120
- シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、シークレットモード中に電話番号やメールアドレスを1件でも修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての電話番号やメールアドレスがシークレットデータになります。
- 「電話帳便利機能」が設定された「電話帳」をシークレットデータとして登録すると、その電話帳の「電話帳便利機能」の設定は解除されます。
- 「グループ便利機能」が設定された「電話帳」をシークレットデータとして登録すると、「グループ便利機能」の設定は無効となります。シークレットデータとして登録した「電話帳」を通常の「電話帳」に変更すると、「グループ便利機能」の設定は有効になります。

シークレットデータのみ表示します ＜シークレット専用モード＞

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレット専用モード」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

シークレット専用モードに設定されて「S」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「D/S」が点滅表示します。

約2秒経つと待受画面に戻ります。

端末暗証番号について→P.193

シークレット専用モードを解除する場合

PWR HLD を押す

シークレット専用モードが解除されて「S」の表示が消えます。

---

2 電話帳の検索またはスケジュールの確認を行う

電話帳の検索のしかた→P.116
スケジュールの確認のしかた→P.222

おしらせ

● シークレットデータを呼び出して電話をかけたときは、「発信履歴」、「リダイヤル」には記憶されません。

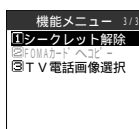
シークレットデータを通常のデータに戻します

シークレットデータとして登録したデータを通常のデータに変更できます。

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードで解除したい電話帳またはスケジュールを呼び出す

電話帳の検索のしかた→P.116
スケジュールの確認のしかた→P.222

---

2 機能メニューから「シークレット解除」を選ぶ

電話帳の場合

シークレットが解除されます。シークレットモードの場合は、「S」の点滅表示が点灯に変わります。

PIMロック

個人情報が表示できないようにします

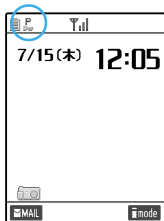
お買い上げ時	解除

ほかの人が個人情報を見たり、書き換えたりするのを防ぐため、「電話帳」や「スケジュール」、「メール」などが起動しないように設定します。

●電話帳に設定した「電話帳便利機能」、「電話帳指定設定」や音声電話／テレビ電話の発着信時の名前表示、「オート表示」は利用できません。

●PIMロックを設定すると、それまでの「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」はすべて削除されます。本機能の設定後に記憶された履歴は残りますが、電話帳に登録した相手からの電話やメールでも名前は表示されません。

●PIMロックは電源を切っても解除されません。

1 **Menu▶各種設定▶「ロック／セキュリティ」▶「PIMロック」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

PIMロックが設定されて「P」が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「D/P」が表示されます。

端末暗証番号について→P.193

PIMロックを解除する場合

PIMロック中に設定と同じ操作を行う

PIMロックが解除されて「P」の表示が消えます。

おしらせ

● PIMロック中に禁止されている操作をした場合は、PIMロック設定中であることを通知するメッセージが表示されます。

● パソコンなど外部機器に接続したときはPIMロックの設定は無効になることがあります。「電話帳」を使われたくない場合は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」で登録してください。→P.201

● PIMロック中は、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。PIMロックを解除後、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。ただし、「めざまし時計」のアラーム通知の場合は、PIMロック中に電源を切ると、設定時間になっても自動的に電源は入らず、PIMロック解除後も「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンは待受画面に表示されません。

● PIMロック中は、メッセージリクエスト／フリー、iモードメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。PIMロックの解除後、受信した種別のアイコンが画面に表示されます。

● PIMロック設定中は、動画／iモーションおよびプリインストール以外のメロディ、イメージ、キャラ電を表示または再生することはできません。プリインストール以外のメロディ、イメージ、動画やiモーションを着信音や待受画面などに設定している場合、PIMロック中はお買い上げ時の設定で動作します。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止します

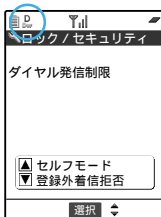
お買い上げ時 | 解除

電話番号をダイヤルして音声電話やテレビ電話をかけることを禁止します。設定前に登録した「電話帳」と設定後の「発信履歴」、「リダイヤル」による発信だけが可能となります。
FOMA端末を会社の業務用としてお使いのときなどは、あらかじめ業務に必要な電話番号を「電話帳」に登録してから本機能を設定すると私用電話を防止できます。

●ダイヤル発信制限中は次の機能や操作からの音声電話発信／テレビ電話発信／ｉモードメール作成／SMS作成ができません。
- ダイヤル入力
- 着信履歴
- 受信アドレス一覧
- メールメンバー
- デスクトップアイコン
- アクセスリーダー
- バーコードリーダー
- 伝言メモの再生

●ダイヤル発信制限中は次のような操作ができません。
- 電話帳の登録／編集※／削除
  ※：iアプリDX（『アプリケーション編』のP.65）によっては、FOMA端末（本体）の電話帳のグループ01～19のグループ名を変更できる場合があります。
- 「Phone To機能」、「Mail To機能」の利用
- メールの宛先をダイヤルボタンで入力
- 電話帳に登録されていないメールアドレスへの返信
- 「赤外線通信機能」による電話帳のデータ送受信
- 「FOMAカード操作」による電話帳のコピー、削除
- miniSDメモリーカードからの電話帳のインポート

●本機能を設定すると、それまでの「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」はすべて削除されます。ただし、本機能の設定後にかかってきた電話の「着信履歴」やかけた電話の「発信履歴」、「リダイヤル」および受信したメールの「受信アドレス一覧」、送信したメールの「送信アドレス一覧」は残ります。また、宛先および本文が設定された状態で保存されているメールは、宛先が削除されて本文のみのメールとなります。宛先のみ設定された状態で保存されているメールは削除されます。
●ダイヤル発信制限は電源を切っても解除されません。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「ダイヤル発信制限」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

ダイヤル発信制限が設定されて「D」が表示されます。「シークレットモード」や「シークレット専用モード」が同時に設定されている場合は「D/S」、「PIMロック」が同時に設定されている場合は「D/P」が表示されます。
端末暗証番号について→P.193

ダイヤル発信制限を解除する場合
ダイヤル発信制限中に設定と同じ操作を行う
ダイヤル発信制限が解除されて「D」の表示が消えます。

おしらせ

- ダイヤル発信制限中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。
- ダイヤル発信制限中に禁止されている操作をした場合は、ダイヤル発信制限設定中であることを通知するメッセージが表示されます。
- ダイヤル発信制限中に挿入していたFOMAカードでも、ほかのFOMA端末に挿入すると電話帳を登録できるようになります。また、ほかのFOMA端末からは電話帳に登録されている電話番号以外にも電話をかけることができますのでご注意ください。

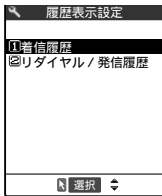
履歴表示設定

発信や着信の履歴を表示しないようにします

お買い上げ時	着信履歴：ON　リダイヤル／発信履歴：ON

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」を表示しないように設定できます。ほかの人に発信や着信の履歴を見られたくないときに便利です。

- 履歴を表示しないように設定したあとも、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」の情報は記憶されます。
- 履歴表示設定は電源を切っても設定は変わりません。

1 **Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「履歴表示設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

端末暗証番号について→P.193

着信履歴、受信アドレス一覧の表示について設定する場合

「着信履歴」を選ぶ

着信履歴を「表示する／表示しない」（ON／OFF）から選びます。

リダイヤル、発信履歴、送信アドレス一覧の表示について設定する場合

「リダイヤル／発信履歴」を選ぶ

リダイヤル／発信履歴を「表示する／表示しない」（ON／OFF）から選びます。

おしらせ

- 「着信履歴」の表示を「OFF」に設定している場合に不在着信があっても、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。「不在着信あり」のデスクトップアイコンから「着信履歴」を表示しようとしたときは、履歴表示が「OFF」に設定されていることを通知するメッセージが表示されます。この場合、デスクトップアイコンは消えません。「不在着信あり」のデスクトップアイコンを消すにはCLRを1秒以上押します。
- 「着信履歴」の表示を「OFF」に設定しているときでも「伝言メモ」は再生できます。

セルフモード
発信や着信ができないようにします

お買い上げ時	解除

音声電話やテレビ電話の発着信、iモードの利用、メールの送受信ができないように設定できます。音声電話やテレビ電話の着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

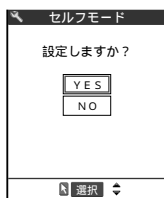
●セルフモード中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。なお、「留守番電話サービス」(P.271)、「転送でんわサービス」(P.276)をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。

●セルフモード中は、「不在着信あり」などのデスクトップアイコンによるお知らせもしません。

●セルフモード中は、赤外線通信や外部機器によるデータ通信もできません。

●セルフモードは電源を切っても解除されません。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「ロック/セキュリティ」▶「セルフモード」の順に選ぶ

2 「YES」を選び、● [選択]を押す

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

セルフモードを設定しない場合

「NO」を選ぶ

セルフモードを解除する場合

セルフモード中に設定と同じ操作を行う
セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

おしらせ

●セルフモード中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

●セルフモード中に禁止されている操作をした場合、セルフモード設定中であることを通知するメッセージが表示されます。

●セルフモード中に送られてきたメッセージリクエスト/フリーやiモードメールはiモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。セルフモードを解除後、「iモード問い合わせ」および「SMS問い合わせ」(『アプリケーション編』のP.104、P.180、P.197)を行ってメッセージリクエスト/フリー、iモードメール、SMSを受信してください。

●セルフモード中は、通信が必要なiアプリを起動できない場合があります。

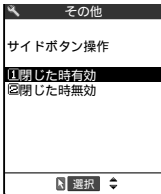
サイドボタン操作

折り畳んでいるときのサイドボタンを無効にします

お買い上げ時	閉じた時有効

FOMA端末を折り畳んでいるときに、かばんの中などでの誤操作を防ぐためにサイドボタンの機能を無効にできます。

●次のような場合は、本機能の設定にかかわらずサイドボタンの機能は有効になります。ただし、▾を1秒以上押してのカメラ起動はできません。
・FOMA端末を開いているとき
・スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を接続しているとき
・外部接続端子にパソコンなどを接続しているとき
●サイドボタン設定は電源を切っても設定は変わりません。

1 Menu▶ 各種設定 ▶「その他」▶「サイドボタン操作」の順に選ぶ

サイドボタンの機能を有効にする場合
「閉じた時有効」を選ぶ

サイドボタンの機能を無効にする場合
「閉じた時無効」を選ぶ
待受画面に「SIDE OFF」が表示されます。

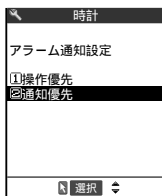
おしらせ

● 本機能はMenuを押したあと、*を1秒以上押して有効と無効を切り替えることもできます。
● 本機能を「閉じた時無効」に設定すると、「確認機能設定」(P.77)を「電子音」または「ボイス」に設定していても、FOMA端末を折り畳んだ状態での不在着信や新着メールの確認はできません。また、「不在着信履歴」(P.151)も確認できません。
● 本機能を「閉じた時無効」に設定していても、サイドボタンを押すとイルミネーション・ウィンドウのバックライトは点灯します。
● 本機能を「閉じた時無効」に設定すると、FOMA端末を折り畳んだ状態での静止画の撮影(シャッターやライトの操作)ができなくなります。

アラーム通知を利用します

お買い上げ時　通知優先

「めざまし時計」(P.213)、「スケジュール」(P.216)、「ToDo」(P.228)でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定できます。「操作優先」に設定すると、待受画面表示中のときのみアラームを通知します。FOMA端末の操作中にアラームを通知したくない場合に設定します。「通知優先」に設定すると、FOMA端末の操作中や通話中でもアラームを通知します。どのような場合でもアラームで通知してほしい場合に設定します。

▶▶**「時計」▶「アラーム通知設定」の順に選ぶ**

操作を優先する場合

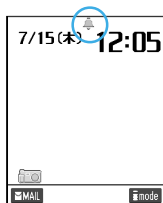
「操作優先」を選ぶ

アラーム通知を優先する場合

「通知優先」を選ぶ

アラーム通知の動作

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアラーム通知の設定を示すアイコンが表示されます。設定した時刻になると、それぞれの機能に応じてアラームを通知します。

■アラーム通知を設定すると

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合

「」が表示されます。

明日以降の設定がある場合

「」が表示されます。

■設定した時刻になると

各機能ごとに次のような動作でアラームを通知します。

めざまし時計の場合

スケジュールの場合※

ToDoの場合※

状態	機能名	
	めざまし時計	スケジュール、ToDo
待受画面表示中	「スヌーズ通知しない」に設定している場合は、アラーム音が約5分間繰り返し鳴ります。「スヌーズ通知する」に設定している場合は、アラーム音が約1分間繰り返し鳴り、その動作を約5分おきに6回まで繰り返します。ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。	アラーム音が約5分間繰り返し鳴り、ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。
電源が切れている	自動的に電源が入り、「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。PIN1コード入力設定が「ON」に設定されているときは、アラーム通知の画面表示を消すとPIN1コード入力画面が表示されます。	設定した時刻になってもアラームを通知しません。
通話中	受話口から時刻アラーム音(ピッピピ…)が3回繰り返し鳴ります。ディスプレイにはアニメーションが表示されます。	
電話の着信中/発信中	「通話中」の場合と同じようにアラームを通知します。着信中のときは、電話に出たときに「通話中」の場合と同じようにアラームを通知します。	
iモード中/メール送受信中	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。	
赤外線通信機能またはSD-PIM機能の操作中、OBEXによるデータ送受信中	設定した時刻になってもアラームを通知しません。データ通信終了後、待受画面に「 」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンが表示されます。→P.212	
イヤホンマイク接続中	イヤホンからアラーム音が約20秒間鳴ります。約20秒たつとアラーム音がイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。	
PIN1コード入力設定が「ON」に設定されていて、電源を入れた後のPIN1コード入力画面を表示しているとき	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム通知の画面表示を消すと、PIN1コード入力画面に戻ります。	正しいPIN1コードを入力し、「FOMA」ロゴが表示された後にアラームを通知します。
オールロック中/PIMロック中	設定した時刻になってもアラームを通知しません。オールロック/PIMロック解除後、待受画面に「 」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンが表示されます(P.212)。オールロック中/PIMロック中で電源も切っている場合は、設定した時刻になっても電源は入らず、オールロック/PIMロック解除後も「 」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンは表示されません。	設定した時刻になってもアラームを通知しません。オールロック/PIMロック解除後、待受画面に「 」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンが表示されます。→P.212

※:「スケジュール」および「ToDo」のアラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリーによって変わります。

おしらせ

- 「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。
  ①めざまし時計
  ②ToDo
  ③スケジュール
  アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「 」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。ただし、電源を切っている場合は、めざまし時計機能によって自動的に電源は入りますが、「 」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは表示されません。
- シークレットデータとして登録された「スケジュール」のアラーム通知では、シークレットのアニメーションが表示され、アラームメッセージは表示されません。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」設定中のアラーム通知では、登録されたメッセージとアニメーションが表示されます。アラーム音は「シークレットモード」、「シークレット専用モード」にかかわらず、設定されたアラーム音が鳴ります。
- 「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音の音量は、「着信音量」（P.79）の「電話／TV電話」で設定した音量になります。
- 通話中の時刻アラーム音の音量は、「受話音量」（P.78）で設定した音量になります。
- マナーモード設定中のアラーム音の音量は、「マナーモード選択」（P.136）で設定した音量になります。
- 「バイブレータ」を「OFF」以外に設定している場合は、アラーム音と振動でお知らせします。

アラーム音を止めるには

■ めざまし時計のアラーム音

「スヌーズ通知しない」に設定している場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になります。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。

「スヌーズ通知する」に設定している場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になり、アラームメッセージは「スヌーズ中」と表示されます。「スヌーズ中」の表示中は約5分たつと再度アラームを通知します。「スヌーズ中」に PWR HLD を押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■ スケジュール、ToDoのアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます。ただし、FOMA端末を閉じた状態でサイドボタンを押した場合は、アラーム通知の画面は消えません。

■ アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「めざまし時計」のスヌーズも解除されます。

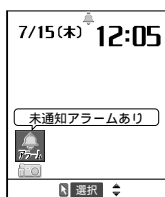
おしらせ

- 「ボタン確認音」（P.168）を「OFF」に設定している場合、スヌーズ通知の解除音は鳴りません。

通知できなかったアラームの内容を確認します

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「 」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認できます。

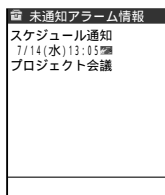
●未通知アラーム情報は、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のいずれか1件の最新の内容が記憶されます。

1 待受画面で●を押して「 」を選ぶ

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」の未通知アラーム情報が表示されます。

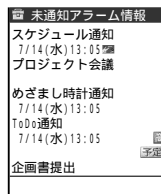
「 」のデスクトップアイコンを消す場合

CLRを1秒以上押す

「 」のデスクトップアイコンを消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

2 内容を確認したらCLRを押す

待受画面に戻り、「 」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは消えます。

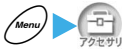
おしらせ

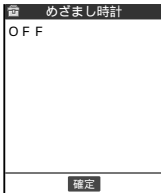
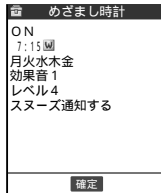
●「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知が同じ時刻に設定されていてアラームを通知できなかった場合は、それぞれの未通知アラーム情報が表示されます。

めざまし時計を利用します

お買い上げ時	OFF

FOMA端末をめざまし時計として利用できます。設定した時刻になるとアラーム音とアニメーションでお知らせします。電源を切っていても、自動的に電源が入って時刻を通知します。

●めざまし時計は3件まで登録でき、そのうちの1件を有効にできます。
●あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。→P.65
●「PIMロック」設定中はめざまし時計を設定できません。
●めざまし時計のアラーム通知については、P.209を参照してください。

めざまし時計の時刻を設定します

1 Menu ▶ アクセサリ ▶「めざまし時計」の順に選ぶ

2 ● [確定] を押す

めざまし時計が設定されていない場合

めざまし時計が設定されている場合

登録されているめざまし時計の一覧画面が表示されます。

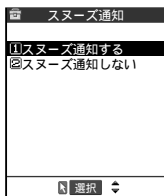
めざまし時計が1件も登録されていない場合

めざまし時計の登録がはじまります。操作4に進んでください。

3 <未登録>を反転表示して [編集] を押す

すでに登録されているめざまし時計の内容を変更する場合

時刻が表示されている項目を反転表示して [編集] を押す

4 それぞれの項目を順番に設定する

時刻入力　：アラームを鳴らす時刻を入力します。

繰り返し　：めざまし時計の繰り返しを設定します。「設定なし」に設定すると、めざまし時計を設定したその日のみアラームを鳴らします。「毎日(D)」に設定すると、毎日設定した時刻にアラームを鳴らします。「曜日指定(W)」に設定すると、毎週指定したすべての曜日にアラームを鳴らします。

アラーム音　：アラーム音を「INBOX」フォルダ、お客様が作成したフォルダ、「プリインストール」フォルダ(「時刻アラーム音」(ピッピピ、ピッピピ)、「着信音1～3」、「メロディ」、「効果音」)、「おしゃべり」、「OFF」から選びます。
音の選びかた→P.164

めざまし音量：アラーム音の音量を「ステップ」、「1～6」、「消去」の8段階から設定します。「ステップ」に設定すると、アラーム音がだんだん大きくなります。「1～6」は数値が大きいほど音量が大きくなります。「消去」に設定すると、アラーム音は鳴りません。

スヌーズ通知：スヌーズ通知(繰り返し通知)のする／しないを設定します。「スヌーズ通知する」に設定すると、アラーム音が約1分間繰り返し鳴り、その動作を約5分おきに6回まで繰り返します。「スヌーズ通知しない」に設定すると、アラーム音が約5分間繰り返し鳴ります。

おしらせ

- 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめめざまし時計の設定を「OFF」にし、FOMA端末の電源を切ってください。
- めざまし時計は電源を切っていても設定した時刻になると自動的に電源が入りアラームを通知します。ただし、設定したアラーム音がFOMAカード動作制限機能(P.53)の対象となるデータの場合、アラーム音は時刻アラーム音(ピッピピ、ピッピピ…)になります。

めざまし時計の設定を変更します

めざまし時計の設定をほかに登録されている項目に変更できます。

1 Menu▶アクセサリ▶「めざまし時計」の順に選ぶ

2 ●[確定]を押す

登録されているめざまし時計の一覧画面が表示されます。

3 設定したい項目を選ぶ

めざまし時計の設定をOFFにする場合

「OFF」を選ぶ

設定内容を変更する場合

変更したい項目を反転表示して◐[編集]を押す

めざまし時計の設定を解除します

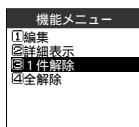
めざまし時計の登録内容を削除できます。

●現在めざまし時計に設定している項目を削除した場合は、めざまし時計の設定が「OFF」になります。

1 Menu▶アクセサリ▶「めざまし時計」の順に選ぶ

2 ◉[確定]を押す

登録されているめざまし時計の一覧画面が表示されます。

3 削除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件解除」を選ぶ

すべての項目の登録内容を削除する場合

「全解除」を選ぶ

スケジュール機能を利用します

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や記念日も登録できます。登録したスケジュールや休日はカレンダーでひとめで確認できます。また、カレンダーは1ヶ月表示と1週間表示に切り替えることができ、当日のスケジュールの件数や用件が表示されます。定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録しておいたり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定したり、1日に複数のスケジュールを登録したりなど、いろいろな方法でスケジュールを管理することができます。

- スケジュール、休日、記念日はそれぞれ100件まで登録できます。ただし、お買い上げのときに登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
- スケジュールは1日に複数の件数を登録できます。休日、記念日は1日に1件のみ登録できます。
- あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。→P.65
- スケジュールのアラーム通知については、P.209を参照してください。

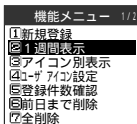
スケジュールの表示を切り替えます

お買い上げ時	1ヶ月表示

スケジュールを表示するカレンダーには「1ヶ月表示」と「1週間表示」の2種類があります。◎を押して確認したい日付を反転表示させると、選んだ日付に登録されているスケジュールの件数やアイコンを確認できます。

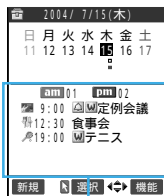
1

「スケジュール」の順に選ぶ

2 **機能メニューから項目を選ぶ**

1ヶ月表示から1週間表示に切り替える場合
「1週間表示」を選ぶ

1週間表示から1ヶ月表示に切り替える場合
「1ヶ月表示」を選ぶ

カレンダーの表示内容

当日の午前と午後に登録されているスケジュールの件数とアイコンを表示します。

当日の午前と午後に設定されているスケジュールの件数、アイコン、スケジュール内容を表示します。

青色の日付 ：土曜日を示します。
赤色の日付 ：日曜日・祝日を示します。
◌：記念日を示します。
＿：当日を示します。
□ ：午前のスケジュールが登録されていることを示します。
■ ：午後のスケジュールが登録されていることを示します。

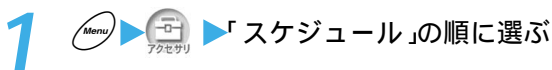
おしらせ

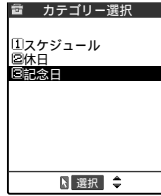
- 「画面表示設定」の「待受画面」に「カレンダー」を設定した場合、待受画面に表示されるカレンダーでは記念日に登録した日付に「◌」は表示されません。
- 登録したスケジュールのアイコンを「休日」アイコンに設定した場合、そのスケジュールが登録されている日付は休日を示す赤色ではなく、スケジュールを示す「□」(午前)、「■」(午後)が表示されます。
- 祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成13年法律第59号)」に基づいています(2004年2月現在)。祝日が変更・新設された場合は、休日を登録してください。休日は内容を変更したり、削除したり、元の登録内容にリセットしたりできます。

休日や記念日を登録します

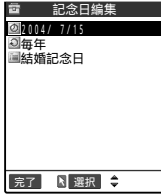
誕生日や結婚記念日、新しく制定された祝日などを休日や記念日として登録します。休日に登録した日付はカレンダー画面で赤色に表示されます。記念日に登録した日付はスケジュール機能のカレンダー表示で「◌」が表示されます。

<例：記念日を設定する場合>

1 ▶ ▶**「スケジュール」の順に選ぶ**

2 [新規]を押して「記念日」を選ぶ

➡

休日を登録する場合

「休日」を選ぶ

3 それぞれの項目を設定する

年月日　：休日、記念日に登録する年月日を入力します。

繰り返し：休日、記念日の繰り返しを設定します。「設定なし」に設定すると、登録した休日、記念日をその年のみ設定します。「毎年(Y)」に設定すると、登録した休日、記念日を毎年の休日、記念日として設定します。

メッセージ(休日、記念日の内容)

：休日、記念日の内容を入力します。メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

文字の入力のしかた→P.298

4 [完了]を押して記念日を登録する

おしらせ

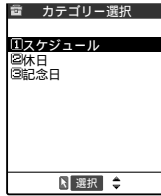
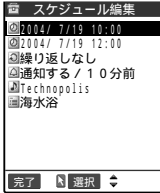
- 設定した年月日にすでに休日、記念日が登録されている場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- うるう年の2月29日に「毎年」の繰り返しを設定した場合は、2月29日のある年のみ休日、記念日が設定されます。

スケジュールを登録します

旅行や約束などの用件をスケジュールとして登録しておくと、設定した日時にアラーム音やアニメーションでお知らせします。

- 設定した日時を過ぎてもスケジュールは自動的に削除されません。101件目のスケジュールを登録しようとした場合は、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。不要なスケジュールを削除して登録し直してください。
- 「アラームメッセージ(スケジュールの内容)」は必ず入力してください。「アラームメッセージ」を入力していない場合はスケジュールの登録ができません。

1 ▶ ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 [新規]を押して「スケジュール」を選ぶ

➡
3 それぞれの項目を設定する

開始日時：スケジュールの開始日時を入力します。

終了日時：スケジュールの終了日時を入力します。開始日時以降の日時を入力してください。

繰り返し設定：スケジュールの繰り返しを設定します。「設定なし」に設定すると、スケジュールを設定したその日のみアラームを鳴らします。「毎日（D）」に設定すると、毎日設定した時刻にアラームを鳴らします。「曜日指定（W）」に設定すると、毎週指定したすべての曜日にアラームを鳴らします。

アラーム通知設定：開始時刻になったときのアラームの通知について設定します。「通知する」に設定すると、設定した開始日時にアラームを通知します。「事前通知する」に設定すると、開始時刻の何分前にアラームを通知するかを０１～９９分の範囲で設定し、その時間にアラームを通知します。「通知しない」に設定すると、開始時刻になってもアラームを通知しません。

アラーム音：アラーム音を「INBOX」フォルダ、お客様が作成したフォルダ、「プリインストール」フォルダ（「時刻アラーム音」（ピッピピ、ピッピピ）、「着信音１～３」、「メロディ」、「効果音」）、「おしゃべり」、「OFF」から設定します。
音の選びかた→P.163

アラームメッセージ（スケジュール内容）
：アラーム通知時に画面に表示するメッセージを入力してアイコンを選びます。メッセージは全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.298

4 [完了]を押してスケジュールを登録する

おしらせ

- 同じ日付の同じ時刻に2つのスケジュールを登録しようとした場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- 同じ日付の同じ時刻に登録できるのは「繰り返し」(毎日／曜日指定)と「繰り返しなし」(設定なし)の組み合わせのみです。このような場合は「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。
- 開始日時で設定した日付の曜日と曜日指定繰り返しで指定した曜日が違う場合は、曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。
- 音声通話中にスケジュールを登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。
- シークレットデータとして登録されたスケジュールは、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと表示されません。→P.201
- 待受画面にカレンダーを設定している場合は、カレンダーからスケジュールを登録できます。→P.178

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したスケジュールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したスケジュールの内容は手帳などに控えを取ったり、データリンクソフト(『アプリケーション編』のP.470)やminiSDメモリーカード(『アプリケーション編』のP.357)を利用して保管されることをおすすめいたします。

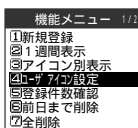
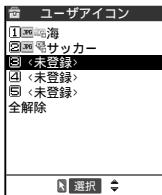
お好みの画像をユーザアイコンとして設定します

「イメージビューア」(『アプリケーション編』のP.294)に登録されている画像やアニメーションをユーザアイコンとして設定できます。設定したユーザアイコンは、アイコン選択の画面で「 」～「 」と表示されます。ユーザアイコンを設定すると、アラーム通知時に設定した画像やアニメーションが表示されます。また、イルミネーション・ウィンドウには「☆」が表示されます。

●ユーザアイコンは最大5件まで設定できます。

1

▶「スケジュール」の順に選ぶ

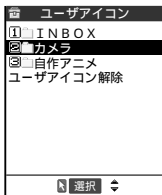
2 **機能メニューから「ユーザアイコン設定」を選ぶ**

3 ＜未登録＞を選ぶ

すでに設定されているユーザアイコンを変更する場合

すでに設定されている項目を選ぶ

ユーザアイコンの設定をすべて解除する場合

「全解除」を選ぶ

すでにユーザアイコンが設定されている場合のみ解除できます。

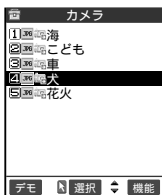
画像が保存されているフォルダを選ぶ

お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選ぶこともできます。

画像の選びかた→『アプリケーション編』のP.294

選んだ項目のユーザアイコンを解除する場合

「ユーザアイコン解除」を選ぶ

すでにユーザアイコンが設定されている項目を選んだ場合のみ解除できます。

5 設定したい項目を選ぶ

プレビュー表示する場合

表示したい項目を反転表示して[デモ]を押す

タイトル名の一覧表示に切り替える場合

機能メニューから「タイトル名一覧」を選ぶ

4枚ずつの画像表示に切り替える場合

機能メニューから「ピクチャー一覧」を選ぶ

おしらせ

- ユーザアイコンに設定した画像が画面に表示しきれない場合は、「イメージビューア」の「切り出し範囲」（『アプリケーション編』のP.303）で設定した範囲が表示されます。
- 変更しようとするユーザアイコンがスケジュールで使用されている場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。ユーザアイコンを上書きすると元のアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「」に変わります。
- 解除しようとするユーザアイコンがスケジュールで使用されている場合は、解除するかどうかのメッセージが表示されます。ユーザアイコンを解除すると、ユーザアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「」に変わります。

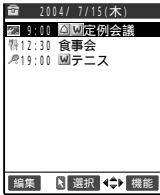
スケジュールの内容を確認します

詳細画面を表示して登録したスケジュールの内容を確認できます。

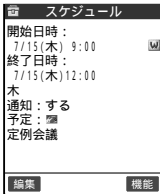
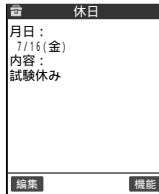
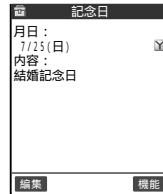
1 ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 内容を確認したいスケジュールが登録されている日付を選ぶ

登録されているスケジュールが一覧で表示されます。

3 内容を確認したい項目を選ぶ

一覧表示では次のようなアイコンが表示されます。

- ：設定したスケジュールアイコンが表示され、スケジュールが登録されていることを示します。
- ：休日が登録されていることを示します。
- ：記念日が登録されていることを示します。
- ：アラーム通知が設定されていることを示します。
- D：毎日繰り返しが設定されていることを示します。
- W：曜日指定繰り返しが設定されていることを示します。
- Y：毎年指定繰り返しが設定されていることを示します。

4 内容を確認する

スケジュールの詳細画面

休日の詳細画面

記念日の詳細画面

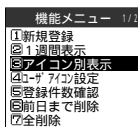
おしらせ

- シークレットデータとして登録されたスケジュールは、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定しないと表示されません。

スケジュールをアイコン別に表示します

登録時に設定したアイコンや休日、記念日ごとにスケジュールを表示できます。

1 ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 機能メニューから「アイコン別表示」を選ぶ

3 アイコンを選ぶ

選んだアイコンが設定されているスケジュールが一覧で表示されます。

おしらせ

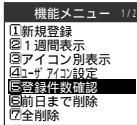
- アイコン別一覧画面では、繰り返しを設定しているスケジュール（「D」または「W」）は1件の項目として表示されます。日付は、今後のスケジュールで最も近い日付が表示されます。

登録件数を確認します

登録されているスケジュールの件数や登録できる残り件数などを確認できます。

●シークレットデータの登録件数はスケジュールの登録件数に含まれます。

  ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 機能メニューから「登録件数確認」を選ぶ

3 スケジュールの登録件数を確認する

スケジュール
ｽｹｼﾞｭｰﾙ登録件数 21/100
休日登録件数 6/100
記念日登録件数 13/100
シークレット 8

スケジュール登録件数：スケジュールの登録件数を表示します。
登録されている件数／最大登録件数

休日登録件数：休日の登録件数を表示します。
登録されている件数／最大登録件数

記念日登録件数：記念日の登録件数を表示します。
登録されている件数／最大登録件数

シークレット：シークレットデータとして登録されたスケジュールの登録件数を表示します。

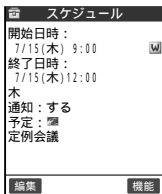
おしらせ

● シークレットデータの登録件数は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定しないと表示されません。

スケジュールの内容を変更します

1 内容を変更したいスケジュールの詳細画面を表示する

詳細画面の表示のしかた→P.222

2 [編集]を押す

スケジュールの編集のしかた→P.218

祝日をリセットする

あらかじめ登録されている国民の祝日を削除しても、リセットして元の登録内容に戻すことができます。「1ヶ月表示」または「1週間表示」画面で、機能メニューから「祝日リセット」を選びます。

おしらせ

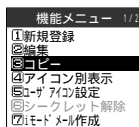
● スケジュールの一覧画面で◐[編集]を押しても、スケジュールの内容を変更できます。

スケジュールをコピーします

内容が似ているスケジュールを新しく登録する場合などは、すでに登録されているスケジュールの内容をコピーして登録できます。「開始日時」以外は登録内容がそのままコピーされます。

1 コピー元のスケジュールの詳細画面を表示する

詳細画面の表示のしかた→P.222

2 機能メニューから「コピー」を選ぶ

3 新しいスケジュールを登録する

最初に開始時刻の設定画面が表示されます。開始時刻を設定すると、スケジュールの登録画面が表示されます。必要に応じて項目を設定してください。

スケジュールの登録のしかた→P.218

おしらせ

● コピー元のスケジュールで「繰り返し設定」が「毎日(D)」または「曜日指定(W)」に設定されていても、コピー先では「設定なし(繰り返しなし)」に変更されます。

スケジュールを削除します

登録されているスケジュール、休日、記念日を1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。
削除の方法は次のとおりです。

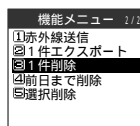
削除の方法	内容	実行できる画面
1件削除	選んだ項目を1件のみ削除します。	一覧画面 詳細画面
前日まで削除	選んだ日付より前の項目をすべて削除します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」から選びます。	カレンダー画面 一覧画面 詳細画面
選択削除	削除するスケジュールをチェックボックスで選び、選んだスケジュールのみ削除します。	一覧画面 詳細画面
全削除	選んだ項目の内容をすべて削除します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」から選びます。	カレンダー画面

●「前日まで削除」および「選択削除」では、お買い上げのときに登録されている祝日は削除されません。また「全削除」では、祝日はリセットされてお買い上げのときの登録内容に戻ります。

■スケジュールを1件削除します

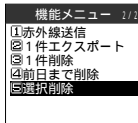
1 **削除したい項目が登録されている日付の一覧画面を表示する**

一覧画面の表示のしかた→P.222

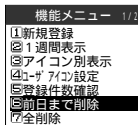
2 **削除する項目を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ**

■選択したスケジュールのみを削除します

1 **削除したい項目が登録されている日付の一覧画面を表示する**

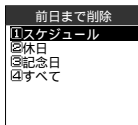
一覧画面の表示のしかた→P.222

2 機能メニューから「選択削除」を選んで削除するスケジュールを選ぶ

■スケジュールをまとめて削除します

1 Menu▶アクセサリ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 日付を選んで機能メニューから「前日まで削除」を選ぶ

すべてのスケジュールを削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

3 削除する項目を選ぶ

すべての項目を削除する場合

「すべて」を選ぶ

おしらせ

- 繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールを1件削除または選択削除しようとした場合、繰り返しの予定を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと繰り返しのスケジュールがすべて削除されます。
- 繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールを前日削除した場合は、前日までのスケジュールを削除します。選んだ日付以降のスケジュールは残ります。

To Do

用件などをリストにします

用件などを登録しておくと、設定した期日にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで用件をお知らせします。また、期日が過ぎた用件のアイコンは赤色で表示します。内容や期日など6つのカテゴリーに分けて用件を管理したり、優先度をつけて重要な用件の順に確認したり、「予定」や「完了」などの状態を設定してある特定の状態にある用件のみを抽出して確認したりなど、いろいろな方法で用件を管理することができます。

●ToDoには100件まで用件を登録できます。

●あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。→P.65

●ToDoのアラーム通知については、P.209を参照してください。

●ToDoをデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能を呼び出すことができます。→P.170

用件を登録します

会議や旅行など忘れてはいけない重要な用件をToDoとして登録しておくと、設定した期日にアラーム音やアニメーションでお知らせします。

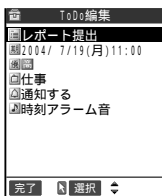
●「用件」は必ず入力してください。「用件」を入力していない場合はToDoの登録ができません。

1 Menu ▶ アクセサリ ▶**「ToDo」の順に選ぶ**

2 **[新規]を押す**

すでに用件が登録されている場合

機能メニューから「新規登録」を選ぶ

3 それぞれの項目を設定する

内容	：	用件の内容を入力します。内容は全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。 文字の入力のしかた→P.298
期日	：	用件の期日を入力します。ダイヤルボタンで直接入力する場合は「直接入力」を、カレンダーから選ぶ場合は「カレンダーから入力」を、期日を設定しない場合は「なし」を選びます。
優先度	：	用件の優先度を設定します。
カテゴリー	：	用件のカテゴリーを設定します。カテゴリーを設定しておくと、用件をカテゴリー別に表示させることができます。
アラーム通知設定	：	設定した期日になったときのアラームの通知について設定します。「通知する」に設定すると、設定した期日にアラームを通知します。「事前通知する」に設定すると、期日の何分前にアラームを通知するかを01～99分の範囲で設定し、その時間にアラームを通知します。「通知しない」に設定すると、期日になってもアラームを通知しません。
アラーム音	：	アラーム音を「INBOX」フォルダ、お客様が作成したフォルダ、「プリインストール」フォルダ(「時刻アラーム音」(ピッピピ、ピッピピ)、「着信音1～3」、「メロディ」、「効果音」)、「おしゃべり」、「OFF」から設定します。 音の選びかた→P.163

4 [完了]を押して用件を登録する

おしらせ

● 音声通話中に用件を登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。

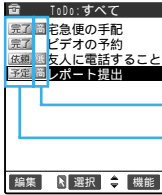
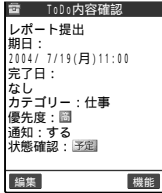
お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したToDoの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したToDoの内容は手帳などに控えを取ったり、データリンクソフト(『アプリケーション編』のP.470)やminiSDメモリーカード(『アプリケーション編』のP.357)を利用して保管されることをおすすめいたします。

用件を確認します

詳細画面を表示して登録した用件の内容を確認できます。

1 ▶▶「ToDo」の順に選ぶ

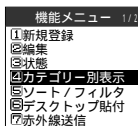
2 確認したい用件を選ぶ

3 用件を確認する

おしらせ

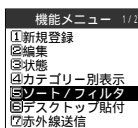
● 設定した期日が現在の日付・時刻を過ぎると、用件の状態を示すアイコンが赤色に変わります。ただし、状態を「完了」に設定している場合は赤色に変わりません。

用件の表示のしかたを変更します

登録されている用件をカテゴリー別に表示したり、期日順や登録順などに並べ替えたり、特定の状態の用件だけを抽出して表示したりできます。特定のカテゴリーの用件のみを表示したい場合や、まだ済んでいない用件を優先して表示したい場合などに便利です。

1 「ToDo」の順に選ぶ

2 機能メニューから「カテゴリー別表示」または「ソート／フィルタ」を選ぶ

カテゴリー別に用件を表示する場合

「カテゴリー別表示」を選んで表示するカテゴリーを選ぶ

用件を並べ替える、または特定の状態の用件のみを抽出する場合

「ソート／フィルタ」を選んで並べ替え、または抽出の方法を選ぶ

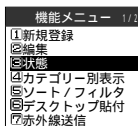
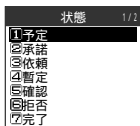
おしらせ

- 用件を「期日順」で並べ替えた場合、期日の古い用件から順に並べ替えられます。
- 用件を「期日順」または「完了日順」で並べ替えた場合、期日または完了日が設定されていない用件は最後に表示されます。
- 用件を「期日順」または「完了日順」で並べ替えた場合、期日または完了日が同じ用件は優先度の高いものから順に表示されます。さらに優先度も同じ場合は、登録順に表示されます。

用件の状態を変更します

用件の状態を「予定」、「承諾」、「依頼」、「暫定」、「確認」、「拒否」、「完了」、「代理」の中から設定できます。用件を済ませてアラーム通知する必要がなくなったら、用件の状態を「完了」に設定してください。

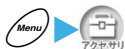
1 ▶ ▶「ToDo」の順に選ぶ

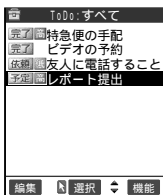
2 状態を設定したい用件を反転表示して機能メニューから「状態」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

「完了」を選んだ場合

完了日を入力できます。入力方法を「直接入力／カレンダーから入力／なし」から選んで、完了日を入力してください。

おしらせ

- ToDoの詳細画面でも機能メニューから「状態」を選んで設定できます。

用件を変更します

1 Menu▶アクセサリ▶「ToDo」の順に選ぶ

2 変更したい用件を反転表示して◐[編集]を押す

用件の編集のしかた→P.228

おしらせ

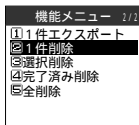
- 用件の詳細画面で◐[編集]を押しても、用件の内容を変更できます。

用件を削除します

登録されている用件を1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

1

▶「ToDo」の順に選ぶ

2 削除したい用件を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数の用件を選んで削除する場合

「選択削除」を選んで削除する用件を選ぶ

状態が「完了」に設定されている用件のみを削除する場合

「完了済み削除」を選ぶ

すべての用件を削除する場合

「全削除」を選ぶ

おしらせ

● ToDoの詳細画面でも機能メニューから削除できます。

電卓

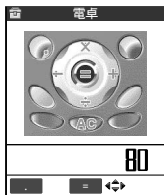
電卓を利用します

FOMA端末で四則演算(＋、－、×、÷)を行うことができます。電卓画面はマルチファンクションボタン周辺を表しており、FOMA端末のボタンを押すとそれに該当する画面のボタンが反転表示します。数字はダイヤルボタンを押して入力します。

●数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。

●計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

1 ▶「電卓」の順に選ぶ

2 計算する

入力した数字、計算結果が表示されます。

「23＋57」を計算する場合

2 3 ＋ 5 7 ＝

最初にを押して数字を入力すると、マイナスの数字となります。次に＋、－、×、÷、＝を入力すると数字の前に「－」が表示されます。ただし、＋、－、×、÷のあとにを押して数字を入力した場合は、先に入力した＋、－、×、÷は無効となり、引き算として計算されます。

おしらせ

● (AC または C)を押すと、計算結果または数字が消えます。＋、－、×、÷、＝を押したあとはAC、数字や小数点の入力中はCの表示になります。

テキストメモ

テキストメモを作成します

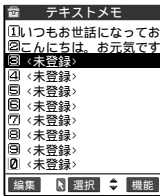
簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成できます。作成したテキストメモはスケジュールの内容やメールの本文に貼り付けることができます。

●テキストメモは10件まで登録できます。

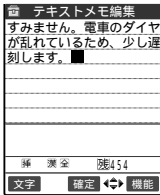
●テキストメモは全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。

テキストメモを登録します

1 Menu ▶ アクセサリ ▶「テキストメモ」の順に選ぶ

2 <未登録>を反転表示して◐[編集]を押す

すでに登録されているテキストメモの内容を変更する場合

変更する項目を反転表示して◐[編集]を押す

3 内容を入力する

文字の入力のしかた→P.298

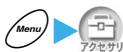
おしらせ

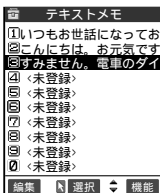
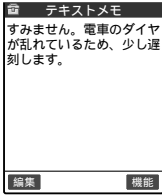
● 機能メニューの「編集」を選んでも、テキストメモの登録/変更ができます。

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したテキストメモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したテキストメモの内容は手帳などに控えを取ったり、データリンクソフト(『アプリケーション編』のP.470)やminiSDメモリーカード(『アプリケーション編』のP.357)を利用して保管されることをおすすめいたします。

テキストメモの内容を確認します

詳細画面を表示して登録した内容を確認できます。

1 Menu ▶ アクセサリ ▶「テキストメモ」の順に選ぶ

2 内容を確認したい項目を選ぶ

3 内容を確認する

作成日時を確認する場合
機能メニューから「テキストメモ情報」を選ぶ
作成日時、最終更新日時、分類を確認できます。

テキストメモを分類する場合
機能メニューから「分類」を選ぶ

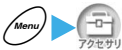
テキストメモの内容をスケジュールに登録する場合
機能メニューから「スケジュール作成」を選ぶ
スケジュールの登録のしかた→P.218

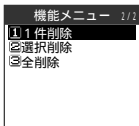
テキストメモの内容をiモードメールで送信する場合
機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ
iモードメールの作成のしかた→『アプリケーション編』のP.152

おしらせ

● テキストメモの一覧画面でも機能メニューを選ぶことができます。

テキストメモを削除します

登録されているテキストメモを1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

1
「テキストメモ」の順に選ぶ

2 削除したいテキストメモを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数のテキストメモを選んで削除する場合
「選択削除」を選んで削除するテキストメモを選ぶ

すべてのテキストメモを削除する場合
「全削除」を選ぶ

おしらせ

● テキストメモの詳細画面でも機能メニューから削除できます。

電話番号表示

お客様の個人データを登録／編集します

お買い上げ時	自局番号のみ

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録できます。個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力(編集)画面で登録されている内容を引用することができます。

- 自局番号を変更したり削除することはできません。
- 自局番号以外の項目はFOMA端末に記憶されます。ほかのFOMAカードを差し込んでも、自局番号以外の項目は登録した内容が表示されます。

個人データを登録します

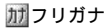
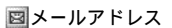
1 Menu ▶ ユーザデータ ▶「電話番号表示」の順に選ぶ

Menu 0 を押しても表示できます。

2 [編集]を押して端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

3 それぞれの項目を設定する

個人データ編集 2/2
会社の携帯
200407151426000
完了 選択

名前：お客様の名前を「姓」と「名」で入力します。姓名は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で１６文字、半角で３２文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.２９８

フリガナ：お客様の名前のフリガナを入力します。「姓」、「名」を入力すると自動的に設定されるので必要に応じて変更してください。フリガナは半角のカタカナ、英字、数字、記号を入力でき、３２文字まで入力できます。

電話番号：自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選びます。電話番号は最大3件まで登録、２６桁まで入力できます。
新しく電話番号を登録すると、個人データの編集画面に「＜追加登録＞」が表示されます。この項目を選ぶと電話番号を追加登録できます。

メールアドレス：メールアドレスを入力してアイコンを選びます。メールアドレスは最大3件まで登録でき、半角の英字、数字、記号で５０文字まで入力できます。
１件目のメールアドレスを登録すると、個人データの編集画面に「＜追加登録＞」が表示されます。この項目を選ぶとメールアドレスを追加登録できます。

住所：郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で４６文字、半角で９３文字まで入力できます。

メモ：メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で５０文字、半角で１００文字まで入力できます。

静止画：個人データで表示される静止画を「イメージビューア」に保存されているデータから選びます。
画像の選びかた→『アプリケーション編』のP.２９４

4 [完了]を押して個人情報を登録する

おしらせ

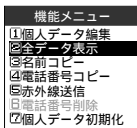
- メールアドレスを登録する場合は、iモードメールアドレスをメールアドレスの1番目に登録することをおすすめします。1番目に登録したメールアドレスはMenu 0を押して電話番号を表示したときにも表示されるので、自局番号と同時にメールアドレスも確認できます。
- iモードのメールアドレスは、iモードのオプション設定で確認できます。→『アプリケーション編』のP.236
- 自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録しても、本機能のメールアドレスは自動的に変更されませんので、本機能のメールアドレスも変更してください。
- 登録した画像が電話番号表示画面の画像表示エリアより大きい場合は、縦横同比率で縮小表示します。画面表示エリアより小さい場合はセンタリング表示します。

個人データを表示します

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。端末暗証番号を入力するとすべてのデータが表示できるようになります。

1 「電話番号表示」の順に選ぶ

Menu 0を押しても表示できます。

2 機能メニューから「全データ表示」を選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

3 ◎を押して内容を確認する

データをコピーする場合

コピーする項目を表示して機能メニューから「名前コピー」または「電話番号コピー／メールアドレスコピー／住所コピー／メモコピー」を選ぶ

コピーしたデータは文字入力画面で貼り付けることができます。→P.318

データを削除する場合

削除する項目を表示して機能メニューから「電話番号削除／メールアドレス削除／住所削除／メモ削除／静止画削除」を選ぶ

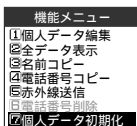
おしらせ

● すべてのデータを表示しなくても1件目のメールアドレスは削除できますが、その場合も端末暗証番号の入力が必要です。

個人データを初期化します

自局番号以外の個人データを初期化(削除)して、お買い上げのときの状態に戻します。

1 ▶「電話番号表示」の順に選ぶ

2 機能メニューから「個人データ初期化」を選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

すべてのデータを表示している場合

端末暗証番号を入力する必要はありません。

3 「YES」を選ぶ

個人データを初期化しない場合

「NO」を選ぶ

おしらせ

● 本機能で個人データを初期化しても、実際のメールアドレスは初期化されません。実際のメールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」にリセット(初期化)するには、iモードのオプション設定の「アドレスリセット」を行ってください。→『アプリケーション編』のP.238

メニュー表示を変更します

メニューの表示のしかたを変更したり、オリジナルメニューを登録したりなど、より使いやすいメニュー表示に変更できます。

メニュー表示のしかたを設定します ＜メニュー画面設定＞

お買い上げ時	ガイダンス表示：ON　メニュー表示：詳細表示

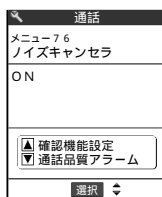
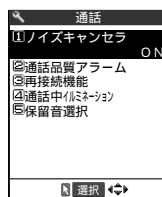
大項目の選択画面で選んでいる大項目アイコンのガイダンスを表示するかしないか、また「各種設定」のメニュー小項目（機能）の表示を一覧表示にするか詳細表示にするかを設定できます。

●本機能の設定にかかわらず、オリジナルメニューは一覧表示されます。

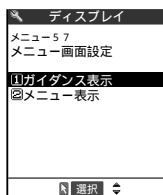
ガイダンス表示について

「ON」の場合

「OFF」の場合

メニュー表示について

「詳細表示」の場合

「一覧表示」の場合

1 Menu ▶ 各種設定 ▶**「ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」の順に選ぶ**

2 **設定したい項目を選ぶ**

大項目のガイダンス表示を設定する場合

「ガイダンス表示」を選ぶ

ガイダンス表示を「表示する／表示しない」（ON／OFF）から選びます。

小項目の表示のしかたを設定する場合

「メニュー表示」を選ぶ

小項目の表示のしかたを「詳細表示／一覧表示」から選びます。

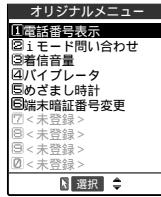
オリジナルメニューを表示します

「オリジナルメニュー登録」(下記)で登録した機能を表示できます。オリジナルメニューから機能を選ぶと、選んだ機能が起動します。

●オリジナルメニューは「一覧表示」で表示されます。

●オリジナルメニューをデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能を呼び出すことができます。→P.170

1 Menu ▶ Menu

➡ ⬅

Menuを押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

おしらせ

● オリジナルメニューから待受画面に戻った場合、またはオリジナルメニューから機能を呼び出して操作したあとに待受画面に戻った場合は、次にMenuを押すとオリジナルメニューが表示されます。

● オリジナルメニューに機能が1件も登録されていない場合は、オリジナルメニューを登録するかどうかのメッセージが表示されます。

オリジナルメニューを作成します　<オリジナルメニュー登録>

お買い上げ時	電話番号表示、iモード問い合わせ、着信音量、バイブレータ、めざまし時計、端末暗証番号変更

よく使う機能を「オリジナルメニュー」として登録しておくと、オリジナルメニューから直接機能を呼び出せます。メインメニューから大項目ー中項目ー小項目と順番に選んでいく必要がなくなるので、使いたい機能を簡単に呼び出せます。

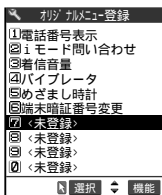
●オリジナルメニューは最大10件まで登録できます。

●オリジナルメニューに登録できる機能は、「メール」、「iモード」、「iアプリ」の大項目と「各種設定」、「マルチメディア」、「アクセサリ」、「サービス」、「電話帳」、「ユーザデータ」の各中項目および小項目です。

●同じ機能を登録することはできません。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶**「ディスプレイ」▶「オリジナルメニュー登録」の順に選ぶ**

2 ＜未登録＞を選ぶ

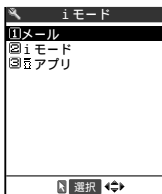
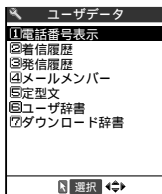
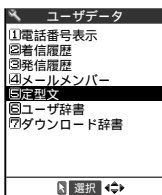
オリジナルメニュー登録
1 電話番号表示
2 iモード問い合わせ
3 着信音量
4 バイブレータ
5 めざまし時計
6 端末暗証番号変更
7 〈未登録〉
8 〈未登録〉
9 〈未登録〉
0 〈未登録〉
選択　機能

すでに登録されている機能を変更する場合
機能が登録されている項目を選ぶ

すでに登録されている機能を解除する場合
解除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件解除」を選ぶ

すでに登録されている機能をすべて解除する場合
機能メニューから「全解除」を選ぶ

お買い上げのときの設定に戻す場合
機能メニューから「オリジナルメニュー初期化」を選ぶ

3 メニューのカテゴリーを選ぶ

・・・

4 登録したい機能を選ぶ

選んだカテゴリーが「iモード」の場合
選べるのは「メール／iモード／iアプリ」の大項目のみです。

おしらせ

- あらかじめ登録されている機能を変更したり、解除することもできます。
- すでに機能が登録されている項目に登録しようとした場合、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

待受中音声メモ／通話中音声メモ

自分の声や相手の声を録音します

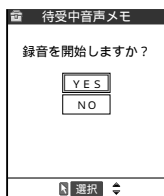
音声メモには、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」と、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」の2種類があります。簡単な用件を音声でメモできるので便利です。

●録音できる件数は、待受中音声メモまたは通話中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
●録音できる時間は約20秒です。
●録音した音声メモの再生、消去については、P.245を参照してください。

自分の声を録音します

「待受中音声メモ」を使って自分の声を録音できます。

1 Menu ▶ アクセサリ ▶「待受中音声メモ」の順に選ぶ

2 「YES」を選ぶ

音声メモを録音しない場合
「NO」を選ぶ

3 音声メモを録音する

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

録音を途中でやめる場合
●［停止］、CLR、PWR HLDのいずれかのボタンを押す
PWR HLDを押した場合は、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

おしらせ

● 通話中の場合は、メニューの「待受中音声メモ」が「通話中音声メモ」になります。

通話中に相手の声を録音します

音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できます。ボタン操作1回で必要な用件をすばやく録音できます。

通話中に▾[メモ／確認]を1秒以上押す

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間(約20秒間)が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

録音を途中でやめる場合

●[停止]、CLR、PWR HLDを押すか▾[メモ／確認]を1秒以上押す
PWR HLDを押した場合は、通話も終了します。

おしらせ

●録音中に音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があったり、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

伝言メモや音声メモを再生／消去します

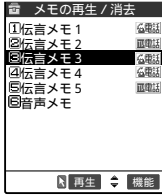
「伝言メモ」や「音声メモ」で録音した内容を再生したり消去したりできます。

再生します

音声電話からの伝言メモは「電話」、テレビ電話からの伝言メモは「電話」が表示されます。また音声メモが録音されている場合は「★」が表示されます。

●相手が電話番号を通知してきた伝言メモは、再生中に相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されている場合は名前も表示されます。

▶「メモの再生／消去」の順に選ぶ

2 再生する項目を選ぶ

「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。

次のメモを再生する場合

[メモ／確認]を押す

[メモ／確認]を押すごとに、新しい順でメモが再生されます。音声メモは最後に再生されます。

再生を途中で止める場合

を押す

再生中に表示されている電話番号に電話をかける場合

を押す

再生中に表示されている電話番号にテレビ電話をかける場合

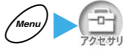
を押す

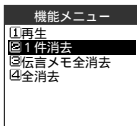
再生中のメモを消去する場合

[消去]を押す

おしらせ

- 待受画面表示中に[メモ／確認]を押しても、メモを再生できます。
- 「伝言メモ」と「音声メモ」が1件も録音されていない場合は、録音されていないことを通知するメッセージが表示されます。

消去します

1 ▶▶「メモの再生／消去」の順に選ぶ

2 消去したい項目を反転表示して機能メニューから「1件消去」を選ぶ

「伝言メモ」をすべて消去する場合

「伝言メモ全消去」を選ぶ

すべてのメモを消去する場合

「全消去」を選ぶ

おしらせ

- メモの再生中に[消去]を押すと、再生中のメモを消去できます。

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。

おしゃべり機能

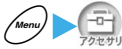
アラーム音や応答保留音を録音します

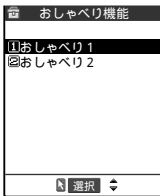
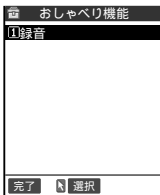
音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定できます。

●録音できる音声は「おしゃべり1」、「おしゃべり2」の2件です。
●録音できる時間は約15秒です。
●本機能で録音した音声を設定できる機能は次のとおりです。

・着信音
・非通知着信設定の着信音
・応答保留音
・通話中保留音
・伝言メモの応答メッセージ
・めざまし時計のアラーム通知音
・スケジュールのアラーム通知音
・ToDoのアラーム通知音

※：メロディプレーヤーでも録音した音声を再生できます。→『アプリケーション編』のP.333

音声を録音します

1 Menu ▶ アクセサリ ▶「おしゃべり機能」の順に選ぶ

2 録音したい項目を選ぶ

3「録音」を選んで音声を録音する

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。送話口に向かってお話しください。録音時間(約15秒間)が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

録音を途中でやめる場合

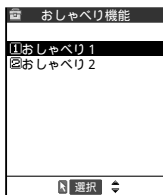
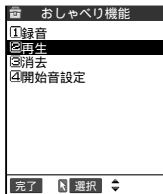
●[停止]、CLR、PWR HLDのいずれかのボタンを押す
録音中にPWR HLDを押した場合、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

おしらせ

- 録音済みの音声がある場合は、すでに録音されていることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選んで新しく音声を録音すると元の音声は上書きされます。
- 録音中に音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があったり、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

録音した音声を再生します

1 ▶「おしゃべり機能」の順に選ぶ

2 再生したい項目を選ぶ

3 「再生」を選んで音声を再生する

再生を途中でやめる場合

●[停止]、CLR、PWR HLDのいずれかのボタンを押す

音声を消去する場合

「消去」を選ぶ

アラーム通知前に開始音を鳴らすかどうかを設定する場合

「開始音設定」を選ぶ

アラーム通知前に開始音を「鳴らす／鳴らさない」(ON／OFF)を設定します。

「ON」に設定すると「★」が表示されて、録音した音声が「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知音として鳴る前に「ピピッ」という開始音が鳴ります。

おしらせ

- 着信音、アラーム音、応答メッセージ、応答保留音などに設定している音声を消去すると、各機能の設定はお買い上げのときの状態に戻ります。「メロディプレーヤー」の場合は、プログラム編集データが削除されます。

ニューロポインターの設定をします

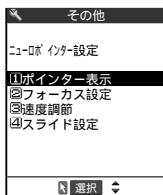
お買い上げ時	ポインター表示：ON　フォーカス設定：追従型

ニューロポインターボタン(●)で操作するポインター(：青色／：白色)をより使いやすくするために、ポインター表示のON/OFFやフォーカスの選びかた、移動速度などを設定できます。
設定できる項目は次のとおりです。

設定項目		内容	参照ページ
ポインター表示		ポインターを表示する／表示しない(ON／OFF)を設定します。「OFF」に設定すると、●をスライドしてもポインターは表示されません。	下記
フォーカス設定		ポインターの移動に合わせて項目を自動選択する／自動選択しない(追従型：(青色)／非追従型：(白色))を設定します。「追従型：(青色)」に設定した場合、ポインターの重なっている項目が自動的に選択状態になるため、●を押すだけで項目を決定できます。「非追従型：(白色)」に設定した場合、選びたい項目にポインターを合わせて●を押すと選択状態になり、もう一度●を押すと決定になります。	下記
速度調節	通常画面	一覧画面やアイコン選択画面など、一般的な画面のポインター速度を調節します。	P.250
	MainMenu画面	メインメニューのポインター速度を調節します。	
	T9候補・ワード予測画面	T9方式(モード3)の読み候補表示中画面やワード予測表示中画面のポインター速度を調節します。	
	ソフト実行画面	iアプリ実行中画面のポインター速度を調節します。※	
	速度リセット	ポインターの速度をお買い上げのときの状態に戻します。	
スライド設定	スライド調整	ポインターを正しく動かせるように、ニューロポインターボタンの最大スライド範囲を調整します。	P.251
	リセット	スライドの調整値をお買い上げのときの状態に戻します。	

※：iアプリのソフトによっては、本機能の設定が反映されない場合があります。

●ポインターは「」が表示される画面で使用できます。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「ニューロポインター設定」の順に選ぶ

表示を設定する場合

「ポインター表示」を選ぶ

ポインターを「表示する／表示しない」(ON／OFF)を設定します。

フォーカス方法を設定する場合

「フォーカス設定」を選ぶ

ポインターのフォーカス方法を「追従型／非追従型」から選びます。

移動速度を調節する場合

「速度調節」を選ぶ

スライド範囲を調節する場合

「スライド設定」を選ぶ

おしらせ

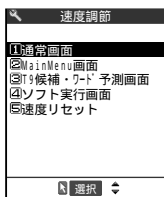
- 「ポインター表示」を「OFF」に設定していても、ポインターを使える画面では画面の下に「」が表示されます。

ポインターの移動速度を調節します

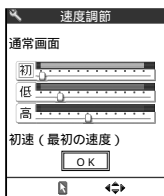
ポインターの移動速度をお好みの速さに調節できます。ポインターを使って速度を調節すると、調節中の値がポインターに反映されるため、速度を確認しながら調節できます。

- ポインターの移動速度を正しく調節するために「①初速」、「②低速」、「③高速」の順に調節してください。

1 ニューロポインター設定画面(P.249)で「速度調節」を選ぶ

2 速度を調節したい項目を選ぶ

速度調節値をリセットする場合

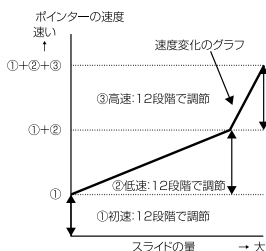
「速度リセット」を選ぶ

3 を押して「初」、「低」、「高」を選び、を押して速度を調節する

速度はそれぞれ0(左端)〜11(右端)段階で調節できます。調節値を右にずらすほど速度が速くなり、左にずらすほど遅くなります。

速度調節について→P.251

4 「OK」を選ぶ

速度調節について

ポインターの移動速度は、ニューロポインターボタンのスライドの量に応じて「最初の速度（①初速）」→「初速からの加速（②低速）」→「低速からの加速（③高速）」の３段階で速くなります。「①初速」の速度は「①初速」の調節値に、「②低速」の速度は「①初速」と「②低速」の調節値を合計した値に、高速の速度は「①初速」と「②低速」と「③高速」の調節値を合計した値になります。したがって、「②低速」と「③高速」の調節値を０（左端）にした場合は、「①初速」の値に何も足されないため、ポインターの移動速度は「①初速」を保ちます。一方「②低速」と「③高速」の調節値を１以上に設定した場合は、「①初速」に「②低速」と「③高速」の調節値が足されるため、ニューロポインターボタンのスライド量を大きくするほどポインターの移動速度が速くなります。

おしらせ

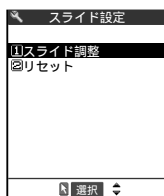
- 「ポインター表示」を「OFF」に設定した場合でも、を押して速度調節を行えます。ただし、ポインターを使って速度を確認しながら調節することはできません。
- ポインターの移動速度や、（追従型）で自動的に項目が選ばれる速度は、操作する画面によって異なる場合があります。

スライド範囲を調節します

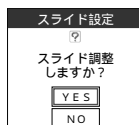
ポインターの動きが不安定になった場合は、ニューロポインターボタンの最大スライド範囲を調節します。

- スライド調整は、上方向、下方向、左方向、右方向の順に行います。

1 ニューロポインター設定画面（P.249）で「スライド設定」を選ぶ

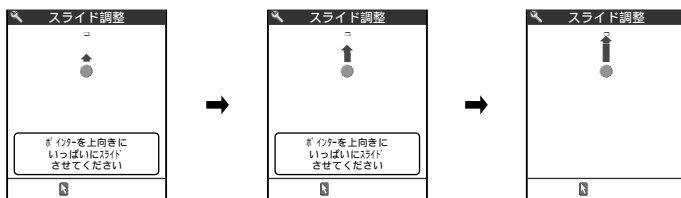
2 「スライド調整」を選ぶ

スライド調整値をリセットする場合

「リセット」を選ぶ

3 「YES」を選ぶ

スライド調整を行わない場合

「NO」を選ぶ

4 画面のガイダンスに従ってニューロポインターボタンをスライドする

ニューロポインターボタンは上下左右いっぱいまでスライドさせ、ガイダンスが消えるまでしばらく止めてください。
上下左右のスライド調整が終了すると、スライド調整したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

● スライド調整中に音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があったり、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、調整値が破棄されます。各機能の操作を終了するとスライド調整画面に戻りますので、もう一度上方向のスライド調整からやり直してください。

設定リセット

各種機能の設定をリセットします

各機能の設定をお買い上げのときの設定内容に戻すことができます。

●「PIMロック」設定中はリセットできません。
●パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード設定」はお買い上げのときの設定内容に戻りません。
●iモード機能の設定をお買い上げのときの状態に戻すには、「iモード設定リセット」を行ってください。→『アプリケーション編』のP.125
●本機能でリセットできない項目については、P.369を参照してください。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「設定リセット」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

2 「YES」を選ぶ

リセットしない場合
「NO」を選ぶ

その他の機能を利用する

ニューロポインター設定・設定リセット

設定リセットされる機能一覧

機能名			お買い上げ時の設定
各種設定	着信	着信音量	電話／TV電話：レベル4 メール／メッセージ：レベル4
		着信音選択	電話：着信音1 TV電話：着信音1 メール：着信音2 メッセージリクエスト：着信音3 メッセージフリー：着信音3
		バイブレータ	電話：OFF TV電話：OFF メール：OFF メッセージリクエスト：OFF メッセージフリー：OFF
		着信イルミネーション	電話：色5 TV電話：色5 メール：色1 メッセージリクエスト：色1 メッセージフリー：色1 パターン設定：固定パターン カラー名：色1～12 カラー調節：初期化
		マナーモード選択	マナーモード オリジナルマナーの設定 　伝言メモ：OFF 　バイブレータ：ON 　電話着信音量：消去 　メール着信音量：消去 　めざまし音量：消去 　メモ確認音：ON 　ボタン確認音：OFF 　通話中マイク感度：アップ 　低電圧アラーム：OFF
		電話帳画像着信設定	ON
		着信アンサー設定	エニーキーアンサー
		クローズ動作設定	終話
		メール／メッセージ鳴動	メール：ON 　鳴動時間設定：5秒 メッセージリクエスト：ON 　鳴動時間設定：5秒 メッセージフリー：ON 　鳴動時間設定：5秒
		呼出時間表示設定	無音時間設定：0秒 時間内不在着信表示：表示する
		確認機能設定	電子音
	通話	ノイズキャンセラ	ON
		通話品質アラーム	アラーム高音
		再接続機能	アラームなし
		通話中イルミネーション	OFF
		保留音選択	応答保留音：応答保留音1 通話中保留音：エリーゼのために

機能名			お買い上げ時の設定
各種設定	TV電話	画像品質設定	標準
		発信時自画像送信設定	ON
		画像選択	応答保留：内蔵 通話中保留：内蔵 代替画像：キャラ電 伝言メモ：内蔵
		音声自動再発信設定	OFF
		遠隔監視設定	対局番号登録：設定なし 応答時間設定：5秒 設定：OFF
		通話中画像表示設定	親画面表示：親画面対局表示 画像表示設定：画面サイズで表示
	ディスプレイ	画面表示設定	待受画面：仔猫と子犬 ウェイクアップ表示：ロンドン橋 電話発信：スタンダード 電話着信：スタンダード メール送信：スタンダード メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード ウェイクアップメッセージ：初期化
		照明設定	通常時：ON＋待受画面省電力モードON＋待ち時間設定5分 充電時：標準 範囲：液晶＋ボタン 明るさ：レベル2
		配色パターン	スタンダード
		イルミネーション・ウィンドウ	文字・情報表示 コントラスト調節：レベル5 時計種類：デジタル時計 着信番号表示：ON メール表示：OFF 通信中表示：ON＋バックライトOFF 時計固定表示 コントラスト調節：レベル5 時計種類：デジタル時計
		フォント設定	文字パターン：フォント1 太さ：中太字
		オリジナルメニュー登録	電話番号表示 iモード問い合わせ 着信音量 バイブレータ めざまし時計 端末暗証番号変更
		メニュー画面設定	ガイダンス表示：ON メニュー表示：詳細表示
		ピクチャ表示設定	ピクチャ一覧
		オート表示	OFF
	時間	通話中時間表示	ON
	時計	時計表示設定	表示方法：日本語 表示サイズ：大きく表示
		アラーム通知設定	通知優先

機能名			お買い上げ時の設定
各種設定	ロック／セキュリティ	セルフモード	OFF（解除）
		ダイヤル発信制限	OFF（解除）
		登録外着信拒否	許可
		非通知着信設定	すべて許可／通常着信音と同じ
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	60秒間
		iモード問い合わせ設定	メール：ON メッセージリクエスト：ON メッセージフリー：ON
		接続先選択	iモード ユーザ指定接続先：未登録状態に戻す
		SMS center設定	ドコモ
		証明書	すべて有効
		証明書センター接続設定	ドコモ ユーザ指定接続先：未登録状態に戻す
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定	表示しない
		α照明設定	システム依存
		αバイブレータ	システム依存
		αイルミネーション・ウィンドウ	システム依存
	外部オプション	イヤホン切替	イヤホン＋スピーカ
		オート着信	OFF 呼出時間：6秒
	その他	ボタン確認音	ON
		充電確認音	ON
		SRS_WOW設定	ON
		サイドボタン操作	閉じた時有効
		文字入力方式	入力モード：すべて有効 優先入力方式：モード1（かな方式） ワード予測：ON ガイダンス表示：ON
		履歴表示設定	着信履歴：ON リダイヤル／発信履歴：ON
		サブアドレス設定	ON
		プレフィックス設定	登録名：WORLD CALL プレフィックス：009130010 （ユーザ設定は未登録状態に戻す）
		ニューロポインター設定	ポインター表示：ON フォーカス設定：追従型 速度調節：初速
		USBモード設定※1	通信モード

機能名		お買い上げ時の設定
アクセサリ	カメラ	カメラ設定：外側カメラ 撮影間隔：0.5秒 撮影枚数：5枚 連写切替：オート 画像サイズ メガピクセルフォト：1616×1212 フォトモード、連写モード、ピクチャボイス：メール大(176×144) ムービーモード、チャンスキャプチャ、長時間ムービー：サイズ大(176×144) 動画容量設定：メール 動画保存設定：標準 ファイル制限：なし 自動保存設定：OFF セルフタイマー作動時間：10秒 ホワイトバランス設定：オート シャッター音選択：シャッター音1 表示サイズ設定：等倍表示 画像チューニング：自動
	スケジュール	1ヶ月表示 ユーザアイコン：未登録状態に戻す
	めざまし時計	OFF
	伝言メモ	OFF 応答メッセージ：標準 呼出時間：8秒
	おしゃべり機能	開始音設定：ON
	電話帳画像転送	する
サービス	着信動作選択	通常着信
電話帳	電話帳便利機能	すべてOFF
	電話帳指定設定	すべてOFF
ユーザデータ	定型文	固定定型文初期化 (フォルダ名を含めてフォルダ1、2のリセット)
マルチメディア	イメージビューア	画像表示設定：標準
	ムービープレーヤー	一覧表示切替：タイトル＋画像 画像表示設定：等倍表示
	キャラ電プレーヤー	キャラ電撮影：フォトモード 代替画像設定：ブンブン(Dimo) 画像表示設定：画面サイズで表示 画像サイズ設定：サイズ大(176×144) 撮影種別設定：通常 動画保存設定：標準
その他	受話音量調節	レベル4
	マナーモード	OFF
	ドライブモード	OFF
	テレビ電話のTV電話設定	明るさ調節：0
	テレビ電話の照明設定	常時点灯
	電話帳検索のラストワン機能※2	フリガナ検索
	デスクトップアイコンのラストワン機能※2	1ページの左端

※1：FOMA端末にUSBケーブルが接続されているときには、本設定はリセットされません。
※2：「ラストワン機能」とは、最後に操作したときに選んでいた機能が、次の操作のときにあらかじめ選ばれている機能です。

PLMN設定

ご利用になる通信事業者名を設定します

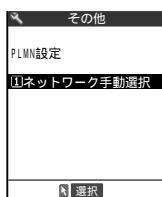
※ドコモをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時	DoCoMo

FOMAサービスを提供するPLMN(通信事業者名)を設定できます。

●2004年2月現在、DoCoMo以外の通信事業者は選べません。

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「PLMN設定」の順に選ぶ

2 「ネットワーク手動選択」を選ぶ

3 PLMN(通信事業者名)を選ぶ

イヤホンマイクが利用できます

スイッチ付イヤホンマイクを利用すると、相手の声をイヤホンで聞くことができるので、音漏れを気にすることなく通話できます。
スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。
→P.34

イヤホンマイクのご利用にあたって

●イヤホンマイクの接続プラグは確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと音が聞こえない場合があります。
●着信音が鳴っているときにイヤホンマイクを接続すると、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
●イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻きつけないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
●電源を入れた瞬間に「パチッ」という音がする場合がありますが故障ではありません。
●通話中にイヤホンマイクのプラグを途中まで差し込んだ状態にすると、「プー」という音がする場合がありますが故障ではありません。

スイッチ付イヤホンマイクを使って電話を受けます

スイッチ付イヤホンマイクを使用中は、イヤホンのスイッチを押すだけでかかってきた音声電話やテレビ電話に出ることができます。

●次のスイッチ付イヤホンマイクが利用できます。
・平型スイッチ付イヤホンマイク(別売品)
・スイッチ付イヤホンマイクP001／P002(別売品)とイヤホンジャック変換アダプタP001(別売品)の組み合わせ
●FOMA端末を折り畳んだ状態でも、利用できます。
●「ボタン確認音」(P.168)の設定にかかわらず、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。

1 電話がかかってきたら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

音声電話の場合

「ピッ」という音が鳴り、音声電話に出ます。

テレビ電話の場合

「ピッ」という音が鳴り、代替画像でテレビ電話に出ます。(カメラ)を押すとカメラ映像に切り替えることができます。

---

2 お話しが終わったら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

FOMA端末で電話を切る場合

(PWR/HLD)を押す

おしらせ

- スイッチ付イヤホンマイクを接続していても、FOMA端末のボタンを押して電話に出ることができます。音声電話に出る場合はを、カメラ映像でテレビ電話に出る場合はを、代替画像でテレビ電話に出る場合はを押してください。
- 「イヤホン切替」でスイッチ付イヤホンマイクを接続しているときにスピーカから音が鳴らないように設定できます。ただし、遠隔監視着信時の着信音およびカメラのシャッター音はスピーカから鳴ります。
- 「オート着信」を「ON」に設定すると、かかってきた電話をスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すことなく自動的に受けることができます。→P.260
- 「着信音量」の「電話／TV電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中は、着信音は鳴りません。ただし、マナーモードが「オリジナルマナー」で「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は着信音が鳴ります。
- 通話中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押してもハンズフリーにはなりません。スイッチを1秒以上押すと通話が切れますのでご注意ください。
- 「キャッチホン」(P.279)をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。
- スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

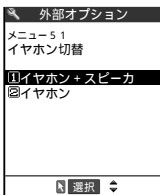
イヤホンマイク接続時にスピーカから出る音を消します<イヤホン切替>

お買い上げ時	イヤホン+スピーカ

スイッチ付イヤホンマイク(別売品)などを接続しているときに、スピーカから音が鳴らないように設定できます。

- スピーカから音が鳴らないように設定しても、着信音や「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音が鳴ってから止めずに約20秒たつと、イヤホンとスピーカの両方から音が鳴ります。
- 本機能の設定にかかわらず、遠隔監視の着信音とカメラのシャッター音はスピーカから鳴ります。
- 本機能の設定にかかわらず、イヤホンマイクを接続している場合はハンズフリーに切り替えてもスピーカから音は鳴りません。

▶

▶「外部オプション」▶「イヤホン切替」の順に選ぶ

イヤホンとスピーカの両方から音を鳴らす場合

「イヤホン+スピーカ」を選ぶ

イヤホンのみから音を鳴らす場合

「イヤホン」を選ぶ

おしらせ

- 本機能を「イヤホン」に設定していても、イヤホンマイクを接続していない場合はスピーカから音が鳴ります。
- 本機能を「イヤホン＋スピーカ」に設定しているときにイヤホンマイクを抜き差しすると、スピーカから鳴る音の音質が変わる場合があります。

イヤホンをつないで自動で電話を受けます　<オート着信>

お買い上げ時	オート着信：OFF　呼出開始：6秒

スイッチ付イヤホンマイク（別売品）などを接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話を自動で受けるように設定できます。

- 電話を受ける場合、呼出時間を1秒～120秒の範囲で設定します。
- 呼出時間は「伝言メモ」または「遠隔監視設定」の応答時間と同じ時間に設定することはできません。
- 次の電話番号から電話がかかってきた場合は、自動で電話を受けません。
  - 「指定着信拒否」を設定した電話番号
  - 「指定着信許可」を設定した以外の電話番号
  - 「指定留守番電話」を設定した電話番号
  - 「指定転送でんわ」を設定した電話番号
- 64Kデータ通信中は自動で電話を受けません。

▶「外部オプション」▶「オート着信」の順に選ぶ

オート着信を有効にする場合

「ON」を選んで「呼出時間」を1～120秒の範囲で設定する

オート着信を無効にする場合

「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 本機能を「OFF」に設定している場合は、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すと電話に出ることができます。
- テレビ電話をオート着信した場合、相手側には代替画像が表示されます。テレビ電話中にを押すと、代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。
- 「留守番電話サービス」（P.271）や「転送でんわサービス」（P.276）を同時に設定している場合に本機能を優先させるには、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間よりも本機能の呼出時間を短く設定してください。

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって音声電話中にメールを受信したり、iモード中に音声電話をかけたりできます。

●テレビ電話または64Kデータ通信中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSは同時に使用できます。

同時に使用可能な通信回線

FOMA端末はマルチアクセス機能によって、次の3回線を同時に使用できます。

通信の種類	使用する回線
音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール	いずれか1回線
パソコンをつないだパケット通信	
SMS	1回線

●マルチアクセスの組み合わせについては、P.350を参照してください。

おしらせ

● マルチアクセス中（音声電話中にiモードを使用したときなど）は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。

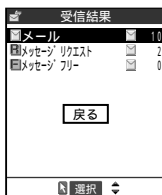
通信中に着信があったとき

通信中にほかの回線からの着信があった場合は、現在の通信を中断せずに同時に通信を行うことができます。

■音声通話中のiモードメール受信

音声通話中にiモードメールを受信すると、音声通話中画面のままiモードメールを受信します。受信したiモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

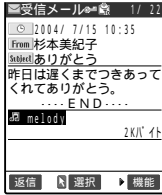
1 **を1秒以上押す**

➡

iモードメールの受信結果画面に切り替わります。

タスクメニューから切り替える場合

タスクメニューの切替について
→P.266

マルチアクセス・マルチタスク

マルチアクセス

2 iモードメールを見る

iモードメールの見かた→『アプリケーション編』のP.181

3 を1秒以上押す

音声通話中画面に切り替わります。

おしらせ

- 音声通話中にiモードメールやメッセージリクエスト／フリーを受信した場合、着信音は鳴らずに「メール」アイコンが点滅・点灯して受信をお知らせします。
- 「受信表示設定」(『アプリケーション編』のP.224)を「通知優先」に設定している場合、音声通話中にiモードメールを受信すると、「 」が点滅し、iモードメールの受信中画面に切り替わります。受信後 [選択]を押すと、iモードメールを見ることができます。また、受信してから約15秒間何も操作しないと、通話中画面に戻ります。

■iモード中／パケット通信中の音声電話着信

iモードの接続中やメールの送受信中、パケット通信によるデータ通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、iモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

●iモード中にテレビ電話を受けることはできません。

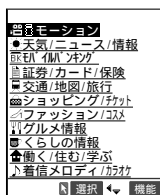
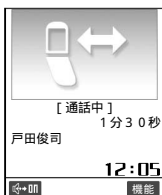
1 を押す

音声通話中画面に切り替わり通話ができます。

音声電話に出ないでiモード画面に戻る場合

を1秒以上押す

相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

2 通話が終了したら を押す

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

音声通話中のままiモード画面に戻る場合

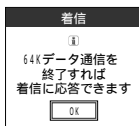
を1秒以上押す

■64Kデータ通信中の音声電話着信

64Kデータ通信中に音声電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。64Kデータ通信を接続したまま音声電話は使用できませんので、次のいずれかの操作を行ってください。

・音声電話を拒否して64Kデータ通信を継続する
・音声電話を「留守番電話」につなげる
・音声電話を「転送でんわ」につなげる
・64Kデータ通信を切断して音声電話に出る

＜例：64Kデータ通信を切断して音声電話に出る場合＞

1 音声電話着信中画面で◉[選択]を押す

パソコン側で64Kデータ通信を切断します。

2 （通話キー）を押す

64Kデータ通信を切断して音声電話につながります。

着信を拒否する場合
機能メニューから「着信拒否」を選ぶ

指定先の電話番号に転送する場合
機能メニューから「転送でんわ」を選ぶ

留守番電話センターにつなげる場合
機能メニューから「留守番電話」を選ぶ

おしらせ

● 64Kデータ通信を切断して音声電話に出る場合は、通信中のダイヤルアップ接続を切断してください。

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。

●マルチアクセス中に画面を切り替えるには、（MULTI）を1秒以上押すか、タスクメニューから表示したい機能を選びます。→P.266

■音声通話中のiモード接続

音声通話中に（Menu）を押して、メインメニューのiモードメニューからiモードに接続できます。→『アプリケーション編』のP.42

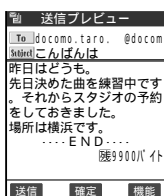
音声通話中のiモードメール送信

音声通話中に(Menu)を押して、メインメニューのメールメニューからiモードメールを作成して送信できます。

1 **音声通話中に(Menu)を押してメールメニューを選ぶ**

➡

メニューの操作のしかた→P.44

2 **iモードメールを作成して送信する**

iモードメールの作成／送信のしかた→『アプリケーション編』のP.152

3 **(MULTI)を1秒以上押す**

音声通話中画面に戻ります。

iモード中の音声電話発信

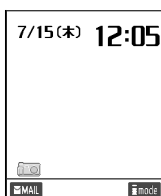
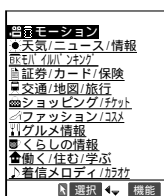
iモードの接続中やメールの送受信中に、iモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1 **iモード中に(Menu)を1秒以上押す**

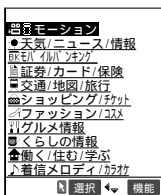
➡

待受画面が表示されます。

マルチアクセス・マルチタスク

マルチアクセス

2 音声電話をかける

音声電話のかけかた→P.70

3 通話が終了したら［PWR HLD］を押す

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

音声通話中のままiモード画面に戻る場合

［MULTI］を1秒以上押す

おしらせ

●iモード中にテレビ電話をかけた場合は、「iモード通信終了」というメッセージが表示され、その後テレビ電話の発信を行います。テレビ電話を終了すると、iモード画面に戻ります。

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。メインメニューにある次のグループの中からそれぞれ1つずつの機能を最大3つまで同時に操作できます。

グループ	大項目（タスク）
メールグループ	メール
iモードグループ	iモード、iアプリ
設定グループ	各種設定、サービス
ツールグループ	マルチメディア、電話帳、アクセサリ、ユーザデータ

●iモードグループ、設定グループ、ツールグループでは、同じグループにある機能を2つ以上同時に使用することはできません。
●音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、音声通話料は加算されます。
●マルチタスクの組み合わせについては、P.351を参照してください。

タスク(機能)の呼び出しかた

2つ目、3つ目のタスクを呼び出す方法は次のとおりです。

1 Menu を1秒以上押す

待受画面が表示されます。

2 起動していないグループのタスクを選ぶ

メインメニューから呼び出す場合

Menu を押してからタスクを選ぶ→P.44

メニュー番号から呼び出す場合

呼び出したいタスクのメニュー番号を入力する→P.354

メールメニューを呼び出す場合

[MAIL]を押す→『アプリケーション編』のP.141

iモードメニューを呼び出す場合

[mode]を押す→『アプリケーション編』のP.32

タスクの起動状況はアイコンで確認できます。

：複数のタスクを起動していることを示します。

：タスクを1つだけ起動していることを示します。

アイコンなし：タスクは起動していません。

おしらせ

- 同じグループのタスクを呼び出そうとすると、タスクを切り替えるかどうかのメッセージが表示される場合と、自動的に切り替わる場合(メールメニュー表示中やiモードメニュー表示中など)があります。切り替えるかどうかのメッセージが表示された場合は、「YES」を選ぶと新しく呼び出したタスクに切り替わります。その場合、元のタスクは終了し、編集中のデータがある場合は自動的に保存されます。ただし、タスクによっては編集内容が保存されないものもあります。
- 3つのタスクを同時に起動しているときに、4つめのタスクを起動しようとすると、これ以上起動できないことを通知するメッセージが表示されます。

タスクの切り替えかた

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えることができます。タスクを切り替えるには、MULTI を押してタスクメニューを表示させ、そこから操作するタスクを選ぶ方法と、MULTI を1秒以上押して1つずつタスクを切り替える方法があります。

■タスクメニューでタスクを切り替えます

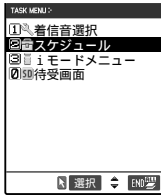
複数のタスクが起動しているときに(MULTI)を押すと、タスクメニューが一覧で表示されます。一覧からタスクを選ぶと、選んだタスクが画面に表示されます。

●待受画面は常にタスクメニューの最後に表示されます。

●音声通話中の場合、タスクメニューに待受画面は表示されません。

1 **(MULTI)を押す**

タスクメニューが一覧で表示されます。

2 **使用したいタスクを選ぶ**

選んだタスクが画面に表示されます。

■タスクを1つずつ切り替えます

(MULTI)を1秒以上押すと、起動した順にタスクを切り替えることができます。タスクを切り替えても、動作中のタスクが終了したり、音声電話が切れたりすることはありません。

●メインメニュー表示中は、(MULTI)を1秒以上押してもタスクは切り替わりません。

おしらせ

● マルチタスク中に待受画面を表示した場合は、「iアプリ待受画面」(『アプリケーション編』のP.85)を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定されている画面が表示されます。
また、起動した後に待受画面の状態に戻す機能を持つソフトであっても、ほかのタスクが動作している間は待受画面の状態に戻すことはできません。ソフトによっては、待受画面の状態に戻す際、継続動作できないことを通知するメッセージが表示されてソフトが終了し、待受画面設定も解除される場合があります。

■タスクを終了します

タスクを終了する方法は次のとおりです。

・終了したいタスクに切り替えて[PWR HLD]を押す

・タスクメニュー表示中に終了したいタスクを反転表示して[PWR HLD]を押す

・タスクメニュー表示中に◐[END ALL]を押してすべてのタスクを終了する

おしらせ

● FOMA端末の電源を切ると、すべてのタスクが終了します。

ネットワークサービスを利用する

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、便利なドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法は次のようになります。

サービス名称	内容	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	お客様に代わって伝言をお預かりします。	要	有料	P.271
転送でんわサービス	あらかじめ登録したほかの電話に転送します。	要	無料	P.276
キャッチホン	お客様が通話中でも、第三者からかかってきた電話を受けることができます。	要	有料	P.279
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの着信を自動的にストップします。	要	有料	P.282
発信者番号通知サービス	電話をかけたときにお客様のFOMA端末の電話番号を相手にお知らせします。	不要	無料	P.283
番号通知お願いサービス	番号を通知しないで電話をかけてきた相手に、電話番号を通知してかけ直すようお願いするガイダンスで応答します。	不要	無料	P.284
ドライブモード	電話をかけてきた相手に運転中で電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。	不要	無料	P.82
デュアルネットワークサービス	ひとつの電話番号をFOMA端末と携帯電話で共用できます。	要	有料	P.285
英語ガイダンス	発着信時の音声ガイダンス、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを英語に設定できます。	不要	無料	P.287
ショートメッセージサービス(SMS)	短い文字メッセージを手軽に送受信できます。	不要	無料	アプリケーション編のP.134
iモード	サイト(番組)接続やiモードメールなどを利用できます。	要	有料	アプリケーション編のP.24

●ネットワークサービスセンターに接続して操作するネットワークサービスの場合は、「圏外」が表示されているところでは操作できません。

●ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供された場合は、新しいサービスをメニューに登録できます。→P.293

●ネットワークサービスの詳細については、『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」、「迷惑電話ストップサービス」、「デュアルネットワークサービス」、「iモード」は、お申し込みが必要なサービスです。ネットワークサービスについてご不明な点は、下記にお問い合わせください(番号をよくお確かめの上、おかけください)。

○**お問い合わせ先(ドコモグループ各社)**

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの)151(無料)

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

「留守番電話サービス」、「キャッチホンサービス」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「iモード」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

●iモードはこちら（パケット通信料無料）　iMenu ▶ ⑨お知らせ&ヘルプ ▶ドコモeサイト
●パソコンなどはこちら

ドコモのホームページからアクセス!	http://www.nttdocomo.co.jp ▶オンライン手続き/照会サービス▶ドコモeサイト
直接アクセス!	http://www.esite.nttdocomo.co.jp/

※iモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
iモードからeサイトをご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし一部パケット通信料がかかる場合があります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は上記お問い合わせ先にご相談ください。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用いただけない場合があります。

留守番電話サービス

お申し込み　必要　　月額使用料　有料

留守番電話サービスとは、「圏外」が表示されているとき、電源が入っていないときなどに音声電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
伝言メッセージは、日本全国のどこからでも確認できます。

●「圏外」が表示されているところで、FOMA端末から留守番電話サービスの操作はできません。あらかじめ「遠隔操作設定」（P.292）で遠隔操作ができるように設定しておくと、FOMA端末から操作できないときにプッシュ式の一般電話や公衆電話などから、「ネットワーク暗証番号」（P.193）を利用して留守番電話サービスの操作ができます。
●留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。

留守番電話サービスについて

●伝言メッセージの録音時間は1件あたり約3分間、20件まで録音できます。
●伝言メッセージは最大72時間保存されます。
●相手からテレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを「開始」に設定していても、留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。
●留守番電話サービスは、「転送でんわサービス」（P.276）を「開始」に設定すると、自動的に「停止」になります。
●「番号通知お願いサービス」（P.284）を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない音声電話がかかってきた場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、伝言メッセージはお預かりできません。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する
⬇
お客様のFOMA端末に音声電話がかかる
⬇
音声電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される
⬇
相手が用件を伝言メッセージに録音する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに#を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

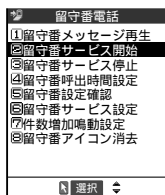
⬇
留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される
⬇
伝言メッセージを再生する

おしらせ

- 音声電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。「留守番サービス設定」で設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定していても、通常どおり音声電話をかけたり、受けたりできます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに音声電話がかかってきた場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった音声電話は留守番電話サービスセンターに接続します。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 通話中にかかってきた音声電話も留守番電話サービスセンターに接続できます。→P.291
- 留守番電話サービスの設定にかかわらず、「電話帳指定設定」(P.141)で指定した電話番号からの音声電話を留守番電話サービスセンターへ自動的に接続させることもできます。

留守番電話サービスを開始します

1 Menu ▶ サービス ▶「留守番電話」の順に選ぶ

2 「留守番サービス開始」を選ぶ

呼出時間のみ変更する場合
「留守番呼出時間設定」を選ぶ

留守番電話サービスを停止する場合
「留守番サービス停止」を選ぶ

3 「YES」を選ぶ

サービスを開始しない場合
「NO」を選ぶ

4 呼出時間(000～120秒)を入力する

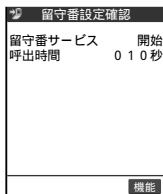
0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。
000～120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。

留守番電話サービスの設定を確認します

留守番電話サービスの設定内容をセンターに問い合わせて確認できます。また、確認中に設定内容を変更することもできます。

1 Menu ▶ サービス ▶「留守番電話」の順に選ぶ

2 「留守番設定確認」を選ぶ

3 設定を確認する

現在の留守番電話サービスの設定内容が表示されます。

留守番電話サービスを開始する場合
機能メニューから「留守番サービス開始」を選ぶ

留守番電話サービスを停止する場合
機能メニューから「留守番サービス停止」を選ぶ

呼出時間を変更する場合
機能メニューから「呼出時間設定」を選ぶ

音声ガイダンスで留守番電話サービスの設定を変更します

音声ガイダンスに従って、保存した伝言メッセージの再生や不在案内機能、応答メッセージの変更などができます。
●通話中は操作できません。

1 Menu ▶ サービス ▶「留守番電話」の順に選ぶ

2 「留守番サービス設定」を選ぶ

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

おしらせ

- 音声ガイダンスに従ってボタン操作（0～9、＊、＃）を行った場合、PWR HLDを押しても通話が終わらないことがあります。この場合はもう一度PWR HLDを押してください。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るように設定します ＜件数増加鳴動設定＞

留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージが増えたとき、着信音を鳴らすことができます。

- 件数が増えたときの着信音は、「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が約5秒間鳴ります。

1 Menu▶サービス▶「留守番電話」の順に選ぶ

2 「件数増加鳴動設定」を選ぶ

おしらせ

- サービス問い合わせをして伝言メッセージが増えたときにも、「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が鳴ります。

伝言メッセージがあるかどうか確認します＜サービス問い合わせ＞

留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしているかどうか確認できます。

1 Menu▶サービス▶「サービス問い合わせ」の順に選ぶ

問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、待受画面に「」（留守番電話アイコン）と「」（「留守番電話あり」のデスクトップアイコン）が表示されます。留守番電話アイコンは保存されている伝言メッセージの件数によって、「」、「」、「」…「」（10件以上）と表示が変わります。

おしらせ

- 表示される伝言メッセージの件数は、新しくお預かりした伝言メッセージの件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- 伝言メッセージが保存されていない場合は、留守番電話アイコンと「留守番電話あり」のデスクトップアイコンは表示されません。
- 留守番電話アイコンは、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージを消去するか、伝言メッセージの保存時間（72時間）が経過して消去されるまで表示されます。
- 通話が途中で途切れたり、電波の状態によっては、問い合わせできないことがありますのでご了承ください。
- サービス問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

伝言メッセージを再生します

●通話中は操作できません。

1 Menu ▶ サービス ▶**「留守番電話」の順に選ぶ**

2 **「留守番メッセージ再生」を選ぶ**

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。

おしらせ

- 音声ガイダンスに従ってボタン操作（0～9、＊、＃）を行った場合、PWR/HLDを押しても通話が終わらないことがあります。この場合はもう一度PWR/HLDを押してください。

留守番電話アイコンを消去します

待受画面に表示された「☎」（留守番電話アイコン）を消去します。

1 Menu ▶ サービス ▶**「留守番電話」の順に選ぶ**

2 **「留守番アイコン消去」を選ぶ**

おしらせ

- 留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。サービス問い合わせを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

転送でんわサービス

お申し込み	必要

月額使用料	無料

転送でんわサービスとは、「圏外」が表示されているとき、電源が入っていないときなどにかかってきた音声電話やテレビ電話を、ご家庭やオフィスなど、あらかじめ登録しておいた転送先に転送するサービスです。

●「圏外」が表示されているところで、FOMA端末から転送でんわサービスの操作はできません。あらかじめ「遠隔操作設定」（P.292）で遠隔操作ができるように設定しておくと、FOMA端末から操作できないときにプッシュ式の一般電話や公衆電話などから、「ネットワーク暗証番号」（P.193）を利用して転送でんわサービスの操作ができます。

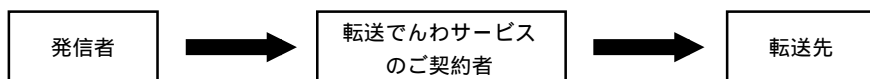
転送でんわサービスについて

●転送先は1件登録できます。
●相手からテレビ電話がかかってきたときは、転送先が3G-324M（P.87）に準拠したテレビ電話対応端末のときのみ接続します。
●転送でんわサービスは、「留守番電話サービス」を「開始」に設定すると、自動的に「停止」になります。
●「番号通知お願いサービス」（P.284）を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない電話がかかってきた場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、転送されません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する
⬇
転送でんわサービスを開始に設定する
⬇
お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる
⬇
音声電話／テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者 ➡ 転送でんわサービスのご契約者 ➡ 転送先

発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

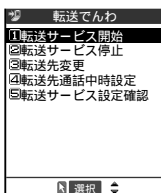
・転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止、呼出時間設定の通信料は無料です。
・転送を行ったとき、転送でんわサービスを契約しているFOMA端末が位置登録しているエリアから転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。お出かけ先で転送の設定をしたまま、FOMA端末の電源を入れないでいると、本機能の通話料金が高くなることがありますので、ご注意ください。
たとえば、転送先として東京の会社の電話番号を登録し、大阪出張の時に大阪で本機能を開始に設定。その後FOMA端末の電源を切ったままにしておくと、転送されるお客様負担分は大阪から東京の会社までとなります。
お出かけ先から戻ってきたら、電源を入れ直してください。位置登録が自動的に行われます。

おしらせ

● 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、通常どおり音声電話やテレビ電話をかけたり、受けたりできます。
● 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった音声電話やテレビ電話は転送先に転送します。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
● サービスエリア外や電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。
● 通話中にかかってきた電話も転送できます。→P.291
● 転送でんわサービスの設定にかかわらず、「電話帳指定設定」(P.141)で指定した電話番号からの音声電話やテレビ電話を転送先へ自動的に転送させることもできます。
● 転送先からの申し出があり、必要なときには、お客様に代わって転送を中止することがありますのでご了承ください。
● 転送でんわサービスを開始(転送中)にしている場合、コレクトコール(料金着信払電話)での着信はできません。

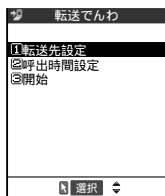
転送でんわサービスを開始します

1 Menu ▶ サービス ▶「転送でんわ」の順に選ぶ

2 「転送サービス開始」を選ぶ

サービスを停止する場合
「転送サービス停止」を選ぶ

転送先のみを変更する場合
「転送先変更」を選んで転送先の電話番号を入力したあと、転送でんわサービスを「開始」にしている場合は「転送先変更」、「停止」にしている場合は「転送先変更＋転送開始」を選ぶ

サービスの設定を確認する場合
「転送サービス設定確認」を選ぶ

3 転送先と呼出時間を設定する

転送先を設定する場合

「転送先設定」を選ぶ

転送先の電話番号を入力してください。設定すると「転送先設定」に「★」がつきます。

を押すと電話帳を検索して入力できます。

電話帳の検索のしかた→P.116

呼出時間を設定する場合

「呼出時間設定」を選んで呼出時間（000～120秒）を入力する

設定すると「呼出時間設定」に「★」がつきます。

0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

000～120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。

4 「開始」を選ぶ

おしらせ

- 転送でんわサービスを「開始」に設定しても、転送先を3G-324M（P.87）に準拠したテレビ電話に対応した機器に設定していない場合は、かかってきたテレビ電話を転送できません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。
- 転送先として、フリーダイヤルおよび110番などの3桁の電話番号は指定できません。
- 社内専用電話（PBX）、クイックキャスト*、FAXを転送先としたとき、かけてきた相手に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。

転送先が通話中のときに留守番電話サービスセンターに接続します <転送先通話中時設定>

転送先が通話中のときに、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続することができます。

- 「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。
- かかってきた電話がテレビ電話の場合は、留守番電話サービスセンターに接続できません。

1   「転送でんわ」の順に選ぶ

2 「転送先通話中時設定」を選ぶ

キャッチホン

お申し込み	必要

月額使用料	有料

キャッチホンとは、通話中にかかってきた音声電話を受けることができるサービスです。また、通話中の音声電話を保留にして、新たに別の相手へ音声電話をかけることもできます。

●「圏外」が表示されているところで、キャッチホンの操作はできません。

●キャッチホンを使用する場合は、あらかじめ「着信動作選択」(P.289)を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。

●「番号通知お願いサービス」(P.284)を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない音声電話がかかってきた場合、番号通知お願いガイダンスが流れ、音声電話を受けることはできません。

●次のような場合、キャッチホンは動作しません。

・国際電話受付台(0051)および110番、119番、118番、117番※、104番などの3桁の電話番号と通話しているとき

・ダイヤル中および相手を呼び出し中のとき

・テレビ電話通話中のとき(「着信履歴」(P.151)には「不在着信履歴」として記憶されます)

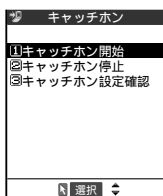
・音声電話通話中にテレビ電話がかかってきたとき(「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶されます)

・「留守番電話サービス」をご利用のお客様で、留守番電話サービスセンターに接続されている間

※：117番と通話中に音声電話を着信した場合、「ププ…ププ…」という音が聞こえますが、電話に出ることはできません。

キャッチホンが使えるようにします

1 ▶ ▶**「キャッチホン」の順に選ぶ**

2 「キャッチホン開始」を選ぶ

キャッチホンを停止する場合

「キャッチホン停止」を選ぶ

キャッチホンの設定を確認する場合

「キャッチホン設定確認」を選ぶ

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出ます

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら または [通話] を押す

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

あとからかかってきた相手との通話を終了する場合

を押した後、 または [通話] を押す

あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

を押す

あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。

を押すたびに通話の相手が切り替わります。

保留中の音声電話を終了する場合

機能メニューから「保留呼切断」を選ぶ

おしらせ

- 通話中保留のときも電話をかけた方の料金は加算され続けます。
- 「マルチ接続中」と画面に表示されているときに別の音声電話がかかってくると、保留か通話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご契約いただいている場合、「着信動作選択」を「通常着信」に設定して「通話中着信設定」を「開始」に設定すると、通話中にかかってきた音声電話を留守番電話サービスや転送でんわサービスに接続できます。→P.291

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出ます

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら を押す

最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります

2 または [通話] を押す

あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけます

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手に音声電話をかけることができます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルして☎を押す

最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。
電話帳を検索することもできます。
電話帳の検索のしかた→P.116

2 最初の相手との通話に切り替える

新しくかけた相手との通話を終了する場合

☎(PWR HLD)を押した後、☎または●[通話]を押す
新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

新しくかけた相手との通話を保留にする場合

☎を押す
新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
☎を押すたびに通話の相手が切り替わります。

保留中の音声電話を終了する場合

機能メニューから「保留呼切断」を選ぶ

おしらせ

- 通話中保留のときも電話をかけた方の料金は加算され続けます。
- 「マルチ接続中」と画面に表示されているときに別の音声電話がかかってくると、保留か通話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。

迷惑電話ストップサービス

お申し込み	必要

月額使用料	有料

迷惑電話ストップサービスとは、いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手からの電話を着信しないように登録できるサービスです。登録後はその相手からの着信をネットワーク上で自動的に拒否し、相手には着信拒否ガイダンスで応答します。

●「圏外」が表示されているところで、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。
●拒否登録した相手からテレビ電話がかかってきた場合は、相手に着信拒否ガイダンスを流さずに電話を切ります。
●最大30件まで拒否登録できます。
●迷惑電話ストップサービスと各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信動作は次のようになります。

ネットワークサービス名	着信動作
留守番電話サービス	相手に着信拒否ガイダンスを流します。伝言メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	相手に着信拒否ガイダンスを流します。転送先には転送しません。
キャッチホン	相手に着信拒否ガイダンスを流します。
番号通知お願いサービス	相手に着信拒否ガイダンスを流します。番号通知お願いガイダンスは流しません。
ドライブモード	相手に着信拒否ガイダンスを流します。運転中のガイダンスは流しません。

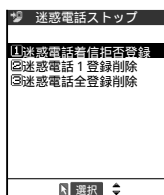
●迷惑電話ストップサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

最後に着信した迷惑電話を拒否登録します <迷惑電話着信拒否登録>

最後に通話した相手の電話番号を拒否登録できます。

●相手が電話番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
●国際電話を拒否登録することはできません。
●拒否登録した電話番号の確認や問い合わせはできません。拒否登録した電話番号はメモなどをとっておくことをおすすめします。

1 Menu ▶ サービス ▶「迷惑電話ストップ」の順に選ぶ

2「迷惑電話着信拒否登録」を選ぶ

すでに30件登録済みの場合

最も古い番号を削除して登録するかどうかのメッセージが表示されます。
新しく登録する場合は、メッセージに従って最も古い番号を削除してから、最後に着信した迷惑電話を拒否登録してください。

おしらせ

- 電話番号を指定して拒否登録することもできます。この場合は、待受画面から直接「144」に音声電話をかけて、音声ガイダンスの指示に従って登録してください。

拒否登録した迷惑電話を削除します

1 ▶「迷惑電話ストップ」の順に選ぶ

2 拒否登録した電話番号を削除する

最後に拒否登録した電話番号を1件削除する場合

「迷惑電話1登録削除」を選ぶ
削除できるのは最後に拒否登録をした電話番号のみです。
削除の操作を繰り返しても、それ以前に拒否登録した電話番号は削除できません。

拒否登録した電話番号をすべて削除する場合

「迷惑電話全登録削除」を選ぶ

発信者番号通知サービス

お申し込み	不要

月額使用料	無料

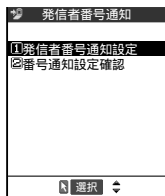
FOMA端末は電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

- 「圏外」が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。
- テレビ電話でも発信者番号通知サービスを利用できます。
- 発信者番号通知は相手の電話機がデジタル端末で、発信者番号表示が可能なときだけご利用できます。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが流れた場合は、いったん電話を切って発信者番号を「通知する」に設定してかけ直せば相手に電話がかかります。

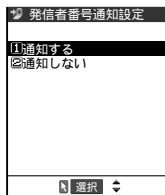
発信者番号を通知します

ご契約時	通知しない

1 ▶「発信者番号通知」の順に選ぶ

2 「発信者番号通知設定」を選ぶ

発信者番号通知の設定を確認する場合

「番号通知設定確認」を選ぶ

3 「通知する」を選んでネットワーク暗証番号を入力する

ネットワーク暗証番号について→P.193

発信者番号を通知しない場合

「通知しない」を選んでネットワーク暗証番号を入力する

おしらせ

- 電話番号をダイヤルしたときや、「電話帳」、「リダイヤル」または「着信履歴」で電話番号を表示させたときに、発信者番号を通知する／しないを設定することもできます。→P.124

番号通知お願いサービス

お申し込み	不要

月額使用料	無料

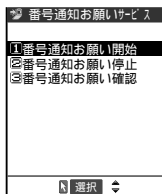
番号通知お願いサービスとは、電話番号を通知してこない音声電話に対し、ガイダンスの案内により「番号の通知のお願い」をし、自動的に電話を切るサービスです。相手がわからないことなどによるトラブルを防ぎ、FOMA端末を安心して活用できます。

- 「圏外」が表示されているところで、番号通知お願いサービスの操作はできません。
- テレビ電話では番号通知お願いサービスを利用できません。
- 非通知の理由が、発信者の意思により電話番号を通知しない「非通知設定」のときだけ働きます。「公衆電話」「通知不可能」は対象外です。
- 番号通知お願いサービスの開始／停止の通信料は無料です。
- ガイダンスにかかわる通話については、発信者に通話料金がかかります。
- 「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」、「ドライブモード」の各ネットワークサービスと「番号通知お願いサービス」を同時に設定している場合、「番号通知お願いサービス」が優先され、かかってきた電話を切ります。

- 「迷惑電話ストップサービス」と「番号通知お願いサービス」を同時に設定している場合は、「迷惑電話ストップサービス」が優先され、着信を拒否します。
- 「非通知着信設定」(P.145)と番号通知お願いサービスを同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先されます。
- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを開始します

1 Menu ▶ サービス ▶**「番号通知お願いサービス」の順に選ぶ**

2 「番号通知お願い開始」を選ぶ

番号通知をお願いしない場合
「番号通知お願い停止」を選ぶ

番号通知お願いサービスの設定を確認する場合
「番号通知お願い確認」を選ぶ

デュアルネットワークサービス

お申し込み	必要

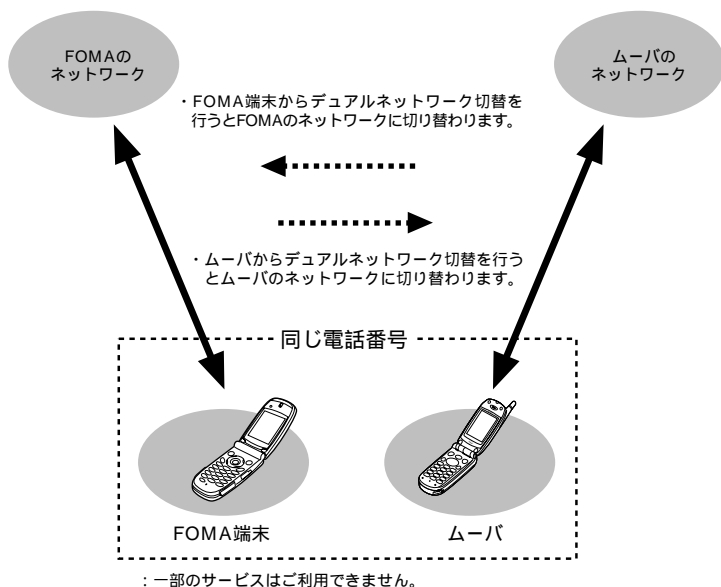
月額使用料	有料

デュアルネットワークサービスとは、高品質な通信サービスのFOMA端末と広範囲なサービスエリアのムーバとを、同じ電話番号で使い分けることができるサービスです。

- 「圏外」が表示されているところで、デュアルネットワークの操作はできません。
- デュアルネットワークサービスで切り替えられるネットワークとは、iモードセンターやネットワークサービスセンターも含めたサービス全体を表しています。
- デュアルネットワークサービスやムーバからの操作について詳しくは、『デュアルネットワークサービスガイド』をご覧ください。

デュアルネットワークサービスについて

- デュアルネットワークサービスの切り替えは、サービスを利用できない状態のFOMA端末またはムーバから行います。

※：一部のサービスはご利用できません。

●FOMA端末でご契約されているネットワークサービスは、ムーバご使用時にもご利用いただけます。ただし、次の設定はそれぞれの端末から行い、相互には反映されませんのでご注意ください。
　・発信者番号通知サービス
　・ドライブモード
　・着信動作選択

●FOMA端末とムーバの両方を同時にネットワークに接続することはできません。

●次の機能はFOMA端末でのみ使用可能です。
　・テレビ電話の発信と着信
　・SMSの送受信
　・メッセージリクエスト／フリーの受信
　・SMS問い合わせ

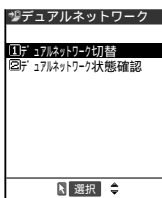
●iモード対応のムーバの場合、iモードメールをムーバで自動受信するか、iMenu内の「メール確認サイト」にて未受信のメールを確認／返信するかを選ぶことができます。

●FOMA端末でご契約されているネットワークサービスは、ムーバご使用時にもご利用いただけます。ただし、それぞれの端末から行ったネットワークに対する設定には、相互に反映されるものと相互に反映されないものがあります。

ムーバからFOMA端末へ切り替えます

●切り替えを行うときは、受信レベル表示でサービスエリアにいることを確認してください。ただし、FOMA端末およびムーバの受信レベルは電波状態を示しているもので、ネットワークの利用可能、不可能の状態を示しているものではありません。

1

2 「デュアルネットワーク切替」を選ぶ

FOMA端末が利用可能状態であるか確認する場合

「デュアルネットワーク状態確認」を選ぶ

3 「YES」を選んでネットワーク暗証番号を入力する

ネットワーク暗証番号について→P.193

切り替えない場合

「NO」を選ぶ

英語ガイダンス

お申し込み	不要

月額使用料	無料

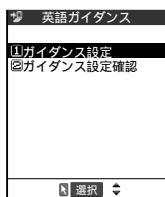
「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」など、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスの言語を設定できます。また、「番号通知お願いサービス」など、お客様へ電話をかけてきた相手へのガイダンスの言語を設定することもできます。
設定できる言語は次のとおりです。

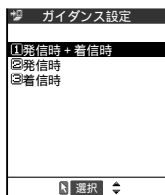
	設定	ガイダンスの言語
発信時 （ネットワークサービス設定時に流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	英語	英語ガイダンスが流れます。
着信時※ （相手がかけてきたときに流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、そのあとに英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、そのあとに日本語ガイダンスが流れます。

※：着信時は英語のみのガイダンスに設定することはできません。なお、ドコモの携帯電話どうしでの通話の場合、流れるガイダンスは発信者側の発信時の設定が着信側の着信時の設定より優先されます。

●「圏外」が表示されているところで、英語ガイダンスの操作はできません。
●テレビ電話では英語ガイダンスを利用できません。

1 「英語ガイダンス」の順に選ぶ

2 「ガイダンス設定」を選ぶ

ガイダンスの設定を確認する場合
「ガイダンス設定確認」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

発信時と着信時の言語を設定する場合
「発信時＋着信時」を選んで発信時、着信時の順に言語を設定する
発信時の言語を「日本語／英語」、着信時の言語を「日本語／日本語＋英語／英語＋日本語」から選びます。

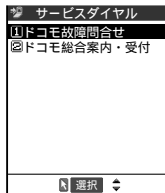
発信時の言語のみ設定する場合
「発信時」を選ぶ
発信時の言語を「日本語／英語」から選びます。

着信時の言語のみ設定する場合
「着信時」を選ぶ
着信時の言語を「日本語／日本語＋英語／英語＋日本語」から選びます。

サービスダイヤル

ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ簡単に電話をかけることができます。

●「圏外」が表示されているところで、サービスダイヤルの操作はできません。

1 ▶ ▶「サービスダイヤル」の順に選ぶ

故障の問い合わせ先へ電話をかける場合
「ドコモ故障問合せ」を選んで◉[発信]を押す

総合案内・受付へ電話をかける場合
「ドコモ総合案内・受付」を選んで◉[発信]を押す

おしらせ

● FOMAカードのバージョンによっては、サービスダイヤルを利用できない場合があります。

通話中にかかってきた電話への対応を設定します

通話中にかかってきた音声電話にどのように対応するかを設定できます。「キャッチホン」をご契約されていない場合に利用すると便利です。
対応方法を設定するには、通話中着信設定を「開始」に設定し、着信動作選択で通話中にかかってきた音声電話の対応を設定します。

●「圏外」が表示されているところで、通話中着信設定の操作はできません。
●テレビ電話および64Kデータ通信の場合、着信動作選択の設定は無効となります。
●通話中にかかってきた音声電話を、手動で留守番電話サービスセンターや転送先へ接続することもできます。
●キャッチホン、通話中着信設定、着信動作選択の関係は次のようになります。

キャッチホン契約	キャッチホン	通話中着信設定	着信動作選択						
			留守番電話	転送でんわ	着信拒否	通常着信			
						通常着信	機能メニューによる手動設定		
							留守番電話	転送でんわ	着信拒否
なし	ー	開始	○	○	○	※1	○	○	○
		停止	×	×	×	×	×	×	×
あり	開始	開始	※3	※3	※3	※2	○	○	○
		停止	※3	※3	※3	※2	○	○	○
	停止	開始	○	○	○	※1	○	○	○
		停止	×	×	×	×	×	×	×

○　：着信動作選択で設定した機能が動作します。
×　：着信動作選択で設定した機能は動作しません。

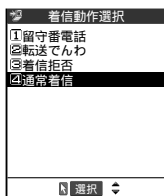
※1：通話中に着信があったことはわかりますが、通話を保留にしてその着信を受けることはできません。
※2：通話中に着信があったことがわかり、通話を保留にしてその着信を受けることができます。
※3：「留守番電話」、「転送でんわ」、「着信拒否」が優先して動作し、「キャッチホン」のサービスを受けることができません。必ず「通常着信」に設定してください。

●「留守番電話サービス」および「転送でんわサービス」を未契約の場合は、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターや転送先に接続できません。

通話中にかかってきた電話への対応を選びます<着信動作選択>

お買い上げ時	通常着信

1 Menu ▶ サービス ▶ **「着信動作選択」の順に選ぶ**

2 設定したい項目を選ぶ

留守番電話 ：「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。

転送でんわ ：「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話を転送先へ転送します。

着信拒否 ：通話中にかかってきた音声電話の着信を拒否します。

通常着信 ：「キャッチホン」が「開始」に設定されている場合、「キャッチホン」の動作となります。「キャッチホン」が「停止」に設定されている場合、次のいずれかの動作が可能です。

・通話中の音声電話を終了し、かかってきた音声電話に出ることができます。
・通話中にかかってきた音声電話を、機能メニューから手動で留守番電話サービスセンターや転送先へ接続したり着信拒否することができます。→P.75
・「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

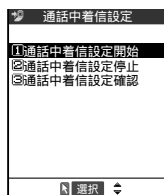
おしらせ

● 本機能を「留守番電話」、「転送でんわ」、「着信拒否」に設定した場合、通話中にかかってきた音声電話は「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

通話中着信設定を開始します <通話中着信設定>

お買い上げ時	通話中着信設定停止

1 ▶ ▶「通話中着信設定」の順に選ぶ

2 「通話中着信設定開始」を選ぶ

通話中着信設定を停止する場合

「通話中着信設定停止」を選ぶ

通話中着信設定を確認する場合

「通話中着信設定確認」を選ぶ

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出ます

着信動作選択を「通常着信」、通話中着信設定を「開始」にすると、通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出ることができます。

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら PWR HLD を押す

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。
「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されていて、「ププ…ププ…」という音が聞こえているうちに呼出時間を経過すると、留守番電話サービスセンターや転送先に接続されます。

2 または [通話]を押す

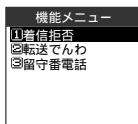
かかってきた音声電話を受けます。

手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスに接続したり、着信拒否したりします

●次のような設定の場合は、通話中に別の音声電話がかかってきたとき、かかってきた音声電話を機能メニューから留守番電話サービスセンターや転送先に接続したり、着信拒否したりできます。
・「キャッチホン」が「開始」で、着信動作選択が「通常着信」のとき
・ 通話中着信設定が「開始」で、着信動作選択が「通常着信」のとき
●「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」の設定にかかわらず留守番電話や転送でんわを利用できます。

<例：キャッチホンが「開始」に設定されている場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、 [機能]を押して機能メニューを表示する

2 かかってきた電話の対応方法を選ぶ

かかってきた電話を着信拒否する場合
「着信拒否」を選ぶ
かかってきた電話を転送先へ転送する場合
「転送でんわ」を選ぶ
かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合
「留守番電話」を選ぶ
いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

おしらせ

- 転送先が登録されていない場合は、「転送先が未登録です」というメッセージが表示されます。かかってきた相手には転送ガイダンスが流れますが、通話は切れてしまいます。
- 「110番(警察への緊急通報)」、「119番(消防・救急への緊急通報)」および「118番(海上で事件・事故が起きたときの緊急通報)」に電話をかけているときは、機能メニューからの操作はできません。
- 着信中以外(サービスエリア外、音声電話やテレビ電話に出られない状態、電源が入っていないときなど)は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」の「開始/停止」の設定に従って動作します。

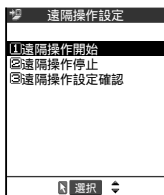
ネットワークサービスが遠隔操作で利用できます

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の操作を、公衆電話などの遠隔地から行うことができます。

●「圏外」が表示されているところで、遠隔操作はできません。

遠隔操作ができるようにします

1 Menu ▶ ▶ **「遠隔操作設定」の順に選ぶ**

2 **「遠隔操作開始」を選ぶ**

遠隔操作を停止する場合

「遠隔操作停止」を選ぶ

遠隔操作の設定を確認する場合

「遠隔操作設定確認」を選ぶ

遠隔操作の方法について

公衆電話などからネットワークサービスを操作するには、次のようにダイヤルします。

090−310−XXXX

・XXXXには操作したい項目の番号をダイヤルします。
・操作方法について詳しくは、『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

追加サービス

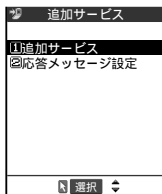
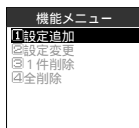
新しいサービスを登録します

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたとき、FOMA端末に新しいネットワークサービスを登録できます。
新しいネットワークサービスが提供されると、そのネットワークサービスを利用するための「特番」または「サービスコード」が通知されます。FOMA端末には「特番」または「サービスコード」とサービス名を登録してください。

- 新しいネットワークサービスは最大10件まで登録できます。
- 「サービスコード」は追加サービス登録画面の「USSD」という項目に入力します。
- 登録したネットワークサービスを「サービスコード(USSD)」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録することもできます。

新しいサービスを登録します

1 Menu ▶ サービス ▶「追加サービス」の順に選ぶ

2 「追加サービス」を選ぶ

3 〈未登録〉を反転表示して機能メニューから「設定追加」を選ぶ

設定を変更する場合
登録されている項目を反転表示して機能メニューから「設定変更」を選ぶ

4 サービス名を入力する

サービス名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.298

5 接続方法を選ぶ

「特番」で接続する場合
「特番」を選んで特番を入力する

「サービスコード」で接続する場合
「USSD」を選んでサービスコードを入力する

登録したサービスを利用します

1 「追加サービス」の順に選ぶ

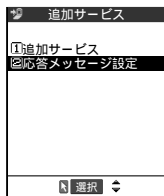
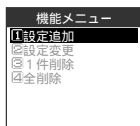
2 「追加サービス」を選んで利用したいサービスを選び、●[送信]を押す

応答メッセージを登録します

登録したネットワークサービスを「サービスコード（USSD）」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録できます。

●応答メッセージは最大10件まで登録できます。

1 Menu ▶ サービス ▶「追加サービス」の順に選ぶ

2 「応答メッセージ設定」を選ぶ

3 〈未登録〉を反転表示して機能メニューから「設定追加」を選ぶ

設定を変更する場合
登録されている項目を反転表示して機能メニューから「設定変更」を選ぶ

4 コマンドを入力する

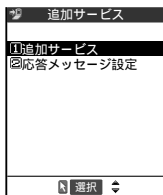
コマンドは20桁まで入力できます。

5 応答メッセージを入力する

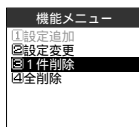
応答メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.298

登録したサービスや応答メッセージを削除します

1 Menu ▶ サービス ▶「追加サービス」の順に選ぶ

2 削除したい項目を選ぶ

追加サービスを削除する場合
「追加サービス」を選ぶ

応答メッセージを削除する場合
「応答メッセージ設定」を選ぶ

3 削除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

すべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

●文字入力のしかた

文字入力について

**FOMA端末ではダイヤルボタンを使って文字を入力できます。文字の入力は「メール」、「電話帳登録」、「テキストメモ」などの機能を利用するときに必要となりますので、あらかじめ入力の方法を覚えておいてください。
文字入力については次のような構成で説明しています。**

文字入力(編集)画面について

文字入力(編集)画面の文字入力エリアに表示されるマークやガイダンスエリアに表示されるアイコンについて説明しています。→P.300

かな方式による文字入力

「かな方式(モード1)」とはボタンを何回か押すことによって、そのボタンに割り当てられている文字を入力する方式です。お買い上げのときに設定されている文字入力方式です。この文字入力方式で漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字、顔文字、定型文、小文字、スペース、改行などの入力方法や全角／半角、大文字／小文字、挿入／上書きモードの切り替え方法、ワード予測機能や区点コードを利用した入力方法を説明しています。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

文字入力画面で指定した範囲をコピーまたは切り取って、別の場所に貼り付ける方法を説明しています。→P.317

辞書／定型文

よく使う単語をユーザ辞書に登録する方法、iモードのサイトなどからダウンロードした日本語変換用の辞書を利用する方法、定型文の登録方法について説明しています。あらかじめ辞書や定型文を登録しておくと、文字の入力が便利になります。→P.319、P.321、P.322

入力方式の設定

文字入力方式の切り替え方法、ワード予測機能およびガイダンス表示の設定、かな漢字変換、T9、ワード予測の学習情報のリセットについて説明しています。お買い上げのときはワード予測機能、ガイダンス表示のどちらの機能も使用できるように設定されています。
→P.324

T9方式による文字入力

「T9方式（モード3）」とは入力したい文字が割り当てられている行のボタンを1回押すと読み候補が表示され、その中の候補を選んで文字を入力する方式です。ここでは「T9方式（モード3）」の基本的な入力方法、読みの編集方法について説明しています。→P.329

2タッチ方式による文字入力

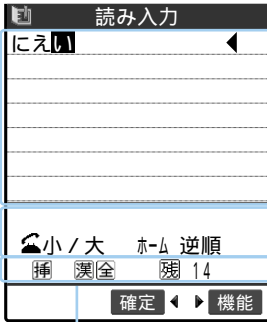
「2タッチ方式（モード2）」とはボタンで2桁の番号を入力することによって、その2桁の番号に割り当てられている文字を入力する方式です。ここでは「2タッチ方式（モード2）」の基本的な入力方法について説明しています。→P.333

画面の切り替え

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面の2つの画面が表示されているときの画面の切り替え方法について説明しています。2つの画面が表示されるのは、デコメールを作成する場合、受信メールからの参照返信を実行した場合、受信メール、iモード画面からスケジュールの参照登録を実行した場合のみです。→P.335

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアで構成されています。文字入力エリアには入力中の文字やカーソル、エンドマークなどが表示されます。操作ガイダンスエリアには漢字変換や検索、範囲指定など、そのときに操作できる内容が表示されます。情報表示エリアには文字入力方式や入力モード、入力可能な残り文字数などの情報が表示されます。

読み入力
にえい
☎小／大　ホーム 逆順
挿　漢全　残 14
確定　機能

文字入力エリア

■：カーソルです。この位置に文字が入力されます。
◀：エンドマークです。この位置まで文字を入力できます。
エンドマークの位置は機能によって異なります。

操作ガイダンスエリア

▲▼ 変換：Ⓞを押して文字を変換できるときに表示します。
→P.303
▲▼ 全件／▲▼ 検索：電話帳の検索画面で、Ⓞを押して検索できるときに表示します。
→P.116
☒ 固定入力／☒ 固定終了：T9方式（モード3）で固定入力モードが利用できるときに表示します。
→P.332
◀▶▲▼ 領域　：文字をコピー（切り取り）するときに表示します。→P.317
☎ 小／大：☎を押して入力した文字が大文字⇔小文字に切り替えられるときに表示します。→P.302
☎長押 改行：☎を1秒以上押して改行マーク↲が入力できるときに表示します。→P.307
ホーム逆順：文字入力方式が「かな方式（モード 1）」で、[ホーム]を押して同じボタンに割り当てられた 1 つ前の読みに戻せるときに表示します。

情報表示エリア

T9 ／ 2 ：文字入力方式が「T9方式（モード3）」（P.329）／「2タッチ方式（モード2）」（P.333）のときに表示します。「かな方式（モード 1）」 のときは何も表示されません。
固 ：T9方式（モード3）で「固定入力モード」にしたときに表示します。→P.332
挿 ／ 上 ：挿入モードのときに「挿」、上書きモードのときに「上」を表示します。→P.303
漢 ／ カナ ／ 英 ／ 数 :文字入力方式が「かな方式（モード1）」、「T9方式（モード3）」のときに現在の入力モードを表示します。
区 ：「区点入力モード」のときに表示します。→P.314
全 ／ 半 ：全角文字を入力しているときに「全」、半角文字を入力しているときに「半」を表示します。→P.302
小 ：小文字を入力しているときに表示します。→P.302
残 ：入力可能な残り文字数をバイト数で表示します。文字数は半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。したがって、全角文字は半角文字2文字分となります。
入 ：FOMAカードへの電話帳登録およびSMSの本文入力時に、入力済みの文字数を文字数単位で表示します。全角文字、半角文字は区別されません。

おしらせ

● 操作ガイダンスを表示しないように設定することもできます。→P.327

かな入力で文字を入力します

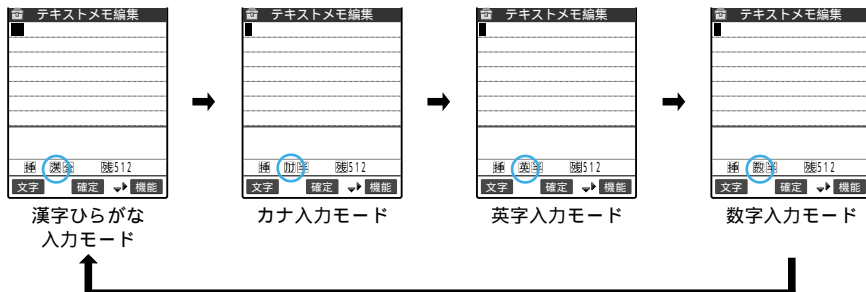
「かな方式（モード1）」の基本的な入力方法について説明します。

各モードを切り替えます

文字入力画面では、入力モード、全角／半角、大文字／小文字、挿入モード／上書きモードを切り替えることができます。状況に応じて各モードを切り替えてください。

■入力モードを切り替えます

「かな方式（モード1）」の入力モードには「漢字ひらがな入力モード」、「カナ入力モード」、「英字入力モード」、「数字入力モード」があります。[文字]を押すたびに入力モードが順番に切り替わります。

漢字ひらがな入力モード　カナ入力モード　英字入力モード　数字入力モード

■ 漢字ひらがな入力モード

漢字、ひらがな、カタカナ、記号、数字を入力します。文字はすべて全角になります。情報表示エリアには「漢」が表示されます。

■ カナ入力モード

半角または全角のカタカナ、記号を入力します。情報表示エリアには「カナ」が表示されます。

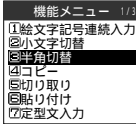
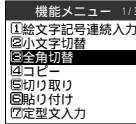
■ 英字入力モード

半角または全角の英字、記号を入力します。情報表示エリアには「英」が表示されます。

■ 数字入力モード

半角または全角の数字、記号を入力します。情報表示エリアには「数」が表示されます。

■全角／半角を切り替えます

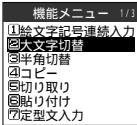
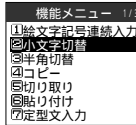
全角／半角を切り替えるには、機能メニューから「全角切替」または「半角切替」を選びます。「全角」に切り替えると情報表示エリアに「全」が、「半角」に切り替えると「半」が表示されます。
「漢字ひらがな入力モード」の場合は全角／半角を切り替えられません。

全角モードのとき

半角モードのとき

■小文字／大文字を切り替えます

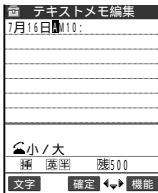
小文字／大文字を切り替えるには、2つの方法があります。

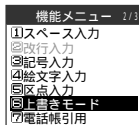
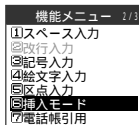
■ 機能メニューから選びます

機能メニューから「小文字切替」または「大文字切替」を選びます。「小文字」に切り替えると情報表示エリアに「小」が表示されます。「大文字」の場合は何も表示されません。

小文字入力のとき

大文字入力のとき

■ を押します

小文字／大文字を切り替えたい文字にカーソルを合わせてを押すたびに、小文字と大文字が切り替わります。操作ガイダンスに「小／大」が表示されている場合のみ操作できます。

■挿入モード／上書きモードを切り替えます

「挿入モード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字と文字の間に新たに入力した文字を挿入します。「上書きモード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字に新たに入力した文字を上書きします。
挿入モード／上書きモードを切り替えるには、機能メニューから「挿入モード」または「上書きモード」を選びます。「挿入モード」に切り替えると情報表示エリアに「挿」が、「上書きモード」に切り替えると「上」が表示されます。
文字入力（編集）画面を表示したときは常に挿入モードになります。

挿入モードのとき

上書きモードのとき

おしらせ

●「挿入モード」ですでに入力可能な文字数を入力している場合は、それ以上文字を入力できません。
●「上書きモード」ですでに入力可能な文字数を入力している場合、半角文字に全角文字を上書き入力することはできません。

文字を入力します

「かな方式（モード1）」で、ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字を入力する方法について説明します。

●ダイヤルボタンの文字割当一覧表→P.339
●複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。また、英数記号の一部も変形しています。

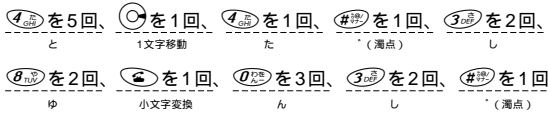
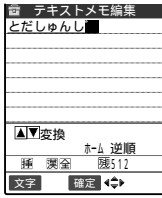
■ひらがな、漢字を入力します

ひらがなを入力した後、連文節変換で漢字に変換します。入力したひらがなを漢字に変換せずにそのまま確定することもできます。
・漢字に変換できる読み（ひらがな）は20文字まで、一括変換できるのは6文節までです。
・入力できる漢字は、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6355文字です。

＜例：「戸田俊司」と入力する場合＞

1 **[文字]を押して「漢字ひらがな入力モード」にする**

入力モードの切り替えかた→P.301

2 ひらがなを入力する

4を5回、→を1回、4を1回、#を1回、3を2回、
と 1文字移動 た ゛（濁点） し

8を2回、小文字を1回、0を3回、3を2回、#を1回
ゆ 小文字変換 ん し ゛（濁点）

ボタンを押し間違えた場合

CLRを押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合

▲を押す

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

→を押すかそのボタンを1秒以上押す

カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

ひらがなで確定する場合

●［確定］を押す

3 ↓を押して漢字に変換する

最初の文節の漢字候補が反転表示され、残りの文節の漢字候補はアンダーライン（＿）で表示されます。

漢字候補が目的の漢字の場合

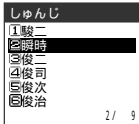
●［確定］を押す

漢字が確定され、次の文節が反転表示されます。

変換範囲を変更する場合

←または→を押して変換範囲を変更して↓を押す

変換した範囲に応じて漢字候補も変更されます。その範囲で変換できる漢字がない場合はひらがなが表示されます。

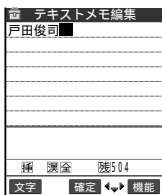
4 ↑または↓を押して変換候補を表示する

反転表示している文節の変換候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。

変換範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合

数字も変換候補として表示されます。

5 入力したい漢字を選ぶ

漢字が確定されます。

6 ●[確定]を押す

入力した文字が確定され、各機能の編集画面に戻ります。

おしらせ

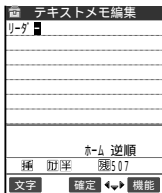
- 希望の漢字に変換されない場合は、読みを音読みや訓読みに変更すると表示される場合があります。
- 一度に変換できない2文字以上の漢字は、1文字ずつ変換してください。
- 変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.314

■カタカナを入力します

<例：「ﾘｰﾀﾞｰ」と入力する場合>

1 [文字]を押して「カナ入力モード」にする

入力モードの切り替えかた→P.301

2 カタカナを入力する

入力した文字がそのまま確定されます。

9を2回(ﾘ)、0を4回(ｰ)、4を1回(ﾀ)、#を1回(ﾞ（濁点）)、0を4回(ｰ)

ボタンを押し間違えた場合

CLRを押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合

▲を押す

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

▶を押すかそのボタンを1秒以上押す

カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

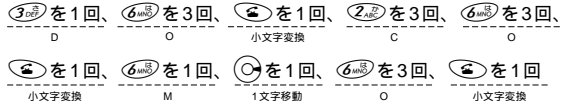
■英字を入力します

<例：「DoCoMo」と入力する場合>

1 [文字]を押して「英字入力モード」にする

入力モードの切り替えかた→P.301

2 英字を入力する

入力した文字がそのまま確定されます。

3を1回、6を3回、※を1回、2を3回、6を3回、
D　O　小文字変換　C　O

※を1回、6を1回、○を1回、6を3回、※を1回
小文字変換　M　1文字移動　O　小文字変換

ボタンを押し間違えた場合

CLRを押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合

▲を押す

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

○を押すかそのボタンを1秒以上押す

カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

■数字を入力します

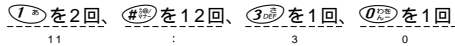
<例：「11:30」と入力する場合>

1 ◐［文字］を押して「数字入力モード」にする

入力モードの切り替えかた→P.301

2 数字を入力する

入力した文字がそのまま確定されます。

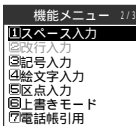
1を2回、#を12回、3を1回、0を1回
11　:　3　0

ボタンを押し間違えた場合

CLRを押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

続けて同じボタンに割り当てられている数字を入力する場合

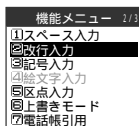
そのまま同じボタンを押す

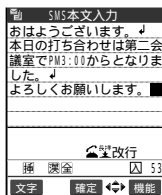
■スペース（空白）を挿入します

スペース（空白）を挿入するには、機能メニューから「スペース入力」を選びます。全角入力の場合は全角スペース、半角入力の場合は半角スペースが挿入されます。

■文章を改行します

改行マーク「↲」を入力して、文章を改行できます。改行マーク「↲」を入力するには、2つの方法があります。
改行マークは全角1文字分として文字数にカウントされます。

■ 機能メニューから入力します

改行したい位置にカーソルを合わせて機能メニューから「改行入力」を選びます。改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

■ (長押しキー)を1秒以上押します

改行したい位置にカーソルを合わせて(キー)を1秒以上押します。改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

おしらせ

- 改行マークは文字と同じように削除したり上書きできます。
- iモードのテキストボックスでは、改行マークを入力できない場合があります。

ワード予測を利用して文字を入力します

ワード予測とは、過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示する機能です。読みを入力すると、過去に入力した文字の中から入力した文字に続くと予測される文字を予測候補として表示します。また、文字を確定すると、過去にその文字に続けて入力した文字を履歴候補として表示します。すべての文字を入力しなくても目的の文字が入力できるので便利です。

- ワード予測は「かな方式(モード1)」の「漢字ひらがな入力モード」のとき、「2タッチ方式(モード2)」の「全角入力モード」のときのみ利用できます。「T9方式(モード3)」では「漢字ひらがな入力モード」のときに「履歴候補」のみ利用できます。
- 過去に入力していない文字や、「ワード予測」(P.326)を「OFF」に設定している場合は、読みを入力しても候補は表示されません。

1 読みを入力する

予測候補がガイダンスエリアに表示されます。

2 ◉をスライドするか◎を1秒以上押す

ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補を選べるようになります。

読みの入力に戻る場合

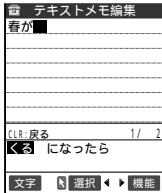
CLRを押す

予測候補が表示されない、または入力したい文字が予測候補にない場合

そのまま読みを入力する

3 予測候補を選ぶ

文字を確定すると、その文字に続く履歴候補が表示されます。

4 履歴候補を選ぶ

履歴候補が表示されない、または入力したい文字が履歴候補にない場合

そのまま次の文字を入力する

おしらせ

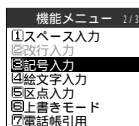
- 「学習履歴クリア」(P.328)の「T9／ワード予測」を行うと、「ワード予測」の予測候補と履歴候補が削除されます。
- 「ニューロポインター設定」(P.249)で「ポインター表示」を「OFF」に設定している場合は、◎を1秒以上押して予測候補を選べる状態にしてください。
- 履歴候補には確定した文字から始まる定型文も候補として表示されます。

記号・絵文字を入力します

文字入力(編集)画面では、文字以外に記号や絵文字、顔文字などを入力できます。また、記号、絵文字は連続して入力することもできます。

■記号を入力します

カッコやギリシャ数字、単位などの記号を入力できます。
メールアドレスの登録画面、iモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。

1 機能メニューから「記号入力」を選ぶ

記号の候補が表示されます。

2 入力する記号を選ぶ

記号／特殊文字一覧表→P.342

■文字変換で記号や顔文字を入力します

「漢字ひらがな入力モード」で記号や顔文字の読みを入力して変換すると、その読みに該当する記号や顔文字が入力できます。

■ 記号の入力

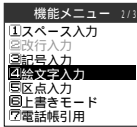
「漢字ひらがな入力モード」で「きごう」と入力して変換すると、記号の候補が表示されます。また「かっこ」、「さんかく」などの記号名を入力して変換しても、記号を入力できます。
変換記号→P.343

■ 顔文字の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると、顔文字の候補が表示されます。また、「ありがとう」、「さよなら」などの顔文字の意味を入力して変換しても、顔文字を入力できます。
顔文字→P.344

■絵文字を入力します

メール本文やテキストメモ、定型文などの文字入力（編集）画面で顔や天気、動物などの絵文字を入力できます。

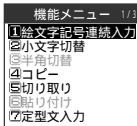
1 機能メニューから「絵文字入力」を選ぶ

絵文字の候補が表示されます。

2 入力したい絵文字を選ぶ

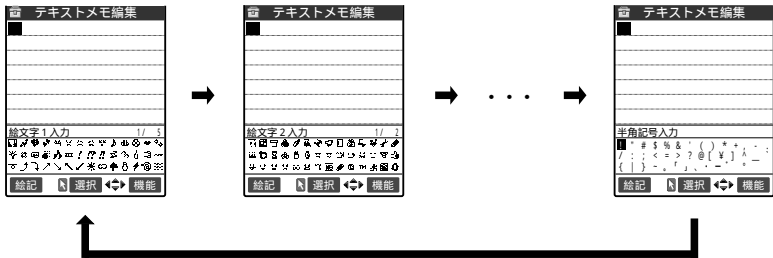
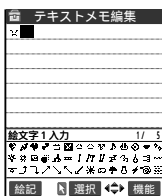
絵文字一覧→P.343

■記号や絵文字を連続入力します

記号や絵文字の候補画面を表示して、候補画面を消すまで記号や絵文字を連続で入力できます。入力のたびに機能メニューから呼び出す必要がないので便利です。
入力できる記号についてはP.342、絵文字についてはP.343を参照してください。

1 機能メニューから「絵文字記号連続入力」を選ぶ

絵文字1の候補がガイダンスエリアに表示されます。ガイダンスエリアの右上には「現在のページ／全体のページ数」が表示されます。

2 [絵記]を押して候補画面を切り替える

[絵記]を押すたびに「絵文字1入力」－「絵文字2入力」－「全角記号入力」－「特殊記号入力」－「半角記号入力」の順に切り替わります。

3 入力したい記号・絵文字を選ぶ

選んだ記号・絵文字が入力されます。そのまま続けてほかの記号や絵文字を入力できます。

4 入力が終わったら CLR を押す

絵文字・記号の連続入力が終了します。

定型文を入力します

文字入力(編集)画面では、あらかじめ登録されている定型文を入力できます。定型文にはお買い上げ時に登録されている「固定定型文」と自分で登録できる「自作定型文」があります。

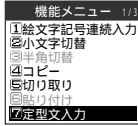
●固定定型文は入力モードによって表示される内容(表現)が次のように異なります。
なお、変更した固定定型文および自作定型文は入力モードにかかわらず登録された内容(表現)で表示されます。

文字入力方式	入力モード	表示内容
かな方式(モード1) T9方式(モード3)	漢字ひらがな入力モード	漢字ひらがなで表示されます。
	カナ入力モード、英字入力モード、数字入力モード	半角カタカナで表示されます。
2タッチ方式(モード2)	全角入力モード	漢字ひらがなで表示されます。
	半角入力モード	半角カタカナで表示されます。

●定型文は次のような文字入力(編集)画面で入力できます。

・テキストメモ
・定型文
・定型文のフォルダ名
・スケジュール
・ToDo
・ウェイクアップのメッセージ
・iモードメールの題名
・iモードメールの本文
・iモードメールの冒頭文
・iモードメールの署名
・iモードメールの引用符
・iモードメールの参照返信
・自動振分け設定の題名入力
・メール検索の題名入力
・iモードのテキストボックスでの編集
・iアプリでの文字編集

●定型文の作成、編集については、P.322を参照してください。
●固定定型文の内容について詳しくは、P.345を参照してください。

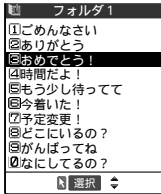
1 機能メニューから「定型文入力」を選ぶ

2 フォルダを選ぶ

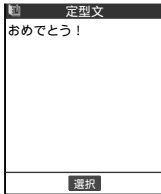
「固定定型文」を入力する場合

フォルダ1〜2を選ぶ

「自作定型文」を入力する場合

フォルダ3〜5を選ぶ

3 入力したい定型文を選ぶ

定型文の詳細画面が表示されます。

4 ◉［選択］を押す

選んだ定型文が入力されます。

おしらせ

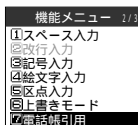
- 定型文を入力したときに入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーすることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと定型文が入力され、入力可能な文字数を超えた文字が、定型文の文末より削除されます。
- すでに最大数の文字が入力されている場合は、定型文を入力できません。

電話帳や個人データを引用して入力します

メールの本文や「テキストメモ」などの文字入力(編集)画面で、「電話帳」および「電話番号表示」に登録されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、メモを引用して入力できます。

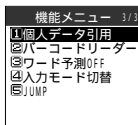
●一部の文字入力(編集)画面では引用できません。

1 機能メニューから「電話帳引用」または「個人データ引用」を選ぶ

機能メニュー 2/3
1スペース入力
2改行入力
3記号入力
4絵文字入力
5区点入力
6上書きモード
7電話帳引用

「電話帳引用」を選んだ場合

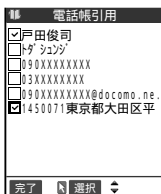
「グループ検索」または「行検索」を選んで引用したい電話帳を検索する

電話帳の検索のしかた→P.116

機能メニュー 3/3
1個人データ引用
2バーコードリーダー
3ワード予測OFF
4入力モード切替
5JUMP

「個人データ引用」を選んだ場合

4～8桁の端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

2 引用したい項目を選ぶ

電話帳引用の場合

3 [完了]を押す

選んだ項目が入力されます。

おしらせ

- 引用する文字列の中に、その文字入力(編集)画面で入力できない文字が含まれる場合は、半角スペースに置換されます。
- 「テキストメモ」や「iモードメール」の文字入力(編集)画面の場合は、引用した項目の間に半角スペースが2つ入力されます。SMSの本文編集画面など改行を直接入力できる文字入力(編集)画面の場合は、引用した項目ごとに改行マーク(↲)が入力されます。
- すでに最大数の文字が入力されている場合は、文字列を引用できません。

区点コードで入力します

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

●区点コードで文字を入力する前に、あらかじめ文字入力方式に応じて次の入力モードに切り替えておいてください。
・かな方式（モード1）　　：漢字ひらがな入力モード
・2タッチ方式（モード2）：全角入力モード
ただし、上記の入力モードにしなくても、機能メニューから区点入力モードに切り替えることができます。

●区点コードおよび区点コードで入力できる文字についてはP.346を参照してください。

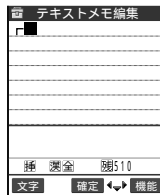
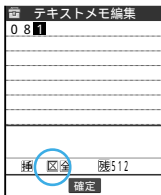
●区点コードは文字が確定されている状態のときに入力できます。

<例：「┌」（区点コード0814）を入力する場合>

1 **[＊]を押す**

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「区」が表示されます。

文字入力方式が「T9方式（モード3）」の場合
機能メニューから「区点入力」を選ぶ

2 **区点コード[0][8][1][4]を入力する**

入力した区点コードに対応した文字が入力され、元の入力モードに戻ります。

入力した区点コードに対応する文字がない場合
スペースが入力されます。

おしらせ

●文字入力方式が「かな方式（モード1）」または「2タッチ方式（モード2）」の場合でも、機能メニューから「区点入力」を選んで区点入力モードに切り替えることができます。

文字を修正します

新しい文字を挿入して追加したり、すでに入力されている文字を削除したりして文字を修正することができます。

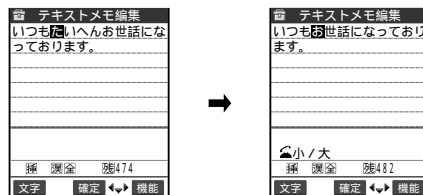
■文字を挿入します

「挿入モード」にしてからを押して挿入したい位置の1つ右の文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、文字はカーソルの位置に挿入されます。

■文字を上書きします

「上書きモード」にしてからを押して上書きしたい文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、カーソル上の文字が上書きされます。

■文字を削除します

を押して削除したい文字にカーソルを合わせ、を短く（1秒未満）押します。カーソル上の文字が削除されます。

カーソル上に文字がない場合

カーソルの左側の1文字が削除されます。

を1秒以上押した場合

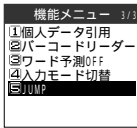
カーソル上の文字とそれより右側にあるすべての文字が削除されます。

カーソルより右側に文字がないときにを1秒以上押した場合

すべての文字が削除されます。

カーソルを文章の文頭／文末へ移動します

文字入力(編集)画面でカーソルを文章の文頭または文末へすばやく移動させることができます。メールの本文やテキストメモなど、入力した文字数が多いときに便利です。

1 機能メニューから「JUMP」を選ぶ

2 項目を選ぶ

カーソルを文頭へ移動させる場合
「文頭へJUMP」を選ぶ

カーソルを文末へ移動させる場合
「文末へJUMP」を選ぶ

入力中、編集中のデータを守ります

文字入力(編集)画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力(編集)画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。
電話帳の再編集について→P.114

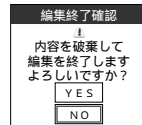
を押した場合

文字の入力中にを押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

<入力中の内容を保存しないで終わる場合>
「YES」を選びます。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。
を押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。
<文字の入力を続ける場合>

「NO」を選びます。入力したデータはそのままで文字入力(編集)画面に戻ります。
を押しても文字入力(編集)画面に戻ります。

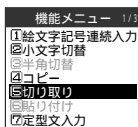
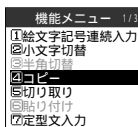
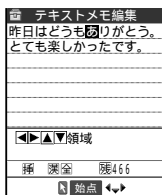
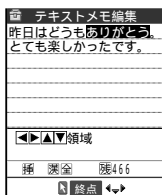
音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力(編集)画面に戻ります。音声通話中の場合は、を押してタスクメニューを表示させて、通話しながら文字入力(編集)画面に戻ることもできます。
→P.266

文字のコピー／切り取り／貼り付けをします

文字をコピーしたり、切り取ったり、貼り付けたりできます。コピーまたは切り取りした文字はFOMA端末に記憶されるので、別の位置に貼り付けたり、ほかの機能の文字入力(編集)画面に貼り付けることができます。

●コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピー(または切り取り)します

1 機能メニューから「コピー」または「切り取り」を選ぶ

2 コピーまたは切り取りする先頭の文字にカーソルを合わせて◉[始点]を押す

3 コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動させて◉[終点]を押す

選んだ範囲の文字が記憶されます。

切り取りした場合

選んだ範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

文字が入力されていない部分を選んだ場合

半角スペースとして記憶されます。

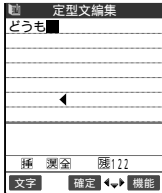
おしらせ

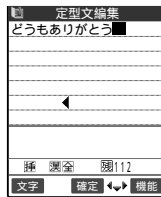
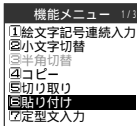
● コピーまたは切り取り範囲はポインターで選ぶこともできます。ただし、メール本文入力画面ではポインターで選べませんので、◎で選んでください。

文字を貼り付けます

コピーまたは切り取った文字は、ほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで何度でも貼り付けることができます。

●バーコードリーダーで取得した文字データを貼り付けることもできます。→『アプリケーション編』のP.281

1 文字を貼り付けたい位置にカーソルを合わせる

2 機能メニューから「貼り付け」を選ぶ

➡

文字が貼り付けられます。

貼り付け先の文字入力（編集）画面で入力できない文字が含まれている場合

スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられます。

おしらせ

● 貼り付けた文字が入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーすることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと文字が貼り付けられ、入力可能な文字数を超えた文字が、貼り付けた文字の文末より削除されます。「NO」を選ぶと文字は貼り付けられずに元の画面に戻ります。

● すでに最大数の文字が入力されている場合、貼り付けはできません。

ユーザ辞書

よく使う単語をあらかじめ登録しておきます

お買い上げ時	未登録

よく使う単語をお好きな読みでユーザ辞書に登録しておくと、文字入力(編集)画面でその読みを入力して変換したときに登録した単語が表示されます。普通の変換では表示されない単語を登録しておくと便利です。

●ユーザ辞書は100件まで登録できます。
●単語は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで10文字まで入力できます。
●同じ単語と読みは登録できません。
●絵文字、改行、定型文は単語および読みに入力できません。スペースは自動的につめて登録されます。
●読みに濁点、半濁点以外の記号(、。・!?)は登録できません。

新しい単語を登録します

1 Menu ▶ ユーザデータ ▶「ユーザ辞書」の順に選ぶ

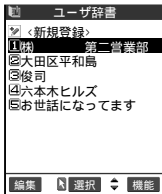
2 <新規登録>を選ぶ

3 単語を入力する

4 読みを入力する

単語の内容を確認します

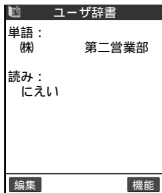
1 Menu▶ユーザデータ▶「ユーザ辞書」の順に選ぶ

2 確認したい単語を選ぶ

単語の内容を変更する場合
変更したい単語を反転表示して◐[編集]を押す

単語を1件削除する場合
削除したい単語を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数の単語を選んで削除する場合
機能メニューから「選択削除」を選んで削除する単語を選ぶ

単語をすべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

3 内容を確認する

ダウンロード辞書

使用する辞書を設定します

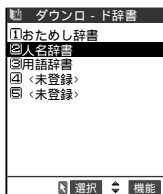
お買い上げ時	未登録

iモードのサイトなどからダウンロードした日本語変換用の辞書を変換用辞書として設定できます。専門用語などの辞書をダウンロードして設定すると、その辞書に登録されている用語が変換候補の一覧に表示されます。

●ダウンロード辞書は5件まで登録でき、そのうちの2件を有効にできます。

●辞書のダウンロードのしかたについては、『アプリケーション編』のP.113をご覧ください。

1 ▶「ダウンロード辞書」の順に選ぶ

2 設定したい辞書を選ぶ

設定した辞書には「★」がつきます。

設定されている辞書を解除する場合

「★」がついている辞書を選ぶ

設定が解除されて「★」が消えます。

辞書の情報を確認する場合

確認したい辞書を反転表示して機能メニューから「辞書情報」を選ぶ

辞書のタイトルを変更する場合

変更したい辞書を反転表示して機能メニューから「タイトル編集」を選ぶ

タイトルは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

辞書を1件削除する場合

削除したい辞書を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

辞書をすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

おしらせ

●すでにダウンロード辞書が2件設定されている場合は、すでに設定されていることを通知するメッセージが表示されます。「★」がついた辞書の設定を解除してから設定し直してください。

●ダウンロード辞書のタイトルを編集するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、元のタイトルに戻ります。

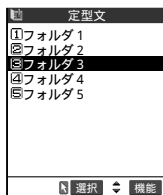
●FOMAカードが取り付けられていなかったり、辞書をダウンロードしたときと別のFOMAカードに差し替えた場合は、辞書を利用できません。

定型文を作成／変更します

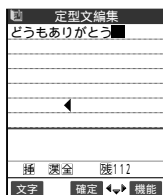
定型文をあらかじめ登録しておくと、文字入力(編集)画面で呼び出して入力できます。
定型文は5つのフォルダに分けて保存されます。フォルダ1～2にはあらかじめ登録されている固定定型文がそれぞれ10件保存されています。固定定型文の内容は変更できます。フォルダ3～5には自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。また、フォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

●定型文は1つのフォルダで10件、合計50件まで登録できます。
●定型文は全角で64文字、半角で128文字まで入力できます。
●固定定型文の内容については、P.345を参照してください。

新しい定型文を作成します

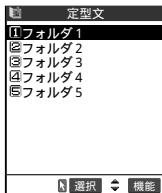
1 Menu ▶ ユーザデータ ▶「定型文」の順に選ぶ

2 フォルダを選ぶ

3 ＜未登録＞を選んで [編集]を押す

4 定型文を入力する

定型文を変更します

1

▶「定型文」の順に選ぶ

2 フォルダを選ぶ

フォルダ名を変更する場合

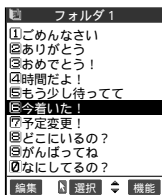
変更したいフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ名編集」を選ぶ

フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

フォルダ名を初期化する場合

初期化したいフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ名初期化」を選ぶ

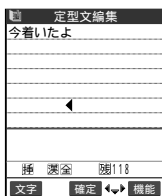
お買い上げのときのフォルダ名に戻ります。

3 変更したい項目を選んで［編集］を押す

定型文を1件削除する場合

削除したい定型文を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

フォルダ内のすべての定型文を削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

4 内容を変更する

おしらせ

- フォルダ名を変更するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、お買い上げのときのフォルダ名になります。
- 固定定型文を削除した場合は、お買い上げのときの内容に戻ります。

入力方式について設定します

文字を入力するときに使う文字入力方式やワード予測機能およびガイダンス表示の設定を変更できます。

文字入力方式を切り替えます

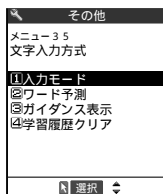
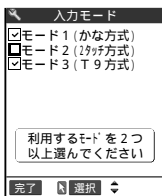
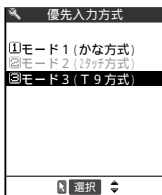
文字を入力するときに使用する文字入力方式を2つ以上選び、その中から文字入力（編集）画面を表示したときに優先的に使用する文字入力方式（優先入力方式）を設定できます。文字入力方式は文字の入力中でも切り替えることができます。
文字入力方式には、次の3つがあります。

文字入力方式	特徴	入力例：おはよう
かな方式 （モード1）	ボタンを何回か押すことによって、そのボタンに割り当てられている文字を入力する方式です。	1 を5回、6 を1回、8 を3回、1 を3回押します。
2タッチ方式 （モード2）	クイックキャスト*へ文字を送信するときのように、ボタンで2桁の番号を入力することによって、その2桁の番号に割り当てられている文字を入力する方式です。	1 5 、6 1 、8 5、1 3 と押します。
T9方式 （モード3）	入力したい文字が割り当てられている行のボタンを1回押すと読み候補が表示され、その中の候補を選んで文字を入力する方式です。続けてボタンを押していくと、その内容に応じて読み候補が変わります。	1、6、8、1 と押して、読み候補の中から「おはよう」を選びます。

文字を入力する前に入力方式を切り替えます

文字入力方式を1つだけ選ぶことはできません。

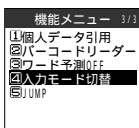
1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「入力モード」を選ぶ

3 使用する文字入力方式を2つ以上選んで◐[完了]を押す

優先的に使用したい文字入力方式を選ぶ

操作3で選ばなかった文字入力方式は選べません。

■文字の入力中に文字入力方式を切り替えます

文字入力（編集）画面が表示されたときは、優先的に使用する文字入力方式が設定されています。文字入力（編集）画面でほかの文字入力方式に切り替えるには2つの方法があります。文字入力方式の切り替えはその文字入力（編集）画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力（編集）画面を表示すると、優先的に使用する文字入力方式に戻ります。

■ 機能メニューから切り替えます

機能メニューから「入力モード切替」を選んで使用したい文字入力方式を選びます。

■ ◐[文字]を1秒以上押します

◐[文字]を1秒以上押すごとに「かな方式（モード1）」－「2タッチ方式（モード2）」－「T9方式（モード3）」の順で文字入力方式が切り替わります。

おしらせ

- 「文字入力方式」の「入力モード」で選択されていない文字入力方式に切り替えることはできません。
- 郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

ワード予測を利用する／しないを設定します

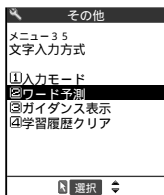
お買い上げ時	ON

過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示するワード予測機能を利用するかしないかを設定できます。ワード予測機能の利用する／利用しないは文字の入力中でも切り替えることができます。

●ワード予測は「かな方式（モード1）」の「漢字ひらがな入力モード」、「2タッチ方式（モード2）」の「全角入力モード」の場合に利用できます。「T9方式（モード3）」では「漢字ひらがな入力モード」のときに「履歴候補」のみ利用できます。

■文字の入力前に入力方式を切り替えます

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「ワード予測」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

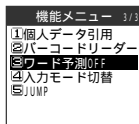
ワード予測機能を利用する場合

「ON」を選ぶ

ワード予測機能を利用しない場合

「OFF」を選ぶ

■文字の入力中にワード予測機能の「ON／OFF」を切り替えます

文字入力(編集)画面が表示されたときは、ワード予測機能は「文字入力方式」の「ワード予測」で設定した状態になります。文字入力(編集)画面でワード予測機能の「ON／OFF」を切り替えるには、機能メニューから「ワード予測ON／OFF」を選びます。ワード予測機能が「ON」の場合は「ワード予測OFF」、「OFF」の場合は「ワード予測ON」が表示されます。
ワード予測機能の切り替えはその文字入力(編集)画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力(編集)画面を表示すると、「ワード予測」で設定した状態に戻ります。

おしらせ

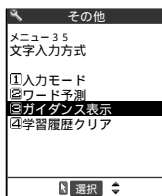
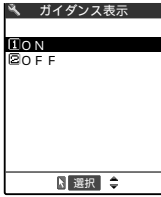
● ワード予測機能の「ON／OFF」を切り替えても、記憶された予測候補と履歴候補は削除されません。

ガイダンスを表示する／しないを設定します

お買い上げ時	ON

文字入力(編集)画面の操作ガイダンスを表示するかしないかを設定できます。表示しないように設定すると操作ガイダンスが表示されなくなるので、文字入力エリアを広く使うことができます。

1

2 **「ガイダンス表示」を選ぶ**

3 設定したい項目を選ぶ

操作ガイダンスを表示する場合
「ON」を選ぶ

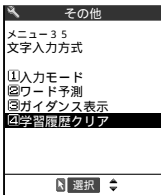
操作ガイダンスを表示しない場合
「OFF」を選ぶ

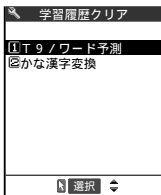
学習履歴をリセットします

FOMA端末に記憶されている次の学習情報をリセットできます。

・かな漢字変換の学習履歴
・「T9方式（モード3）」の学習履歴
・ワード予測機能の予測候補と履歴候補

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「学習履歴クリア」を選んで端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.193

3 削除したい項目を選ぶ

「T9方式（モード3）」および「ワード予測」で蓄積した学習履歴をクリアする場合
「T9／ワード予測」を選ぶ

かな漢字変換で蓄積した学習履歴をクリアする場合
「かな漢字変換」を選ぶ

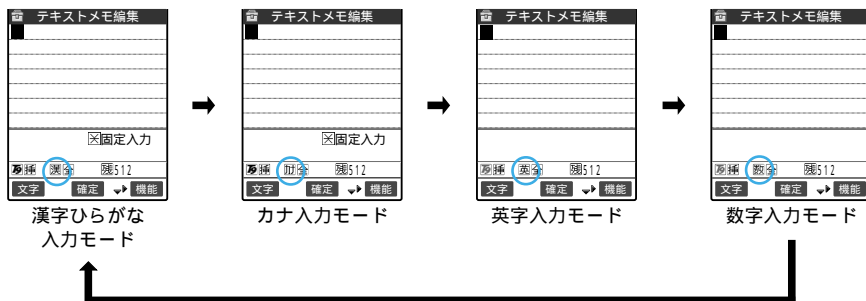
T9方式(モード3)で文字を入力します

「T9方式(モード3)」とは、入力したい文字が割り当てられている行のボタンを1回押すと読みの候補が表示され、その候補を選ぶことによって文字を入力する方式です。わずかなボタン操作で文字を入力できます。
入力モードが「漢字ひらがな入力モード」の場合は、「ワード予測」の「履歴候補」を利用できます。
また、入力したい読み候補が表示されないときのために、入力した読み候補を編集する「読み編集」機能と入力したい読みを直接入力する「固定入力」機能があります。

- 「ワード予測」の「予測候補」は利用できません。
- 「T9方式(モード3)」への切り替えについては、P.324を参照してください。
- 全角／半角モード、大文字／小文字の切り替えや記号、絵文字、定型文などの入力については、「かな入力で文字を入力します」(P.301)を参照してください。

入力モードを切り替えます

「T9方式(モード3)」は入力モードが「漢字ひらがな入力モード」と「カナ入力モード」の場合に利用できます。「英字入力モード」または「数字入力モード」の場合は、「かな方式(モード1)」(P.301)の入力方法になります。[文字]を押すたびに入力モードが順番に切り替わります。

漢字ひらがな入力モード → カナ入力モード → 英字入力モード → 数字入力モード

■ **漢字ひらがな入力モード**

「T9方式(モード3)」で漢字、ひらがな、カタカナ、記号、数字を入力します。文字はすべて全角になります。情報表示エリアには「漢」が表示されます。

■ **カナ入力モード**

「T9方式(モード3)」で半角または全角のカタカナ、記号を入力します。情報表示エリアには「カナ」が表示されます。

■ **英字入力モード**

「かな方式(モード1)」で半角または全角の英字、記号を入力します。情報表示エリアには「英」が表示されます。

■ **数字入力モード**

「かな方式(モード1)」で半角または全角の数字、記号を入力します。情報表示エリアには「数」が表示されます。

文字を入力します

「T9方式(モード3)」で文字を入力する方法について説明します。

●T9方式(モード3)の文字割り当て一覧表→P.340

<例:「戸田」と入力する場合>

1 [文字]を押して「漢字ひらがな入力モード」にする

2 読み候補を入力する

4(た行)、4(た行)、#(濁点)

「ただ」から予測できる読み候補が表示されます。

ボタンを押し間違えた場合

CLRを押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

入力した読み候補が候補として認識できない場合

認識できない文字がグレーで表示されるので、を押して読み候補の範囲を変更する

3 をスライドするかを1秒以上押して読み候補を選ぶ

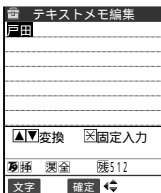
文字入力エリアに選んだ読み候補が表示されます。

「ニューロポインター設定」で「ポインター表示」を「OFF」に設定している場合

で読み候補にカーソルを表示させ、で読み候補を選ぶ

読み候補の入力に戻る場合

CLRを押す

4 漢字に変換する

文字を確定すると履歴候補が表示されます。履歴候補を選んで続きの文字を入力できます。

文字入力のしかた→P.303

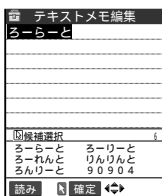
おしらせ

- 読み候補の範囲を変更して複数の文節に分けた場合、それらの文節が1つの単語として蓄積されます。
- FOMAカードの電話帳登録でフリガナを入力する場合、および「ユーザ辞書」の読みを入力する場合は、読み候補に数字は表示されません。

読み候補を編集します

表示された読み候補に入力したい読み候補がない場合は、入力したい読み候補に修正できます。濁点、半濁点を含まない場合、修正された読み候補は次回入力時に読み候補の先頭に表示されます。

<例：「ろーらーと」という読み候補を「らんらんと」に修正する場合>

1 読み候補を入力する

9(ら行)、0(わ行)、9(ら行)、0(わ行)、4(た行)

「らわらわた」から予測できる読み候補が表示されます。この場合「ろーらーと」という読み候補が先頭に表示され、「らんらんと」という読み候補は表示されません。

2 [読み]を押す

読み編集モードになり、カーソルが読みの先頭に移動します。読み候補の表示エリアには、「ら行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

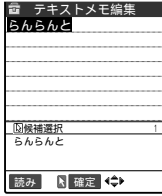
この場合1(ら)を押します。
文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して読みを修正します。

読みを修正しない場合

を押して次に修正する文字にカーソルを移動させる

途中で読み編集を終了する場合

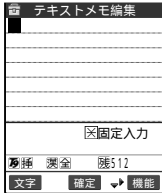
[戻る]を押す
終了するまでに修正した文字が読み候補として表示されます。

4

読み候補が確定されます。◯を押して漢字、カタカナなどに変換できます。
文字入力のしかた→P.303

固定入力で読みを入力します

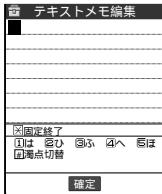
あらかじめ入力したい文字が読み候補に表示されないと予想される場合は、固定入力モードでその読みを直接入力します。固定入力モードで読みを入力する場合、読み候補は表示されません。

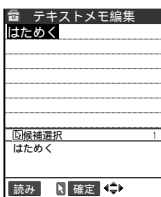
＜例：「はためく」という読みを入力する場合＞

1 ✱(固定入力)を押す

固定入力モードになり、情報表示エリアの「T9」が「古」に変わります。

2 入力したい文字が割り当てられている行のボタンを押す

この場合6を押します。読み候補の表示エリアには、「は行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合1(は)を押します。
同じように操作して読みを入力します。

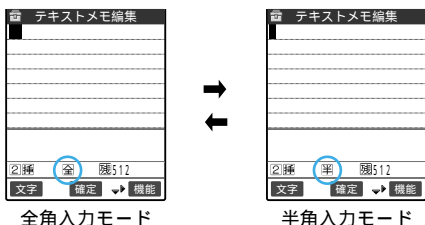
4 (固定終了)を押して● [確定]を押す

読み候補が確定されます。Ⓠを押して漢字、カタカナなどに変換できます。
文字入力のしかた→P.303

2タッチ方式(モード2)で文字を入力します

「2タッチ方式(モード2)」とは、ボタンで2桁の番号を入力することによって、その2桁の番号に割り当てられている文字を入力する方式です。クイックキャスト*へ文字を送信するときと同じ操作になります。

- ●「2タッチ方式(モード2)」への切り替えについては、P.324を参照してください。
- ●全角/半角モード、大文字/小文字の切り替えや記号、絵文字、定型文などの入力については、「かな入力で文字を入力します」(P.301)を参照してください。

入力モードを切り替えます

「2タッチ方式(モード2)」の入力モードには「全角入力モード」と「半角入力モード」があります。◐ [文字]を押すたびに入力モードが交互に切り替わります。

全角入力モード

半角入力モード

■ 全角入力モード

全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力します。情報表示エリアには「全」が表示されます。

■ 半角入力モード

半角のカタカナ、英字、数字、記号を入力します。情報表示エリアには「半」が表示されます。

おしらせ

- ● FOMAカードの電話帳登録でフリガナを入力するとき、「全角入力モード」ではカタカナのみの入力となります。

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

文字を入力します

「2タッチ方式(モード2)」で文字を入力する方法について説明します。

●「2タッチ方式(モード2)」の文字割り当て一覧表→P.341

<例:「はる」と入力する場合>

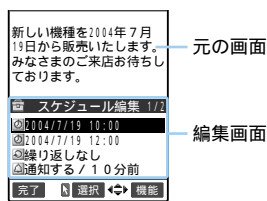
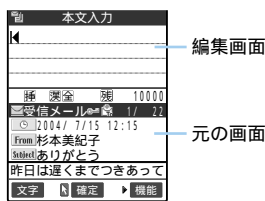
1 [文字]を押して「全角入力モード」にする

2 文字を入力する

おしらせ

- 「2タッチ方式(モード2)」の場合、[8][0]を押すたびに「小文字入力モード」と「大文字入力モード」を切り替えることができます。
- 一部の機能では、2タッチ方式(モード2)で文字を入力できない場合があります。その場合は、「かな方式(モード1)」で文字を入力してください。

操作する画面を切り替えます

受信メールからの参照返信および受信メール、iモード画面からスケジュール参照登録を実行したときは、元の画面に編集画面が重ねて表示されるので、元の画面の内容を確認しながら編集できます。受信メールからの参照返信またはスケジュールの登録が終了すると、元の画面に戻ります。

iモード画面からの
スケジュール参照登録

受信メールからの
参照返信

●元の画面を操作しているときは編集画面で文字を入力できません。
●参照返信については、『アプリケーション編』のP.184をご覧ください。
●受信メールを参照しながらスケジュールを登録するには、受信メール(『アプリケーション編』のP.181)の詳細画面で機能メニューから「スケジュール参照登録」を選びます。
●スケジュールについては、P.216を参照してください。

操作する画面の切り替えかた

編集画面が重ねて表示されているときは、操作する画面を切り替えることができます。操作する画面を切り替えるには、次の3つの方法があります。

■ [ボタン]を1秒以上押します

[ボタン]を1秒以上押すたびに、操作する画面が切り替わります。

■ ポインターで操作する画面を選びます

ニューロポインターボタンをスライドしてポインターを表示させ、操作する画面を選びます。

■ 機能メニューを選びます

機能メニューから「ウィンドウ切替」を選ぶと、操作する画面が切り替わります。

おしらせ

● 操作する画面を切り替えても、入力した文字やカーソル位置は切り替える前の状態のまま保持されます。
● 読みの入力中は操作する画面を切り替えることはできません。
● 編集画面の表示中に受信メール、iモード画面の操作に切り替えた場合、操作できるのは画面のスクロールのみとなります。

●付録

用語一覧

本書で使用しております用語についてはこちらをご覧ください。

- **DTMF信号**
  Dual Tone Multi Frequency信号の略です。プッシュ式の電話機などで、ボタンを押すたびに発信される音のことです。プッシュ信号、プッシュ音、トーン信号と呼ばれることもあります。
  相手の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- **PIM**
  「電話帳」、「スケジュール」、「テキストメモ」、「電話番号表示」、「ブックマーク」、「メール」などの個人情報管理プログラム（Personal Information Manager）のことです。
- **PIN1コード、PIN2コード**
  PIN1コードおよびPIN2コードは、FOMAカードを不正に使用されないための4～8桁の番号（コード）です。
  PIN1コードは、FOMA端末の電源を入れたときに、使用者を確認するための暗証番号です。
  PIN2コードは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。本端末では、ユーザ証明書操作時にFirstPassセンターに接続するときや、FirstPass対応サイトに接続するとき（『アプリケーション編』のP.48）に入力します。
- **PINロック解除コード**
  PIN1コードおよびPIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。
- **バイト**
  データ量を表すときの単位です。半角1文字分が1バイト、全角1文字分が2バイトとしてカウントされます。FOMA端末では、文字入力画面で入力できる残文字数をバイト数で表示します。バイトの単位には「K」（キロ）や「M」（メガ）なども使用され、1,024バイト＝1Kバイト、1,024Kバイト＝1Mバイトとなります。

文字割当て一覧表（かな方式）

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	?!ー/￥&＊()#゛゜♥☎※1	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0 わを んー	わをんーゎ	ワヲンーヮ※2	――――	0
＊ http://	――――※3	――――	.ne.jp .co.jp .ac.jp ※4 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp	＊ .ne.jp .co.jp .ac.jp ※4 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp
# ゛゜@/ マナー	゛゜、。・！？※5	゛゜、。・！？※5	.@/!?(),-_:‾※6&\	#.@/!?(),-_:‾※6&\

※1：SMS本文入力時のみ有効です。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「♥」「☎」は入力できます。「♥」「☎」は常に全角文字として表示されます。
※2：「ワ」の小文字は全角入力でのみ入力できます。
※3：「漢字ひらがな入力モード」で＊を押すと「区点入力モード」（P.314）に切り替わります。
※4：全角に切り替えた場合は表示されません（数字入力モードの「＊」は除く）。
※5：「漢字ひらがな入力モード」と全角の「カナ入力モード」の場合は、その前の文字に「゛」「゜」をつけることができるときだけ「゛」「゜」が表示されます。ユーザ辞書の読み入力（P.319）とFOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力（P.111）のときは「、」「。」「・」「！」「？」は入力できません。
※6：「全角入力モード」のときは「￣」となります。
（網かけ）：小文字は次の2つの方法で入力できます。
- 大文字で入力した後に☎を押して小文字に変換する。
- 機能メニューで「小文字切替」を行った後に入力する。

文字割当て一覧表(T9方式)

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード
1	あ行、1	ア行、1
2	か行、2	カ行、2
3	さ行、3	サ行、3
4	た行、4	タ行、4
5	な行、5	ナ行、5
6	は行、6	ハ行、6
7	ま行、7	マ行、7
8	や行、8	ヤ行、8
9	ら行、9	ラ行、9
0	わ を ん ゎ ー、0	ワ ヲ ン ヮ※3 ー、0
#	※1、※2	※1、※2

・「英字入力モード」、「数字入力モード」の文字割当ては「かな方式(モード1)」の文字割当てを参照してください。→P.339
・FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力、「ユーザ辞書」の読み入力時には、数字候補は表示されません。
※1:読み入力中は、「゛」「゜」(濁点、半濁点)がついた変換候補の切り替えを行います。
※2:読みおよび文字の確定後は、かな方式(モード1)と同じように「゛」「゜」「、」「。」「・」「!」「?」が表示されます。ただし、「゛」「゜」(濁点、半濁点)は、その前の文字につけることができるときだけ表示されます。
※3:「ワ」の小文字は全角入力のみ入力できます。

文字割当て一覧表（2タッチ方式）

■ 全角入力モード

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	？	！	—	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&		※2 ☎	
8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	#		※2 ♥	※1
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ ゎ	を	ん	゛※3 、	゜※3 。	6	7	8	9	0

■ 半角入力モード

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	\	&		※2 ☎	
8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#		※2 ♥	※1
9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ -	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 @docomo.ne.jp	5
0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	ﾞ ,	ﾟ .	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

・FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力モードでもカタカナ入力になります。

※1：8 0を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。また、大文字を入力した後に☎を押して小文字に切り替えることもできます。
※2：「テキストメモ」（P.234）や「定型文」（P.322）の登録など、「絵文字入力」（P.309）ができるときだけ使えます。また、常に全角文字として入力されます。SMS本文入力時は、「絵文字入力」はできません。「☎」「♥」は入力できます。
※3：「全角入力モード」の場合は、「゛」「゜」をつけることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。そのほかの文字に「゛」「゜」を入力するとスペースが入力されます。
（網掛け）：スペースが入力されます。

付録

記号／特殊文字一覧表

記号／特殊文字一覧表

■ 全角記号

、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´

｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々

〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ∥ ｜ … ‥

‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝

〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ －

± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂

♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆

＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■

△ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈

∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒ ⇔

∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≪ ≫ √

∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ † ‡

¶ ◯ ゎ ゐ ゑ ヮ ヰ ヱ ヴ ヵ ヶ Α

Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν

Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α

β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν

ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω А

Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л

М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч

Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г

д е ё ж з и й к л м н о

п р с т у ф х ц ч ш щ ъ

ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├

┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗ ┣ ┳

┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸

╂

■ 特殊記号

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ

Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧

㌃ ㌶ ㍑ ㍗ ㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝

㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 № ㏍ ℡ ㊤

㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ≡

∫ ∮ ∑ √ ⊥ ∠ ∟ ⊿ ∵ ∩ ∪

■ 半角記号

! " # $ % & ' ( ) * + ,

- . / : ; < = > ? @ [¥

] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､

･ ｰ ﾞ ﾟ

おしらせ

● 「特殊記号」は、iモードメール以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示できないことがあります。

■ 変換記号

「記号」と入力して変換すると記号の候補が表示され、そこから記号を入力することができます。また、次のような記号名をひらがなで入力して記号に変換することもできます。

記号名（入力文字）	記号
あっと、あっとまーく	＠
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」『』 【】‘ ’“ ”() 〈〉 [] {} ｢｣
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	△▲▽▼

記号名（入力文字）	記号
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
たす	＋
どう	ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 々
ぱーせんと	％
ひく	－
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

絵文字／顔文字一覧表

■ 絵文字1

■ 絵文字2

おしらせ

●「絵文字2」は、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、正しく表示されません。

■ 顔文字

「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると顔文字の候補が表示され、そこから顔文字を入力することができます。また、次のような意味をひらがなで入力して顔文字に変換することもできます。

<table>
<tr><th>意味（入力文字）</th><th>顔文字</th></tr>
<tr><td>ありがと
ありがとぅ</td><td>m(__)m</td></tr>
<tr><td>ばんざい</td><td>＼(^O^)／</td></tr>
<tr><td>わーい</td><td>(^O^)</td></tr>
<tr><td>おーい</td><td>(^O^)／</td></tr>
<tr><td>ぶい</td><td>(^^)v</td></tr>
<tr><td>ぎゃはは</td><td>(^Q^)/^</td></tr>
<tr><td>あは</td><td>(o^o^o)</td></tr>
<tr><td>にこ</td><td>(^-^)</td></tr>
<tr><td>にこ</td><td>(*^_^*)</td></tr>
<tr><td>ちゅ</td><td>(^3^)/</td></tr>
<tr><td>ちゅ</td><td>(^ε^)-☆Chu!!</td></tr>
<tr><td>わくわく</td><td>o(^-^)o</td></tr>
<tr><td>ういんく</td><td>(^_-)</td></tr>
<tr><td>さよなら</td><td>(^_^)/~</td></tr>
<tr><td>がんば</td><td>p(^^)q</td></tr>
<tr><td>ね</td><td>(^.^)b</td></tr>
<tr><td>ぽりぽり</td><td>(^^ゞ</td></tr>
<tr><td>ひやあせ</td><td>(^o^;</td></tr>
<tr><td>あせあせ</td><td>(;^_^A</td></tr>
<tr><td>びくっ</td><td>(*_*)</td></tr>
<tr><td>どき</td><td>(◎-◎;)</td></tr>
<tr><td>え</td><td>(@_@;)</td></tr>
<tr><td>めがてん</td><td>(・・;)</td></tr>
<tr><td>はてな</td><td>(・・?)</td></tr>
<tr><td>きらーん</td><td>(☆。☆)</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>意味（入力文字）</th><th>顔文字</th></tr>
<tr><td>しくしく</td><td>(T_T)</td></tr>
<tr><td>さよなら</td><td>(T_T)/~</td></tr>
<tr><td>いたた</td><td>(>_<)</td></tr>
<tr><td>えーん</td><td>(;_;)</td></tr>
<tr><td>なぜ</td><td>(?_?)</td></tr>
<tr><td>がーん</td><td>(￣□￣;)!!</td></tr>
<tr><td>えへん</td><td>(￣^￣)</td></tr>
<tr><td>む</td><td>(－_－メ)</td></tr>
<tr><td>いかり</td><td>(｀´)</td></tr>
<tr><td>むか</td><td>(;-_-+</td></tr>
<tr><td>こそこそ</td><td>(・_・|</td></tr>
<tr><td>じーっ</td><td>(-_-)</td></tr>
<tr><td>きこえない</td><td>|(-_-)|</td></tr>
<tr><td>こまったもんだ</td><td>(￣～￣)ξ</td></tr>
<tr><td>ぶたー</td><td>)^o^(</td></tr>
<tr><td>こあら</td><td>(－Q－)</td></tr>
<tr><td>いっぷく</td><td>(^!^)y~</td></tr>
<tr><td>いっぷく</td><td>(^.^)y-~~~</td></tr>
<tr><td>ほし</td><td>☆彡</td></tr>
<tr><td>ねてる</td><td>(-_-)zz</td></tr>
<tr><td>ねむい</td><td>＼(~o~)／</td></tr>
<tr><td>めも</td><td>φ(..)</td></tr>
<tr><td>うん</td><td>(°_°)(。_。)</td></tr>
<tr><td>かんぱい</td><td>(^^)／▽☆▽＼(^^)</td></tr>
<tr><td>ども</td><td>＼(^_^)(^_^)／</td></tr>
</table>

定型文一覧表

■ フォルダ1（固定定型文）

No	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
2	ありがとう	ｱﾘｶﾞﾄｳ
3	おめでとう！	ｵﾒﾃﾞﾄｳ!
4	時間だよ！	ｼﾞｶﾝﾀﾞﾖ!
5	もう少し待ってて	ﾓｳｽｺｼﾏｯﾃﾃ
6	今着いた！	ｲﾏﾂｲﾀ!
7	予定変更！	ﾖﾃｲﾍﾝｺｳ!
8	どこにいるの？	ﾄﾞｺﾆｲﾙﾉ?
9	がんばってね	ｶﾞﾝﾊﾞｯﾃﾈ
0	なにしてるの？	ﾅﾆｼﾃﾙﾉ?

■ フォルダ2（固定定型文）

No	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
2	いつも大変お世話になります	ｲﾂﾓﾀｲﾍﾝｵｾﾜﾆﾅﾘﾏｽ
3	お疲れさまです	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
4	至急確認ください	ｼｷｭｳｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
5	いかがでしょうか？	ｲｶｶﾞﾃﾞｼｮｳｶ?
6	電話ください	ﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ
7	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
8	留守電にメッセージを入れてください	ﾙｽﾃﾞﾝﾆﾒｯｾｰｼﾞｦｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
9	ｉモードで連絡ください	iﾓｰﾄﾞﾃﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ
0	よろしくお願い致します	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｲﾀｼﾏｽ

区点コード一覧表

各段の左側の3桁の数字は区点コードの1〜3桁を示しています。各段の一番上の数字は区点コードの4桁目を示しています。
<例：「仝」を入力する場合>
区点1〜3桁目の「012」を入力してから、区点4桁目の「4」を入力します。

●画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡		≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138		≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

区点 1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点 1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点 1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ〜の									
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る〜れ									
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで処理できる主な組み合わせパターンは次のとおりです。

現在の通信状態＼新たに発生した通信	音声電話をかける／受ける	テレビ電話をかける／受ける	iモードを利用	iアプリを利用	iモードメールの送受信	パケット通信	64Kデータ通信	SMS送受信
音声通話中	×※1	×	○	×	○	○	×※5	○
テレビ電話中	×	×	×	×	×※4	×	×	△※2
iモード中	○	△※3	－	－	○	×	×	○
パケット通信中	○	×	×	△※7	×	－	×	○
64Kデータ通信中	×※6	×	×	×	×	×	－	○

○：起動できます。
×：起動できません。
△：条件により起動できます。
－：機能的に実現しない組み合わせです。

※1：「キャッチホン」などのネットワークサービスをご契約されていれば、組み合わせによっては処理できます。
※2：SMSの送信はできません。
※3：テレビ電話を受けることはできません。
※4：テレビ電話中は、iモードメールやメッセージリクエスト／フリーは受信されず、いったんiモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されたiモードメールやメッセージリクエスト／フリーは、テレビ電話終了後、「iモード問い合わせ」(『アプリケーション編』のP.104、P.180)を行うと受信できます。
※5：音声電話を終了してかかってきた64Kデータ通信を受けることはできます。
※6：64Kデータ通信を終了してかかってきた音声電話を受けることはできます。
※7：通信が必要なiアプリは起動できません。

マルチタスクの組み合わせについて

マルチタスクで同時に利用できる主な機能の組み合わせパターンは次のとおりです。

利用する機能／現在の状態	メール	iモードメニュー	iアプリ	各種設定	マルチメディア	アクセサリ	サービス	電話帳	ユーザデータ	オリジナルメニュー
メールグループ起動中	○※1	○	○	○※2	○	○※4	○	○※9	○	○
iモードグループ起動中	○	×	×	○※2	○	○※4	○	○※9	○	○
設定グループ起動中	○	○	○	×	○	○※4	×	○※9	○	○
ツールグループ起動中	○	○	○	○※2	×	×	○	×	×	○
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×※5	×	×	×	×
音声通話中	○	○	×	×※3	×	×※6	○※8	○※9	○※10	○
iモード通信中	○	△	△	○※2	○	○※4	○	○※9	○	○
パソコンをつないでパケット通信中	○	○	○	○※2	○	○※4	○	○※9	○	○
64Kデータ通信中	○	○	×	×※3	×	×※7	○※8	○※9	○※10	○

○：起動できます。
×：起動できません。
△：同時には起動できません。
※1　：「iモードメール作成」および「SMS作成」を同時に利用することはできません。
※2　：機能によって利用できません。
※3　：「時計設定」、「ボタン確認音」、「ポーズダイヤル」のみ利用できます。
※4　：「おしゃべり機能」、「赤外線通信」、「FOMAカード操作」、「SD-PIM」は利用できません。
※5　：「通話中音声メモ」のみ利用できます（▼［メモ／確認］を1秒以上押す）。
※6　：「カメラ」、「スケジュール」、「ToDo」、「テキストメモ」、「電卓」、「通話中音声メモ」、「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」のみ利用できます。ただし、「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」は文字認識データ一覧およびその詳細までは表示できますが、新規に文字を読み取ることはできません。また、「カメラ」のうち使用できるのは「フォトモード」と「連写モード」のみとなります。
※7　：「カメラ」、「スケジュール」、「ToDo」、「テキストメモ」、「電卓」、「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」のみ利用できます。ただし「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」は文字情報の一覧およびその詳細までは表示できますが、新規に文字を読み取ることはできません。また、「カメラ」のうち使用できるのは「フォトモード」と「連写モード」のみとなります。
※8　：「留守番電話」の再生はできません。また、特番（P.293）に対しての「留守番電話」および「追加サービス」の設定もできません。
※9　：「電話帳指定設定」は利用できません。
※10：「定型文」、「ユーザ辞書」、「ダウンロード辞書」は利用できません。

●次の機能を使用している場合は、ほかの機能を利用できません。
- テレビ電話
- iアプリのソフトのダウンロード
- 赤外線通信
- miniSDメモリーカードとのデータエクスポート／インポート
- FOMAカード操作
- カメラ（メガピクセルフォト、長時間ムービー）
- 動画／iモーションの編集
- データの送受信（OBEX）機能
- ソフトウェア更新

●機能によってはほかの機能が起動しているときに操作できないものがあります。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス		電話番号
コレクトコール(料金着信払通話)		(局番なし)106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料) (電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません)		(局番なし)104
電報の発信(有料)	午前8時〜午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)		(局番なし)117
天気予報(有料)		知りたい地域の市外局番+177
新幹線への通話(有料)		(局番なし)107
警察への緊急通報		(局番なし)110
消防・救急への緊急通報		(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		(局番なし)118

おしらせ

- コレクトコール(106)をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込94.5円)がかかります。(2004年4月現在)
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください。(2004年4月現在)
- 新幹線への通話(107)をご利用の際には、通話料に加えて呼出料100円(税込105円)がかかります。また、一部の新幹線へは呼び出しができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2004年4月現在)
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認等の電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように立ち止まって通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送でんわ」、「ボイスワープ」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、設定によっては携帯電話などが通話中、サービスエリア外、および電源を切っているときでも、発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください(一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます)。

オプション／関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまなオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、当社営業窓口などへお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

■外出時にお使いいただくもの

- キャリングケース N05
- スイッチ付イヤホンマイク P001／P002※
- ステレオイヤホンセット P001※
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02

※：FOMA N900iと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。

■車内でお使いいただくもの

- DCアダプタ N03
- 車内ホルダ N04

■充電時にお使いいただくもの

- ACアダプタ N03
- 卓上ホルダ N04

■予備としてお使いいただくもの

- 電池パック N06
- リアカバー N01

■パソコンと接続してお使いいただくもの

- データ通信アダプタ N01

メニュー機能一覧表

- ☆のついている機能はほかの機能が起動中は利用できません。
- ▽のついている機能は通話中のみ表示されます。
- 長押しは、画面の表示が変わるまで長押しの左のボタンを押し続けるという意味を表します。

大項目	中項目	小項目	メニュー番号(ボタン操作)	概要	参照ページ
メール			―	メールメニューを表示します。	アプリケーション編のP.134
iモード			―	iモードメニューを表示します。	アプリケーション編のP.24
iアプリ			―	iアプリメニューを表示します。	アプリケーション編のP.65
各種設定	着信	着信音量	Menu 5 0	着信音の音量を調節します。	P.79
		着信音選択	Menu 1 3	着信音を選びます。	P.163
		バイブレータ	Menu 5 4	バイブレータ(振動)のパターンを設定します。バイブレータを「OFF」に設定することもできます。	P.167
		着信イルミネーション	Menu 8 9	着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定します。	P.185
		マナーモード選択	Menu 2 0	マナーモード設定中の機能を「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」から選ぶことができます。	P.136
		電話帳画像着信設定	―	着信時の電話帳画像表示について「ON／OFF」を設定します。	P.181
		着信アンサー設定	Menu 5 8	着信中のボタンの機能を「エニーキーアンサー」、「クイックサイレント」、「OFF」から選びます。	P.159
		クローズ動作設定	Menu 1 8	通話中にFOMA端末を折り畳んだ時の動作を設定します。	P.160
		☆メール／メッセージ鳴動	Menu 6 8	メール、メッセージを受信したときの着信音の「ON／OFF」と着信音が鳴る時間を設定します。	アプリケーション編のP.233
		呼出時間表示設定	Menu 9 0	着信時に呼出動作をするまでの時間を設定します。	P.140
		確認機能設定	Menu 6 5	FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信や新着メールの確認方法を「電子音」、「ボイス」、「OFF」から選びます。	P.77
	通話	ノイズキャンセラ	Menu 7 6	周囲の騒音を抑えて、送受話音を明瞭にする機能の「ON／OFF」を設定します。	P.156
		通話品質アラーム	Menu 7 5	電波の状態が悪く、途中で通話が切れてしまう恐れのあるときにアラーム音を鳴らしてお知らせするかどうかを設定します。	P.158
		再接続機能	Menu 7 7	電波の状態が悪く途中で通話が途切れたとき、再接続した場合の音を設定します。	P.157

大項目	中項目	小項目	メニュー番号(ボタン操作)	概要	参照ページ
各種設定	通話	通話中イルミネーション	―	通話中の着信ランプの点滅色を設定します。	P.186
		保留音選択	―	応答保留中に流れるガイダンスを選びます。	P.158
	TV電話	画像品質設定	―	テレビ電話の画質を設定します。	P.97
		発信時自画像送信設定	―	テレビ電話をかけるときカメラ映像を送信するか代替画像を送信するかを設定します。	P.98
		画像選択	―	テレビ電話中に相手に送信する画像を設定します。	P.98
		音声自動再発信設定	―	テレビ電話がつながらなかった場合に音声電話で再発信するかどうかを設定をします。	P.95
		遠隔監視設定	―	遠隔監視の設定をします。	P.102
		通話中画像表示設定	―	テレビ電話中に親画面に表示される映像や、映像のサイズを設定します。	P.100
	ディスプレイ	画面表示設定	Menu 5 6	待受画面やウェイクアップ画面など、FOMA端末のディスプレイに表示する画像を設定します。	P.177
		照明設定	Menu 7 0	ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウ、ダイヤルボタンのバックライトの点灯のしかたを設定します。点灯しないように設定することもできます。	P.183
		☆配色パターン	Menu 8 6	文字や背景など、ディスプレイの配色を選びます。	P.182
		☆イルミネーション・ウィンドウ	Menu 9 3	イルミネーション・ウィンドウの表示のしかたを設定します。	P.187
		☆フォント設定	Menu 6 6	ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウに表示する文字のフォントを切り替えます。	P.190
		デスクトップ	Menu 6 3	デスクトップ(待受画面)に貼り付けたアイコンのタイトルを変更したり、アイコンを削除したりします。	P.170
		☆Language	Menu 1 5	ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウの表示を日本語または英語に切り替えます。	P.191
		☆オリジナルメニュー登録	Menu 5 2	よく使う機能をオリジナルメニューに登録します。	P.242
		メニュー画面設定	Menu 5 7	メニュー大項目アイコンの説明ガイダンスやメニュー小項目の表示のしかたを設定します。	P.241
		☆ピクチャ表示設定	―	イメージビューアの一覧画面をタイトル名で表示するか画像で表示するかを設定します。	P.181
		オート表示	Menu 4 7	FOMA端末を開くだけで、指定した電話番号を表示できるように設定します。	P.125
		表示アイコン説明	Menu 3 6	画面上部に表示されるアイコンの説明を表示します。	P.39

付録

メニュー機能一覧表

大項目	中項目	小項目	メニュー番号(ボタン操作)	概要	参照ページ
各種設定	時間	通話時間	Menu 6 1	直前の通話時間や積算の通話時間を確認します。	P.161
		積算リセット	Menu 6 0	積算通話時間をリセットします。	P.162
		通話中時間表示	Menu 4 8	通話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。	P.161
	時計	時計設定	Menu 3 1	日付・時刻を設定(変更)します。	P.65
		時計表示設定	Menu 3 9	時計の表示方法、表示サイズを設定します。	P.192
		アラーム通知設定	−	「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知を「操作優先」/「通知優先」から選びます。	P.209
	ロック/セキュリティ	☆オールロック	−	電源の入/切以外の操作をできないように設定します。	P.200
		☆PIMロック	−	電話帳やスケジュール、メールなどの操作をできないように設定します。	P.204
		☆セルフモード	−	電話やメールなどの通信ができないように設定します。	P.207
		☆ダイヤル発信制限	−	ダイヤルボタンでの発信やメールの送信ができないように設定します。	P.205
		☆登録外着信拒否	−	電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定します。	P.144
		非通知着信設定	Menu 1 0	発信者番号非通知理由によって着信を拒否するかどうかを設定します。	P.145
		端末暗証番号変更	Menu 2 9	端末暗証番号を変更します。	P.194
		PIN設定	−	PIN1コードの入力設定と、PIN1コード/PIN2コードを変更します。	P.195
		☆シークレットモード	Menu 4 0	シークレットデータの呼び出し・登録・修正・削除ができます。	P.201
		☆シークレット専用モード	Menu 4 1	シークレットデータのみの呼び出し・登録・修正・削除ができます。	P.201
	アプリケーション通信設定	☆接続待ち時間設定	−	サイトなどの接続待ち時間を設定します。	アプリケーション編のP.126
		☆iモード問い合わせ設定	−	iモード問い合わせの際、問い合わせ種類を「メール」、「メッセージリクエスト」、「メッセージフリー」から選びます。	アプリケーション編のP.127
		☆接続先選択	Menu 8 1	iモード以外のサービスを受けるときの接続先を設定します。	アプリケーション編のP.128
		☆SMS center設定	−	SMSセンターのアドレスおよび「Type of Number」を設定します。	アプリケーション編のP.234
		☆証明書	−	証明書の参照と、証明書の「有効/無効」を設定します。	アプリケーション編のP.129

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	概要	参照ページ
各種設定	アプリケーション通信設定	☆証明書センター接続設定	―	センターの証明書操作（発行申請、ダウンロード、失効）について設定します。	アプリケーション編のP.131
	iアプリ設定	☆ソフト情報表示設定	―	ソフトをダウンロードする前にソフト情報を表示するかどうかを設定します。	アプリケーション編のP.70
		☆α照明設定	―	バックライトをソフトで制御するかどうかを設定します。	アプリケーション編のP.84
		☆αバイブレータ	―	バイブレータをソフトで制御するかどうかを設定します。	アプリケーション編のP.84
		☆αイルミネーション・ウィンドウ	―	イルミネーション・ウィンドウをソフトで制御するかどうかを設定します。	アプリケーション編のP.84
		☆待受画面終了	―	iアプリ待受画面を終了します。	アプリケーション編のP.87
	外部オプション	イヤホン切替	Menu 5 1	着信音の鳴る位置を「イヤホン＋スピーカ」か「イヤホン」から選びます。	P.259
		オート着信	Menu 9 4	スイッチ付イヤホンマイク（別売品）などを接続しているときに、かかってきた電話に自動的に出るかどうかを設定します。	P.260
	その他	ボタン確認音	Menu 3 0	ボタンを押したときに確認音を鳴らすかどうかを設定します。	P.168
		充電確認音	―	充電を開始／ 終了したときに確認音を鳴らすかどうかを設定します。	P.169
		☆SRS_WOW設定	―	iモーションの再生音に設定されている音響効果を有効にするかどうかを設定します。	アプリケーション編のP.310
		電池残量	Menu 7 1	電池パックの残量の目安を表示します。	P.63
		サイドボタン操作	Menu * 長押	FOMA端末を折り畳んだときのサイドボタン操作の「有効／無効」を設定します。	P.208
		☆文字入力方式	Menu 3 5	文字入力モードの選択やワード予測の利用、ガイダンスの表示について設定します。	P.324
		☆履歴表示設定	―	着信履歴およびリダイヤル／発信履歴を表示するかどうかを設定します。	P.206
		ポーズダイヤル	Menu 8 4	FOMA端末からプッシュ信号を送ります。	P.146
		☆サブアドレス設定	―	電話番号に含まれる「¥」を、サブアドレスとして認識するように設定します。	P.150
		☆プレフィックス設定	―	機能メニューよりダイヤルの先頭に付加するプレフィックスを設定します。	P.149
		☆PLMN設定	―	PLMN(通信事業者名)を設定します。	P.257
		ニューロポインター設定	―	ニューロポインターの設定をします。	P.249

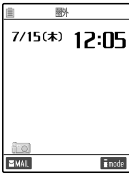
大項目	中項目	小項目	メニュー番号(ボタン操作)	概要	参照ページ
各種設定	その他	USBモード設定	—	miniSDメモリーカードをパソコンのストレージメモリとして利用するように設定します。	アプリケーション編のP.467
		☆設定リセット	Menu 2 3	各種設定をリセットします。	P.252
		☆ソフトウェア更新	—	FOMA端末のソフトウェア更新が必要かどうかチェックし、必要な場合はパケット通信を使って更新します。	P.375
マルチメディア	メロディプレーヤー		Menu 1 6	メロディの再生などを行います。	アプリケーション編のP.333
	イメージビューア		Menu 4 6	ダウンロードした画像やアニメーションの表示や設定を行います。	アプリケーション編のP.294
	ムービープレーヤー		—	サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションやカメラで撮影した動画の再生や設定を行います。	アプリケーション編のP.308
	キャラ電プレーヤー		—	キャラ電の表示や操作、撮影などを行います。	アプリケーション編のP.324
アクセサリ	カメラ		—	カメラの機能を利用します。	アプリケーション編のP.246
	スケジュール		Menu 4 5	スケジュール、休日、記念日を登録します。スケジュールを登録すると、設定した日付・時刻にアラーム音を鳴らせて、用件をお知らせします。	P.216
	めざまし時計		Menu 4 4	FOMA端末をめざまし時計として利用します。	P.213
	ToDo		Menu 9 5	予定の進行を管理します。	P.228
	テキストメモ		Menu 4 2	文字メッセージを登録します。	P.234
	電卓		Menu 8 5	FOMA端末を電卓として利用します。	P.234
	メモの再生／消去		▼	伝言メモ、音声メモを再生、消去します。	P.245
	伝言メモ		Menu 5 5	伝言メモを設定します。	P.84
	待受中音声メモ		Menu 4 3	待受画面表示中に自分の声を録音します。	P.244
	▽通話中音声メモ		▼長押	通話中に相手の声を録音します。	P.244
	☆おしゃべり機能		Menu 9 1	アラーム音、応答メッセージ、着信音、応答保留音に利用する音声データを録音します。	P.247
	☆赤外線通信		Menu 7 9	電話帳や受信メールなどのデータをほかのFOMA端末などに送受信します。	アプリケーション編のP.340
	☆FOMAカード操作		—	FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、データのやりとりをします。	P.130
	電話帳画像転送		—	赤外線通信機能やデータの送受信(OBEX)機能で電話帳データを送信するとき、静止画および動画データを転送するかどうかを設定します。	アプリケーション編のP.351

大項目	中項目	メニュー番号(ボタン操作)	概要	参照ページ
アクセサリ	アクセスリーダー	－	内蔵カメラで印刷されている電話番号などを文字として読み取ります。	アプリケーション編のP.275
	バーコードリーダー	－	内蔵カメラでバーコード、QRコードの情報を認識します。	アプリケーション編のP.281
	☆SD-PIM	－	miniSDメモリーカードに保存されているデータを呼び出します。	アプリケーション編のP.370
サービス	サービス問い合わせ	Menu 2 5	留守番電話サービスセンターに問い合わせます(留守番電話サービスご契約時)。	P.274
	発信者番号通知	Menu 1 7	発信者番号通知の「通知する／通知しない」を設定します。	P.283
	留守番電話	－	留守番電話の開始／停止や各種設定を行います。	P.271
	キャッチホン	－	キャッチホンの開始／停止や各種設定を行います。	P.279
	転送でんわ	－	転送でんわの開始／停止や各種設定を行います。	P.276
	迷惑電話ストップ	－	特定の相手を着信拒否登録します。	P.282
	番号通知お願いサービス	－	電話番号を通知してこない電話に、電話番号を通知してかけ直すようメッセージで応答します。	P.284
	着信動作選択	－	着信動作選択機能の開始／停止や設定をします。	P.289
	通話中着信設定	－	通話中にかかってきた電話にどのように対応するか設定します。	P.290
	遠隔操作設定	－	留守番電話や転送でんわなどの操作をFOMA端末以外から行う遠隔操作の開始／停止や確認を行います。	P.292
	デュアルネットワーク	－	ネットワークの切り替えや確認をします。	P.285
	英語ガイダンス	－	電話をかけたとき、またはかかってきたときのガイダンスを英語に設定します。	P.287
	追加サービス	－	新しいネットワークサービスの追加登録や設定を行います。	P.293
	サービスダイヤル	－	ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけます。	P.288
電話帳	電話帳登録	－	FOMA端末(本体)またはFOMAカードに電話帳を登録します。	P.108
	電話帳検索	－	登録した電話帳をフリガナ、名前、電話番号、アドレスなど7つの検索方法で呼び出します。	P.116
	電話帳登録件数	Menu 2 2	電話帳の登録状況を確認します。	P.134
	電話帳便利機能	Menu 6 2	電話番号やメールアドレスに設定されている電話帳便利機能の設定状況を確認／解除します。	P.120

大項目	中項目	メニュー番号（ボタン操作）	概要	参照ページ
電話帳	☆電話帳指定設定	Menu 1 2	電話番号に設定されている電話帳指定設定の設定状況を確認／解除します。	P.141
	グループ設定	Menu 2 6	グループ名の変更やグループごとの発着信を設定します。	P.128
ユーザデータ	電話番号表示	Menu 0	お客様の電話番号を表示します。名前や自宅などの電話番号、住所、メールアドレス、メモ、画像などを登録することもできます。	P.237
	着信履歴	Menu 2 4	電話やメールなどを着信した日付・時刻や電話番号を確認します。	P.151
	発信履歴	－	電話やメールなどを発信した日付・時刻や電話番号を確認します。	P.151
	メールメンバー	Menu 9 7	複数のアドレスを登録して一度に宛先を指定できるように設定します。	アプリケーション編のP.159
	定型文	Menu 3 8	自作の定型文を登録します。固定定型文を変更することもできます。	P.322
	ユーザ辞書	Menu 8 2	お好きな読みかたで変換できる単語を100件まで登録できます。	P.319
	ダウンロード辞書	－	ダウンロードした辞書を使えるように設定します。	P.321

主な仕様

項目			仕様
品名			FOMA N900i
サイズ(H×W×D)			約102×48×26mm(折り畳み時)(最厚部)
質量			約115g(電池パック装着時)
液晶部	方式		メイン：TFT 65,536色 サブ：STN 4,096色
	サイズ		メイン：2.2inch サブ：0.9inch
	画素数		メイン：76,800画素(240×320) サブ：3,600画素(120×30)
連続待受時間※1※3			静止時：約430時間※4 移動時：約350時間※5
連続通話時間※2※3			音声電話：約140分 テレビ電話：約90分
最大出力			0.25W
電池パック種別			専用リチウムイオン蓄電池
電源電圧			3.8V
電池容量			850mAh
ACアダプタでの充電時間			約120分
卓上ホルダでの充電時間			約120分
DCアダプタでの充電時間			約120分
撮像素子	種類		外側カメラ：スーパーCCDハニカム 内側カメラ：CCD※6
	サイズ		外側カメラ：1/3.8inch 内側カメラ：1/9inch
カメラ部	有効画素数※7		外側カメラ：100万画素(816×612×2) 内側カメラ：11万画素(368×296)
	記録画素数※7		外側カメラ：200万画素(1,616×1,212)※8 内側カメラ：10万画素(352×288)
	ズーム(デジタル)		外側カメラ：最大約6.2倍 内側カメラ：最大約2倍
記録部	静止画	撮影サイズ	1,616×1,212 1,280×960 640×480(VGA) 352×288 (CIF) 240×269 (待受) 176×144(メール大) 128×96(メール小)
		ファイル形式	JPEG
	動画	動画記録サイズ	176×144(サイズ大) 128×96(サイズ小)
		動画ファイル形式	MP4(Mobile MP4)
		フレームレート	最大15fps

※1：連続待受時間とはFOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか、弱い場合等)などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また通話やiモード通信をしなくても、iモードメールを作成したり、ダウンロードしたiアプリ、iアプリ待受画面を起動させると通話(通信)・待受時間は短くなります。
※2：連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※3：データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。
※4：FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※5：FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
※6：CCD(charge coupled device 電荷結合素子)とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。
※7：デジタルカメラ委員会ガイドライン(JCIA GLA03)に基づく記載。
※8：ハニカム信号処理により最大1,616×1,212となります。

●困ったときには

故障かな？と思ったら、まずチェック！

現象	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	● 電池パックが正しく付けられていますか。	P.56
	● 電池切れになっていませんか。	P.63
ボタンを押しても何も応答しない	● 電源を入れ直してください。	P.62
右のようなアニメーションが表示され、「ピーッピーッピーッ…」というアラーム音が鳴っている	● 電池が切れました。充電してください。	P.55
「圏外」の表示が出て話中音（ツーツー音）が出る	● サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.62
ダイヤルボタンを押しても発信できない	● ダイヤル発信制限設定中ではありませんか。	P.205
	● セルフモード設定中ではありませんか。	P.207
	● 指定発信制限設定中ではありませんか。	P.141
ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない	● 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。	P.70
	● 市外局番を忘れていませんか。	P.70
	●「圏外」の表示が出ていませんか。	P.62
	●「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。	P.70

現象	チェックする箇所	参照ページ
着信できない 着信音が鳴っていないのに、着信履歴が記憶されている	● 次の機能を設定していませんか。	
	電話帳指定設定 ・指定着信拒否 ・指定着信許可 ・指定転送でんわ ・指定留守番電話	P.141
	呼出時間表示設定 ・無音時間設定 ・時間内不在着信表示	P.140
	登録外着信拒否	P.144
	非通知着信設定 ・通知不可能拒否 ・公衆電話拒否 ・非通知設定拒否	P.145
	● マナーモード設定中ではありませんか。	P.135
	● ドライブモード設定中ではありませんか。	P.82
	● オールロック設定中ではありませんか。	P.200
	● セルフモード設定中ではありませんか。	P.207
	● 留守番電話サービスや転送でんわサービスの開始時間を「0秒」に設定していませんか。	P.272 P.277
	● 番号通知お願いサービスを開始に設定していませんか。	P.285
	● デュアルネットワークサービスでムーバを有効にしていませんか。	P.285
	● 着信音量を「消去」に設定していませんか。	P.79
メール着信音やアラーム音は鳴るのに、電話がかかってきたときの着信音が鳴らない	● 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を長い時間(99秒など)に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。	P.140
発信履歴／着信履歴、リダイヤル、受信アドレス一覧／送信アドレス一覧が勝手に消えてしまう	●「ダイヤル発信制限」を設定しませんでしたか。	P.205
	●「PIMロック」を設定しませんでしたか。	P.204
電源を切っている状態からめざまし時計が通知したとき、設定したアラーム音とは違う音が鳴った	● サイトなどからダウンロードしたメロディをアラーム音に設定していませんか。 電源を切っている状態からめざまし時計の通知が行われる場合には、それらのメロディは鳴らずに「時刻アラーム音」がなります(「プリインストール」や「おしゃべり」フォルダ内からアラーム音を選択した場合には、その音が鳴ります)。	P.214
ニューロポインターの動きがにぶくなった	● スライド調整を行ってください。	P.251
電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合は、次のような優先順位で着信音が鳴ります。①が最も優先順位が高くなります。 ①電話帳便利機能の着信音 ②グループ便利機能の着信音 ③着信音選択	P.120 P.163

現象	チェックする箇所	参照ページ
メールを受信したときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	●各機能の着信の設定が重なった場合は、次のような優先順位で着信音が鳴ります。①が最も優先順位が高くなります。 ①電話帳便利機能のメール着信音 ②グループ便利機能のメール着信音 ③着信音選択のメール	P.120 P.163
電話がかかってきたときに設定したイメージと違うイメージが表示される	●各機能の着信の設定が重なった場合は、次のような優先順位で画像を表示します。①が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。 ①電話帳登録画像のiモーション ②電話帳便利機能の着信イメージ ③グループ便利機能の着信イメージ ④電話帳登録画像のイメージ ⑤画面表示設定	P.108 P.120 P.163 P.177 P.181
電話がかかってきたときに設定した色や点滅パターンと違う色や点滅パターンで着信ランプが動作する	●各機能の着信イルミネーションの設定が重なった場合は、次のような優先順位で動作します。①が最も優先順位が高くなります。 ①電話帳便利機能の着信イルミネーション設定 ②グループ便利機能の着信イルミネーション設定 ③着信イルミネーション設定	P.120 P.185
メールを受信したときにメールに設定した着信音と違う着信音が鳴る	●メールアドレスにメール着信音を設定している場合は、そのメールアドレスに設定された着信音が鳴ります。 ●グループにメール着信音を設定している場合は、そのグループに設定された着信音が鳴ります。 ●グループにもメールアドレスにもメール着信音を設定している場合は、メールアドレスに設定された着信音が鳴ります。 ●複数のメールを受信したとき、最後に受信したメールのメールアドレスにメール着信音を設定している場合は、そのメールアドレスに設定されている着信音が鳴ります。	P.120
	●相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信音を設定してください。 ●メールの送信元のメールアドレス(受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス)を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信音を設定していますか。	P.108 P.120
	●SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定された着信音が有効となります。	—

現象	チェックする箇所	参照ページ
メールを受信したときにメールに設定した着信イルミネーションの色と違う色で点滅する	● メールアドレスにメールイルミネーションを設定している場合は、そのメールアドレスに設定されたイルミネーションが点滅します。 ● グループにメールイルミネーションを設定している場合は、そのグループに設定されたイルミネーションが点滅します。 ● グループにもメールアドレスにもメールイルミネーションを設定している場合は、メールアドレスに設定されたイルミネーションが点滅します。 ● 複数のメールを受信したとき、最後に受信したメールのメールアドレスにメールイルミネーションを設定している場合は、そのメールアドレスに設定されたイルミネーションが点滅します。	P.120
	● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメールイルミネーションを設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス(受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス)を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメールイルミネーションを設定していますか。	P.108 P.120
	● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたイルミネーションが有効となります。	−
メール着信音は鳴っているが、新着メールを受信していない	●「件数増加鳴動設定」を設定していませんか。圏外または電源が切れているときに留守番電話の件数が増えた場合、再び圏内になるか、電源を入れると留守番電話の件数が増えたことをメール着信音でお知らせします。	P.274
充電ができない(FOMA端末の充電ランプが点灯しない)	● FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.56
	● アダプタのプラグがコンセントまたはシガーライタソケットにしっかりと差し込まれていますか。 ● アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか(ACアダプタをお使いのとき、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダにしっかりと接続されていますか)。	P.58 P.59 P.60
ボタン確認音が出ない	●「ボタン確認音」を「OFF」に設定していませんか。	P.168
	● マナーモード設定中ではありませんか。	P.135
エニーキーアンサーで音声電話/テレビ電話に出ることができない	●「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。 ● テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。	P.159
通話中、相手の声が聞こえにくい	● 受話口と耳の位置がずれていませんか。 ● 受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。 ● ハンズフリー中にスピーカが何かでふさがれていませんか。	P.32
	●「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.78
通話中、相手の声が大きすぎる	●「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.78
相手に自分の声が伝わらない	● 送話口が何かでふさがれていませんか。	P.32
「オールロック」と表示され、「」マークが点灯している	● 端末暗証番号を入力し、◉を押してオールロックを解除してください。	P.200

現象	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末を折り畳んでいるときに、サイドボタンを押しても操作できない	●「サイドボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.208
FOMA端末を折り畳んでいるときに、▼[メモ/確認]を押しても不在着信などの確認ができない	●「確認機能設定」を「OFF」に設定していませんか。	P.77
	●「サイドボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.208
日付が英語で表示されている	●「Language」で英語表示を設定していませんか。	P.191
	●時計表示を「英語」に設定していませんか。	P.192
ディスプレイがなんとなく暗い	●バックライトの明るさの設定を「レベル1」に設定していませんか。	P.183
ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウ、ダイヤルボタンのバックライトが点灯しない	●バックライトの通常時の点灯を「OFF」に設定していませんか。	P.183
	●5を1秒以上押してバックライトの点灯/消灯を切り替えることができます。メールの作成中などにも、5を1秒以上押すとバックライトが消灯しますので、ご注意ください。	P.34
画像を表示しようとすると「×」が表示される	●画像データが壊れている場合は「×」が表示されることがあります。	−
テレビ電話中の画面の動きがなめらかでない	●「通話中画像表示設定」の「画像表示設定」を「画面サイズで表示」に設定していませんか。「等倍表示」に設定してください。	P.100
電源を入れた直後に電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示されてしまう	●電源を入れた直後はFOMAカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。	−
PWR/HLDを1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる	●電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。	P.134
PWR/HLDを押しても通話が終わらない	●音声ガイダンスのボタン操作(0～9、*、#)を行った場合、PWR/HLDを押しても通話が終わらないことがあります。もう一度PWR/HLDを押してください。	−
ディスプレイに何も表示されず、◑、◐が点滅する	●省電力モード中です。ボタンを押すと、省電力モードが解除されます。	P.183
着信があっても着信動作(着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯)が行われない	●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を0秒以外に設定している場合、電話帳に登録されていない電話番号や、電話番号を通知しない相手からの着信があると、設定した時間が経過するまで着信動作(着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯)が行われません。	P.140

お買い上げのときの状態に戻すには

FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻すには、次の操作を行ってください。

1 「設定リセット」を実行する

「設定リセット」の実行のしかたとリセットされる機能については、P.252を参照してください。

2 「ラストURL初期化」および「iモード設定リセット」を実行する

「ラストURL初期化」および「iモード設定リセット」の実行のしかたとリセットされる機能については、『アプリケーション編』のP.124をご覧ください。

3 「メール設定リセット」を実行する

「メール設定リセット」の実行のしかたとリセットされる機能については、『アプリケーション編』のP.231をご覧ください。

4 次の各機能ごとにデータを削除またはリセットする

- 電話帳→P.128
- 電話帳のグループ名→P.129
- リダイヤル→P.73
- 発信履歴／着信履歴→P.151
- 送信アドレス一覧／受信アドレス一覧→P.154
- ポーズダイヤル→P.147
- デスクトップアイコン→P.175
- 通話時間／積算通話時間→P.162
- めざまし時計→P.215
- スケジュール→P.226
- ToDo→P.232
- テキストメモ→P.236
- 伝言メモ→P.246
- 音声メモ→P.246
- おしゃべり機能→P.248
- 電話番号表示（自局番号を除く）→P.240
- 定型文→P.323
- ユーザ辞書→P.320
- ダウンロード辞書→P.321
- 学習辞書→P.328
- iアプリ→『アプリケーション編』のP.89
- メール→『アプリケーション編』のP.212
- メッセージ→『アプリケーション編』のP.109
- メールアドレス→『アプリケーション編』のP.238
- メールメンバー→『アプリケーション編』のP.159
- 画像→『アプリケーション編』のP.306
- 動画／iモーション→『アプリケーション編』のP.322
- メロディ→『アプリケーション編』のP.336
- 自作アニメ→『アプリケーション編』のP.304

エラーメッセージ一覧表

操作中にエラーメッセージが表示された場合は、次の表を参考にして対処してください。エラーメッセージは英数字、50音順に記載しています。

●iモードやメール、マルチメディアに関するエラーメッセージについては『アプリケーション編』のP.478をご覧ください。

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「FOMAカードが異なるためご利用できません」	● FOMAカード動作制限機能により保護されているデータのデスクトップアイコンを選んで実行しようとしたときに表示されます。 ● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージリクエスト、またはメッセージフリーを選んで実行しようとしたときに表示されます。	P.53
「FOMAカード読み込み中です起動できません」	● FOMAカードを読み込み中にFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。しばらくたってから操作し直してください。	―
「FOMAカードを挿入してください」	● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.51
「PIMロック設定中です」	● PIMロック設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.204
「PIN1コードがロックされています」	● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。◉[選択]を押すとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。	P.198
「PINロック解除コードがロックされています」	● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。当社窓口までお問い合わせください。	P.195
「URLに誤りがあります」	● URLが間違っているとき、または入力した文字数が許容される文字数を超えているときに表示されます。	―
「空きメモリがないため登録できません」	● すでにFOMA端末(本体)の電話帳に電話番号またはメールアドレスが700件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合に表示されます。すでに登録されている電話帳の中で、不要なものを削除した後、登録し直してください。	P.128
「該当するデータはありません」	● 電話帳検索を行ったとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。	P.116
「このカードは認識できません」	● 本FOMA端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	P.54
「シークレットデータのため呼び出せません」	● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータをメモリ番号検索しようとしたときに表示されます。 ● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータをツータッチダイヤルで発信しようしたときに表示されます。	P.201

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「指定着信許可すでに20件設定されています」 「指定着信拒否すでに20件設定されています」 「指定転送でんわすでに20件設定されています」 「指定発信制限すでに20件設定されています」 「指定留守番電話すでに20件設定されています」	●すでに電話帳が20件設定されているときに、新たに電話帳指定を設定しようとした場合に表示されます。不要になった電話帳の設定を解除してから設定し直してください。	P.141
「指定発信制限設定中です」	●指定発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.141
「しばらくお待ちください」	●発信規制中です。しばらくたってから音声電話やテレビ電話をご利用ください。	―
「すでに他の機能が起動中です起動できません」 「すでに他の機能が起動中です設定できません」	●ほかの機能が起動しているときに、利用できない機能を操作しようとしたときに表示されます。	P.265
「セルフモード設定中です」	●セルフモード設定中に、使用できない機能を操作しようとしたときに表示されます。	P.207
「操作できませんでした」	●サービスエリア外や電波が届かないところで、ネットワークサービスの操作をしようとしたときに表示されます。「Y.ıl」が表示されるところまで移動してネットワークサービスの操作をしてください。	―
「ダイヤル発信制限設定中です」	●ダイヤル発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.205
「端末暗証番号が違います」	●端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。端末暗証番号を万一お忘れになった場合は、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)を、当社窓口まで持参していただくことが必要になります。	P.193
「通話中です起動できません」 「通話中です操作できません」	●通話中に行えない操作をしようとしたときに表示されます。	P.265
「通話中です切り替えできません」	●通話中にタスクメニューを表示させ、利用できない機能を選んだときに表示されます。	P.266
「デスクトップがいっぱいです」	●すでに待受画面にデスクトップアイコンが15件貼り付けられているときに、デスクトップアイコンを貼り付けようとした場合に表示されます。不要なデスクトップアイコンを削除してから貼り付けてください。	P.175
「転送先番号が未登録です」	●転送でんわサービスを契約されていて、転送先が未設定の状態で着信中に機能メニューの「転送でんわ」を選んだ場合に表示されます。	P.291
「時計設定を行ってください」	●「時計設定」で日付・時刻が設定されていないときに、日付・時刻が設定されていないと利用できない操作をしようとした場合に表示されます。「時計設定」で日付・時刻を設定したあと、操作し直してください。	P.65

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「ネットワーク暗証番号が誤っています」	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。ネットワーク暗証番号を万一お忘れになった場合は、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、当社窓口まで持参していただくことが必要になります。	P.193
「メモリ番号：ＸＸＸ書き換えできません」	● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。	P.201
	● オート表示に設定されている電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。◉［選択］を押すと、再び電話帳編集画面に戻るので「No」を選んで、空いているメモリ番号を入力してから登録し直してください。	P.119
「もう一つの電話機が利用中のため切替えできませんでした」	● もうひとつの電話機（端末）が利用中で、デュアルネットワーク切替ができないときに表示されます。利用中の端末の通信を終了してから切り替えを行ってください。	P.285

保証とアフターサービス

保証について

●FOMAをお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
●この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

■調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック！」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、次の連絡先にご連絡のうえ、ご相談ください。

○お問い合わせ先（ドコモグループ各社）

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

携帯・PHS OK 0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

※なお、詳しくはFOMAなどに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

■お問い合せの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

・保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMAの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、上記連絡先へお問い合わせください。

お願い

- FOMAおよび付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
  - ・改造（部品の交換・改造・塗装等）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMAに貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMAの故障・修理やその他取扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMAの下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。　使用箇所：ニューロポインターボタン、スピーカ、受話口部
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身で携帯電話機等に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらの責任を負うものではありません。

ソフトウェア更新について

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはiモードを使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新してください。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびiMenuの「お知らせ＆ヘルプ」でご案内いたします。

●ソフトウェア更新のパケット通信料は無料となります。
●更新方法には「即時更新」と「予約更新」の2種類があります。
即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
●ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。あらかじめ証明書を有効にしておいてください。
証明書について→『アプリケーション編』のP.130
●iモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
●ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
●ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
●次の場合はソフトウェアを更新できません。

・FOMAカードの未挿入時
・FOMAカードの不正時
・PINロック中
・PINロック解除コードロック中
・日付・時刻の未設定時
・着信中
・メール／メッセージ受信中
・音声電話通話中
・テレビ電話通話中
・iモード通信中
・64Kデータ通信中
・パケット通信中
・セルフモード中
・PIMロック中
・圏外時
・パケット発信規制中
・デュアルネットワークサービスでムーバ利用時
・miniSDリーダライタ機能時
・その他機能を起動中

●ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
●ソフトウェア更新中は、ほかの機能を使用できません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはできます。
●ソフトウェア更新中は、メールやメッセージリクエスト／フリーを受信できません。受信されなかったメールやメッセージリクエスト／フリーはiモードセンターに保管されます。
●「 」や「 」などのアイコンは、ソフトウェア更新後の再起動時に消去されますが、iモードセンターや留守番電話サービスセンターに保管されているメールやメッセージなどは消去されません。
●お客様の確認操作なしでソフトウェアの更新が終了すると、待受画面に「更新」（ソフトウェア更新完了）のデスクトップアイコンが表示されます。ご確認いただきたい内容がある場合などには「更新」（ソフトウェア更新　説明あり）が表示されます。「更新」を選んで端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

おしらせ

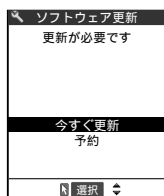
● ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
この場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。
その場合には、ドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。

ソフトウェア更新が必要かチェックします

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「ソフトウェア更新」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

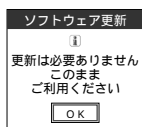
2 注意事項を確認し、ソフトウェア更新が必要かチェックする

このとき、携帯電話情報(FOMA端末の機種や製造番号など)をサーバに送信する必要があります。
なお、当社に送信されたお客様の携帯電話情報を第三者に公表・転用することはありません。

3 チェックの結果が表示される

「更新が必要です」と表示された場合

「今すぐ更新／予約」を選ぶ

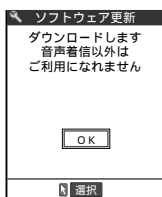
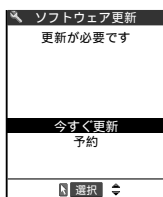
すぐにソフトウェアを更新する場合は「今すぐ更新」を選びます。→P.377

ソフトウェアを更新する日時を予約してあとから更新する場合は「予約」を選びます。→P.378

「更新は必要ありません」と表示された場合

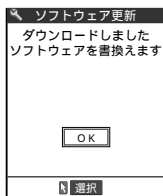
「OK」を選ぶ

ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

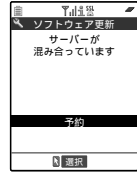
すぐにソフトウェアを更新します ＜即時更新＞

1 **チェック結果画面(P.376)で「今すぐ更新」を選び、「ダウンロードします」と表示されたら「OK」を選ぶ**

すぐにソフトウェアのダウンロードを開始します。
「OK」を選ばなくても、しばらくするとダウンロードが開始されます。

2 **ダウンロードが終了し「ダウンロードしました　ソフトウェアを書換えます」と表示されたら「OK」を選ぶ**

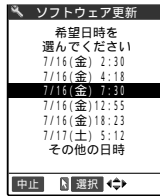
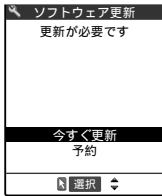
ソフトウェアの更新を開始します。
「OK」を選ばなくても、しばらくすると書換えが開始されます。書換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

ソフトウェアの書換え中はすべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
ソフトウェアの書換えが完了すると、自動的に再起動します。
再起動後、自動的にサーバに接続し、更新完了のチェックを行います。「ソフトウェア更新完了しました」と表示されたら「OK」を選びます。これでソフトウェアの更新は終了です。

おしらせ

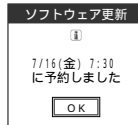
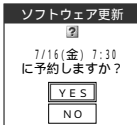
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても自動的に更新処理を実行します。
- サーバが混みあっている場合は、右の画面が表示される場合があります。
  その場合は、「予約」を選んで予約更新を行ってください。

日時を予約してソフトウェアを更新します ＜予約更新＞

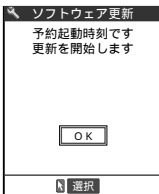
ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合は、あらかじめソフトウェア更新を実行する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。
＜例：7月16日(金)7：30に予約する場合＞

1 チェック結果画面(P.376)で「予約」を選び、希望日時を選ぶ

➡

希望する日時がない場合
「その他の日時」を選ぶ→P.379

2 選択した日時を確認をして「YES」を選ぶ

➡

これでソフトウェア更新の予約は完了です。

希望日時を選び直す場合
「NO」を選ぶ

予約時刻になると左の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェアの更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受状態にしておいてください。以降の動作は「すぐにソフトウェアを更新します」と同じです。

おしらせ

- 予約更新の希望日時には、サーバの時刻が表示されます。
- 予約更新が終了すると、自動的に再起動されます。PIN1コード入力設定（P.195）を「ON」に設定している場合、再起動時にPIN1コード入力画面が表示されたまま（P.197）となり、電話の着信やメールの受信などが行われませんのでご注意ください。
- 次の場合は予約時刻になってもソフトウェア更新を起動できません。
  - 電源が入っていないとき
  - 電池残量不足
  - FOMAカードの未挿入時
  - FOMAカードの不正時
  - PINロック中
  - PINロック解除コードロック中
  - 日付・時刻の未設定時
  - 着信中
  - メール／メッセージ受信中
  - 音声電話通話中
  - テレビ電話通話中
  - iモード通信中
  - 64Kデータ通信中
  - パケット通信中
  - オールロック中
  - セルフモード中
  - PIMロック中
  - 圏外時
  - パケット発信規制中
  - デュアルネットワークサービスでムーバ利用時
  - miniSDリーダライタ機能時
  - その他機能を起動中
- ソフトウェア更新の予約時刻とアラーム通知の時刻が同じ場合は、ソフトウェア更新が優先されます。

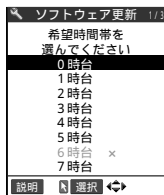
■「その他の日時」を選択した場合

P.378の希望日時の選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と時間帯を選ぶことができます。

1 希望日を選ぶ

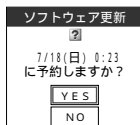
希望日の選択画面には各希望日の予約空き状況が次のように表示されます。

○　：空きあり
△　：空きわずか
無印：空きなし

2 時間帯を選ぶ

時間帯の選択画面には各時間帯の予約空き状況が次のように表示されます。

○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし

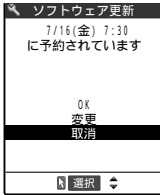
希望する時間帯を選ぶと、再度サーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

3 ソフトウェア更新の希望日時を選ぶ

選んだ日時を確認して「YES」を選ぶと、再度サーバと通信します。これでソフトウェア更新の予約は完了です。

■予約を確認します

＜例：予約を確認した後、予約を取り消す場合＞

1 Menu ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「ソフトウェア更新」を選んで、端末暗証番号を入力する

2 「取消」を選ぶ

予約した日時でよい場合

「OK」を選ぶ

予約した日時を変更する場合

「変更」を選ぶ

「変更」を選んだ場合は、携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号など）をサーバに送信した後、「その他の日時」を選んだときと同じ操作を行ってください。→P.379

3 「予約を取消しますか？」と表示されたら「YES」を選ぶ

このとき携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号など）をサーバに送信します。
なお、当社に送信されたお客様の携帯電話情報を第三者に公表・転用することはありません。
「予約を取消しました」と表示されたら「OK」を選びます。これで予約の取り消しは完了です。

索　引

マ

ヤ

ラ

ワ

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　・病院内
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合
FOMA端末を使用しながら運転すると、事故の原因になります。
※運転中、電源を切りたくない場合は、ドライブモードを設定してください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーを守りましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

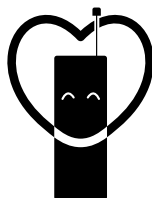
こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード／オリジナルマナーモード】
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。また、オリジナルマナーモードでは伝言メモ機能やバイブレータ、着信音など、機能ごとに設定を変更できます。

【ドライブモード】
電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。

【バイブレータ】
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

【伝言メモ機能】
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。
そのほかにも、留守番電話サービス（P.271）、転送でんわサービス（P.276）などのオプションサービスが利用できます。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ九州
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ四国

製造元　日本電気株式会社

大豆油インキを
使用しています

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、
リサイクル協力店等にお持ちください。

'04.4（3版）
MDT-000049-JAA0